令和5年12月10日発行（毎月1回10日発行）11月10日発売　第46巻第12号　昭和53年12月21日第3種郵便物認可

アニメージュ Animage

Wカバー 翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～

応募者全員サービス
劇場版 ポールプリンセス!! アクリルスタンド

12
2023 DEC.

原画／中嶋敦子

CINEMA SPECIAL
ポールプリンセス!!
鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎
駒田蒸留所へようこそ
すみっコぐらし
ツギハギ工場のふしぎなコ
ゴジラ-1.0

お嬢様暮らしも楽じゃない?
婚約破棄された令嬢を拾った俺が、イケナイことを教え込む
ひきこまり吸血姫の悶々
ティアムーン帝国物語

Special Pin-up
キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
王様戦隊キングオージャー
舞台「鬼滅の刃」其ノ肆 遊郭潜入
翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～

呪術廻戦 渋谷事変
葬送のフリーレン
薬屋のひとりごと
アンデッドアンラック
ミギとダリ
新しい上司はど天然
ビックリメン
グッド・ナイト・ワールド
ウマ娘 プリティーダービー Season 3
カミエラビ
あんさんぶるスターズ!!
追憶セレクション「クロスロード」

巻頭特集

キボウノチカラ ～オトナプリキュア'23～

夢原のぞみ役 三瓶由布子×夏木りん役 竹内順子
プロデューサー 鷲尾 天×村瀬亜季　音楽 佐藤直紀
キュア・カルテット 五條真由美×うちやえゆか×工藤真由×宮本佳那子

付録
キボウノチカラ ～オトナプリキュア'23～ クリアファイル

Animage アニメージュ

電子書籍版

はじめにご確認ください

●紙の雑誌とはコンテンツが一部異なります。
●プレゼントや懸賞など紙の雑誌を購入いただかないと
　ご利用になれないコンテンツが含まれている場合があります。
●付録が含まれない場合があります。
●一部ページのサイズが紙の雑誌と異なる場合があります。

以上をご理解いただき、お楽しみください。

株式会社徳間書店
アニメージュ編集部

アニメージュ

Animage

キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
©2023 キボウノチカラ オトナプリキュア製作委員会
Illustrated by Atsuko Nakajima
Color coordinated by Yui Azumi
Painted by Mizuki Nakagawa, Nana Takeyama
Special effect by Takeshi Saito

王様戦隊キングオージャー
©テレビ朝日・東映AG・東映

舞台「鬼滅の刃」其ノ肆 遊郭潜入

©吾峠呼世晴／集英社　©舞台「鬼滅の刃」製作委員会

翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～

アニメージュ

Animage

劇場版 ポールプリンセス!!
アクリルスタンド

星空をバックに踊るヒナノ＆アズミ先生。
物語の始まりを感じさせるポートレイトを
アクリルスタンドであなたのお手元に！

1700円
送料・消費税・事務手数料込み

応募締切日 当日消印有効
2023年12月29日(金)
商品は2024年3月下旬発送予定

※発送予定は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※締切日を過ぎますと、処理の都合上応募を受け付けることができません。
その場合、お客様には事務手数料を差し引いた上、ご返金させていただきます。
※お客様都合によるご注文後のキャンセルは　切お受けしておりません。
※監修中のため、デザイン・仕様は変更になる可能性があります。

ほぼ原寸大！

本体：約135mm×約105mm
台座：約102mm×約32mm

アニメージュ2023年12月号イラスト

© エイベックス・ピクチャーズ / タツノコプロ / ポールプリンセス!!製作委員会

応募方法

1. 130ページの左に付いている専用の「払込取扱票」（コピー不可）を切り取って、黒色のボールペンかサインペンで必要事項（住所、氏名、電話番号など）をていねいに記入してください。右側にある「振替払込請求書兼受領証」の※印がある「ご依頼人」の欄にも氏名を忘れずに記入してください。
2. 必要事項を全て記入した「払込取扱票」と代金を用意し、郵便局の窓口またはATMで手続きしてください。この際、払込手数料が別途かかりますのでご了承ください。
3. 受け付けが終わると、「振替払込請求書兼受領証」（用紙の右側）が渡されます。この用紙は、送金されたことの証明になります。商品がお手元に届くまで大切に保管してください。

- この商品は、郵便振替またはトクマショップでお申し込みされた方全員がお求めになれます。
- 郵便振替はお近くの郵便局で、窓口またはATMのお取り扱い時間までご確認の上、必ず締切日までに手続きしてください。
- 完全受注生産のため、お申し込み多数の場合、発送予定日より遅れることがあります。また、発送予定日より3ヵ月を過ぎても商品が届かない場合は、必ず問い合わせ先にご連絡ください。

注意　応募する前に必ず読んでね！

- 郵便振替は本誌綴じ込みの「払込取扱票」用紙でお申し込みください。用紙はお切り抜線部分を切り離したりしないでください。
- 「払込取扱票」の住所・氏名は記入欄からはみ出ないように、ハッキリとした字で記入してください。記入ミス、記入もれ、省略、略字、崩し字などは商品未着の原因になりますので、ご注意ください。
- ご注文商品番号の記入ミスや金額の過不足などご注文時の確認防止および事務処理の都合上、「払込取扱票」1枚につき1種のご注文とさせていただきます。
- ご記入いただいた個人情報は、商品発送の目的以外での利用はいたしません。
- 締切日を過ぎますと、処理の都合上応募を受け付けることができません。その場合、お客様には事務手数料を差し引いた上、ご返金させていただきます。ご了承ください。
- 金額が不足していた場合や、必要事項の記載をお忘れいただいた場合、応募が無効となることがありますのでご注意ください。
- 消費・未使用切手・現金などによる応募は受け付けられません。
- 日本国内の発送に限らせていただきます。
- 発送予定までの間に転居される場合は、必ずアニメージュ編集部までお知らせください。
- 発送中の、「ケース」およびケースの破損については、お取り替えできない場合があります。
- 発送予定は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 締切日を過ぎますと、処理の都合上応募を受け付けることができません。その場合、お客様には事務手数料を差し引いた上、ご返金させていただきます。
- お客様都合によるご注文後のキャンセルは　切お受けしておりません。
- 監修中のため、デザイン・仕様は変更になる可能性があります。
- 商品は業務を委託した業者よりお届けいたします。
- 受け取り拒否、または長期不在などの場合はキャンセル扱いとさせていただきます（発送後6ヵ月以内）。
- キャンセル扱いとなったお客様には、事務手数料を差し引いた上、代金を返金させていただきます。
- 商品・特典のデザインは変更になる場合があります。
- 万一、商品に破損などが発生がございましたら、アニメージュ編集部までお問い合わせください。

トクマショップでも受付中

アニメージュやコミックリュウのオリジナル商品の通販サイト「トクマショップ」
➡ https://www.tokuma-shop.com/
アニメージュ公式HPからもアクセスできます。
※携帯電話からはうまくアクセスできない場合があります。
トクマショップ問い合わせフォームはこちら
https://www.tokuma-shop.com/npgen/HPE/entries/1.html

問い合わせ先　株式会社徳間書店 アニメージュ編集部　〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒セントラルスクエア　03-5403-4341 電話受付時間：朝11時～夜6時（土日祝休）

アニメージュ

Animage

※一部の記事が掲載されていない場合があります。ご了承くださいますようお願いいたします。

アニメージュ Animage 2023 12 VOL.546

CONTENTS

X(Twitter) @animage_tokuma
HP https://animageplus.jp/

表紙デザイン
間中幸子(クウ)

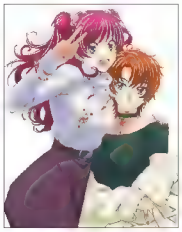
定期購読お申込み受付中
詳細▼
fujisan.co.jp/product/85/

デザイン
クウ
山川夏実
坂野弘美
谷口主詩
山崎サチ子
フリーウェイ
柳川ユリ
東京カラーフォト・プロセス

18 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
私たちの夢は終わらない
プロデューサー対談＝鷲尾 天×村瀬亜季／キャスト対談＝三瓶由布子(夢原のぞみ役)×竹内順子(夏木りん役)／会見レポート／インタビュー＝佐藤直紀(音楽)／キュア・カルテット座談会＝五條真由美×うちやえゆか×工藤真由×宮本佳那子／ライブレポート

30 お嬢様キャラ特集
お嬢様暮らしも楽じゃない？
01【ひきこまり吸血姫の悶々】 02【ティアムーン帝国物語～断頭台から始まる、姫の転生逆転ストーリー～】 03【婚約破棄された令嬢を拾った俺が、イケナイことを教え込む】

147 映画 翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～ 後ろ読み
GO WEST！
空前絶後の東西対決！／インタビュー＝GACKT(麻実 麗役)、片岡愛之助(嘉祥寺晃役)／鼎談＝武内英樹(監督)×徳永友一(脚本)×若松央樹(プロデューサー)


表紙 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
原画 中嶋敦子
色彩設計 安住 唯
仕上げ 中川瑞希／竹山奈那
特効 蒼羅丈史
版権制作 秋田雄一郎

表紙 翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～
撮影 熊英潤一郎

付録
A4サイズクリアファイル
「キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～」

3 Special Pin-up❶
A-side キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
……キボウのアクセサリー
B-side 王様戦隊キングオージャー
……不動の王 リタ・カニスカ

7 Special Pin-up❷
A-side 舞台「鬼滅の刃」其ノ肆 遊郭潜入
……新たな任務へ
B-side 映画 翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～
……埼玉に海を作る――

11 応募者全員サービス
『劇場版 ポールプリンセス!!』
アクリルスタンド

36 薬屋のひとりごと
大好物は毒と謎

40 呪術廻戦 渋谷事変
絶望の始まり

43 シャングリラ・フロンティア
世界を拓き、世界を楽しめ！

48 葬送のフリーレン
新たな旅がもたらすもの

50 アンデッドアンラック
不変(アンチェンジ)にさよならを

52 ミギとダリ
真実まで、もう少し

54 ビックリメン
因子を持つ者たち

58 ウマ娘 プリティーダービー Season 3
最高の親友(ライバル)

62 新しい上司はど天然
癒やし癒やされ楽しい職場！

64 グッド・ナイト・ワールド
理想と現実の世界

68 カミエラビ
力の代償

72 あんさんぶるスターズ！！
追憶セレクション「クロスロード」
このライブにすべてを懸けて

74 劇場版 ポールプリンセス!!
ポールダンスの世界へ

78 鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎
謎の解明まであと7日

82 駒田蒸留所へようこそ
よみがえれ、幻の銘酒

86 映画 すみっコぐらし
ツギハギ工場のふしぎなコ
みんなの笑顔が見たいから

90 池袋ハロウィンコスプレフェス2023
あっちもこっちも推しだらけ！

108 ゴジラ-1.0
恐怖(ゴジラ)との邂逅

112 TSUBURAYA CONVENTION 2023
空想世界の過去・現在・未来

15 今月のプレゼント
91 IRIAM× アニメージュ
98 本棚の奥から◆新房昭之
99 AM☆CRUISE MUSIC GAME&GOODS CINEMA
102 設定資料 FILE『悪魔くん』
107 富野に訊け!! ◆富野由悠季
110 王様戦隊キングオージャー
王様戦隊 満見の間
第３回 平川結月（リタ・カニスカ役）
114 大塚隆史&小松田大全のハッピーアニメライフ！
～"好き"を進路にしてみたら～
116 パリウタの愛を知りたい!! ◆荒木哲郎×平尾隆之
119 マイ・アニメージュ
131 Animage Next Recommend
『時光代理人 -LINK CLICK-』ほか
139 Actors Animage +
舞台「鬼滅の刃」其ノ肆 遊郭潜入
阪本奨悟×辻 凌志朗
142 アニメイト店員雑記・今日もアニメ日和
143 タスクのつぶやき◆畠中 祐
144 キャラクターベスト 10

▶今月の「ANIMATION WORLD」「この人に話を聞きたい」「文化放送「超！A&G＋」のススメ」はお休みです。

アニメージュ

Animage

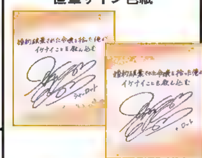
PRESENT

応募方法

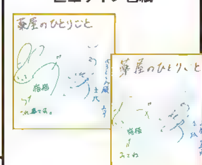
✦プレゼントをご希望の人は、本誌とじこみアンケートはがきオモテの応募欄に欲しい賞品番号を一つ記入して2023年12月7日（当日消印有効）までにお送りください。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。応募者多数の場合は抽選いたします。アンケートはがきに記入された個人情報は、今後の企画の参考と賞品の発送に利用いたします。

✦プレゼントの賞品について、第三者への譲渡または譲渡申請（オークション出品等）を行うことを固く禁止いたします。万が一違反された場合には、当選を取り消し、プレゼントの返還や価格賠償等を請求することがございますので、ご了承ください。

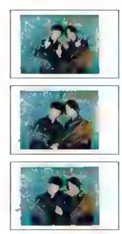
1 2名
『婚約破棄された令嬢を拾った俺が、イケナイことを教え込む』早見沙織（シャーロット・エヴァンズ役）直筆サイン色紙



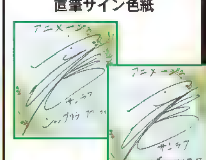
2 2名
『薬屋のひとりごと』悠木 碧（猫猫役）・大塚剛央（壬氏）直筆サイン色紙



3 3名
『ビックリメン』梶田大嗣（ヤマト役）・斉藤仁馬（フェニックス役）直筆サイン入りチェキ

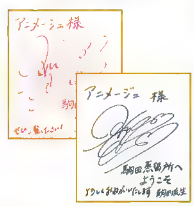


4 2名
『シャングリラ・フロンティア』内田雄馬（サンラク／陽務楽郎役）直筆サイン色紙



5 1名
『王様戦隊キングオージャー』平川結月（リタ・カニスカ役）直筆サイン入りポラ

6 2名
『駒田蒸留所へようこそ』早見沙織（駒田琉生役）直筆サイン色紙

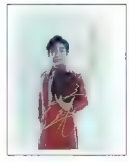


7 3名
『舞台「鬼滅の刃」其ノ肆 遊郭潜入』阪本奨悟（竈門炭治郎役）・辻 凌志朗（宇髄天元役）直筆サイン入りポラ

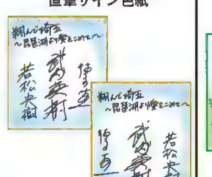
翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～

8 2名
GACKT（麻実 麗役）サイン入り入りポラ

9 1名
片岡愛之助（嘉祥寺晃役）直筆サイン入りポラ



10 2名
武内英樹（監督）・徳永友一（脚本）・若松央樹（プロデューサー）直筆サイン色紙



11 1名
『PSO2 NEW GENESIS Song Collection Vol.1』
［提供：フロンティアワークス］

12 1名
TVアニメ「デキる猫は今日も憂鬱」Blu-ray Vol.3
［提供：フロンティアワークス］

13 1名
「マーメイドメロディー ぴちぴちピッチ」アニバーサリーBD-BOX
［提供：フロンティアワークス］

14 1名
OVA「テイルズ オブ シンフォニア THE ANIMATION」アニバーサリーBD-BOX
［提供：フロンティアワークス］

15 1名
あんさんぶるスターズ！！アルバムシリーズ『TRIP』fine［通常盤］
［提供：フロンティアワークス］

16 1名
あんさんぶるスターズ！！アルバムシリーズ『TRIP』Valkyrie［通常盤］
［提供：フロンティアワークス］

17 3名
『Yes！プリキュア5 GoGo！』

めめキラ☆ドール

キュアドリーム　ミルキィローズ

プリキュアマスコット

妖精ココ　妖精ナッツ

［提供：バンダイ］
※プレゼントは4種セット

18 3名
『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』オリジナル　鬼太郎＆目玉おやじアイマスク
［提供：東映］

19 3名
ONE PIECE カードゲーム 双璧の覇者【OP-06】
［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは3パック

20 1名
コードギアス 反逆のルルーシュ Vol.2【EX02BT】
［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは1セット

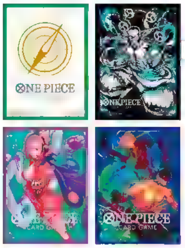
21 4名
アイドリッシュセブン メタルカードコレクション21
［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは10パック

22 3名
ハイキュー!! クリアビジュアルカード
［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは3セット

23 1名
ONE PIECE カードゲーム オフィシャルカードスリーブ5（4種アソート）
［提供：バンダイ カード事業部］



※プレゼントは1セット

24 3名
仮面ライダーガッチャード ライドケミートレカ PHASE:02
［提供：バンダイ カード事業部］

※プレゼントは3パック

25 2名
TVアニメ『呪術廻戦』ジュースアップ
［提供：ヒサゴ］

虎杖悠仁　伏黒 恵

釘崎野薔薇　五条 悟

※パイロットのカラフル激細ゲルインキボールペンの4種セット

26 2名
TVアニメ『SPY×FAMILY』ユニボールワンF
［提供：ヒサゴ］

ロイド　アーニャ　ヨル

※ボールペン3種セット

©SEGA ©山田ヒツジ・講談社／デキる猫は今日も憂鬱製作委員会 ©講談社・フリュー・テレビ愛知 ぴちぴちピッチ製作委員会 ©藤島康介 ©BNEI ©T.O.S 製作委員会 ©2014-2019 Happy Elements K.K ©映画「鬼太郎誕生ゲゲゲの謎」製作委員会 ©東映アニメーション ©ABC-A・東映アニメーション ©尾田栄一郎／集英社 ©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©SUNRISE／PROJECT L-GEASS Character Design ©2006-2017 CLAMP・ST ©アイドリッシュセブン ©古舘春一／集英社・「ハイキュー!!」製作委員会・MBS ©2023 石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映 ©芥見下々／集英社・呪術廻戦製作委員会 ©遠藤達哉／集英社・SPY×FAMILY製作委員会

キボウノチカラ
～オトナプリキュア'23～
毎週 土曜日 夜6時25分 NHK Eテレ
HP https://otonaprecure2023.com/
© 2023 キボウノチカラオトナプリキュア製作委員会

私たちの夢は終わらない

どんなことも頑張れば不可能はない
そんなふうに思っていた頃もあったけれど
現実はいつだって甘くない
でも、オトナになった今だからこそ
できることもきっとある
自分なりに一歩一歩進んだその先に
いつか未来の光が見えてくる

のぞみたちの
現在を解説！

プロデューサー
鷲尾 天×
村瀬亜季

これが今の私たち

『Yes！プリキュア5GoGo！』『ふたりはプリキュア Splash☆Star』のメンバーの今後はどうなっていく？　オトナになって夢を叶えたその先にも、まだまだ試練はやってくる!?

のぞみたちの街に、人間を襲う謎の影「シャドウ」が頻繁に出現するように、教員ののぞみは、受け持つ児童たちを守りたい気持ちから、再びプリキュアに変身。その変身時、なんと中学時代の姿に若返るというのもびっくりだ！

続いて、担当患者に迫ったシャドウを前に、医師のかれんもプリキュアに変身。居合わせたくるみも、かれんの危機を見て変身できた。

フリキュアになればシャドウと戦える。自分たちでなんとかしようとするのぞみたち「Yes！プリキュア5GoGo！」の6人に、咲と舞という強力な仲間も加わった。彼女たちは中学時代「ふたりはプリキュアSplash☆Star」として活躍していた名コンビだ。

一方、シャドウの話を知ったハルミエ王国のナッツも街にやってきた。相方のココは来られないと聞き、のぞみの心は沈む……。そこをシャドウを操るベルにつけ込まれてしまうが、ココの気持ちを信じたのぞみは、なんとか打開。遅れてきたココとも数年ぶりに再会できた！

あらためて街を守ろうとするのぞみたちだが、まだ全員がプリキュアに変身できてはいない。次第に存在を露わにしてくるベルだが、なぜシャドウを生み出すのだろうか。謎を深めながら、シリーズは後半戦へと向かっていく。

KOMACHI AZIMOTO
鷲尾
小説の賞に入選を果たしたが、それ以降なかなか書くことができないでいた。ご近所からは、町内の雑務をマメな親切な人と思われている

TRAIN KASUGA
鷲尾

KURUMI MIMINO
鷲尾
みんなと再会してからは、かれんと二人で会って食事をするようになった。ちょっとした時時に、的な人物で個性的。思考のネタにもなっているら

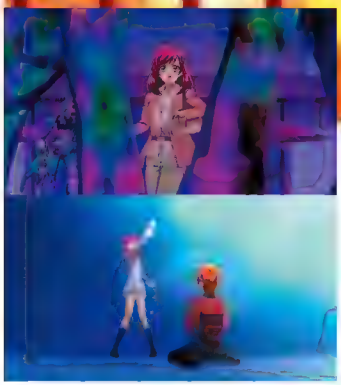
KAREN MINAZUKI
鷲尾
医者になる夢は叶えたが、担当患者ナナのリハビリを担当する態度に苦心を重ねた。お酒は飲めるが緊急事態に備えて普段は烏龍茶派

MAI MISHOU
鷲尾
広告代理店の社内デザイナーとして働いている。同僚からはテキパキ女性と思われているが、どこか満たされないと感じているのだった

鷲尾

未来を開くのは小さなことの積み重ねね

フロデューサー 鷲尾天×村瀬亜季（東映アニメーション）



抑えている感情を解放して戦うイメージ

今作を成人した元プリキュアの物語にした理由は？

鷲尾　NHKエンタープライズさんから「ジェンダーを意識した、SDGsをテーマの一つにした作品を検討したい」という話があったんです。私のほうでも、通常の「プリキュア」とは少し違う新企画を考えており、方向性がうまく合致しました。その上で、私から「オトナになった姿を描きたい」と関係各社にご提案しました。日曜朝と同じような「プリキュア」をそのまま他局でやるのではなく、成長した彼女たちだからこそ考えられることを描ければと。かつての放送から15年経って、視聴者も一緒に成長しているので、その人たちとシンクロするような作品にしたいなと思いました。

変身すると中学生の姿に戻るというアイデアは？

村瀬　「子どもの姿に戻ってもう一度立ち向かう」というのは、鷲尾さんがシナリオ会議で言っていましたよね。

鷲尾　スティーブン・キングのホラー小説『IT（イット）』のイメージです。前編は主人公たちの子ども時代で、ピエロ姿の化け物に立ち向かう。後編は大人になった時代の話で、ピエロの化け物がまた出てくるのをなんとかしようとする。再びピエロに対峙した時に、主人公たちは子どもの姿に戻るんですよ。それが印象に残っていて。非日常に立ち向かう時に「子ども時代の気持ち」が武器になるというのを、ちょっとヒントにさせていただきました。

当時のハッションみたいなもので立ち向かうと？

鷲尾　そういうことです。誰しも大人になると、社会の中で抑えている感情が多かれ少なかれあるでしょう。それを解放して戦うイメージです。ただ、のぞみたちが昔の姿に戻るというのを繰り返すとどうなるのか、というのも今後描かれます。そこはぜひ最終話まで観ていただきたいですね。

のぞみたちは今それぞれに悩みを抱えています。

鷲尾　のぞみたちは、一応、中学時代に語っていた夢を叶えていて、物語はそこから始まるんです。だけど、第2話でこまちのお姉ちゃんが言うように、いつまでも隣の芝生は青いし、夢を叶えても順風満帆とは限りません。まあ、くるみだけは、ちょっと不思議な感じですけどね。なんでここにいるんだろうと（笑）。

現在第5話まで終わり、プリキュアに変身したのは8人中3人。しかもわりと順不同ですよね。

鷲尾　シリーズ構成の成田良美さんや浜名孝行監督とシナリオを作っていく中で、「こういうことを描いていくんだったら、この人はこの話数で意思を明らかにするよね」という感じで作っていきました。だから、特に誰が何番目に変身とかを考えたわけではなかったんです。

2番手にかれんの話がきたのも意外でした。

村瀬　成田さんのほうでテーマを明確にした形で全12本の構成をされたのですが、早めに医療系の現場の話をやろうとなりました。お医者さんは常に人と接している職業だし、シャドウが人に影響を及ぼし始めた段階だから、序盤のほうで描きたいと思われたのかなと。あるいは、当時との逆順を成田さんは意識されていたのかもしれません。

鷲尾　昔のかれんは、5人の中で一番変身が遅かったですからね。

しかも一度変身しようと思ったのに、失敗しましたしね。

鷲尾　そうでしたよね。今後の変身順もお楽しみに。

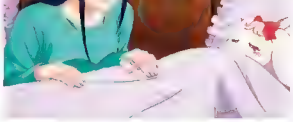
第3話で、かれんがくるみのメイクを落としてあげるシーンはちょっと実写のドラマみたいでした。

『Yes！プリキュア 5GoGo！』をおさらい
のぞみ、りん、うららの夢

シロップ

苦手だったキノコを平気で食べられるようになったのは、お花の世話をしていたシロップの影響だったの。無口なシロップが、みんなと話すようになったのも、うららのおかげ。

かつて勉強が苦手だったのぞみは、新任教師の小々田（ココ）に学びの楽しさを教わり、教師という夢を持つ。ちなみに小々田も国語教師だった。りんのジュエリーデザイナーへの夢は、アクセサリーを手作りする楽しさを知ったことが始まり。うららは、亡き母と同じ道を目指す駆け出し子役として描かれ、その一環で歌手活動も。それがシロップと親しくなる流れにつながる。



『Yes！プリキュア 5GoGo！ をおさらい
こまち、かれん、くるみの夢

中学時代のこまちは趣味で小説を書いており、読書好きのナッツとは作家と編集者のような（恋愛感情も多少ありつつの）関係に。かれんは、ミルク（くるみ）が病気で寝込むエピソードが医療の道に進む契機になった。ミルクは元々ココとナッツ両王子のお世話役見習い。オトナになった彼女が人間世界で秘書という職種を選択したのは、その修業としてだ。

ナッツ（夏）

バル、エル王国のもう一人の王子。内政面を担当しているが、実際は事務に追われる毎日。ミルクが病気で倒れると不思議なことにご満べん。

『Yes！プリキュア 5GoGo！』をおさらい

のぞみとココの関係

かつてのシリーズの軸の一つが、のぞみとココの恋模様。特に放送1年目は、二人が徐々に惹かれ合っていく姿が描かれた。『キボウノチカラ』ではのぞみも成人してココと対等な関係になったがゆえに、相手の生活に気を使いすぎて疎遠な状況に。それが第5話での不協和音につながったようだ。

ココ

[illegible]

鷲尾　のぞみとりんとの関係に近いと思います。くるみのお世話をするかれんが、大切なことをくるみに気づかされるという。ちょっと裏表のような関係ですね。

村瀬　まあ、くるみは酔っ払っているだけだったんですけどね（笑）。かれんは本当、ちゃんとしています よね。

第4話で、舞が恋人と別れるというエピソードはどのように？

鷲尾　舞は揺れ動きの一番大きい子というところからきています。20代半ばで恋愛エピソードが一切ないのもおかしな話なので。

第5話でののぞみとココの再会エピソードを経て、続く第6話はりんの主役回になるようですが。

鷲尾　かつてプリキュアだった自分と、今の社会の中での立場の間で、りんがものすごく葛藤するんです。ただ、それをサポートしてくれる人もいるんだよ、ということに気づくお話です。

村瀬　第6話を観ると、「ああ、のぞみはちゃんとりんのことを見ていたんだな」って分かると思います。この回は、私は一番共感できました。

メイン回付きのメンバーで言うと、うららとこまちもそうですね。こまちは町内会の仕事もしていないと、鷲尾　そういうことをしていないと、気持ちが持たないんですよ（苦笑）。

私も大学時代に1年留年したことで、ほとんど通学しない状況が続いたんです。誰とも会わず、誰とも話さない生活って、結構しんどいですよ。あの頃の感覚を思い出しましたね。

村瀬　こまちの現状は、脚本チームの方々の共感も高かったですね。皆さんフリーランスですから。

鷲尾　あとは、うららですね。「歌はどうした？」と思っている方も多いと思いますが、そこはぜひ期待していてほしいです。

あきらめや無関心は積み重なっていく

シャドウは人のネガティブな気持ち、無関心、諦めなどを増長させる感じで出現し、人にとりつくと怪物を生み出します。

鷲尾　作品全体のテーマとして、「小さなあきらめ」や「無関心」が少しずつ積み重なることで、いつの間にか堕落していく様を描きたかったんです。その表現として、シャドウを考えました。

のぞみもシャドウに取り込まれそうになりましたよね。

鷲尾　元プリキュアだからって、いつも強い気持ちを持っているわけではないんです。誰しも弱気になることもある。そんな時にも踏ん張れるかどうか、ですよね。逆に、「小さなことを積み重ねないと、物事って前に進まないんだよ」というメッセージもあります。オトナは社会でぶつかることもあるし、妥協しないといけないこともたくさんある。けれど、それによって心が折れたり、あきらめの姿勢になったりしてはいけない。それもまたオトナのあり方なんだと思います。

村瀬　鷲尾さん、シャドウの話を脚本会議でする中で、ケンカしている隣人同士の小説の話をしていましたよね。

鷲尾　これもスティーブン・キングで『ニードフル・シングス』って小説なんです。ある田舎町に男が引っ越して来て、小さな雑貨屋を始める。ある日、店の前を通りがかった少年に、彼は野球のレアカードをあげました。「その代わり、君の隣の家に小さい石を一個投げ入れてくれ」と言う。その子は「変な条件だな」と思いながらも約束だからと小石を投げ込む。すると、両家の関係は元々険悪だったもんだから大ゲンカになる。同じように、その雑貨屋は町の人々を物でそそのかしていき、ささいな積み重ねで町が大パニックに陥る、という話なんです。

ベル
街の人々のネガティブな想いに呼応して出現する「シャドウ」を作り出しているらしい謎の存在。どんな目的で活動をしているのか？

村瀬　実際そういう話ってありそうですよね。ちょっとのきっかけでお互いの憎しみが増幅していくという。その人たちはもともと悪人ってわけではないんですが、人間は悪にも善にもなりうる。それが『キボウノチカラ』の方向性にもなりましたね。

鷲尾　NHKエンタープライズさんと話をしているうちに、そこがSDGsの要素とうまく絡められるのではないかと。だから第1話の冒頭ののぞみの授業のシーンは、地球温暖化というとても大きな話のようですが、それを個人レベルにどうやって落とし込めるのか。それをシリーズを通して描いていければと思います。

ちなみに『S☆S』『プリキュア5』のシリーズディレクターだった小村敏明さんもシナリオ監修として入っていますね。

村瀬　基本設定を中心に、細かくチェックしてくださっています。「このアイテムの時にこの技は放ちませんし」とか。なにしろ当時の記憶が曖昧なので（笑）。

鷲尾　私のほうを見ながら言うのやめてくれる？（笑）

村瀬（笑）。あと、のぞみが「けって〜い！」と人差し指を挙げるのは絶対に左手でと。毎回のようにちゃんと絵付きでツッコミが。

鷲尾　そもそも小村さんが最初に描いた絵コンテで、左手を挙げている形で描いたからなんですけどね（笑）。

村瀬　あとはセリフの言い回し。たとえば、こまちなら「草や花」ではなく「草花」と言うほうが彼女らしいとか。「こうしたほうがこの子っぽい」といったアドバイスはたくさんいただきました。

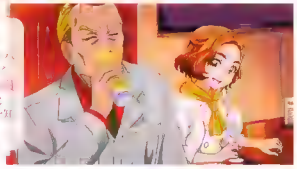
最後にファンへのメッセージをお願いします。

鷲尾　ブンビーもそうなんですけど、第1話で一番話題になったキャラターがいますよね。謎のYouTuber一人組（笑）。そのあたりのサブキャラクターたちも、時を経て、のぞみたちと密接に関わってきます。話が進んでいけばいくほどサブキャラクターの役割も増してくるので、のぞみたちの成長と共に楽しみに観てもらいたいですね。

村瀬　オトナなのにプリキュアになる、ということの大変さも今後描かれていきます。これからの展開を楽しみにしていてください。

両シリーズのサブキャラクター

健太、優子、ブンビーに注目



ブンビー
[illegible]

カフェ＆バー・Timeの健太は『S☆S』の咲が初恋の相手（もちろん片想い）。妻の優子は咲と同じソフトボール部員で、シリーズ途中から健太に想いを寄せる描写が入り、最終回では親密になっていたようだ。ブンビーは『プリキュア5』の敵幹部だが、会社組織要素や高木渉さんの芝居も相まって、どこか憎めないサラリーマンの悲哀が人気に。敵が一新した『5GoGo！』にも連続登場し、シリーズに欠かせぬ存在になった。

咲と舞の仲良しこよしぶりは本作でも健在。二人が『S☆S』第1話で運命的な出会いを果たしたのは「大空の樹」の下だが、シリーズの要所で象徴的に使われたこの場所が、本作でもまた登場するのか期待したいところ。環境破壊などのテーマが盛り込まれた『キボウノチカラ』は、自然モチーフの『S☆S』とも相性がよさそう。

『キボウノチカラ』のスタッフワーク

本作の実制作をスタジオディーンに依頼した経緯は？

鷲尾　『劇場版 美少女戦士セーラームーンEternal／Cosmos』の映画をディーンさんに制作していただき、その映像のクオリティが非常に高くて。そこで今度はシリーズものをお願いしたいと相談したところ、ディーンさんからご快諾いただきました。

浜名孝行監督とはどんなお話を？

鷲尾　「オトナになった姿を描く」という企画にとても興味を持ってくださいました。オトナならではの悩みや葛藤の描写についてもたくさん意見をいただきました。

オトナのののぞみたちのデザインは、美麗作画で知られるベテラン・中嶋敦子さんですね。

村瀬　まず、脚本に取りかかる段階で各キャラの方向性メモをこちらで作り、かつてキャラクターデザインを務めた稲上晃さん、川村敏江さんに原案を描いてもらいました。それを元に、中嶋さんがデザインしてくださいました。『S☆S』と『プリキュア5』は絵柄も頭身も全然違うので悩まれたみたいですが、しっかり共存できる形にまとめ上げられました。

鷲尾　川村さんも「中嶋さんのデザインがすごく楽しみです！」とおっしゃっていました。中嶋さんの描くのぞみたち、みんなとても美しいですよね。

村瀬　稲上さんは「僕の原案で、あの中嶋さんにデザインをお願いするなんて」と恐縮されていました（笑）。

夏木りん役
竹内順子

夢原のぞみ役
三瓶由布子

びっくり箱のようなプレゼント

撮影＝大山雅夫

さんぺい・ゆうこ
2月28日生まれ
東京都出身

出身地 東京都
趣味 ホラー

20代ののぞみ&りんをどうやって演じる!?

『キボウノチカラ』の制作の話を初めて聞いた時の感想は？

三瓶　最初に連絡をもらった時は、「プロデューサーの鷲尾（天）さんが私たちをだまそうとしているんじゃ？」って思ったんですよ。絶対エイプリルフールのネタか何かでしょって（笑）。でもその日は4月1日じゃなくて……。事務所の人とも「本当なんですかねぇ？」って話して、キャストのみんなとも連絡を取り合って。

竹内　びっくりだったよね。

三瓶　でも、実際にオトナののぞみの絵を見た時、「ああ、本当に成長してる！」って、テンションが上がりました。今回の中嶋敦子さんの表紙イラストもすごく素敵ですよね！

竹内　なんか、完全に大人の女性って感じだね。本当にもう、美しく成長したなぁ（笑）。

三瓶　オトナになった姿を見たことで、これは本当に作られるんだっていう実感が湧いたんです。もちろん、すごく嬉しい反面、「オトナののぞみとは？」とか「物語がどう描かれるんだろう？」といった不安もあって。ドキドキとワクワクの両方の気持ちがありました。

――三瓶さんがメンバーに確認をした時には、竹内さんはもうご存じだったんですか？

竹内　たぶん、話は聞いていたような。

三瓶　確かもう知ってましたよー

竹内　私は最初、驚きと共に「そうなんだ、嬉しいなぁ」って思っていたんです。それが、収録が近づいてくればくるほど「あれ、大丈夫かな。できるんだろうか」という……。最初の気楽な「やったぁ～！」からどんどん不安に向かっていった感じでしたね。

オトナのりんを、ちゃんと演じられるかどうかと。

竹内　そうです。私とオトナのりんちゃんとは、これが初対面なので。子ども時代は思い出せるけど、オトナのりんちゃんは会ったことがないから分からなくて。ちゃんと私が、このりんちゃんになれるのかなぁって。（三瓶さんに）1回目のアフレコの時、緊張したよね？

三瓶　緊張した！　お互いに支え合って確認し合いながら。

竹内　「この感じで合ってる？　大丈夫？」って。

三瓶　「ちゃんとのぞみになってる？」「ちゃんとりんになってる？」みたいな（笑）。その意味では、『Yes! プリキュア5GoGo!』の6人でそろって収録できて、よかったなぁという思いはあります。

竹内　本当にそう。私は昔の『プリキュア5』の頃から、自分の演技が大丈夫かなと思った時は、W愛ちゃん（こまち役の永野愛さん、かれん役の前田愛さん）の反応を確認するんです。大丈夫だった時は、二人とも「うんうん」みたいな感じになるんですね。で、オトナのりんちゃんを演じた時もそういう感じだったから、ああ大丈夫だなって（笑）。今もとても頼りになる二人です！

――三瓶さんは、オトナののぞみを演じる上でどうアプローチしたんですか？

三瓶　まず「地に足を着けよう！」ってところから始めました。うちらもそうだと思いますが、当時は中学生特有のテンションの高さがあって。特にのぞみは子どもっぽい面が大きかったし、実際にノリのいいシーンも多かったので。だから、以前はテンション重視で演じていたんです。でも今回は第1話の冒頭が教室のシーンで、「ちゃんと働いているのぞみ」からのスタートで。昔の感じで授業をすると、とんでもないことになっちゃうなと思って、それで、まずとにかく落ち着こう……。でも、のぞみで落ち着くとは、みたいな（笑）。

竹内　それは、もはやのぞみなのか？って（笑）。

三瓶　そう！　そんなところからスタートしたんです（笑）。あと、子どもから成長してきた過程を私たちは演じていないので、「急に大きくなった！」というギャップは感じたんです。それで「そもそもオトナになるってなんだろうか」と考えたんですが……たぶん、人間的に大きく変化があるというよりは、「公私の使い分け」がちゃんとできるということなのかなと思って。現実に仕事をしているオンの時と、友達や家族と一緒にいるオフの時って、オトナならありますよね。その部分の表現だと考えたら、わりとスッとできたかな。

竹内　なるほどね。

三瓶　ただ、実際にどう聞こえてい

るかは、自分ではなかなか判断できないので、私も現場で確認しながら「これで大丈夫ですか？」って（笑）。

竹内　逆に私は、「オトナっぽく」というよりは、「少し若めに」って意識だったかな。気をつけないと、私自身の年齢感になって、ぐっと年上になりそうで。くるみ役の（仙台）エリちゃんも「若くやろう」と思って臨んだそうですが、私も同じですね。子ども役なら子どもに振り切ればいいんですが、20代というのがね……。

――オトナになりたてな年齢感というのが、逆に難しいところだったと。

竹内　ただ、これが不思議なことに、のぞみと掛け合うと、自然と今のりんちゃんになれた気がするんです。一人で喋ると「りんちゃんになってるかな？」って不安だったのに、三瓶ちゃんと喋ると「これがりんちゃんだ」って、なぜか自分でも納得できて。同じことは、こまち役の愛ちゃんも言っていましたね。「みんなと喋るとこまちになるんだけど、一人だと不安なのよ」って。

三瓶　言っていましたね（笑）。みんなそうだったんでしょうね。

竹内　不思議な作用だよね～。

――プリキュア変身後は中学生の姿になりますが、そことの差が大変だったりは？

三瓶　いえ、テンション感が全然違うので、そこはすんなりできました。「いや、そんなに変わってないよ」って思われる人もいるかもしれませんが、私なりの変化は出せたかと（笑）。でも、話数を重ねていくうちに、オトナののぞみのほうが演じやすくなりました。変身する時のほうが「頑張って変身しよう！」って（笑）。

竹内　（笑）。

三瓶　「今、ちゃんと変身できてました？」みたいな（笑）。面白いですよね、やり慣れているのは絶対に中学時代のほうなのに。

――りんは、第5話の段階ではまだ変身していませんね。

竹内　変身の順番をみんなで予想していたら、大ハズレだったよね！

三瓶　もう順不同って感じで。第3話で「まさかのかれんさん!?」みたいな。

竹内　ね～！　しかもまさか、くるみと二人一緒に。「じゃあ、誰が最後になるんだろう？」って。

三瓶　現場でも変身当てクイズみたいになっていました（笑）。

✦ From Producer

違う環境で頑張るのぞみ

「のぞみを出身校のサンクルミール学園の先生にしなかったのは、ベタすぎるというのもあったんですが、それ以上に、かつてとは違う環境で頑張っている姿を描きたくて。いつかサンクルミエール学園に戻る可能性もありますが、今は一人暮らしをしつつ、違う学校に勤めています」（鷲尾P）

オトナになったみんなが身近な存在になるように

――のぞみたちはみんな中学時代の夢は叶えたけれど、なかなか順風満帆とはいかず、それぞれの悩みや葛藤が見どころでもあります。りんの当番回も楽しみです。

竹内　りんちゃんのドラマの深掘りも、物語の後半に出てきます。各々の悩みの方向性はそう違わなくて、基本的にはみんな現実との折り合いに悩んでいる感じだと思うんです。そこに関しては、私たち自身の実体験があるから、みんなもやりやすかったんじゃないかなと。私も嘘なく気持ちを込めることができたし、そういう部分が観ているみんなに伝わるといいなって思います。

――特に芝居の稽古で悩むうららは、声優さんたちのリアルな悩みに近いのでしょうか。

竹内　ああ、そうかもしれない！　でも、本当にあんな演出家さんっているのかなぁ。おっかないよね～（笑）。

――三瓶さんは、今作のドラマについてどう感じていますか？

三瓶　それぞれが自分のやりたいことをやっているはずなのに、なかなかうまくいかないもどかしさがありますよね。そして、夜にはみんなで飲んで、楽しく愚痴る（笑）。

竹内　全部ひっくるめてリアルだよね（笑）。

三瓶　健太くんのお店が溜まり場になっていて（笑）。「プリキュアもお酒を飲んで愚痴るんだ！」って分かると安心しますよね。そこの「分かるなぁ！」って部分は、演じていてもそうだし観ていてもそうなので、社会人の視聴者の人たちも「あるある」って共感してもらえているだろうなと。中学時代ののぞみたちと同じように、オトナになったのぞみたちも、皆さんのお友達のように身近な存在に感じてもらえたらいいなと思います。

――それぞれの変身のきっかけとしては、シャドウに対してというよりも、悩みを抱えている自分が前向きな気持ちになれた時に起こるようですね。

三瓶　そういうことですよね。そこは丁寧に描いてくださっているなと思います。毎話敵が登場して、プリキュアに変身して戦うという約束があるわけではなく、人間ドラマとか生活者としての気持ちを大切に描いてくださっている印象があります。それこそ、さっきの変身する順番もそうですが、展開が予想できない部分もありますし。

竹内　それぞれの変身の理由はあるけれど、「自分の中でパッションがバンって膨らんだ時に変身する」というパターンを最初ののぞみの回で作ったのが、すごく上手だなと思いました。なぜ、どうやって変身するのかといったことを突き詰めていくと、お話がどうしても長くなりますよね。でも、のぞみが第2話で「変身できちゃった！」でそこをポンとクリアしたわけです。それに続いてみんなが変身していき……。おかげでテンポアップするし、毎話の人間関係も作ってもらえますし。「変身の理由」じゃなくて、「変身した、そしてこうなる」というのを、お客さんと一緒に「そうだよね！」ってなれる流れが、すばらしいなと思います。

――第5話で、のぞみはついにココと再会しました。お互いの関係性についての葛藤のドラマがポイントでしたね。

三瓶　ついに王子たち（人間姿のココとナッツ）が出てきたか……って！　乙女の皆さんは、のぞみたちのオトナの姿と同じくらい、人間姿の彼らの登場を待ち望んでいたんじゃないかな！　第1話で、今は離れて暮らしているんだというところから始まって、5話もかけてやっと再会だなんて、引っ張るなぁ～って思いました（笑）。

――ココに対して抱いていた漠然とした不安が、ベルによって引き出されましたが。

三瓶　ベルという存在の謎もちょっとずつ明かされていくので、いまだ分からないところが多いんですが、どうやら人の心の闇を引き出して増幅させているみたいで。ベルが生み出したもう一人ののぞみ、台本では「影のぞみ」ってなっているんです。たぶんのぞみも、ココに対してうっすら思っていただろう不安を具現化されて、突きつけられてショックだっただろうなぁと。これまで見なくて済んだものが、目の前に出てきちゃったことで、否応なしに考えさせられる、みたいな。

竹内　なんか全然幸せな回じゃなかったね！　やっとココが出てくるってことで、幸せなお話なのかと思ったら、半分悪夢の回だったよ（苦笑）。

三瓶　悪夢でしたねぇ。ここからの話数も、「ココと会えてハッピー!!」ってノリにはなかなか……。

竹内　そうだねぇ。みんなで「かんぱ～い！」ってしている時が、一番明るいかな（笑）。

三瓶　のぞみとココがどうなるのかは、ぜひ皆さんにも見届けてほしいです。一緒にいられて嬉しい気持ちは当然あるけど、手放しで喜べない葛藤も描かれていきます。そこもオトナだなって思いますね。

――影のぞみは、分けて収録したのですか？

竹内　一緒に録ってたよね？

三瓶　はい、セリフがかぶらない部分は、一気に録りました。影のぞみものぞみの一部なので、気持ちとしての録りづらさはなかったです。でも自分自身に語るところよりも、ココに対して語るところのほうが、気持ちがぐっと入ったというか（笑）。

竹内　そこはね！（笑）

――「私のことなんかどうでもよくなっちゃったんだよね？」とか言っていましたね。

三瓶　（笑）。乙女な部分が増幅されるというか、女性視聴者は共感できそうって思いました。恋愛になると弱くなる部分って、たぶん誰しもありますよね。だから影のぞみに対しては倒すべき敵ではなく、あくまで自分の「影」であり「負の気持ち」。そこに寄り添うような気持ちしたね。

――今作が特徴的なのは「両想い＝ハッピーエンド」とは必ずしもならないところですね。第4話の舞の話もそうでしたけど。

三瓶　ああ、そうですね！

竹内　舞ちゃんの回、よかったよね。前向きな別れをしっかり描くって、新しいじゃないですか。

✦ From Producer

りんは実は焦っている

「りんはジュエリーデザインが社内コンペに通らずにいます。年齢やキャリア的にはまだ焦らなくていいはずなんですけどね。サッカーの挫折経験のほうは、本編ではあまり描いていませんが、第1話での試合中にドリブルをとられたシーンで、どちらもうまくいっていないことを匂わせています」（鷲尾P）

私は私らしく、やれることをやる、という。

竹内　「好きだ舞ちゃん。その考え方、好き～！」ってなりました。

現場も盛り上がった「今週のブンビーさん」

――サブキャラクターについてもお聞きします。予想通り、ブンビーも大活躍です。

三瓶　いやもう、本当に！（笑）

竹内　ブンビー役の高木（渉）さん、とてもいいセリフを言っているのに、なぜか笑いがこみ上げる！　このセリフとの落差がすばらしいなって思いますね。ブンビーさんがすごいのか、高木さんがすごいのか。今作の一番の癒しかも知れません（笑）。

――ブンビーと言えば、『プリキュア5』時代からサラリーマンの悲哀を味わい続けて……。

竹内　その悲哀は今も続いています（笑）。

三瓶　「お前たちも、やっと大人のつらさが分かったか」とか（笑）。

竹内　世のお父さんの代表みたい（笑）。社会に出た娘に対して『う言葉みたいですよね。ブンビーさんってめげないし、ちゃんと一歩ずつ前に進んでるんですよ。しかも強く明るく。そこはずっと変わらないの！

三瓶　現場でも、出てきたらみんなお祭り騒ぎみたいになって、「今回のブンビーさんはさぁ」って、私たちもわくわくしていたので、観てくださっている皆さんも「今週のブンビーさん」を楽しみにしていただければと。私たちの期待に200％応えてくれています（笑）。

――竹内さんも演じる健太も登場しましたね。健太のお店がこのシリーズにおけるナッツハウス的存在です。

竹内　まさか成長した健太くんも出てくるとは思っていなかったです。私がこんなしっかりした男性を演じていいのだろうか、というのもありました。でもそこに関しては鷲尾さんからのお願いということで、それならば楽しく演じさせていただこうと思った次第です。優子ちゃんと結婚して赤ちゃんも産まれて……健太くんらもいい人生の歩み方だなぁって思いながら、居酒屋を営む彼を応援しています！

『ふたりはプリキュアSplash☆Star』を好きな人からすると、健太と優子が結ばれているのはニヤリとなっているかと。

竹内　私個人としては、『S☆S』の時の健太は、恋愛のレの字もなかったような気持ちでしたね。

三瓶　そうなんですね。

竹内　咲への気持ちも、みかんが好き、リンゴが好き、くらいの感じかなって。

のぞみとココのような恋とは違うと。

竹内　そうそう。真剣な恋愛というよりは、まだまだ遊びのほうが好きな、あどけない男の子として、当時の私は演じていました。だからぴっくりなんです。すべての成長期をパンと飛ばして、一家の主になっていたから。優子ちゃんと結婚しているって聞かされて「えっ、そうだったの!?」って気持ちでした（笑）。立派になっていて嬉しかったなぁ。

りんと健太との演じ分けでの苦労は？

竹内　そこは何にもないです。だって、りんちゃんと健太は全然違う人なので。性別も違うし。「そーれっ」って感じで切り替えられる（笑）。たぶん、第5話ののぞみと影のぞみの演じ分けのほうがずっと難しかったと思う。

三瓶　健太との演じ分けは、マイクの後ろで見ている私たちは「面白い！」ってなっていました（笑）。台本に二人のセリフが並んでいるのを見て、「今回はこのシーンが見られるの、楽しみ！」みたいな。

竹内　一人芝居をやる感覚でしたね。最初の頃は、健太くんは別録りでしたけど、途中から「続けて一緒に録りましょう」となりました。

――出てくる面々の中では、健太夫婦が一番順風満帆に描かれていますよね。

竹内　今の健太、悩みがなさそうよね。

三瓶　いや、毎日子育てで大変かもしれない。だって赤ちゃんをおんぶしながら、お店で料理しているんですよ。

竹内　いやいや、体力があるから平気だよ！　大変なのも含めて、きっと幸せ！

『S☆S』とのレギュラー共演はどうですか？

竹内　意外でした。『プリキュア5』のメンバーだけと思っていたから、「あ、『S☆S』も参戦か。へぇー」って思いました。

三瓶　今までも咲ちゃん舞ちゃんとはコラボ映画で一緒に戦ったりはしましたが、ラストあたりで「勝ててよかったね～」みたいな大団円の描かれ方で。ここまでがっつりの共演はなかったから、どう描かれるのかなと思っていたら、「あ、久しぶり！」みたいな関係性で（笑）。

竹内　あまりにも親しい間柄だったよね（笑）。

三瓶　『プリキュア5』とは別のグループの友達というか。久しぶりに会えて、「このお店、通ってたの？嘘～！」みたいな。やっぱり旧知の仲というか、同じ年代の友達同士の会話って感じが台本からも出ていたので。もうスルッと「私たち、仲間だよね！」という。

竹内　『S☆S』も参戦と聞いた時に思ったのは、「地図が見たい！」でしたね。それぞれの街の位置関係って一体どうなっているのか気になって。それまではパラレルワールドだと思っていたのが、同じ世界に住んでいるとは！　たとえば自転車で行けるくらいの距離なのかとか、すごく知りたい！

三瓶　どこにそれぞれの学校があって、大空の樹があってとか。描かれ方としては、隣の駅ぐらいの距離感ですもんね（笑）。

――物語はシリーズ後半に突入です。見どころを含めつつ、ファンへのメッセージをお願いします。

竹内　りんちゃんは、この後、変身できるのかな、どうかな。そこをぜひ楽しみにしてほしいです。他のメンバーもこれからどんどんストーリーを紡いでいきます。ぜひ最後まで楽しんでください！

三瓶　本当に、みんなの成長や悩みがいっぱい掘り下げられて、予想できないこともたくさんあると思います。皆さんが応援してくれたからこそ作られた作品だと思うので、びっくり箱のようなプレゼントを楽しみにしていただけたら嬉しいです。あと、ベルという謎の存在にも注目です。これからどう正体を現していくのか。そして、ココとのぞみはどうなるのか。

竹内　そこそこそこ！

三瓶　まだまだドラマが待っているので（笑）、ぜひ最後まで余すところなく、楽しんでもらえたらと思います！

From Producer
りんとのぞみの関係

「りんはのぞみの悩みを親身に聞くけど、自分の悩みはそれほど話さない。それが、昔からの二人の関係なんですよね。でも、のぞみもそれに気づいていると思います。あえて深く聞き出さず、何かのタイミングでさらっと『りんちゃんって……』と言葉に出す感じなのかなと。そういうイメージです」（鷲尾P）

10月1日に行われた完成披露会見。カフェ＆バー・Timeのカウンターを模したおしゃれな背景で見どころが語られた

再びプリキュアが寄り添いにきてくれた気持ち

ベル役　日笠陽子（写真右端）

「プリキュア」シリーズといえば、女性声優の憧れの作品の一つですよね。私も今作に関わらせていただけてとっても幸せです。最初にタイトルを聞いた時は、オトナの女性がプリキュアに変身する完全新作なのかなと思っていました。そうしたら、台本を読むとオトナになったのぞみちゃんたちが出ていて、胸がいっぱいになりました。プリキュアがオトナになって、また戻ってくるんだって……。まさに「キボウ」だなと思いました。

私が演じるベルは、物語のキーパーソンです。まだまだ言えないことだらけなので、ぜひ放送を楽しみにしていただきたいです。私は事前に全話分の脚本を送っていただき、最後まで読んだ上でアフレコに臨みましたが、「プリキュアメンバーには内緒にしてください」と言われたんです。なので、第1話のアフレコで三瓶由布子ちゃんから「ベルって何者なの？」って訊かれても「ヒミツ～♪」みたいな（笑）。

最初のうちは、プリキュアのみんなと完全に分断された状態で、監督や音響監督と演技の方向性の話をしました。たとえば「怒りの感情はまだあまり出さないで」とか。そういう感情の出し入れは、かなりディレクションをいただいたので、細かく計算しながら演じました。

物語としては、仲間がいるから頑張れる、そんな「仲間のすばらしさ」が一つのテーマになっています。子どもの頃「プリキュア」を観て、たくさんのキボウをもらった人たちが、今大人になって、それぞれの困難に立ち向かっている。厳しい現実の中で孤独に感じることも、もしかしたらあるかも知れない。そこに「プリキュア」という作品が寄り添いに戻ってきてくれたと、私は感じています。当時観ていた方はもちろん、これが初めてという方も、ぜひこの作品を楽しんでいただけたらと思います。

オトナたちのグラデーション

音楽 佐藤直紀

さとう・なおき
1970年生まれ／作曲家、編曲家／『ふたりはプリキュア』から『Yes！プリキュア5GoGo！』までのTV・映画の音楽を手がける／近作では『レジェンド＆バタフライ』『溜道』『ゴジラ-1.0』ほか

本作の劇伴を手がけているのは、「フリキュア」初期5シリーズを担当した佐藤直紀さん。様々な映画やドラマ、CMなど多方面活躍しているが、どの仕事も「自分の中から絞り出すように」あがいて生み出しているという。そのドラマチックな感情表現は、20年に渡る「フリキュア」音楽の基盤を作ったと言える。

今回新たに書き下ろした完全新曲は30曲ほどで、レコーディングし直された『Yes！プリキュア5』『Yes！プリキュア5GoGo！』の楽曲は計5曲。新曲もこれまでの佐藤さんの「プリキュア」楽曲と同様に、生楽器によるオーケストラ編成のサウンドになっている。

キャラクターの心情やドラマの流れに寄り添う音楽なのはもちろんのこと、本作では喜怒哀楽をストレートに表現するのではなく、「喜びの中に垣間見える哀愁」というような、複雑な味わいになっているのが特徴だ。まさにオトナののぞみたちを描くにふさわしいサウンドに仕上がっている。

複雑で味わいのある喜怒哀楽の感情表現

のぞみたちがオトナになった物語が作られると聞いた時の感想をお聞かせください。

佐藤　今年はプリキュア20周年なんですね。あれから20年が経って、あの頃観ていた子どもたちが大人になって、もう一回プリキュアに会えているわけで。当時「プリキュア」が好きだった子どもたちにとっては、非常に感慨深いものだろうなって思います。僕が偉そうに言うことではないんですが、とても楽しそうな企画だなと思いました。僕にもまた声をかけていただけたことはとても光栄だったし、僕としても、ぜひやりたい気持ちがありました。

——今回のシリーズのために新たな楽曲も作られています。その全体的な方向性をお聞きしたいのですが。

佐藤　当時中学生だったのぞみたちが成長して、『キボウノチカラ』で描かれている社会人の彼女たちがいる。その間の出来事は描かれていないんですけど、きっといろいろなことがあったんだろうなと想像できますよね。そういった意味では、少し深みを持たせた方向で作りたいと思いました。単に楽しい、悲しいだけじゃない。悲しみの中にも希望があったり、楽しみの裏に何か挫折があったりというような音楽を、と考えました。そこが当時の「プリキュア」の音楽との大きな差ではあると思います。

昔のシリーズで、楽曲作りで意識していたことというのは？

佐藤　視聴する年齢層を考えて、当時は戦闘曲であっても口ずさめるようなメロディアスな楽曲にしようと思って書いていました。なるべくシンプルなメロディで、そのシーンそのシーンのキャラクターの気持ちや起こっている出来事を、サウンド感ではなくメロディで伝えるという感じですね。だから、楽しいところは楽しく、悲しいところは悲しくというように、ストレートな音楽を作っていたんです。だけど『キボウノチカラ』の彼女たちは、それだけでは物語はないだろうと。そこは気をつけたところですし、目指したところでもあります。

——演奏は当時と同様に、生楽器によるオーケストラ編成ですね。

佐藤　僕の中での「プリキュア」は、生楽器による温かみのイメージがあるんです。そこは20年前に、そのコンセプトで作曲したからというのもあるんですけど。自分で作っておきながら『プリキュア』サウンドはこういうイメージ」というのも変ですが（笑）、たとえばストリングスの柔らかさやブラスの元気さといった、感情が音に出る楽器で演奏することが「プリキュア」の音楽の良さだと思っています。

今回意識的に使った楽器はあるのですか？

佐藤　特にこの楽器というのはないんですけど、オーケストラに入っているような楽器……バイオリンやブラス、木管楽器やピアノとかでしょうか。それらは感情が乗りやすい楽器ですよね。そういったものを使うことが、プリキュアらしさにつながると思います。

——新キャラクター・ベルに関連する楽曲も、敵だからといって単純に「怖さ」を出した曲というより、不安や悲しみも感じさせます。

佐藤　アニメのスタッフさんから、最初に「ベルはこういうキャラクターです」とご説明をいただきまして。それに基づいて考えたのですが、単純な「悪の曲」としては作ってはいません。ベルにはベルなりの思惑というか考えを持って行動しているので、そこをしっかり表現できる音楽にしたつもりです。ぜひ最後までご覧いただきたいですね。

既成曲に新曲を混ぜる難しさを実感!?

——新しい楽曲の中には、プリキュアがカッコよく活躍するシーン向けのものはないようですが。

佐藤　そうした曲の発注がなかったんですよ。というのも、昔の曲も使うことも前提になっていて、戦闘曲や変身の曲は当時のシリーズのものを使うということでしたので。ただ、何曲かは録音し直してもいます。音響監督から、「この曲は新録してほしい」と発注がありました。特にこちらからアレンジを変えたいとは言わなかったんですが、まったく同じように演奏しているようで微妙に変えてるんです。視聴者はほとんど気がつかない部分かも知れませんけどね（笑）。

——それは作品に合わせての変更ですか？

佐藤　いや、僕の中での反省です。20年も経てば少しは技術も上がっているので、「このアレンジはもう少しなんとかしたいな」とかいうのがあるんです。でも、あまりにも変えてしまうと、昔の曲と差が出すぎてしまうので、こっそりと……専門的にいえばボイシングを変えたり、キーを半音下げたりとか。あくまで僕だけのこだわりです。

——新曲を作る際には、昔のシリーズを作った時のご自身の気持ちに寄せたりもしたのでしょうか？

佐藤　それはなかったですね。作曲環境も作業ベースも全然違うし、何より作品の方向性が違いますから。昔の感覚に寄せてしまうと、成長した彼女たちの世界観が作れない気がして。そこは割りきって、あの時はあの時の曲、今は今の曲と。それらが混ざり合っても、それはそれでアリだろうと。今の僕が書けるベストな曲を書こうという気持ちでしたね。ほかの仕事と同時並行にしたりはせず、『キボウノチカラ』の作曲期間は、『キボウノチカラ』にぐっと集中して作れたと思います。しかしこう言ってはなんですけど……やっぱり昔の曲は強いなぁと（笑）。音楽って、時と共に育つんですよ。昔の「プリキュア」の音楽も、20年の歴史と共に育っていて。当時流れた曲がもう一回流れてくると、新曲はなかなか敏感なものだなぁというのが本編を観た感想ですね。

——ご自身の楽曲でも、そんなふうに感じるのですね。

佐藤　今回書いた音楽が、決して楽曲として劣っているわけではないと思うんです。でも、既成曲に新曲を混ぜることの難しさを感じました。やっぱり曲って「いい曲」に育つんですよ。それは聴く側にとって、なんですけど。

——ある種の熟成みたいなことでしょうか？

佐藤　ええ、そういうことだと思います。特に「プリキュア」を当時観ていた世代の人にとっては、新しい曲が流れるより、知っている曲が流れるほうがずっと高揚感はあるだろうなと。既存曲がプリキュアを背負って、皆さんの想いを背負って、今の時代にもう一度流れる。そのこと自体の価値もありますよね。

——『キボウノチカラ』という作品自体についてはどのように感じていますか？

佐藤　彼女たちを観ていると、なんだか親のような気持ちになりました（笑）。みんなちゃんと育ったなあって感じですね。お酒も飲むし、いろいろな悩みも持っているし。特に僕は、『ふたりはプリキュア』のなぎさとほのかに思い入れがあるので、彼女たちにもまた会いたいなって思いますね。

来年1月10日にはサントラCDが発売されますね。

佐藤　サントラの魅力として、放送が終わった後にサントラを通して、また作品を思い返せるというのがあると思うんです。放送は年内で終わってしまいますが、年明けにもう一度音楽を聴いて、『キボウノチカラ』のいろいろな名場面を思い出していただけたら嬉しいです。

——最後にファンへのメッセージをお願いします。

佐藤　『キボウノチカラ』はオトナになったそれぞれのキャラクターに自分自身を重ね合わせて観ることができる作品だと思います。当時のプリキュアだけでなく、今の彼女たちのことも友達だと思って、楽しんで観てもらいたいです。当時の子どもたちにとっては、プリキュアはただただ憧れの存在だったかもしれません。でも、もうちょっと近しい仲間というか、共に生き抜く同志のような感覚で楽しめる作品になっているのではと思います。

オリジナル・サウンドトラック
2024年1月10日発売
https://www.marv.jp/titles/mc/106857

ED

キュア・カルテット「雫のプリキュア」

ここにある確かなもの

12月6日発売
キボウノチカラ
～オトナプリキュア '23～
エンディングテーマソングシングル
https://www.marv.jp/titles/mc/10639/

歌詞の一つ一つが想像力をかき立てる

――前号に続いて、キュア・カルテットの皆さんにお話をお聞きします。EDテーマソング「雫のプリキュア」でのお気に入りのフレーズは？

うちやえ　2番の終わり（Dメロ）に、「そこにいる そこにある 正直ないのちが ここにいる 立ちむかってる」という歌詞があるんです。Dメロという楽曲全体の肝になる部分に、あえて「そこ」「ここ」という言葉を持ってくる只野菜摘さん（作詞）、やっぱりすごい方だなと思いました。歌の立ち位置を、私たちに託してくださった気がして。私が担当したのは「ここにいる」です。どう歌おうかとすごく考えまして、私たちキュア・カルテットが「ここにいる」感じで歌ったんですね。

五條　やえさんに言われて気がついたんですよ。私は「立ちむかってる」担当で、その一言だけにがっつり気持ちを注いでいたので、なるほどなと。でもこういう歌詞って、ライブとかで歌っていく中で、レコーディングとはまた違った広がりが生まれそう。聴いている方も、「そこ」「ここ」が何なのか、それぞれに感じるものがあると思うし。そうやって、想像に託しちゃうのもいいなって。

うちやえ　そういう全部を回収して、最後の五條さんの「立ちむかってる」に集約させるイメージですよね。

五條　日常で「立ちむかってる」という言葉って、そんなに使わないと思うんです。でもプリキュアとして歌うと……まぁ私はプリキュアじゃないですけど（笑）、「立ちむかっている」というフレーズはすごく気持ちを入れやすいです。

宮本　私は「そこにある」の部分は、プリキュアがいつもそこにいてくれる、記憶の中で寄り添ってくれて励ましてくれるよってニュアンスなのかなと思って歌いました。でも、聴く人それぞれに正解がありそうですよね。

工藤　私がお気に入りのフレーズは……いやもう、歌詞全部が心に響きましたね。言葉一つ一つに意味がある気がして。その中であえて挙げれば、私も2番のDメロです。「正直ないのち」っていう言葉、素敵ですよね。「立ちむかってる」に続く「忘れないでね」は、小さい頃に感じていたものを大人になっても忘れないでって意味もあるし、人生で出会った大切な人たちのことを忘れないでって意味合いも感じられて。あと、歌の一番最初の「目醒めるとき強くなる瞳に」が、すごくインパクトがあって。それは朝起きたときでもあり、やる気に目醒めた時でもあり、プリキュアっぽいなって。キラキラしたワクワク感があります。

宮本　私が好きなフレーズは、落ちサビの「ひとりきりの希望とは思えない」から、一人ずつ歌いつないでいくところです。私は最後の「それはうねりになっていく未来」を任されたんですが、ただ明るく歌えばいいわけじゃなく、ラスサビにつながるように気持ちを盛り上げていこうと。だから、納得できるまで何度も録り直しさせてもらいました。

工藤　4人が歌いつないだ後、4人全員で「一粒に始まる」って歌うのもいいよね！

声優さんたちの思いもライブで届ける！

――前号でも、キュア・カルテット結成時のお話をいろいろとお聞きしましたが、うちやえさんは『ふたりはプリキュア Splash☆Star』のアフレコを毎回見学していたそうで。

うちやえ　はい。プロデューサーさんに「来ていいよ」っていわれた気がして。

3人　「気がして」！（笑）

うちやえ　「声優さんってこういうふうにお仕事されてるんだ」と感動して、「私には無理」って思うのまでがセットで（笑）。

五條　しかも、やえさん、見学に行けない日はわざわざ欠席の連絡をしていたって話も（笑）。まあ私も、ときどき『ふたりはプリキュア』のアフレコ見学には行っていたけど。

宮本　でも、私と工藤さんも『Yes！プリキュア5』の時は、毎回行ってました。

工藤　行ってたね。うちやえさんが毎回行っていたと聞いたので。

宮本　当時は声優さん登壇のイベントも少なくて、ファンの子どもたちに直接会うのは私たち歌手のほうがずっと多かったから、スタッフ・キャストが力を合わせて作っているのを感じさせてもらいに行ってました。

うちやえ　私も、ライブイベントでの子どもたちの熱気をアフレコ現場でお話したりして。と同時に、声優さんたちのプリキュアへの想いをもらって、それを持って次のイベントに臨んでいました。そうやって1年間通い続けましたね。

五條　歌い手がこんなに気軽にアフレコに見学に行ける作品って、まずなかったよね。

宮本　当時の私は、学校の制服のままスタジオ見学に行っていました。それが目立ったみたいで、声優のオーディションに呼ばれるようになったんです。

五條　やえさんが毎週行ってた流れが、佳那子の仕事につながっていた！（笑）

――五條さんは『ふたりはプリキュア MaxHeart』で、タコカフェのお客さん役でゲスト出演しましたよね。

五條　確か、その場にいたから「やって！」ってなったんだと思います（一同・笑）。やっぱり何度も行っていると、スタッフさんにもそういう気軽さが出てきて。だからこそ、一緒に作っていった感じが強いです。

工藤　「プリキュア」は本当にファミリー感が強いですよね。

――最後にファンへのメッセージをお願いします！

宮本　「プリキュア」の曲は楽しくて元気の出る曲がたくさんあるので、これからも『キボウノチカラ』を含め、たくさんの「プリキュア」の歌を聴いてくれたら嬉しいです！

工藤　「プリキュア」をずっと大好きでいてください！ それと、ぜひ全部見返してみてください！

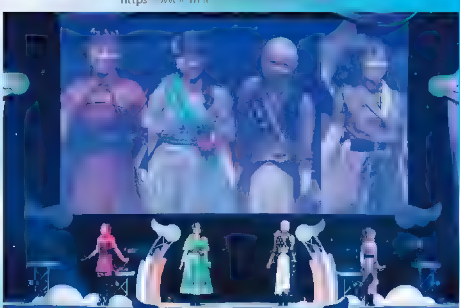
うちやえ　『キボウノチカラ』と共に、私たちの「雫のプリキュア」も楽しんで、たくさん聴いてもらえると嬉しいです。

五條　『キボウノチカラ』もそうですけど、いろいろな形の「プリキュア」があって、シリーズごとに違ったよさがあります。一つとして同じ「プリキュア」はありません。今後も皆さんの好きな「プリキュア」を探して、愛していただければと思います。

LIVE REPORT　ときめく夕空公演（夜の部）レポート！

ひろがるスカイ！プリキュア LIVE2023
Hero Girls Live ～ Max！Splash！GoGo！～

10月21日（土）



レジェンドの歌声が響く！

『ひろがるスカイ！プリキュア』の声優＆シンガーが集うライブに、キュア・カルテットも堂々参戦！ 登場はライブの中盤。暗転を挟んで、4人が一気に歌い出すサプライズ感もバッチリ。曲はもちろん「雫のプリキュア」。艶やかで情熱的な4人のハーモニーはさすがの一言。フルサイズでの歌唱はこれが初披露だった。

続いて「プリキュア5、フル・スロットル GO GO！」を皮切りに、4人が担当した歴代主題歌のソロリレーがスタート。「キラキラしちゃって My True Love！」「まかせて★スプラッシュ☆スター★」と、近年のプリキュアではなかなか聴けないレア曲「DANZEN！ふたりはプリキュア Ver. MaxHeart」へ。当時、主題歌の振り付けを自ら考えたという五條さんや工藤さん、自分で振り付けをオーダーしたといううちやえさん、宮本さんは歌って踊ること自体大変だったという、前号で紹介した当時の数々の逸話を感じながら見ると、味わいもまた格別！

そしてキュア・カルテットとしての締めくくりは「プリキュアモードにSWITCH ON！」。ノリのいい軽快なナンバーは、まさにこうしたライブならではだ！

★「ひろプリライブ」のレポートは、11月28日発売の増刊号（P.29）もお楽しみに！

アニメージュ

Animage

お嬢様暮らしも楽じゃない？

裕福な家に生まれ育っても、
不自由を感じないわけではない！
死亡フラグや国からの指名手配もなんのその、
窮地を乗り越えてこそ輝くお嬢様の生き様を知ろう！

名門吸血鬼の家系に生まれながら、血が飲めず、魔法が使えないテラコマリ・ガンデスブラッド。力が弱いことを理由にひきこもり生活を送っていたが、ある日突然、七紅天大将軍（しちくてんたいしょうぐん）という地位に就かされ、戦争ばかりのハードな日々を過ごすことになる。戦争での敗北が続くようなことになれば、爆死してしまうため、ひきこもっていられない。

また、コマリが任された第七部隊の部下は血の気の多い元犯罪者ばかり。隙あらば下剋上を狙う気満々だ。そこでコマリは、一億年に一度の美少女という美貌とハッタリで、自分の身を守ることにした。

これまでコマリは、なんやかんやで戦に勝ち続け、部下たちから心酔されるようになったり、因縁の相手であるミリセント・ブルーナイトを撃退してきた。さらに、同じ七紅天大将軍のサクナ・メモワールと出会ったことで、コマリに初めての友達もできた。今はまだ、自分を偽ることで精一杯なコマリだが、将軍の仕事を全うする！

サクナ・メモワール

気弱で大人しく、内気な七紅天大将軍の一人。コマリと同じで、将軍としての日が浅く、文芸を趣味とすることから、意気投合する

お嬢様のおそばに！

変態メイド ヴィルヘイズ

自称・コマリ様の忠実な部下として、公私ともにコマリを支えるメイド。コマリだけでは実力を発揮せないこともあるため、専属メイドとして常にフォローできるよう立ち回る。

くすのき ともり　12月22日生まれ　東京都出身／ソニー・ミュージックアーティスツ所属／主な出演作は『チェンソーマン』（マキマ）、『豚のレバーは加熱しろ』（ジェス）ほか

臆せず挑戦する姿勢で　テラコマリ・ガンデスブラッド役✦楠木ともり

――コマリを演じる上で、意識していることを教えてください。

楠木　コマリは、可愛さを表現することが大事だと思っています。アニメでも、コマリの表情を細かく描いてくださっているので、そこを演技でも反映できるように、頑張っている人に少しでも「コマリ可愛いな」と思ってもらえるよう意識しました。あと小物感を出すために、勢いのあるところはエンジンをかけて演じてハッタリ感を出せるようにしています。

――「魔法が使えない」、運動ができない、「背が伸びない」三重苦に悩みながらも、コマリは将軍として人前に立つことで、立ち振る舞いに変化が見えてきました。そういった部分は、どのように演じていますか？

楠木　ダメ人間感があることがコマリの魅力の一つですが、そこばかりを出してしまうとみんなが何でコマリをリスペクトしているのか、という部分の説得力がなくなってしまいます。カリスマ性のような部分を、芯の強さとして表現することで、コマリの魅力を引き出せるかなと考え、演じました。

――コマリのどんなところにお嬢様らしさを感じますか？

楠木　まずコマリの部屋が豪華――彼女を取り巻く環境は良いところのお嬢様感を、コマリ自身には気高さや芯の強さから、お嬢様らしさを感じます。おしとやかなお嬢様というよりは、こういう気の強い部分のあるコマリがかなりこそ、将軍にピッタリだと感じる一面があると思っています。

――楠木さん自身は「お嬢様」という言葉にどんな印象をお持ちですか？

楠木　お嬢様というと、上品で知的でおしとやかなイメージがありましたが、どちらかというとコマリは真逆で、おしとやかさはばっちりなくて（笑）、ですが、お嬢様と聞いてもう一つ思い浮かんだ「芯の強さ」みたいな部分は、コマリも持ち合わせているので、そこをしっかりと輝かせてあげたいなと思っています。

――ヴィルヘイズ役の鈴代紗弓さんは、サクナ・メモワール役の石見舞菜香さんと掛け合ってみていかがでしたか？

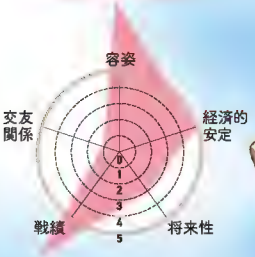
楠木　紗弓さんとは、これまで別の作品でも、よく掛け合いをする機会がありました。また、プライベートでの親交もあるので、お仕事の良きパートナーとして、十分に活かせる挑戦でした。

ハッタリだらけのお嬢様

ひきこまり吸血姫の悶々

＊毎週土曜日＊夜10時30分＊TOKYO MXほか
HP＊https://www.hikikomari.com/
X（Twitter）＊@komarin_PR
© 三湖底・SBクリエイティブ　ひきこまり製作委員会
Illustrated by AQUASTAR Inc.

現在のコマリはこんなお嬢様！



一億年に一度の美少女との呼び声が高い容姿を持ち、コマリのメイドのヴィルも認めてくれている。また、戦闘能力はないが、読んだ本の戦術のおかげで的確な指示が出せると本人は言っている。

お嬢様の身内

迷惑な部下たち

コマリが率いる部下たちの多くは、他の部隊で問題を起こし左遷されてきたもの。いくらコマリに心酔していても、勝手に他国へ攻め込まないか、見張っていないといけない。

お嬢様のルール

見栄を張り続ける

自分がいかに強いか部下にうそぶき、下剋上が起こらないように身を守るコマリ。しかし、そんな部下たちにハッタリを言い続けるジレンマに悩まされている。

お嬢様の務め

吸血人大戦争の勝利

3ヵ月に一度、他国との戦争に勝利することがコマリの最低限の責務。戦争に100回勝利することで次期皇帝候補の地位を得ることができるが、コマリはそこには全く興味がない。

テラコマリ・ガンデスブラッド

父親のコネで、七紅天大将軍になった。他の将軍たちから七紅天にふさわしくないと言われ、辞任をかけた闘争に挑むことになる

せた患ピッタリの掛け合いができました。「一緒にクレープできて良かったな石見さんとは掛け合い自体、そこまでたくさんやったことはありませんでした。コマリはサクナに対して「友達になりたい」という特別な感情があり、サクナに対して「可愛い」と言っていましたなので、ヴィルをはじめとした他のキャラクターとの差がつくようにすごく意識しました。そうすることで、サクナのポジションも立ってきますし、コマリの新たな表情も見られるので、ヴィ物語柔らかにしたり、普段は噛みつくようなところで噛みつきにいかない、ことを、大事にしました。

――第5話までのエピソードで、印象に残っている話はありますか？

楠木　第4話のミリセントとの戦いで、ヴィルを助け出すシーンです。これまでメメ人間感や小物感が出てしまっていたところから、やっとコマリの真の気高さやカリスマ性、「こういう一面があるから、みんなに愛されているんだな」という部分を見せられる話でした。激しい戦いやセリフ回しなど、ミリセント・ブルーナイト役の雨宮（天）さんの熱演がものすごいものになっていたので、何度でも見返していただけると嬉しいです！

――気乗りしない喋に就きながらも頑張るコマリに言葉を送るなら？

楠木　「世の中、楽しいことばかりじゃないよ」でしょうか。苦しんだ先にある喜びもあるので！　もちろん大変だと思うし、プレッシャーもあるけど、周りにはあなたを支えてくれるコマリストのみんながいます。あまり怖がりすぎずに、大船に乗ったつもりで頑張ったらいいと思います。頑張れ！

――コマリのような生き方から、あなたが学びを得るとしたら？

楠木　でまかせでも、やってみたら意外とそこに人間は順応していけるものだな、ということですかね。最初の一歩を踏み出すまでは、ものすごく重いものだと思います。それでも、何かしら自分が挑戦したいことに少しでも触れてみることで、だんだんとその過程の自分になっていけますし、そういった姿を見た人に支えてもらえるような人間になっていくのかなと。腰が重いこともありますが、臆せず挑戦していく、そんな姿勢が大事ではないかと思います。

脱・わがままなお嬢様!?

ミーア・ルーナ・ティアムーン
Mia Luna Tearmoon
自分ファーストな性格で保身第一のわがまま姫。革命勃発から処刑までの記憶を持ったまま8年前にタイムリープした

キースウッド

ラフィーナ・オルカ・ヴェールガ

クロエ・フォークロード

ルードヴィッヒ・ヒューイット
優秀だが辛辣な毒舌家で、処刑直前までミーアの助命活動を続けていた文官。幼いミーアでは大人を納得させられないことも多いため、彼女の知恵袋としてサポートしている。

本能的感情の振り幅が爽快 ミーア・ルーナ・ティアムーン役 ✦ 上坂すみれ

―原作小説や台本を読んでの作[illegible]

上坂　まず、ミーアの台詞量に圧倒されました！　そして、読み始めてすぐに、ミーアというキャラクターが好きになりました。ギロチン回避という目標のためではありますが、身分や立場に縛られずに、為政者としての身体が動くミーア様は、とても素敵です！

―[illegible]むミーアを演じる上で、意識していたことは？

上坂　テスト収録から、とにかく全力で頑張るのみ……という感じでした！　12歳になったミーアの心の中の声、かつてのわがままミーアの回想、ミーアのイメージの声など、いろいろなミーアが登場するので、時系列の変化や表情の切り替えが表現できるようにと意識しました。

―アンヌやルードヴィッヒなど、他のキャラクターと会話するシーンはいかがでしょうか？

上坂　ミーアはそれぞれのキャラ[illegible]してしまった過ちを記憶しながら接しているので、見た目は幼いながらも常に「今度こそ味方にしなくては！」という緊張感を持った掛け合いがある印象です。ですが、アンヌとルードヴィッヒはミーアを全肯定してくれるので、気持ち[illegible]

―上坂さん自身は「お嬢様」という言葉にどんな印象をお持ちですか？

上坂　小さいころは、お嬢様とはっきりほっぽ！とお気楽に登場するものだと思っていましたが、お嬢様にはお嬢様なりの悩みや矜持があるのだと大人になるにつれて知りました。ミーアはお嬢様らしい振る舞いと、「げーーーーひぃーっ！」的な本能的感情の振[illegible]

―放送済みの第5話までのエピソードで、印象に残っている話数を教えてください。

上坂　第4話の舞踏会のエピソー[illegible]

民

[illegible]げて[illegible]かいかに恵まれていたかを知ったミーア。もうわがままなどは呼はせない。断頭台から逃れるために、国の危機に立ち向かうと心に誓う！

断頭台回避のためにまずミーアが味方につけたのは、メイドのアンヌ・リトシュタインと文官のルードヴィッヒ・ヒューイット。二人は革命後もミーアを真摯にお仕えすることなく、身を粉にして働いてくれていたのだ。

そして、国内外の有力者とのコネ作りにも励む。勉強の苦手なミーアだが、近隣諸国の王侯貴族の子弟が集まるエリート校・セントノエル学園に入学。そして、軍事力の高い国の[illegible]革命軍の中心人物[illegible]た令嬢との親睦を深め、悪役の未来は、きっと[illegible]手で変えられると信じてミーアはひた走る。

帝に仕える令嬢

帝国の皇女・令嬢ミーアは、何をしても注目の的なので、気を抜けない。教室での振る舞いや、放課後の過ごし方などにも常に気を配り、自分の言動に責任を持たないといけないのだ。

ルードヴィッヒ・ヒューイット

文官としてミーアを支える。のちに起こる国の財政破綻への対策を練ったり、流行り病に備えて設備の整った病院を設立したりと奔走

アンヌ・リトシュタイン

ミーアから絶大な信頼を寄せられているメイド。恋愛脳な一面があり、ミーアがルードヴィッヒに思いを寄せていると勘違いしている

ティオーナ・ルドルフォン

辺境域に領地を持つ辺土伯の長女。学園でトラブルにあっていたところミーアに助けられ、現在の時間軸では好感を持つようになった

ディオン・アライア

シオン・ソール・サンクランド

サンクランド王国の第一王子。頭脳明晰で多彩な才能に優れ、多くの賞賛や憧憬を受けている。セントノエル学園に通うミーアの同級生

リオラ・ルールー

Liora Lulu

アベル・レムノ

レムノ王国の第二王子で、気配り上手な青年。ミーアに、新入生歓迎舞踏会のダンスパートナーに指名されたことで、親睦を深める

現在のミーアはこんなお嬢様！

お嬢様言葉はミーアの特徴。アンヌの強烈なドジや宿敵との再会で心が乱れても、その言葉遣いは崩れない。なお、一度目の人生では国が財政難に陥ったが、今はまだ安定している。

うえさか すみれ／12月19日生まれ／神奈川県出身／VOICE KIT所属／主な出演作は『てんぷる』（カグラ：ポールドヴィン）、『スパイ教室』（ティア）ほか

実は最後にアフレコした回。ミーアの特技であるダンスの華麗さを、画面でしっかりタッフさんたちの熱い想いが伝わってくる回だと思います。

ミーアがティアムーン帝国の皇女として生きるためには、どんなことが必要だと思いますか？

上坂　[illegible]愛されることが大切だと思います。すので、ミーア様主催のトークショーとかフリーライブとか、芋[illegible]茶会とかペケップリン作りとかい[illegible]

——とてもいいアイデアですね！では、最後に断頭台を回避するために奮闘するミーアに声援をお願いします。

上坂　ミーア様、いつもお疲れさまです！　何かと気苦労が多いか[illegible]。アンヌに肩をほぐしてもらってください！

ティアムーン帝国物語
～断頭台から始まる、姫の転生逆転ストーリー～

＊毎週土曜日＊深夜1時＊TOKYO MXほか
HP＊https://tearmoon-pr.com
X（Twitter）＊@tearmoon_pr
＊銀月堂・TOブックス／ティアムーン帝国[illegible]

時にはわがままも大切！

シャーロット・エヴァンズ役✦早見沙織

——原作や台本を読んでの印象をお聞かせください。

早見　とにかく心がぽかぽかして温かくなる作品だと感じました。タイトルだけを見ると、〝イケナイこと〟ってどういうことだろう、一体どんな物語が繰り広げられるんだろうとドキドキしましたが、実際にお話を読み進めると、優しさと温かさにあふれていて。私自身もほっこりしました。

——演じているシャーロットの第一印象を教えてください。

早見　シャーロットは、これまで過ごしてきた家庭環境も相まって、感情や本音を心の奥にしまい込んでしまう閉鎖的な子という印象でした。この状況が続くと、自分が何をしたいのか、何が好きなのか理解できず、自発的に行動することができなくなってしまいます。でもアレンさんは、ただ答えを教えるのではなく、「お前はどう思う？」と聞いてくれることで、シャーロットも少しずつ自分の意見を言えるようになってきました。

——シャーロットはもともと公爵令嬢でしたが、早見さん自身が思い描く「お嬢様」のイメージを教えてください。

早見　お嬢様というと、大きなお屋敷で暮らしていて、素敵なドレスに身を包み、語尾は「〜ですわ」みたいなイメージがぱっと思い浮かびました（笑）。ただ、いろいろなアニメの仕事をしていると、一概に「お嬢様とはこういう人のこと」という正解はないんだろうなと思います。出生や所作以外に、ものの考え方や心が綺麗な人もお嬢様と言えるような気がするので。

——シャーロットも、誰とでも分け隔てなく接する心の高貴さを持っているように感じます。

早見　そうなんです！　シャーロットは純真無垢で、誰にでも優しくて。最初のころは、その親切心を素直に出せず、アレンさんからの厚意をひたすら申し訳なさそうにしていましたが、最近は自ら率先して行動を起こすようになりました。演じるときは、シャーロットの心の成長度合いに気をつけています。アフレコ現場で、「今日の話は、まだ本心を打ち明けられる関係じゃないので感情を抑えて」とか「この話はシャーロットが心から楽しんでいる部分だから、思いっきりやりましょう」といったディレクションをいただきました。ゆっくり、一歩ずつ、アレンさんに導かれて世界を広げていくシャーロットの変化を感じていただけると嬉しいです。

——これまでアレンから教わった〝イケナイこと〟の中で、シャーロットのためになったなと思うことはありますか？

早見　第2話で教えてくれた、サンドバックを殴ることかな（笑）。アレンさんなりに「この方法だったらシャーロットの抑えている感情が解放できるんじゃないか」と考えた結果だと思いますが、これこそ「公爵令嬢」からは想像できない行動ですよね（笑）。精神的にも物理的にもシャーロットの枷を外してくれた、大事な〝イケナイこと〟だと思います。

——今後アレンから教わるイケナイことは、お嬢様教育にもつながるような内容も多くなりそうです。これからさらにシャーロットが学びを深めるためには、どんなことが必要だと思いますか？

早見　もともとシャーロットは、心が美しい、可愛い、お茶目という魅力が詰まったお嬢様だと思います。なので、なにか新しいことを付け加えるよりも、アレンさんたちとたくさん触れ合いコミュニケーションを取ることで、自分を解放し、もっとわがままを言えるようにできるといいと思います。

——最後に読者に向けてメッセージをお願いします！

早見　物語はここからさらに登場人物がバラエティ豊かになります。二人を温かく見守っていただきながら、最後までお楽しみください。

はやみ さおり／5月29日生まれ／東京都出身／アイムエンタープライズ所属／主な出演作は『ONE PIECE』（ヤマト）、『SPY×FAMILY』（ヨル・フォージャー）ほか

アレン・クロフォード

面の人から大魔王と呼ばれる人嫌いのお人好しな魔法使い。日々シャーロットに必要な〝イケナイこと〟リストを考え、実行している

〝イケナイこと〟を学ぶ

心を抑圧することに慣れてしまっているシャーロットが、きちんと自分と向き合うための〝イケナイこと〟。本格的なお嬢様レッスンの前に、まずはそこに挑戦していると…

婚約破棄された令嬢を拾った俺が、イケナイことを教え込む

＊毎週水曜日＊夜10時＊TOKYO MXほか
HP＊https://ikenaikyo.com/
X（Twitter）＊@ikenaikyo_anime

婚約者に裏切られ、最愛の妹を奪われている公爵令嬢シャーロット・エヴァンズ。彼女は今、魔法使いアレン・クロフォードの家で保護されている。住み込みメイドとして働きながら、アレンから自己肯定感を上げるための〝イケナイこと〟を教わっている最中だ。たとえば「ストレス発散のためにサンドバック（アレン）を殴る」「一人で街に出る」……。シャーロットはこれまで清廉な屋敷に住みながら、召使のような扱いを受けており、休む暇も与えられていなかったのだ。しかし、いくら不遇な扱いを受けても相手を憎まず、自分の置かれた境遇に絶望しない、心の高貴さをシャーロットは持ち合わせていた。

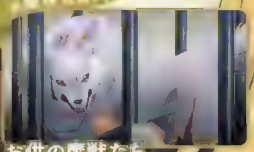
自分の中に潜む欲を解放することで、徐々に自由に振る舞えるようになってきたシャーロット。彼女の生まれ持った美しい心に、アレンからの指導が加われば、立派なお嬢様として生きていけるだろう。これからも二人でドライなエラー繰り返しながら成長していく様を応援してい…

©ふか田さめたろう／主婦と生活社・イケナイ教製作委員会

Key frame animators by Mineo Suzuki
Paint by Kazuki Kotani
Effect by Tomoki Murakami
Composite by Kousuke Tanaka

純真無垢なお嬢様

どんな相手とも分け隔てなく接するのが、シャーロットのいいところ。それは魔獣や魔法使いでも変わることはない。善人オーラがあふれ出ていることから、警戒されることも少ない。



お供の魔獣たち

シャーロットに対してのみ忠誠心が強いゴウセツとルゥ。彼女に危害を加えるものに一切容赦がないので、常に手綱を握っていないといけない。ペット(?)の制御も主人の仕事!

シャーロット・エヴァンズ

自己表現が苦手な元・公爵令嬢。アレンから教わる"イケナイこと"を通して、無意識に閉ざしていた本心を言えるよう猛勉強中

外出時は注意を

自由に外出できないのはお嬢様あるあるだが、シャーロットの場合、国を挙げた捜索で指名手配中。アレンの魔法で服装や見た目を変え、正体がバレないよう努めている。

ミアハ・バステトス

アレン御用達の運送会社の配送員。他人に気を使い、遠慮しがちなシャーロットに、本音を口にすることの大事さを教えてくれる。

猫のような媚びない生き方

猫猫役 悠木碧

ゆうき・あおい
3月27日生まれ。千葉県出身。青二プロダクション所属。主な出演作に『ソンゲート』アンジュ、『シュナ』、『BLEACH』千年血戦篇・訣別譚ユーハバッハ、『ストライク・ザ・ブラッド』ほか

後宮の噂が集まる猫というポジション

ドラマCDから続投で猫猫役を演じている悠木さん。あらためて振り返って、猫猫の第一印象はいかがでしたか？

悠木　本当に猫ちゃんだなと（笑）。それもシュッとした飼い猫ではなくて、捕まえてきたドラ猫なんですよね。暴れるし、なかなか懐かないし、でも飼い主が凶んでいるとそばにいてくれる、みたいな。その〝後宮の中を歩ける猫〟というポジションが物語の中でも効果的に働いている気がしていて。「猫が噂話を聞いている」なんて、誰も思わないじゃないですか。だからみんな、猫の前で噂話をしてしまって、結果として猫の耳にはいろいろな情報が集まってくる。猫は理解していないとみんなは思うけど、実は猫が誰よりも賢いというのが面白いなと思います。

猫猫を演じる上で大切にしていることは何ですか？

猫猫 マオマオ
普段はクールだが、毒や薬を前にすると表情が緩む。薬屋として死を身近に見てきた分、人の生死が関わる時には語気を荒らげることも

好奇心と知識欲、ほんの少しの正義感に突き動かされ、皇帝の寵妃・玉葉妃の御子を救った猫猫。玉葉妃に気に入られ、彼女が暮らす翡翠宮で毒見役として働くことになる。毒をこよなく愛する猫猫にとって、これほどうってつけの仕事はないだろう。

だが、猫猫のもとには毒見以外にもさまざまな仕事が舞い込んでくる。ある時は美貌の宦官・壬氏に頼まれて媚薬を作り、ある時は後宮を騒がせる幽霊話の真相を探り、そしてまたある時は皇帝に命じられて、玉葉妃のライバル的ポジションにある梨花妃を看病し……。毒や薬の知識と優れた洞察力を持つ猫猫は、次々と難題を解決していくのだった。

そんな彼女の次なる仕事は、玉葉妃の侍女として園遊会に参加すること。園遊会とは、宮廷の庭園に帝やお偉方が集い、出し物をしたり、食事が振る舞われたりする会だ。重要人物が一堂に会する機会なだけに、何かひと騒動起きそうな予感……？

一方で、園遊会の直前に、壬氏が猫猫にあげた簪の意味も気になるところ。さまざまな人間の想いが交錯する園遊会が、今、幕を開ける！

自らの身体で実験を行うほど毒が好きという、ちょっと変わった嗜好を持った少女・猫猫。だが、その好奇心を刺激する謎を与えると、彼女は頼もしい〝薬〟になってくれる。

大好物は毒と謎

悠木　今お話した、猫のような媚びないところに、彼女自身の地に足の着いた部分と、ある種の気高さが表れていると思うので、そこは大事にしています。「自分でしっかりと生活しているからこそ、媚びずに生きられる」という生命力の強さが彼女の魂なのかな、と。物理的な部分では、長尺セリフがすごく多いので、視聴者が流し見しているでも言いたいことが伝わるよう、セリフを構築して読み上げることを意識しています。原作にもあるセリフのリズムの気持ちよさは声にも乗せんでもらいたいので、どこを立てるどこを引くかという、そのバランスは重要だと思っていました。

どこを立ててどこを引くか、ですか。

悠木　国語のテストでよく「作者の言いたいことを何文字で答えなさい」という問題があるじゃないですか。あれいうイメージで、「このページからこのページまでの間で言いたいことを最小公倍数で約分すると、どうなるか」という想定をつけて、そこが一番立つように、そこに向かって言葉を作っていくんです。

とはいえ、そうやってあらかじめ自分で組んでおけるのは自分の推理パートだけで。ほかの人のセリフが入ると不思議なことに、自然とリズムを取れるようになるんですよね。みんなの声が合わさることで五線譜が見えるようになるというか。なので、家ではある程度の目安をつけておいて、現場でみんなと掛け合いながらリズムを作るほうがうまくいきます。

スタッフからのディレクションで印象に残っていることはありますか？

悠木　「ギャグパートはもっと振り切っていいですよ」と言っていただけたのが嬉しかったです。猫猫って普段はフラットかつクールな人なので、どこまでギャグを盛っていいのか最初は悩んでいたんです。でも、「もっとやっちゃいましょう！　そのギャップが猫猫のかわいさだと思うので」って。猫猫のセリフってギャグパートとシリアスパート、もっというとモノローグと実景のセリフが入り混じっているんですが、アフレコではそれらを全部一連の流れとして録っているんです。「分けて録ります？」とも聞かれなかったし、私としても流れで録ったほうが、より猫猫の臨場感が出ると思って。うまくスイッチできているといいなと思いながら演じました。

猫猫にとって壬氏は〝面倒くさい飼い主〟

悠木さんは、壬氏に対してどんな印象をお持ちですか？

悠木　美しい表の顔と、猫猫にあしらわれてへこんでしまう、少年っぽい素の顔の温度感の違いが魅力的ですね。まだ若いけど、いろいろなものを背負わなくてはいけなくて、仕方なくそれらを受け入れて向き合っている大人の部分もあります。でも、それゆえに枠の外にいる猫猫に惹かれ、頼ってしまうところもあって。そんな彼の人間くささがすごく愛おしいと思いますし、その表情を視聴者もまた猫として垣間見られるのが、この作品の面白いところだと思います。

あと私、「すごく仕事ができるのに、一番大事なものに対してだけは不器用になっちゃう長髪美男子」が昔から大好きなんです！　そもそも長髪美男子キャラって平成初期の作品にはたくさんいた気がするのに、最近は少なくないですか？（笑）なので、壬氏は貴重な長髪美男子枠として、ルックスの面でも大好きです！

（笑）。では、猫猫は壬氏のことをどう感じていると思いますか？

悠木　〝面倒くさい飼い主〟かな（笑）。「面倒くさいけど、ご飯をもらえる程度には尻尾を振ろう」というのが正直な感情だと思います。でも、情がまったくないわけではない。猫猫は複雑な生い立ちの子ではありますが、ちゃんと愛情は受けて育ってきているので、情にはもろいところがあるんです。だから「しょうがないな」とほだされちゃうんですよね。たとえば「恋愛」みたいに一言では言い表せない二人の関係が、すごくいいなと思います。

壬氏役を務める大塚剛央さんのお芝居の印象は？

悠木　私はドラマCDから猫猫を演じていたので、TVアニメになるにあたって、お芝居の匙加減をどう変えるか悩む部分もあったんです。もちろん媒体が違うから違う形を求められるだろうけど、変える部分と変えない部分があるだろうし。でも、大塚さんの壬氏のお芝居を聴いた時に、自分の「よって立つところ」が分かった気がしました。「すごく壬氏だった」というと変な話ですけど（笑）、美しくて甘い時もあれば、少年っぽくスポーティーになる瞬間もあって。そのどちらもが〝アニメーションの壬氏〟としてストンと腑に落ちたんです。私はそんな大塚くんの壬氏を聴きながら、猫猫の位置を定めていったので、そういう意味で、アニメーションのお芝居の根幹を決めてくれたのは大塚くんだったと思いますね。アフレコは2クール分すでに終えていますが、そのぐらい大塚くんを頼りにしてきました。私が推理やモノローグで紡いだリズムにもすごく丁寧に乗ってくれて、ありがたかったです。

子猫だと思った猫猫が虎の顔を見せた瞬間

出来上がった映像を観た感想を教えてください。

悠木　ドラマCDの時から、後宮の美しさや壮大さ、香の匂いみたいなものも音で感じてもらえたらなと思いながら演じていましたが、アニメーションとして視覚情報がプラスされたことで、より世界観への没入感が高まりましたね。私も含めてたくさんの人が「いつかアニメーションになったらいいですよね」と言い続けていて、今回ついにアニメ化されましたけど、その期待に応えるだけでなく、さらにプラスアルファで上回るような仕上がりになっていて。もう第1話を観た時にはジーンときてしまいました。

全2クールのうち1クール分のアフレコはほとんど絵がついた状態でやっているんです。表情の繊細さや指先の動き、木々の影といったものまで感じながら収録ができたので、より臨場感を持って楽しんでいただけるのではと。第6話以降もぜひ楽しみにしていてください！

PVでも公開されている、「これ毒です」と言う猫猫のシーンも印象的です。衣装とのギャップも大きいですね。

悠木　猫猫は普段はそばかす顔で地味ななりにしていますけど、素はすごくきれいな子で。その一番美しいところが映像になっていて、なんだかお姉ちゃん嬉しいな、みたいな気持ちでした（笑）。うちの猫猫はかわいいんだからーって胸を張りたい気持ちになりました。

本編で観るのが今から楽しみです。では、本編で演じる上で特に苦戦したシーンは？

悠木　第1話の冒頭、猫猫が家から出てくるところは一番緊張したシーンでした。というのも、あのシーンの猫猫って、この作品の中で一番チュラルな状態なんですよね。そこから後宮で働くことになり、いろいろなものが付加されていきますけど、普通に生活しているという〝ずべてをそぎ落とした状態〟を最初にやらないといけないのがすごく難しかったです。私たちが普段「行ってきます」と言って家を出るのと同じ感覚の〝生感（リアル）〟を出せたらと思っていました。

放送済みのエピソードで特に印象に残っているシーンは？

悠木　第4話は、猫猫の正義感の源が見えた回だったと思いました。猫猫って普段は平然としているけど、これまで薬屋として、病気やケガが治らない人もいっぱい見てきただろうし、いろんな人を見送ってきたと思うんです。だからこそ、命に関わることにはとても敏感になるし、これほど感情をむき出しにして怒ったのかな、と。怒るというか、むしろ叱るに近いですよね。養父である羅門の愛情がちゃんと伝わったからこそ、彼女の正義感はまっすぐ育ったんだと伝わってきました。

猫猫が怒鳴るシーンは、最初はどのくらいの塩梅でやったらいいのか少し迷っていたんです。でもスタッフさんが「思いっきりやっていい」と言ってくださったので、全力で演じました。猫猫は侍女の頭をつかんで引きずっているんですよね。普段はそんなに物理攻撃に出ることがないけど、実はすごくパワーがあるんだと思いましたし、それだけ侍女の行為が猫猫にとって許しがたいことだったんだと分かって。子猫だと思っていた猫猫が虎の顔を見せたエピソードであり、彼女が怒るスイッチが〝人の生死〟であるということが分かったエピソードでもある。かなり印象に残っています。

あとは第1話で、家の周りに薬草が青々と茂っている様子も感動的でしたね。きっと羅門が手で植えたものですよね。猫猫にはこれくらい美しく輝いて見えているんだなと感じられて、「そうそう、これを観たかったんだよ！」と、アニメになった喜びを噛みしめました（笑）。

最後に、読者へメッセージを。

悠木　今後も魅力的なキャラクターがたくさん出てきますので、猫猫たちが生きる世界がどんな人の営みで成り立っているのか、そしてそこにどんな謎が待っているのか、お楽しみいただけたらと思います。

先の展開はもちろん原作を読めば分かることではありますが、絵が動いた時の感動、音がついたことによるワクワク感も一緒に、このアニメ『薬屋のひとりごと』を味わってください。

「利用できるものは利用する」というスタンス

壬氏役 大塚剛央

猫猫と話す時の壬氏の空気感が好き

まずは壬氏の印象を教えてください。

大塚 原作だと、壬氏ってすごい言葉で形容されているんですよね、「天女のような美しさ」「蜂蜜のような甘い声」とか。そう言われるとどんな人物で、一体どう演じたらいいんだろうと思ってしまうのですが（笑）。それらはもともと壬氏を自覚して「利用できるものは利用する」というスタンスでいる。そういう人物なんだなと思います。でも方で、猫猫を前にした時は子どもっぽい面を見せたりもして。壬氏の人間らしい魅力は、猫猫と接する上で見えてくると思うので、僕自身、猫猫好きだったりします。

そんな壬氏を演じる際に意識していることは？

大塚 壬氏はしゃべっている相手によって見え方が変わるというか、自分の見せ方を変える人です。なので、相手との距離感は大切にしています。序盤ではその距離感や幅をどれくらい変えていいのか探り探りでシーンでは、わりと早い段階でスタッフの方から「もっと子どもっぽくやっても大丈夫です」と言っていただいて。当初自分が思っていたよりも、壬氏はもっと幅の広い人物なんだと気づかされました。そういう意味で、猫猫との距離感は特に強く意識しました。

あとは、コメディシーンでしょうか。最初のうちは、特にセリフのないリアクションや、猫猫の表情でやればいいのかが難しかったです。でも、このアニメはシリアスとコメディのギャップが大きく描かれているので、話数を重ねることに「振り切る時は振り切ってもいいなりました。それは壬氏に限った話ではないですね。振り切る時は振り面白さの一つになっていると思います。

先ほどお話があったような「蜂蜜のような甘い声」という形容は、壬氏の声を実際に音にするにあたってどう考えましたか？

大塚 オーディションで選んでいただいた[illegible]思いつつですが[illegible]。僕は当初、あまり声を作ることはしないように心[illegible]ことで、お芝居が変わって、声が変氏に関しては、きっと自分の声も武器として利用するようなので、そうとはちょっと甘さを入れるようにしてきましたね。

猫猫はこれまでいなかった異質な存在

――"相手が理想とする壬氏像"を壬氏自身が演じている時でしょうか

大塚 そうです。そのバランスは、し中性的に「もっと甘くしてくださ[illegible]つつ、微調整をしていきました。とはいえ、はっきり「蜂蜜」とまでは感じていないですけどね（笑）。

猫猫は壬氏の新たな一面を引き出す存在

大塚さんは、猫猫に対してど[illegible]

大塚 実際に近くにいたら、ちょっと怖いな（笑）。

（笑）。それはなぜですか？

大塚 自分に対して毒を試したりど、なかなか変わっているじゃないますか。その意味では、深く関わるのはちょっと不安です（笑）。

でも、彼女は決して周りが見えていないわけではないですよね。自分見ていて嫌な気持ちにはならないですが、そういう猫猫と話すシーンはどこちょっと出てくるのですが、自身が意識しないと[illegible]で新たな一面を引き出してくれる、[illegible]か。実際、壬氏が[illegible]応をしなくて、子どもうなシーンがありましたよね。今後もちょ[illegible]

――放送済みのエピソードでは？

大塚 第3話は原作を読んだ時から好きなお話でした。不思議な読後感の残るラブストーリーですよね。すべては描き切っていないけれども、こうだったら素敵だなと思う余韻があって。それがまたこの世界観の中にしっかり[illegible]ど、もしかしたら現実の後宮のような場所でも、こういう出来事があったりしたのかもしれないなぁ、と。

だから、新しいおのおもちゃはどうやって？ というのが今の猫猫に対する感情なんだろうなと思います。思い通りにいかないこれこそというのが、[illegible]どん猫猫のことが気[illegible]

第1話「猫猫」

身近に潜む毒が"呪い"の正体

皇帝の世継ぎが相次いで命を落とし[illegible]

梨花妃のやつれた様子から[illegible]きたれる毒であ[illegible]

薬屋のひとごと おそろしいの毒に注意！

第2話「不愛想な薬師」

効果抜群！猫猫の特製媚薬

可愛（カカオ）や乳酸（パ[illegible]）などを使って巧妙[illegible]

[illegible]には絶大な効力を発揮する代物が出来[illegible]

薬屋のひとごと 巧妙（[illegible]）は用法容量を守って使用すること

第3話「幽霊騒動」

幽霊騒ぎの裏事情

[illegible]妃、機い人の[illegible]と下賜される美[illegible]妃が[illegible]

[illegible]は[illegible]と猫猫は推測するが[illegible]

[illegible]真相は後[illegible]ひと際美しい[illegible]たということだ

薬屋のひとごと 恋は女を美しくする

第4話「悔恨」

薬屋の怒り

[illegible]に禁止されたはずのおしろいが塗られていることに気づい[illegible]

[illegible]する侍女の仕業だった。そのことを知った猫猫は珍しく激怒し、人の命を救う薬師として、絶対に[illegible]

薬屋のひとごと おしろいは毒だっつってんだろ

壬氏 ジンシ

後宮で強い権力を握る宦官。皇帝に相応しい妃を選定する役割も裏で担っている。最近は、猫猫に毛虫を見るような目を向けられ喜んでいるらしい……

玉葉妃 ギョクヨウひ

現帝の寵妃であり、四夫人の一人「貴妃」。御子がおしろいの毒に蝕まれていたが、猫猫の助言に従い、快方に向かわせることができた

梨花妃 リファひ

現帝の妃であり、四夫人の一人「賢妃」。おしろいの毒で御子を亡くし、自身も生死を彷徨ったが、猫猫の看病のおかげで健康を取り戻す

小蘭 シャオラン

猫猫と仲のいい後宮下女。噂話が好きで、後宮における人間関係や後宮内で起きた不思議な出来事について猫猫に教えてくれる

どう伝えるかをすごく考えながら演るとおっしゃっていて。あらためて悠木さんのすごさを実感しました。

――壬氏のセリフにも難しい言葉が出てきたり、言葉の裏に意図、駆け引きなどが隠されていたりすることが多いと思うのですが、……はどんなアプローチを……のでしょう？

大塚 ……お芝居を……く感情をむき出しに……されていたのですが、……の中で……猫猫の言いたいこと……

ては、彼の知識のないところだと思うので。むしろ壬氏としては、「事件の本質は何か」とか、「それによって自分は猫猫をどう動かして、どうこの問題に関わっていくべきなのか」とか、そういうところを重視しているのではないかと思います。

――では最後に、猫猫と壬氏のシーンで特に印象に残っているシーンは……

大塚 ……のかというシーンは、すごく甘く……

のらりくらりと猫猫を試しているようなところがあったし、第2話冒頭でも猫猫に対してあえて色目を使っていたりします。でも、アフレコが進んだ今振り返ると、このやりとりがちょっと面白いんですよ。話数が進んでからあら……

猫猫の素顔

薬屋のひとこと

化粧は綺麗にするだけのものではない

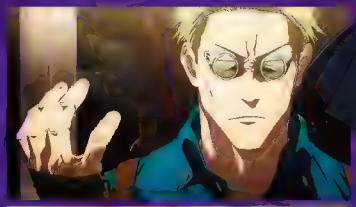
絶望の始まり

呪詛師との再会

伊地知のもとへ向かう最中、釘崎は補助監督を攻撃して回っている重面春太と遭遇。京都姉妹校交流会でも顔を合わせていたが、対峙するのは今回が初めて。苦戦を強いられてしまう！

釘崎野薔薇
Nobara Kugisaki

真希、直毘人と共に渋谷に乗り込むが、途中から補助監督の新田を連れて別行動に。覚知を救ってくれた七海に待機を命じられるが……



1級術師との壁

呪詛師をあっという間に倒した七海を見て、これが1級術師だと感心する釘崎。地下へ向かう七海についていこうとするが、「足手纏い、邪魔です」と待機を命じられてしまう。

伏黒 恵
Megumi Fushiguro

領域展開「嵌合暗翳庭」で陀艮の領域に穴を空けるも、甚爾が入り込み脱出失敗。陀艮を祓った甚爾の圧倒的な力によって追い詰められる。

親子対決

ネグミ様の術式によって降霊された藍青の[illegible]げで、伏黒たちは窮地を脱する。しかし、術式が暴走し、殺戮人形と化した甚爾の圧倒的な力によって、伏黒は追い詰められて……

息ピッタリ

呪詛師・墨坂二良の術式があべこべだと気付いた伏黒は、虎杖と共に一気に畳みかける。二人の抜群のコンビネーション攻撃と、ラストヒットとなった虎杖の器用な攻撃は必見！

己の役割

来虎撲殺を狙う真希を相手に一歩も引かない[illegible]。たが五条を助けるのは自分でなくてもいい、死んでも脱出を成功させることが自分の役割だと理解するのだった。

封印された五条を助けるため、渋谷の街を駆け抜ける1年生たち。だが、両面宿儺の顕現といっさらなる絶望が彼らの前に立ちはだかる！？ 終わらない絶望にどう立ち向かうのか!?

呪いの王の顕現

美々子と菜々子、漏瑚に両面宿儺の指を一気に食べさせられた虎杖は、ついに両面宿儺に体を乗っ取られてしまう。五条が封印された中での最悪の展開に、高専側は一体どうする!?

虎杖悠仁
Yuji Itadori

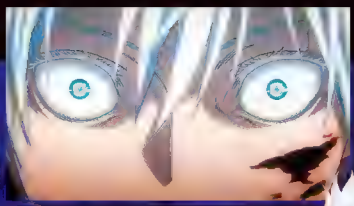
[illegible]が渋谷の保険から五条の封印を知り、術師たちに知らせる。両面宿儺の指を大量に取り込まされ、両面宿儺に身体を乗っ取られた

夏油率いる呪詛師・呪霊たちとの戦いが激化する中、呪術師たちは多くの犠牲を払いながらも渋谷駅の地下を目指す。現代最強の呪術師である五条が獄門疆に封印された今、何としてでもそれを奪還しなければ、文字通り世界は終わってしまうからだ。

幾重にも張られた"帳"のせいで、連携を立て直すためにもバラバラで動くしかなかった呪術師たち。虎杖、伏黒、釘崎もそれぞれ敵とエンカウントし、激しい戦いを繰り広げていた。その中で追い詰められた虎杖は、「五条先生を助けるのは俺じゃなくていい」と覚悟を決め、脹相と対峙するのだった――。

事態はさらに悪化し、両面宿儺が虎杖の肉体を乗っ取ってついに顕現！　圧倒的な力で渋谷を火の海にしていく。両面宿儺の知り合いらしき白髪の呪詛師・裏梅も登場し、人間側にとって絶望的な状況はまだまだ続きそうだ。

主導権を奪われた虎杖がどうなるのか、意識不明となった伏黒に何があったのか、苛烈を命じられた釘崎はどうするのか――各所でそれぞれの物語が目まぐるしく展開していく。



封印するも……

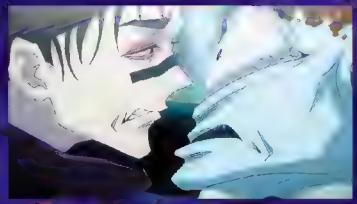
夏油ら呪詛師、呪霊たちは予回の目的だった五条の封印を見事成功させる。しかし、獄門疆が五条の情報を処理しきれず、渋谷駅地下3階からしばらく動かせなくなってしまう。

五条 悟
Satoru Gojo

単身で渋谷下層に向かい、0.2秒の領域展開をし、解除後290秒で改造人間約1000体を撃殺。その後、夏油に獄門疆に封印されてしまう

夏油 傑
Suguru Geto

術式で夏油の体を乗っ取った別の存在。夏油の裡にいる何者かが夏油の呪霊操術だけでなく、五条の隙を突くため夏油の体を手に入れた



早い者勝ち

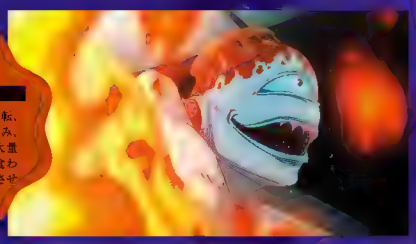
弟たちの仇を取りたい脹相と、両面宿儺を復活させたい漏瑚、単に殺したいだけの真人。虎杖の処遇に対して意見が分かれてしまったため、先に見つけた者の好きにすることに。

存在しない記憶

脹相は弟たちの仇を取るため虎杖に止めを刺そうとする。しかし、突如脳内に、弟たちと虎杖と和やかに食事をし、虎杖から「兄ちゃん」と呼ばれる"存在しない記憶"が流れ出す。

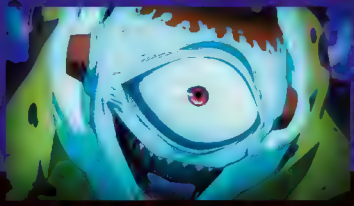
脹相
Choso

特級呪物"呪胎九相図"の1番が受肉した姿。同じく2番と3番が受肉した壊相と血塗を殺した[illegible]。虎杖を殺し、[illegible]うとしている



漏瑚
Jogo

呪いと人間の形勢逆転、ひいては戦争を目論み、夏油に協力。虎杖に大量の両面宿儺の指を食わせ、両面宿儺を顕現させて戦うも敗北した



完敗

一撃でも入れたら呪霊の下につくという条件で、両面宿儺と戦った漏瑚。全く歯が立たなかったが、両面宿儺から「誇れ、オマエは強い」と声をかけられ、思わず涙が流れる。

呪術廻戦 渋谷事変

✦毎週不定期日✦夜11時56分✦MBS/TBS系
HP✦jujutsukaisen.jp
©芥見下々・集英社　呪術廻戦製作委員会

超越した孤高の存在

両面宿儺役 諏訪部順一

両面宿儺を理解するのは今でも難しいと感じている

―「渋谷事変」の原作を読んだ際の印象を教えてください。

諏訪部　「渋谷事変」は非常にハードな展開の連続で、物語が大きく動きますよね。いずれアニメ化されたら、映像を作られるスタッフの皆さんも、我々キャスト陣も、大変なことになるだろうなと思いました。

―両面宿儺としても大きな見せ場のエピソードですよね。

諏訪部　そうですね。両面宿儺の登場シーンは意外と少ないので、久しぶりにじっくりと演じることができてよかったです（笑）。

―少し前のお話になりますが、両面宿儺役に選ばれたときの気持ちはいかがでしたか？

諏訪部　非常に難しいキャラクターだと思いました。アニメ化が発表される以前から、連載ベースで『呪術廻戦』は読んでいましたが、両面宿儺の声色のイメージが明確に浮かんでいなかったんです。その目的や背景などがよくわからない、謎多きキャラクターでもありますし。オーディションの際も、「どのように演じたらいいだろうか？」と、非常に悩みました。いくら悩んでも答えが出なかったので、案ずるより産むが易し！と、出たとこ勝負でトライしてみました。その結果、決定したという連絡が事務所から来まして。もちろんうれしく思いましたが、それと同じくらい、どうしたもんかな？と（笑）。

―決まったけれど、まだハッキリとした正解がご自身の中にもなかったのですね。

諏訪部　はい。出来る限り情報を詰め込んで、考えられるだけ考えて収録に臨みましたが、オンエアがはじまり視聴者のみなさんの反応を見るまではとても不安でした。原作ファンのみなさんのアニメに対する期待はとても大きなものでしたし、自分が演じる両面宿儺を受け入れていただけるかどうか、本当に未知数でしたから。好印象のご感想がたくさんSNSにUPされているのを見て、心底ホッとしました（笑）。

―両面宿儺というキャラクターにどんな印象を受けましたか？

諏訪部　両面宿儺は物語中、とてつもない力を持った、邪悪の象徴のように言われています。ですが、周りからそのように見えたとしても、果たして内面はどうなのか？　そういった角度からもキャラクター考察をしてみました。個人的には「悪役」というような捉え方はしていません。強いて言うなら、「他を圧倒する超越した、孤高の存在」といった感じですね。ほとんどのことが些事と感じられるような状態の中、一体何をモチベーションとして生きているのか？　原作と深く向き合い、時に制作サイドに質問をし、理解を深めようと努めていますが、いまだ明かされぬ謎もありますので。完全に理解できたとは、正直まだ自信を持っては言えません（苦笑）。

―今もですか？

諏訪部　はい。感情の発露が常人のそれとは異なりますからね。キャラクターを表現していく上で自分は、シーンごとに場当たり的に「点」で演じるのではなく、物語全体を通してきちんと連続性を持った、「線」ないし「面」、ないし「立体」として演じる……つまり、一個の存在として説得力を持たせることをいつも強く意識しています。作中の用語を使うなら、しっかりと「受肉」させる（笑）。しかし、原作が現在進行形の連載中作品であるため、そのために必要な情報に未知の部分が多く、自分なりの考察で両面宿儺を理解しようと努めても限界があります。下手すると解釈が間違っている可能性もゼロではなく、本当におそろしいです。

「渋谷事変」オープニング映像より

誰と掛け合っても両面宿儺の心が動くことはない

―「渋谷事変」のPV映像をご覧になったとき（※インタビュー収録時）の感想をお聞かせください。

諏訪部　ついに来たなと思いました。完成した本編を早く観たいです。未完成状態の映像でアフレコを行ったので。我々キャストは演じるにあたって、台本のト書きや原作からイメージの補完をするのですが、この作品は原作のコマとコマの間を繋ぐ新しいカットも多くあります。果たしてそれらが一体どうなっているのか？　本当に気になります。特にアクションシーンはそれが顕著にありまして。オンエアは絶対にリアタイ視聴しないといけませんね。

―MAPPAさんの映像はクオリティが高く、ファンの間でも話題になっています。

諏訪部　絵のタッチに独特な雰囲気がありますよね。特に、ラストの両面宿儺のあたりは、また新しいテイストの表現だなと思いました。より一層楽しみが増しました。

―第2期16話（40話）「霹靂」では両面宿儺VS漏瑚戦が描かれます。印象的なディレクションなどはありましたか？

諏訪部　ディレクションについては、これまで同様というか、特別なものはありませんでした。完成形をまだ観ていないのでわかりませんが、非常にスピーディーなアクションが繰り広げられていると思うので、漏瑚さんはとても大変そうでした。両面宿儺は圧倒的強者であるが故にアクションシーンでのアドリブがほとんどないので、自分は非常に楽をしております（笑）。

―なるほど、強いキャラクターほどアドリブは少ないですものね。漏瑚との闘いのラストで、両面宿儺が「誇れ。オマエは強い」と言葉をかけるシーンがありますが、諏訪部さんはこのセリフをどのように捉えて演じましたか？

諏訪部　その言葉通りの気持ちを漏瑚に対してかけているかどうか。そのとき両面宿儺がどのような心持ちでその言葉を発したのか、自分なりに考えていることはあります。ただ、それがどんなものだったかということは、この場では言わないでおきたいです。まあ、漏瑚は泣いていたので、相手の心に深く刺さる説得力は間違いなくあったのでしょう。

―コロナ禍が落ち着いて分散収録じゃなくなったことで、アフレコ現場で何か変化はありましたか？

諏訪部　以前より同時に収録する人数は増えましたが、まだ全員で一緒に収録しているわけではありません。同じシーンに出ている、セリフの掛け合いがある人たちをいくつかのグループに分けて、それごとに収録するという感じですね。一般的に、一緒に収録することで、演技の上でプラスになるものは確実にあると思うのですが、こと両面宿儺に関して言うと、あまり相手の言動で心が動くようなことがないので……。

―確かにそうですね。

諏訪部　ぶっちゃけ、一人で録っていてもあまり変わらないかもしれません。周りにいる人間や呪霊のことなど、心底どうでもいいと思っているのが両面宿儺ですから。まあ、他の人と一緒にスタジオに入れると、同じ作品に関わっているというチーム感が生まれるので、自分的にはモチベーションアップになっていいですが（笑）。

―両面宿儺以外で、シリーズを通して好きなキャラクターや気になるキャラクターを教えてください。

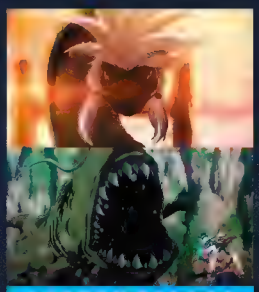
諏訪部　自分は両面宿儺単推しなので……。両面宿儺以外を挙げなければならないのだとしたら、犬好きなので玉犬ですね（笑）。大きくてフサフサモフモフのフィギュアなんか出たら、絶対に欲しいです。

―いよいよ「渋谷事変」もクライマックスです。最後に読者へメッセージをお願いします。

諏訪部　ご覧になっている方はもうおわかりかと思いますが、制作陣が熱い魂を込めてお届けしているこの作品。「渋谷事変」は『呪術廻戦』という物語の中でもターニングポイントと言って過言ではない重要なエピソードなので、最後までしっかりとご覧いただけますと幸いです。その先に繋がっていくよう、引き続き応援よろしくお願いいたします。

両面宿儺
Ryomen Sukuna

指を取り込んだ虎杖の体に受肉した呪いの王。漏瑚に虎杖の意識が戻る前に、肉体の主導権を得るための"縛り"を提案されるが跳ねのける



エリアボスが あらわれた！

セカンディル直前で"貪食の大蛇"、サードレマへのルートでは"泥鰌り"と、サンラクはエリアボス2体を撃破済み。中でもエムルの魔法とアシストが光る"泥掴り"戦は必見。

「フェアリア」解すまじ

言動も行動もクソな『フェアリア・クロニクル・オンライン』のヒロイン・フェアリア。ラスボス撃破後の自由時間にタコ殴りして、悔みを晴らすサンラクの姿はインパクト抜群！

おまわりさんこいつです

「夜襲のリュカオーン」の「呪い」のせいで強制半裸状態のサンラクだが、ゲーム開始時点でも武器重視で防具放却の自主的半裸。やっぱサンラクって半裸が好きなんじゃね？

世界を拓き、世界を楽しめ！

名だたる神ゲー『シャングリラ・フロンティア』に降り立ったクソゲーハンター・サンラク。数多の理不尽に鍛え上げられた彼のプレイヤースキルは、世界に変革を巻き起こす！

シャングリラ・フロンティア

■毎週日曜日■夕方5時■MBS/TBS系
HP■anime.shangrilafrontier.com
©梗概草・不二涼介・講談社／「シャングリラ・フロンティア」製作委員会・MBS

未踏の地を開拓しつつ、世界に秘められた謎を解き明かすVRMMORPG『シャングリラ・フロンティア』。その地に降り立ったサンラクは、数々のクソゲーで培った知恵と忍耐とプレイヤースキルで、発生条件不明のユニークシナリオを見つけ出し、攻略が停滞していた世界をかき乱していく。

サンラクひとりでも大騒ぎなのに、さらなる波乱を引き起こしそうなのが、策士なPKのアーサー・ペンシルゴンと、サンラクのクソゲー仲間・オイカッツォだ。

第三の街サードレマで待ち受けるペンシルゴンとは、他のクソゲーに端を発する因縁と、互いに認めつつも警戒するライバルのような関係性。バグを駆使して闘うVR格闘ゲーム『ベルセルク・オンライン・パッション』で対戦するカッツォとサンラクは、気の置けない悪友のような関係性が垣間見える。

しかもペンシルゴンは、サンラクとカッツォを何らかの計画に巻き込みたいと考えているようだ。ペンシルゴンが企む計画とはなんなのか？　この3人が引き起こすであろう巨大な嵐が楽しみすぎる！

サンラク／陽務楽郎

ユニークモンスター「夜襲のリュカオーン」との戦闘を経て、『シャングリラ・フロンティア』攻略に本腰を入れたクソゲーハンター

夜襲のリュカオーン

『シャングリラ・フロンティア』に存在する"七つの最強種"の一体。強敵と認めたサンラクの胴体と足に、「呪い」（マーキング）を刻み込んだ

リュカオーンとの戦闘

ユニークボス「夜襲のリュカオーン」との遭遇戦は、序盤最大の見どころ。現状では絶対に敵わない強敵に対して闘志を失わず、敗北しても再戦と勝利を誓うサンラクにシビれる！

本気で取り組むから面白い！

サンラク／陽務楽郎役

内田雄馬

広大な世界を縦横無尽に駆け巡る！

――シャングリラ・フロンティアは、ほとんどシャンプロに感じたような魅力を感じますか？

内田　主人公のサンラクは、シナリオがダメダメだったりシステムがバグまみれだったりの、いわゆる“クソゲー”と呼ばれるゲームをジャンル問わずに遊び歩き、酸いも甘いも徹底的に楽しんできたクソゲーマーです。それだけ彼のゲーム経験値は高く、目が肥えているということ。そんなサンラクが、数多のプレイヤーから神ゲー認定されている『シャンプロ』の世界に飛び込み、クソゲーで鍛えたプレイヤースキルなどを駆使して縦横無尽に駆け回る。気持ちよさや面白さを感じたポイントは、まずはやっぱりその部分ですね。

――サンラクは初っ端から、新規プレイヤー優遇に乗りきれず、『アステイア』をパスしたりと、普通のプレイヤーとは違ったプレイ傾向を取っていましたね。

内田　もともと『シャンプロ』というゲームは、多種多様なプレイスタイルを許容する奥深さを持っているんですよね。サンラクのプレイは、そんな幅広い『シャンプロ』の魅力を、余すことなく伝えてくれるんじゃないかなと思います。

――サンラクというキャラクターについては？

内田　サンラク／楽郎は、実生活では普通の男子高校生ですが、趣味のゲームに関しては貪欲な部分があります。このゲームにはどんな楽しさがあるのか？　それを見つけ出して徹底的に吟味する。『シャンプロ』でもその姿勢は健在で、他のプレイヤーが素通りしてしまう隠された要素や魅力に気づける人なんです。彼を演じる際は、僕自身も『シャンプロ』をしっかり確かめながら味わっていくように心がければ、自然にサンラクらしさが表現できるんじゃないかと思っています。

――ゲーム内とはいえ、生死を賭けたバトルでも、サンラクは楽しそうに戦っていますね。

内田　普通の異世界ファンタジーの場合、バトルには命がかかっているので、シリアスな側面は避けられません。でも『シャンプロ』はゲームなので、攻略という形で、楽しむことができるんです。とはいっても、「夜襲のリュカオーン」のような強敵に相対した時は、「ハンパ参りましたなんて、降参してたまるか!!」みたいな、楽しいだけに留まらない強い覚悟を見せてくれるので、そういう部分にも注目していただけたら嬉しいです。

効率追求vs善悪対策 それが島面スタイル

――『シャンプロ』を本気で遊んでいるからこそ、“この壁を乗り越えてやる”という強い意思を持てるんでしょうね。

内田　通常のモンスターや、サンラクからすれば攻略しやすい序盤のボスの場合は、動きも軽やかで楽しんでいる側面が強く表現されているんですけどね。たぶんサンラク自身も、普段はどこか余裕を持ってプレイしているんじゃないかと思います。でも、現状のレベルやステータス的に絶対敵わない「夜襲のリュカオーン」のようなユニークモンスターや、手持ちの情報では解き明かせない謎と直面した時、サンラクはガツッと気合いの入った表情を見せるんです。普段の飄々としたサンラクと、壁や謎にぶつかった時の熱の入ったサンラク。その落差というか差分みたいなものも、彼の大きな魅力だと感じています。

――サンラクの見た目もかなり強力です（笑）。

内田　半裸に鳥頭という見た目は衝撃的ですよね。僕はオーディションを受けた時、初めてサンラクのビジュアルを見たのですが、「このキャラクターは人間なのか？　もしかして鳥人間!?」と思ってしまいました。すぐに『シャンプロ』内のゲームアバターで鳥頭も被り物とわかりましたが、あの時感じた衝撃は忘れられません（笑）。

――楽郎は普通にイケメンなのに、なぜあんなアバターにしたのか謎です。

内田　もともと『シャンプロ』は自分らしさとか、自分の理想をアバターで表現できるゲームです。サンラクの場合は、序盤の効率を重視して強い武器を買うべく防具を売り払い、結果半裸になったものの、このまま顔を晒すのは恥ずかしいから鳥面のマスクを被った。こうして生まれた半裸に鳥頭のアバターは、楽郎らしさを表現した結果と言えなくもないんじゃないでしょうか。

――TV放送開始前にさまざまな場所で広告が掲出されましたが、半裸に鳥頭のサンラクが、でかでかと描かれていたのは印象的でした。

内田　渋谷のスクランブル交差点Q2ポイントの大型広告には、「主役は、この鳥男！」と書かれていたんですが、あれはとてもインパクトがあるし、目を引くポイントだと思います。

エムル

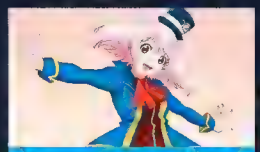
ユニークシナリオ「兎の国からの招待」の一環で、サンラクの仲間になるNPCの救命兎（ヴォーパルバニー）。短時間だが、魔法で人間の少女姿になれる

釣り船「青い鯨」

VR格闘ゲーム『ベルセルク・オンライン・パッション』で顔見せした、「鯨」がテーマのサンラクの友人『シャングリラ・フロンティア』ではオイカッツォと名乗っているようだ。

わかる、急所につき

容赦なくサンラクを襲う「鹿人狩り“ジャイアントキリング”」のベンシルゴン。本顔は知略と人心掌握だが、『ユナイト・ラウンズ』を支配し君臨した姿は、控えめに言って魔王だ。



メタモルフォーゼ！

通常は兎姿のエムルは、魔術を使えば人間形態に変身可能。『不思議の国のアリス』に出てくる白兎風の衣装はキュートだが、魔力消費の関係上、短時間しか維持できないのが残念。

不思議の国のサンラク

「夜襲のリュカオーン」戦でフラグを立てたサンラクを、救命兎の国“ラビッツ”へ案内すべく現れたエムル。ちっこいボディと「〜ですわ」口調がかわいさをより引き立てる。

トがあって面白かったですね。

——現在、第6話まで放送されましたが、前半を振り返っての感想をお願いします

内田 個人的に一番記憶に残ったのは、第3話の「夜襲のリュカオーン」戦です。サンラクが『シャンフロ』に本気でのめり込むきっかけとなったバトルだし、ここから物語がグッと動き始めた印象があります。作画面で見ても、リュカオーンの威圧感が本当に素晴らしかったです。ひと目見ただけで「コイツは強敵だ!」と感じ取れたし、巨大なリュカオーンがバトルシーンでスムーズに動いていた点も脱帽ものでした。

独り言で情報整理は サンラクとの共通点

——第3話では、サンラクの相棒になる致命兎(ヴォーパルバニー)のエムルや、致命兎たちの長・ヴァイスアッシュも登場しました。

内田 エムルは、作中で最もサンラクと一緒に行動する機会が多いキャラクター。NPCでありながら感情豊かで、さまざまな表情を見せてくれますよね。いろいろな情報をサンラクに教えてくれる存在でありつつ、同時にサンラクの勢いに巻き込まれて、大変な経験を重ねていくキャラクターでもあります。本作の楽しい部分、コミカルな部分を、エムルはサンラクと共に見せてくれるので、この先も注目してほしいです。

——ヴァイスアッシュは、まさに「裏ボス」という迫力でした

内田 ヴァイスアッシュの空気にサンラクもかなり飲み込まれていましたね。相手がNPCだとわかっているのに気圧されてしまうような存在感がすごいです。視聴者の皆さんも、思わず「兄貴!」と呼んでしまいたくなるかっこよさを感じていただけたのではないでしょうか。

——内田さんの趣味のひとつにゲームがありますが、ゲーム体験からサンラクに共感したところはありますか?

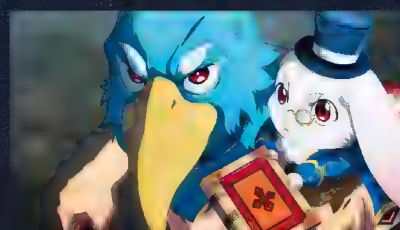
内田 ゲームの最中、サンラクは独り言を呟きながら情報を整理したりしていますが、僕も同じような感じです(笑)。ソロでゲームをプレイしていると、知らないうちに声に出して状況確認していたりとかするんですよ。でも、プレイ中のゲームシステムを理解する速さや、キャラクター操作の精度と速度、突発的な事態に対する反射などは、サンラクのほうが僕より圧倒的に上なので、うらやましいなと感じます。

——プレイスタイルで似ていると感じるところは?

内田 それはないですね。他のプレイヤーが思いつかない方向から攻略してしまうのがサンラクなら、僕は大多数のプレイヤーと同じ攻略ルートをたどる王道プレイ。でも、このゲームではどんなことができるのか、いろいろな角度から試してみたいという彼の気持ちもわかるんです。また、今後のエピソードで、とあるモンスターを攻略中のサンラクに、「ゲームに本気になる。大いに結構だろ。何事も本気で取り組んだ方が楽しいに決まってる」というセリフがあります。ゲームに限らず、何事も本気でやるからこそ楽しい。ここは僕も強く共感したポイントでした。

Q. [illegible]

内田 僕はもともと『FINAL FANTASY』シリーズが好きなんです。人生で初めて、最初から最後までクリアした作品が『FINAL FANTASY Ⅶ』。大人になってもこのシリーズが一番好きで、現在は『FINAL FANTASY XIV』をプレイしています。『FF14』は『シャンフロ』と同様に多数のプレイヤーが協力しながらゲームを攻略していくMMORPGなんですが、ソロプレイでも充分楽しめる上、誰かとコミュニケーションをとりながら目標を達成していく面白さもあります。サービス開始から今年で10年目の作品になりますが、ずっと新しいストーリーを提供してくれているので、今からでも楽しめる1本だと思います。



縁の下の力持ち タンク職が好き!

——サンラクは二刀流の傭兵キャラクターでゲームを進めていますが、内田さんは[illegible]んですか?

内田 僕は敵の攻撃を一手に引き受け、味方を守るタンク職が好きです。特に、片手剣と盾を装備するようなスタイルが好きですね。派手さはないかもしれませんが、やはり剣と盾の組み合わせは個人的には王道だと感じています(笑)。タンク職は攻撃力を低めにされていることも多いのですが、その分仲間の痛みを肩代わりできる。攻めは仲間に頼る分、いいチームプレイをするためにはタンク職の働きが要になったりするんですよね。個人的に、縁の下の力持ちに興奮するタイプでして……。やりがいを感じちゃいますね。

——第7話以降は、どんな展開が待っているのでしょうか。

内田 今までも少しずつ顔出ししていましたが、多数の新キャラクターが本格的に参戦を始めます。サンラクと行動を共にするプレイヤーとしては、他のクソゲーで意気投合したオイカッツォや、別のクソゲーで因縁を結んだペンシルゴンなどですね。第6話で到着した第三の街「サードレマ」以降、新エリアが複数登場したりと冒険の幅も大きく広がっていくので、森林や沼地に続く新たな環境での冒険も楽しみにしてほしいポイントです。

——サンラクと交戦するモンスターも強さを増していますし、他プレイヤーとの戦いも増えていきそうですね。

内田 バトルシーンの増加もそうですが、各バトルで描かれるアクションは、より激しく見どころの多いものになっていきます。レベルアップやユニークイベントなどで、サンラクが使えるスキルも増えていきますし。そうなるとやっぱり、さらなる強敵との戦いが見てみたくなりますよね。そのあたりも視聴者の皆さんの期待を上回るものが待っていますので、ぜひ楽しみにしていてください。

サイガー0/斎賀 玲

『シャングリラ・フロンティア』内で瞬間最大火力を誇る上位プレイヤー。楽郎に片思い中だが、声をかけるだけでも躊躇するシャイガール

UCHIDA's comment

重戦士の中身はお嬢様

サイガ-0の中身・斎賀玲は、見た目通りのおしとやかな子。でも、実は妄想癖があったりとかわいい要素が満載です。サイガ-0の時は力強い声で喋ろうとがんばるところも魅力的。

アーサー・ペンシルゴン/天音永遠

謀略が得意な、過激派PKクラン「阿修羅会」のナンバー2。他のクソゲーで戦ったサンラクとカッツォに何かを期待している様子だが……?

UCHIDA's comment

因縁の相手!?

ゲームに深く感情移入するような一面もありますが、普段は人を欺いたり誘導するのが得意なヤバい[illegible]の[illegible]を楽しんでください!

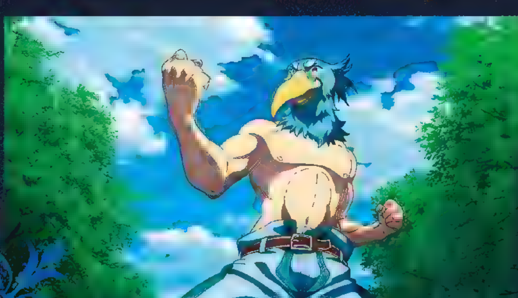
オイカッツォ/魚臣 慧

プロゲーマーでサンラクのクソゲー仲間。かつてサンラクと手を組み、VRMMORPG『ユナイト・ラウンズ』でペンシルゴン相手に戦った

UCHIDA's comment

名前が鰹なプロゲーマー

まだ未登場のオイカッツォですが、中身が[illegible]のモドルカッツォ他とサンラクを見ると悪友感があって面白い。二人で悪巧みしたり協力したりと、今後に注目のコンビですね。



CHiCO

Profile

これまでチコハニのボーカルとしてキュンキュン系の青春ソングを数多く歌ってきたCHiCO。そんな彼女のソロプロジェクトが始動。TVアニメ「シャングリラ・フロンティア」のED曲「エース」が、リリースされた。

憧れのクリエイターが制作したデビュー曲

――CHiCOさんのソロプロジェクトが本格始動しました。現在のお気持ちについて教えてください。

CHiCO　CHiCO with Honey Works（以下、チコハニ）として活動していた時と絶対に比べられてしまうと思うので、もちろんプレッシャーはありますし、もちろんそれ以上に、楽しみという気持ちが大きいです。私としては、「ソロだからこそできる表現ってあるんじゃないか」と思っていて、それをスタッフの皆さんと楽しく一緒に話し合っています。

――周りの皆さんと支え合いながら、プロジェクトを進められているのですね。

CHiCO　私はけっこう感覚派で、いま自分が「こうしたい」っていう想いをフィーリングで言っちゃうことがあって。周りの皆さんはそんな私の言葉をうまく咀嚼して、作詞家や作曲家に伝えてくれます。ユニットでやっていた時は、ひとつの作品ができあがっていく過程をすべて見ることがあまり多くなかったので、いまはたくさんのことを勉強させてもらっています。自分で進みたい道を決めていくのは、大変だけどやりがいがあります。

――ソロとしてのCHiCOさんの、憧れのアーティストを教えてください。

CHiCO　チコハニは、キュンキュンするような気持ちを歌った曲や、みんなの背中を押すような応援ソングとか、感情を揺さぶる曲が多かったんです。楽曲ひとつひとつに物語性があったので、そういう素敵な世界観を皆さんに楽しんでもらいたいという気持ちが強かった。ソロになっても楽曲の世界観を大切にする気持ちは変わらないのですが、私自身が感じているものを聴いてくださる方に届けたいという想いもあります。自分の気持ちを言葉にするのがそれほど上手なわけではないのですが、自分なりにいろいろな気持ちを表現し、皆さんに伝えられるといいなと思っています。

――CHiCOさん自身の、好みの曲調はありますか？

CHiCO　自分であまりわかっていなかったのですが、ソロ活動を始動するにあたって、音楽制作に関わるスタッフの皆さんが私の好みの曲調を知りたいということで、私が好きな曲のリストを送りました。私としてはバラバラのジャンルを送ったつもりだったのですが、「ミ"ドルテンポの曲が多いですね」と言われ、「そうだったんだ！」と気づきました。

――CHiCOさんは以前からDECO*27さんのファンだったそうですね。一緒に仕事をするのは、どのような気持ちですか？

CHiCO　DECO*27さんは学生の頃から大好きなクリエイターで、DECO*27さんの曲で育ったと言っても過言ではありません。そのくらいの存在なので「DECO*27さんが作ってくださる曲なら何でも歌います！」という気持ちだったんですけど、「エース」は私のソロにかける意気込みとシャングリラ・フロンティアの世界観の両方に寄り添った曲だったので、本当に驚きました。実はDECO*27さんとは今回が初めましてではなく、以前私がパーソナリティを務めるラジオにゲストで来てくださったことがあって。その時のやり取りなどから私がどんな人間なのかを汲み取り、曲を作ってくださったので、ありがたかったです。

――「エース」のレコーディングで、印象的だった思い出について教えてください。

CHiCO　DECO*27さんがディレクションしてくださったのですが、その時とくに印象的だったの

気持ちをストレートに伝えるフレーズをたくさん入れてくださりとってもうれしかったです

が最後のサビの部分です。「自分のなかの気持ちを爆発させて、すべてを解放させましょう」というニュアンスでディレクションをしていただいたんですけど、その時に「もっと壊れられますか?」って言われたんですよ(笑)。そんなディレクション、いままで受けたことなかったので新鮮でした。私は緊張してあんまりうまく話せなかったんですけど、DECO*27さんは気さくに話しかけてくださり、ちょっと緊張をゆるめることができました。

――「エース」の[illegible]なフレーズは?

CHiCO 「エース」は全体的に攻めたワードが多いんです。たとえば「夢を見ているから弱音も遊びじゃない」というフレーズは、私のソロでやっていくにあたり「何があっても前に進んでいくぞ」という気持ちを汲んでくださった歌詞でした。あとBメロの「欲しい答えのために」から始まる一連のフレーズは、一番共感できる部分です。こういう気持ちをストレートに伝えるフレーズをたくさん入れてくださり、とってもうれしかったです。『シャングリラ・フロンティア』の主人公・サンラクも、「やってやるぜ!」という気持ちで新しいゲームに挑むので、彼のキャラクターもしっかり表現されている歌詞になっています。

――『シャングリラ・フロンティア』[illegible]すか?

CHiCO 私はゲームが大好きなので、とっても共感できるポイントが数多くありました。ゲームをプレイする人の目線で描かれている物語なので、サンラクたちの気持ちが強く伝わってきます。コミックスを読んですぐにハマってしまったので、こんな素敵な作品のEDテーマを歌うことができて本当にうれしいです。バトルシーンがすごくカッコいい作品なので、サンラクとユニークモンスターの対決など、アニメで楽しみにしているシーンは多いです!

等身大の自分を今後も見せていきたい

――[illegible]さい。

CHiCO 作詞の真崎エリカさんは、私がデジタルシングル「光のありか」「TRUE BLUE SKY」の作詞をする時にアドバイスしてくれた方で、その時に私のことをすごく理解してくださって。そんな真崎さんにぜひ作詞をお願いしたいという想いから制作がスタートした曲なのですが、等身大の私っぽいワードをたくさん入れていただき、素敵な曲になりました。たとえば「読もうと思えば空気って無限にあるから始末悪いな」というフレーズ。「始末悪いな」という言葉のチョイスが絶妙ですよね。どうにもならない感じが出ていて。

――[illegible]ませんね。

CHiCO どうにもならない負の連鎖があって、逃げ出したくなることもあるけど、それでも気持ちに整理をつけてがんばろう。そんな社会人だったら想像しやすいリアルな感情を真崎さんに書いてもらいました。でも、曲はクラブミュージックみたいでノリやすいのは、ギャップがあっておもしろいなと思っています。みんなが踊れるような曲なので、ライブで歌うのが楽しみです。

――「寄り道」についてはいかがですか?

CHiCO 学生時代は寄り道することを楽しんでいたけど、大人になったら遠回りしてしまうことを恐れてしまう。周りの視線が気になったり、立場にそぐわない行動を躊躇してしまったりとか。そんな変わってしまった自分を受け入れながら、「このちっぽけな世界で結局生きるしかない」のであれば楽しんでいこう、という気持ちを書いた楽曲です。リアルな気持ちを描いていますが、最後まで聴けばすごく前向きな曲だとわかるので、気持ちが落ち込んだ時とかにぜひ聴いてほしいです。

――「エース」のジャケット写真は[illegible]か特徴的ですが、こちらのコンセプトは?

CHiCO 楽曲のクールなイメージと、ゲームを連想させるネオンっぽい感じを表現してもらいました。撮影の時は、長い時間動かずに止まっていなくちゃいけなかったので「難しい撮影ですよ?」とスタッフさんに心配されたんですけど、やってみたら意外と平気でした(笑)。ライトの輝きがきれいだなと思っていたら、あっという間に撮影が終わっていました。

――MVはどのように撮影したのでしょうか?

CHiCO MVも全体的にカッコいいイメージで撮ってもらったんですが、私があんまりMVの撮影経験がなかったので、「うまくできているかな……」と不安のなかで撮影をしました。アクションシーンもあって、楽しくできたんですけど、思い返すと「動きがワンパターンになってないかな?」とか気になってしまい……。でもスタッフの皆さんがカッコいい動きをチョイスして、いい感じにしてくださったので、ぜひご覧いただきたいです!

――今後の目標は?

CHiCO ひとまず来年1月7日の「LAWSON premium event MiCLOVER FES. 2024」が、ソロ名義でしっかり自分のライブを届けられる初のイベントになるので、そこに向けてがんばっています。ソロとしての表現をどうやって皆さんに届けるか、ずっと考えてきたものをお見せする場になります。ぜひ一緒に盛り上がりたいです! そして、盛り上がるところもありつつ、ジャズのライブみたいにリラックスできる時間もあるみたいな、これまでと違うパフォーマンスも挑戦してみたいと思っています。マネジメントチーム「MiCLOVER」としての初のライブイベントでもあるので、ここでしか観られないコラボもご期待ください! さらに2月には、ワンマンライブもあります。絶対に成功させて、チコハニにいろいろな経験を持ち帰るのが、いまの目標です。

――最後に読者へメッセージを!

CHiCO アニメージュは学生の頃に読んでいた雑誌なので、こうして掲載いただけるなんて感激です! ぜひ新生CHiCOにご興味を持っていただけたらうれしいです。今後ともよろしくお願いします!

『シャングリラ・フロンティア』ED

エース ミュージックレイン/絶賛発売中

CHiCO盤(初回仕様限定盤[CD]) 1,500円(税込)

アニメ盤(期間&初回仕様限定盤[CD]) 1,500円(税込)

※CHiCO盤は、CHiCO JKステッカー とCD購入者キャンペーン応募用IDチラシを付属。アニメ盤は、アニメ描き下ろしジャケット、アニメJKステッカー、CD購入者キャンペーン応募用IDチラシを同梱

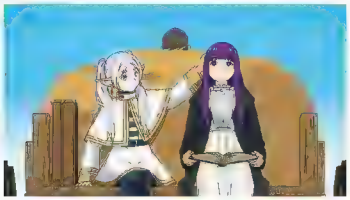
シャングリラ・フロンティア

✷毎週日曜日 ✷夕方5時
✷MBS/TBS系全国28局ネットほか
HP✷https://anime.shangrilafrontier.com/
X(Twitter)✷@ShanFro_Comic

©硬梨菜・不二涼介・講談社/「シャングリラ・フロンティア」製作委員会・MBS

葬送のフリーレン

※毎週金曜日※夜11時
「FRIDAY PRIME NIGHT（フライデー…」※
※https://frieren-anime.jp
（Twitter：@…frieren
…作品

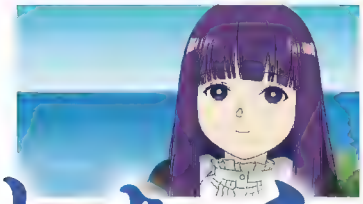


ハイターの願い

ハイターからフェルンを弟子にしてほしいと頼まれ、“足手まとい”と断ったフリーレン。代わりに魔導書の解読をしながら、フェルンに魔法を指導してほしいという、ハイターからの依頼を受ける。解読を終えるころには、フェルンは弟子として不足のない魔法使いに成長。解読は死を前にしたハイターの“生臭坊主”らしい策略だった。

“お母さん”フェルン

フェルンにとってフリーレンは魔法の師匠だが、普段は彼女がフリーレンを起こしたり、ご飯を食べさせて服を着せたりと、お世話をすることが多い。その様子は師匠への忠誠を尽くすというより、子を世話する母親のよう。



知りたいと思う気持ち

誕生日プレゼントを渡しながら、フリーレンは「フェルンのこと何もわからない。だから、どんなものが好きなのかわからなくて」と謝る。その日の行動をこっそり見ていたフェルンは「私を知ろうとしてくれたことが、たまらなくうれしいのです」と微笑む。

もたらすもの

フリーレン

千年以上生きるエルフで、魔法集めが趣味。長寿ゆえに時間にゆとりがあり、人間からは時間を無駄にしているように見えることも

フリーレンにとって、人間の寿命はあまりにも短い。10年間の冒険をし、共に魔王を打ち倒した勇者ヒンメルの死は、それを痛感させるものだった。もっとヒンメルのことを知ろうとすればよかった　フリーレンの後悔は、彼女を“人を知る旅”へと導いた。

フリーレンの旅は一人が基本だったが、今は隣にフェルンとシュタルクがいる。仲間と共に魂の眠る地（オレオール）を目指す道中、困った人がいれば助けたり、仲間に手に入れた魔法を見せたりと、その旅はかつての勇者パーティーと似た雰囲気を感じさせる。

かつての冒険からは変化した部分もある。フリーレンは不器用ながらも仲間を知ろうとし、時間感覚の違いを気に掛けることが増えた。以前はわからなかったヒンメルたちの言葉の意味や、一人きりでは味わえないものも知った。

目的地は、まだ遠くにある。この先も過去を思い出したり、新たな発見をしながら、旅は続いていくのだろう。その旅路はフリーレンの目にどう映り、どんな感情を与えていくのだろうか。

人を殺せない魔法

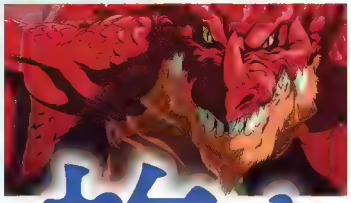
クヴァールの魔法、人を殺す魔法〈ゾルトラーク〉は80年の間に研究・解析され、人間の魔法体系に組み込むと共に、対抗する防御魔法も開発。今では一般的な魔法となった。魔族にとっては短い、けれど人間にとっては長い時間の結果だ。

戦ったことのない戦士

アイゼンの話を聞いていたフリーレンは、シュタルクを仲間に勧誘した。紅鏡竜から村を守ったと知り、まずは紅鏡竜の討伐を手伝うよう頼むも、シュタルクは微妙な反応。実は彼は紅鏡竜と戦っていないどころか、実戦経験がなかった。

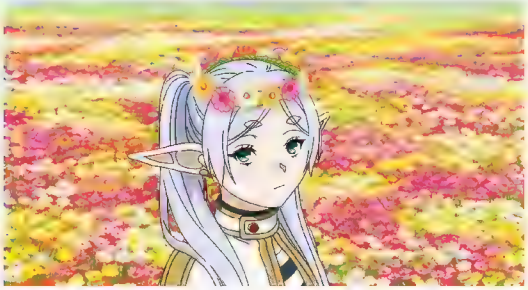
シュタルク、本領発揮

紅鏡竜の足止め役を買ったシュタルクは、覚悟を持って斧を振るう。気がつくと、フリーレンが手を貸すまでもなく紅鏡竜は倒れていた。アイゼンが言った通り、シュタルクは臆病ではあるが、高い戦闘能力を持っていた。



新たな旅が

一人きりで始まった"人を知る旅"は、仲間を増やし、やがて北の果てへ向かう冒険に。旅路から垣間見えるのは、フリーレンの過去と変化だ

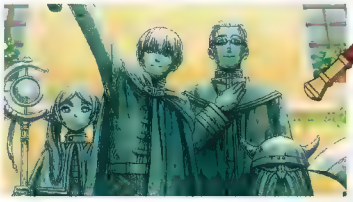


みんなが褒めてくれたから

フェルンやシュタルクに、なぜ魔法を集めているのかを問われ、「私の集めた魔法を褒めてくれたバカがいた」と返すフリーレン。その時、彼女の脳裏に浮かぶのは、喜ぶヒンメルたちの姿だ。

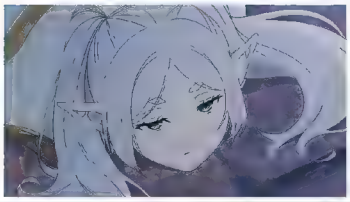
銅像に込めた一番の思い

勇者一行の銅像が置かれた街は多数あり、なかでもヒンメルの銅像が多く、毎度像のポーズにこだわってきた。ヒンメル曰く、作ってもらう一番の理由は「君(フリーレン)が未来で一人ぼっちにならないようにするため」



再戦の行方は――

フリーレンは仲間と別行動し、"断頭台のアウラ"の元へ向かっていた。かつて勇者一行と戦い、その手下を失って撤退せざるをえない28年前に復讐を誓ったアウラは、新たな手下を集めて倍増した魔力で



魔族の手が伸びた町

訪れた北側諸国の城下町で、魔族に出会ったフリーレン一行。魔族にとっての"言葉"は人間を欺くためのものだと身をもって知るフリーレンは、使者として訪れているリュグナーたちに裏があると見抜いていた。

不変（アンチェンジ）に さよならを

変わりたくない と語り、変化を求めるアンティを
愛した不変（アンチェンジ）の能力者、ジーナ
彼女の生き様と死は、風子の心を大きく変えた

13人の否定者で構成されるユニオンの円卓メンバーから、自分たちが座る席を奪い取ろうとするアンティと風子。チームの一員・ボイドを殺し、シェンの言葉に導かれて訪れたロシアで二人が出会ったのは、不変（アンチェンジ）の能力を操るジーナだった。

変わらないことに執着していたジーナは、"人の最大の変化"である死を望むアンティと出会い、変わることの喜びを知った風子、相反する両者はぶつかり合う。激闘の末にジーナは敗北する。今際の際にジーナが口にしたのは、彼女も昔は変わりたかったということ。風子はジーナのように苦しむ人間を生まないため、ユニオンを変えたいと思うようになった。アンティは「お前の不運でジーナは救われた」と語ったが、ジーナにとっては苦悩から解放された以上に、変わりたい風子が変われなかった自分を乗り越えたことが救いなのかもしれない。

チームの末席に加わった二人は、成果を上げてユニオンの指揮権を得るため、シェンを巻き込んでUMAスポイル捕獲のクエストを受注する。スポイルの手がかりを追ってアメリカに向かった、三人が目にするものとは……。

出雲風子

[illegible]との出会いと[illegible]ユニオンへの加入[illegible]を選手権[illegible]

アンティ

[illegible]する。逃走した[illegible]のUMA[illegible]ボスに無謀[illegible]

アンデッドアンラック

✖毎週金曜日 ✖深夜1時23分
✖MBS/TBS系全国28局ネット"スーパーアニメイズム"枠
HP ✖https://undead-unluck.net/
X(Twitter) ✖@undeadunluck_an
©戸塚慶文／集英社・アンデッドアンラック製作委員会

こだわりのファッション

"永遠の16歳"を自称し、JKファッションが趣味のジーナは、風子と最初に会った時も、日本のJK制服をイメージしたコーディネートで

50年間貫いた恋心

当時の外

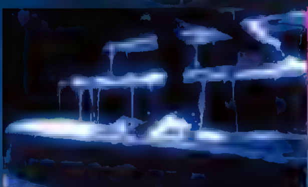
の乙女心の

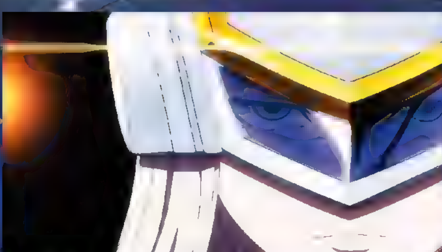
変わることに対する捉え方が正反対なジーナと、"ラックちん"こと風子。「私を変えないとね」と、風子とアンディに宣戦布告したジーナだが、月の周りにキラキラを描き加えた風子の絵を「とっても素敵」と感じた時点で、彼女の心の中では変化が起きはじめていたのかもしれない。

UNCHANGE

ジーナが持つ不変の能力。

分の周囲にバリアを張る、手の形に固定して敵を掴むなど、その汎用性は極めて高い。しかし、空気の壁は光を防げず、アンディを狙ったUFOの光線が彼女に致命傷を与えた。





ユニオンのリーダー・ジュイス

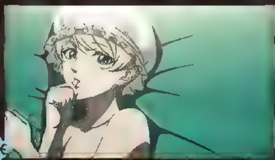
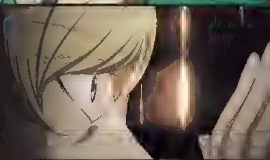
ユニオンの指揮を執るジュイスもまた、アンディや風子のように変化を求める者。地球に理（ルール）を強いる神を殺すため、ジュイスは黙示録（アポカリプス）が課すクエストの報酬獲得や、強大な能力を持つ否定者を捕らえることで、戦力を整えているのだ。

ジーナが戦った証を刻むために

ジーナ役 **悠木 碧**

ミギとダリ

✦毎週月曜日✦夜10時✦AT-Xほか
HP✦https://migitodali.com/
X(Twitter)✦@MigiToDali
©佐野菜見・KADOKAWA／ビーバーズ

囚われの赤ちゃん!?

瑛二のボタンを窃盗したと疑われた秘鳥（ミギ）は、一条玲子の提案により、更生のためにしばらく一条家に預けられることに。待っていたのは、監禁状態での乳飲み子教育！

ボタンの持ち主

ミギがペンダントのように身につけているボタンは、事切れた母親の手に握られていたもの。犯人への手がかりとも言えるそれは、実は一条瑛二が８年前に着ていたパジャマのボタンで……？

母親との思い出

ミギが監禁されている部屋こそが、かつて双子と母親が暮らしていた場所だと判明。壁紙には、母親と一緒に書いた落書きがあった。心から乳飲み子になりきっていたミギは、それを見て声をあげて泣いた。

ミギ
声・堀江瞬

前髪を正面から見て右に流している。サリーに言われて勉強を頑張ったり、園山夫妻の言葉を受けて行動をするところから、他人の影響を受けることも多そう

みっちゃん（光山美代子）
声・斉藤貴美子

園山家の20年来の家政婦。仕事柄、多くの家を出入りしている。ゴシップが好き。一条家の仕事中に誰かが帰ってきたため、ダリを隠して対応してくれたようだが……その後どうなったかは、不明

驚きの調査結果

ミギが監禁されている間、懸命に一条家の調査を続けたダリ。偶然居合わせたみっちゃんの手助けもあり、自分たちの母親の名がメトリーであることや、オリゴン村全体が一条家に監視されていることを知る。

反応を探る

母親・メトリーの姿に仮装して一条家の反応を確かめることに。愛おしそうに抱きついてきた一条瑛、ハサミを振り回し攻撃をしてきた玲子、姿を見て驚き震える瑛二と反応はさまざまだった。

温もりを分け合う

無事に園山家に戻ったミギは、どんな感情も分け合うのが家族だという園山夫妻の言葉に、体調不良のまま隠れているダリを思う。そして、ダリが介抱されるようにこっそりと入れ替わった。

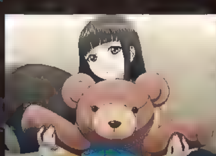
犯人はこの中に？ 怪しすぎる一条家

一条瑛

瑛二とその妹・華怜の父親。精神科医として忙しい日々を送っている。メトリーに扮したミギを見て、「会いたかった」「探したよ」と優しく抱きしめていた。もしやメトリーに好意があった……？

一条玲子

瑛二とその妹・華怜の母親。完璧主義。村の人々から羨望の眼差しを受ける完璧な母様だが、ミギを本気で乳飲み子として扱ったり、メトリーを見て刃物を振りかざしたり、かなり恐ろしい一面を持つ



一条華怜

[illegible]人形遊びが好きで部屋には多くの[illegible]がある。まだ幼く、双子がオリゴン村で暮らしていた頃には生まれていなかったと予測できるため、殺害の犯人候補から外してもよさそうだ

一条瑛二

成績優秀で容姿端麗な一条家の長男。秘鳥の学力レベルが低いのを知り無視をしたことが、双子が学力アップを目指す理由に。メトリーに仮装したミギを見て驚き、「おばけ」と言っていたが……？

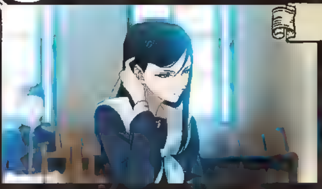
ミギとダリが"園山秘鳥"を演じる理由。それは、子供の頃に母親が殺された場所・オリゴン村に入り、犯人を見つけて復讐するため。二人にとって、オリゴン村の住人である園山夫妻が養子を[illegible]またとないチャンス[illegible]。養子になれるのが一人だ[illegible]として[illegible]人で一人を演じればいい――[illegible]うして"園山秘鳥"が生まれたのだった。

園山夫妻に裏があるのではないかと[illegible]たり、友達作りに苦戦したり、思いがけ[illegible]い恋をしたりしながらも、地道に調査をし続けた二人。一条家での監禁生活の中でついに犯人に繋がるヒントを見つけることもできた。

やっと真実に近づいたが[illegible]一条家は想像以上に恐ろしい場所の[illegible]、復讐までの道のりの険しさを予感させる。果たしてミギとダリは、この先どう動くのか[illegible]汗握りつつ、二人の姿を見届けよう。

もう少し

少しずつ明かされる
双子の目的と過去
後半戦突入の前に、物語の前半をプレイバック！



恋するミギ

図書館で出会った美少女・サリーを見て一瞬で恋に落ちたミギは、サリーが望む通り勉強し、デートの権利を得るためテストで満点を取った。サリーが、ダリが学校に溶け込むための仮装した姿とは知らずに

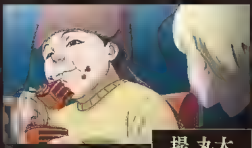
鏡二に近づくためには、学力を上げて上のクラスに上がる必要があった。しかし、ミギは勉強が苦手。惚れられるのは予想外だったが、ダリはこの状況を利用して、ミギに勉強をさせようと目論んだのだ

嘘をつき続けるわけにもいかず、サリー（ダリ）は遠くに引っ越すとミギに告げる。ミギはショックを受けつつも、離れていても心で繋がっていられるようにと、イルカのペンダントを贈った

秋山俊平
声・浅沼晋太郎

秘鳥のクラスメートで、飛行機や鳥が好き。何度もバードマンコンテストに挑戦するほど鳥になることへの思いは強い。その方法を模索するのに没頭して、周りが見えなくなることもある

諦めない秘鳥の姿に心を打たれた秋山は、家に遊びに来た秘鳥に、"バード秋山"の姿を披露した。秋山は秘鳥に心を開いているようだ



ただ下僕がほしかったマルタは、ミギを虐めるばかり。しかし隙を見て入れ替わったダリによって容赦なく叩きのめされ、形勢逆転されるのだった

堤 丸太
声・武内駿輔

秘鳥のクラスメートで、ハイテク機器が好き。甘やかされて育ったため、わがままで自分勝手。秘鳥のお菓子を取り上げたり、ゲームで負けそうになるとリセットしたりと、横暴な振る舞いを見せた

友達を作ろう

母と暮らした部屋にあるミジンコ柄の壁紙を探すべく動き出した双子。友達になればほかの家に行けると思いつき、ボーイスカウトに参加。警戒されながらも懸命にアタックし、二人の友達を得た

真実の先にあるドラマにも注目を

監督・まんきゅう

徐々に見えてきた双子それぞれの個性

――二人で一人の人間（園山秘鳥）を演じているミギとダリですが、話数を重ねるごとにそれぞれの特徴も出てきましたね。

まんきゅう 序盤は一人の人間として見せるためにチューニングをしていた部分がありましたが、オリゴン村で過ごすうちに、徐々に双子それぞれの感情の扉が開いていきました。その変化は、彼らにとっての成長と言える部分なので大事にしたいと思いました。キャスト陣にも序盤は抑えてもらい、徐々に感情を出していくようなお芝居をしてもらいました。

――ミギがママ（園山洋子）のフリをしたり、ダリがサリーちゃんになりきったり、前号でまんきゅう監督が話していた"声優のすごさ"を感じるシーンも多いですね。

まんきゅう ミギ役の堀江瞬くんは声帯模写がうまいんですよ。特にママのフリをするシーンは、洗濯物越しに聞こえた声を、家政婦のみっちゃんが"ママの声"と勘違いしないといけない。みっちゃんは20年来園山家の家政婦をしているわけですから、違和感があると「あら、なんだか声が変じゃない？」と言って、覗き込んできそうですよね。

――確かに。そうなると一瞬で計画が失敗ですね。

まんきゅう そうなんですよ。そのために、まずママ役の三石琴乃さんにセリフを言ってもらい、堀江くんに声を寄せる作業をしてもらいました。そしてダリ役は「可愛いサリーちゃんを演じられる」というのがキャスティングする上での大前提でした。村瀬歩くんが演じることで、サリーちゃんの可愛さがより一層増しました。

――見た目も声も可愛いサリーちゃんでしたね。

まんきゅう ミギが一目惚れをするくらいですから、とびきり可愛くないといけません。絵コンテのト書きにも「めちゃくちゃ可愛い！」と注記して、気合いを入れて描いてもらったり、撮影でキラキラさせたりもしました。ちなみにサリーちゃんの近くでキラキラしているものは、空中の埃なんです。日光が差し込むことでその演出が可能になるので、図書室には窓をたくさん作りました。

――物理的にもキラキラしていたわけですね。ミギは恋に走り、ダリはその状況を賢く利用する。二人の性格差が見えるシーンでした。なお、第6話までに彼らの過去も少しずつ見えてきましたね。原作者の佐野菜見さんの描き下ろしEDのイラストも、双子の過去を描いたものなんですよね。

まんきゅう そうなんです。佐野先生とお話しして、母親の死後から施設に入るまでの姿を描いてもらいました。二人はオリゴン村を出て施設に入るまでの間、サバイバル生活を送っていたんです。まだ彼らの知らないことがたくさんあって、何を食べられるかもわからない。拾った革靴を焼いて食べてみて「これは食べられないんだ」と学んでいくこともあったはず。まだ幼い彼らにとって生半可なものではなかった壮絶な日々が描かれています。

――ラストの、日が昇っていくのを眺める二人の後ろ姿も印象的です。

まんきゅう 彼らの先に新たな未来が広がっていく様を表現できればと思って入れたシーンです。日が昇るのに合わせて、最初はシネスコ（横長サイズ）で設計をしていた画面を、歌のラスサビで全画面（16：9）にする。それによって、より世界の広がりを表現できたと思います。

――このEDで明かされた双子のバックグラウンドを本編の描写に反映したりも？

まんきゅう こだわったのが彼らの歩き方です。常に何かに警戒をしていて、身を屈めて足音を立てずに歩いたり、獣っぽさを意識した動きを取り入れています。

――見つからないように移動するシーンは、まさにそうですね。

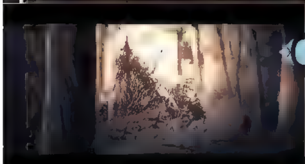
まんきゅう そうそう。あれは野山にいた動物たちを見て、学んだんじゃないかと。

――第7話以降、母親殺しの犯人に迫っていく展開になるそうですが、見どころはどこになるのでしょう？

まんきゅう この先、ミステリーさがグッと増していきます。先の展開については何を言ってもネタバレになるので、多くを語れないのですが……僕は原作を読んでいて「違うルートはなかったのかな」と思うような、心が締め付けられる感覚になる部分もありました。母親殺しの真実を解き明かしていくわけですが、そこで終わるのではなく、真実の壁の先にあるドラマが本当に面白いんです。最後まで、油断せずに見続けていただければと思います。

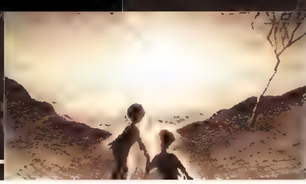
ダリ
声・村瀬 歩

ミギの兄。正面から見て前髪を左に流している。勉強が得意で、策士な一面も持ち合わせる頭脳派。普段は冷静沈着だが、ミギのことになると熱くなることも



過去が垣間見えるED

EDの一幕。養護施設に入るまで、サバイバル生活をしながら二人で生き抜いてきた双子。ラストで描かれる日の出のシーンからは、希望が感じられる



真実まで、

かじた・だいし
9月26日生まれ　広島県出身
プロダクション・エース所属
『ブルーロック』（成早朝日）、『ぷにるんず』（はぴるん）ほか

さいとう・そうま
4月22日生まれ　山梨県出身
81プロデュース所属
『るろうに剣心 - 明治剣客浪漫譚 -』（緋村剣心）、『アイドリッシュセブン』（九条天）ほか

ビックリメン

ヤマト役 梶田大嗣

フェニックス役 斉藤壮馬

変身（合神）して、天使と悪魔の戦いに参加することになったヤマト！
ビックリマンシールを巡る攻防は、賑やか愉快でちょっと不思議!?

を持つ者たち

ビックリマンシールを取り持つ形でヤマトと知り合った、コンビニエンスストアの面々。店長のフェニックスは、ヤマトを仲間として自然に迎え入れてくれた。

高校生アルバイトの牛若とジャックとも仲良くなり、エンジェルマートに入り浸るようになるヤマトだが、一方で拾ってきた亀が突然人間に変身してビックリ！　実は亀は仮の姿で、正体は「神神アリババ」の因子を持つ少年だった。苛酷な環境で育ったせいで感情表現が薄めで、またアリババであるために、これまで不遇な運命をたどったという。ヤマトはアリババの心と向き合おうとし、フェニックスもまた彼を気にかけていた。そんな矢先、アリババはデビルストアのマリスから手紙を受け取り……。

メインキャラクターも出そろって、ストーリーは後半戦へ突入。敵役として描かれてきたマリス、フッド、ビーターがそれぞれに背負っているものや、その思惑にもスポットが当たっていくぞ！

撮影◎工藤はんな（SHERPA+）

ヤマトは誰に対してもありがとうの気持ちを忘れない少年

ヤマト YAMATO

級友タカやんのシールで天聖合神を果たして以降、ビックリマンシールの世界に夢中になる。牛若やジャックと共に行動することも増えた

キメる時はキメる主人公

「キャラクター原案の武井宏之先生には、脚本がまだできていない段階からキャラクターを描いていただきました。おかげで表現の幅が広がったと思います。先生がデザインされたヤマトのキリッとした姿から、普段の柔らかなヤマトがいわゆる主人公感を発揮するシーンがイメージできました」（監督・月見里智弘）

『ビックリメン』に出演が決まった時の感想は？

梶田　月並みな感想ですが、ビックリしました（笑）。オーディション合格後に第1話の台本をいただいて、ようやく実感が湧いてきて、「頑張るぞ！」という気持ちになりました。

斉藤　僕は最初のテープオーディションの段階ではフェニックス、牛若、ピーターを受けていました。自分としてはこれまでの経験から、もし受かるとしたら牛若かなと思ったんですよ。そうしたらフェニックス役で決まりまして。僕も32歳になって、主人公たちを見守る大人の立場のキャラクターを担当させてもらえるようになったんだなぁと、嬉しく感じましたね。

梶田　実は僕は、オーディション会場ですぐに結果をお伝えいただいたんです。

斉藤　そうなの？　後日連絡ではなく。その場でどういうふうに？

梶田　オーディション後に「梶田さんだけ残ってください」と言われまして。オーディション本番で、僕は「もっとこうしてほしい」といったディレクションをたくさん受けて、ああ、これは落ちたかなと思っていたんです。音響監督の藤田（亜紀子）さんはすごく愛のある方なので、次に生かすための補習をしてもらえるんだと思って、台本とペンを手にして待機していました。そうしたら、月見里（智弘）監督がいらして「主役のヤマトは梶田さんにお願いしたいと思います。よろしくお願いします！」って。

斉藤　おお～!!

梶田　僕、その場で固まっちゃって、「……はい」としか言えなくて。

斉藤　そんな体験したことないよ！

梶田　アニメのオーディションって、こういうこともあるんだなって思いました。

斉藤　いやいや、そんなのないよ！　すごい経験をしたね！

梶田　ようやく我に返ったら、スタッフの人にスマホで写真撮られまくりました（笑）。

斉藤　なかなかドラマチックな誕生物語ですね。実際に本編で演じて、印象の変化などはありましたか？

梶田　ヤマトくんのビジュアルを最初に見た時、やんちゃな男の子、チャキチャキの江戸っ子みたいな感じなのかなと思ったんです。でも台本を通してヤマトくんと向き合っていくと、すごく心が優しくて、誰に対しても、「ありがとう」の気持ちを忘れない少年だなと分かりました。そこは演じていく中で徐々につかんでいきました。

――ヤマトは見た目に反して、わりと普通の子というか、お人好しで巻き込まれ型ですよね。

梶田　ビックリマンの因子を持っているということで特殊能力は持っていますけど、ビックリマンのことについては何も知りません。そこで巻き込まれつつも成長していく様は、見ている方にも共感してもらいやすいんじゃないかなと感じています。

――頑張る時はしっかり頑張る、芯の強さもありそうです。

梶田　はい。そこは主人公たる所以というか。たとえばデビルストアのマリスと相対した時にはっきりものを言えるのは、ヤマトくんがこれまで育ってきた環境や積み重ねがあるからかなと。

斉藤　フェニックスについては大きく印象が変わったところはなくて、常に微笑みをたたえているイメージですね。ただ、わりとコメディシーンも多いので、そういうところではフェニックスもデフォルメして演じたほうがいいのかなとも思っていたんです。ところが第1話の収録の時に「フェニックスは、どんな時も常に穏やかで浮世離れした感じにしたいです」とディレクションを受けまして。ヤマト、牛若、ジャックの3人は賑やかに掛け合いをしているんですが、そことは会話のテンポ感も距離感も違うんです。その感じが大事なんだというのを聞いて、なるほどなと思いましたね。

――フェニックスが一歩引いているのは店長だからというだけでなく、浮世離れしている人物というのはしっくりきました

因子

斉藤　言葉の掛け方とかも、他のキャラクターとはどこかズレているというか。ヤマトたちに対して過干渉ではないのが、フェニックスの見守り方なんでしょうね。演技の方向性としては、最初はもっと分かりやすく大人っぽく、少し低めのトーンで喋ってみたんです。でも、「むしろ声は高めにしてください」というディレクションがありまして。大人な感じを声色や口調自体で表現する必要はない、ということで。むしろフェニックスは、根本的なマインドセットが大人なんだなと捉えています。

――第1話で合神して活躍するのはフェニックスで、ヤマトは第2話までお預けでした。

梶田　意外でしたね。第2話で親友のタカやんがケガを負って、そこでヤマトくんが奮い立つという流れは、男の子的にワクワクするシーンでした。タカやんからシールを借りて合神するところは、台本のト書きに「ヤマトはためらわない」と書いてあったんです。そこに二人の関係性も見えてきました。フェニックス店長からは「君が使命感にかられる必要はないんだよ」と言われていたし、牛若からは「足手まといだ」とまで言われていて、どこかもどかしい思いを抱えていたところに、そうしたきっかけがあって合神する。その流れが気持ちいいし好きですね。

――その分、フェニックスが第1話の見せ場をさらっていった感じも。

斉藤　（笑）。いきなりフェニックスが戦うんだ、という素朴なビックリはありました。

梶田　ですよね（笑）。

斉藤　フェニックスは大人として、子どもたちが何も気にすることなく健やかな日々を送れる世界にしたいと思っているのかなと。本当は自分も争いたくないけれど、平和な世界のために戦わざるをえないという感じだと思います。「天聖合神」という掛け声を言う時は、「本当は合神したくない、戦いたくないニュアンスを込めてほしい。でも『合神』の部分は、それでも戦わざるをえないと吹っ切った芝居をしてください」という、とても難しいディレクションをいただきました（笑）。

――単純にカッコよく叫べばいいわけではなかったんですね。

斉藤　そうなんです。彼もすべてに達観しているわけではなく、悩みながらも合神している。それが第1話でも描かれていたんです。

――ほかの面々についてもお聞きします。まず高校生アルバイトのジャックの印象は？

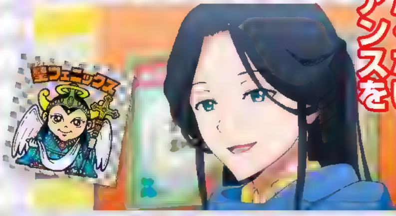
梶田　ジャックは本当にキャラが立っていますよね。というか橘（龍丸）さんのまんま（笑）。ジャックがいるから、ヤマトも気軽にエンジェルマートに行けますし、こういう明るいムードメーカーが一人いてくれるおかげで物語全体がシリアスに傾倒しすぎずにすむのかなと思います。牛若との3人のバランスもすごく好きです。

斉藤　龍丸くんにこの手の役をやらせたら天下一品だなと思います。ヤ

本当は合神したくない、戦いたくないニュアンスを

フェニックス PHOENIX

相変わらずヤマトたちを柔和な面持ちで見守り続ける。一方マリスとも因縁があり、直接会いに行ったりもしているが、果たして？



「フェニックスはヤマトたちの自主性を重んじている大人です。『因子を持っているから戦うべきなんだ』みたいなことは絶対に言いません。第２話でヤマトが因子を持っていると知った時に、前世は前世だよ、とちゃんと言ってあげられる大人として描きたかったんです」（シリーズ構成・綾奈ゆにこ）

マト、牛若、ジャックはアドリブでワイワイするシーンがいっぱいあって、ジャックがそこを引っ張っている印象です。フェニックスはそこに同じ目線で加わらないでほしいというディレクションを受けているんですけど、本当は３人の中に加わりたいです（笑）。それにジャックは、かなりセリフ量が多いんですね。

梶田　第４話では、海外の人と歌でコミュニケーションしたり（笑）。あそこは橘さんは苦労されていたようですけど、橘さん演じるジャックだからこそのシーンですよね。言語の壁を超えた瞬間を見せてもらいました。

――牛若の印象は？

梶田　ザ・雅という感じですね。森嶋（秀太）さんのお芝居もはまっていますし。

斉藤　森嶋さんが牛若をやることでのかわいさが、すごくありますよね。牛若は、ツンケンしているようで実は優しかったり。あと、クールに見えて、お姉さん系のシールへの興味もあったり。

――意外と健全な男子という

梶田　ツンとクールだけじゃない魅力がありますよね。

斉藤　僕は森嶋さんとは長いお付き合いなので、久しぶりにメイン同士で共演できて嬉しかったです。第１話のアフレコでお会いした時、森嶋さんがかわいく両手を振って「壮馬く～ん♪」って（笑）。

梶田　本当にキュートな人ですよね。それに森嶋さんは現場でも率先して雰囲気を作ってくださるんです。おかげで、僕としてもすごくリラックスしてアフレコに臨めました。

斉藤　とってもいい人で、龍くんとはまた違ったムードメーカーなんですよ。この３人は第１話から本当にいい雰囲気だと思います。

梶田　アフレコの後にお二人に食事にも連れて行ってもらって、プライベートのことなんかも喋るんですけど、ヤマト、ジャック、牛若のやりとりもこういうふうにやればいいんだなって。アフレコでもみんなでワイワイ騒いでいるシーンは、素で楽しめるようになりました。

――エンジェルマートの常連、十字架についてはどうですか？

梶田　もっと出番が欲しい～。『ビックリメン』の告知がされた時も、ビックリマンシールのファンの方から「十字架ちゃん出てくるよね？」といった声も聞こえてきていました。今作では、十字架ちゃんとジャックとの掛け合いも一つの見どころです。演じている小倉唯さんのお芝居もすごくかわいいです。

斉藤　十字架ちゃんとフェニックスはそんなに絡むシーンはないんですけど、十字架ちゃんを絡めたヤマトたちの楽しい日常エピソードは、本編に出てこないだけでもっといっぱいあるんだろうなって思います。

梶田　あと、小林ゆうさん演じるオアシスさんも面白いです。他のメンバーは、ストーリーの中でのギャグ要素やシリアス要素という感じなんですけど、オアシスさんは一シーンの中で、一人でギャグとカッコよさを成立させちゃっているところがあって。

斉藤　分かる～！

梶田　ただただ面白くて楽しいです。

斉藤　ゆうさんの役者としてのすばらしさを感じられるキャラクターですね。

――では、第４話で人間姿になったアリババはどうですか？

梶田　彼は、とても苛酷な運命を背負っているんです。でも田丸（篤志）さんが演じることで、儚いだけじゃない愛嬌があります。ヤマトとしては、すごく守ってあげたくなる存在です。アリババくんって、ずっと亀の姿をしてきたからぼんやりしているのかなと思っていたんですが、これまでひどい目に遭ってきた結果、自分の心を守るために今の彼になったんでしょうね。そこをヤマトくんは直感的に感じとったから、自分が何か手を貸してあげたいと考えたんじゃないかなと思います。

斉藤　亀時代のアリババも好きですね。田丸さんのアプローチがめちゃめちゃ面白かったんです。僕は猫のクロも演じているので、田丸さんがどう演じるのか気になっていたんですが、「こう来るのか！」って感じでした（笑）。

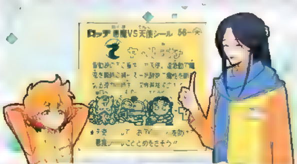
――一本釣は第５話から登場の、もう一人の大人キャラです。

梶田　ヤマトくんの家族で出てくるのはお母さんだけなので、フェニックスに対してはお父さんみたいな感覚があるんです。でも一本釣は「こんなお兄ちゃんがいたらいいな！」みたいな。多くを語らず背中で示してくれる存在です。こういう人が身近にいたら、子どもたちは迷わず進めるだろうなというカッコいい兄貴です。

斉藤　フェニックスも、ヤマトたちと話す感じと、一本釣と話す感じとではちょっと雰囲気が違うんですよ。僕個人としてはそこまで変えてはいないんですけど、一本釣とは大人同士のやりとりだなって感じます。第６話は、一本釣役の梅ちゃん（梅原裕一郎さん）と二人で収録したんですけど、一本釣が子どもたちにプールサイドで金魚釣りの仕方を教える

「ジャックとヤマトは別の高校にしたかったので、ヤマトに親切な友達をと配置したら、思いのほか活躍してしまって（笑）。ビックリマンシールがこれだけ人気があるんだという説得力も出たかと思います」（月見里）

暗躍するマリス、フッド、ピーターは、一般人であるデビル店長の目を盗むように、店舗のバックヤードでコソコソと会議をしている。「いわゆる悪役会議ですが、コンビニの裏でやってるのがお気に入りです。薄暗くしたかった（笑）」（綾奈）



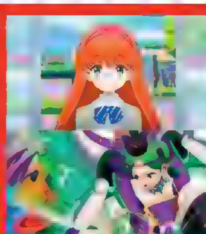
不定期にあるＣパート。「毎回コンセプトを変え、本編では描ききれなかったいろんな要素を短い尺に詰め込んで有効活用しています」（月見里）。第１話は情報コーナー的な内容で、「フェニックスも合神でシールを使うのはそれなりに心を痛めているという心情を拾いました」（綾奈）。第４話は、ヤマトが“開封の儀”をする本編の後日談だ。

前半戦PLAY BACK

シリーズ構成 綾奈ゆにこ

第１話「ビックリなお届けもの!?」

ビックリマンシールの世界を知らなかったヤマトが、その世界に足を踏み入れるエピソード。第１話では合神せず、その見せ場はフェニックス（ロココ）が担った。「ヤマトが第１話から合神する案はそもそもなかったです。まず大人に戦ってほしかったし、『ヘッドロココだー！』[illegible]



第２話「因子を持つ者」

タカやんが黒十字架天女に[illegible]けられ、ヤマトが合神を決意する流れがポイントだ。「やっぱりヤマト自身の気持ちがあった上で、自分の意志で合神させたくて。多様性を認めるという作品テーマもあり、意志が確認するまでは変身させたくないというのがありました」（月見里）。エンジェルマート側の女性キャ[illegible]はこの回が初登場。[illegible]

第３話「交換道中膝栗毛」

十字架天使のシールを手に[illegible]たい牛若の気持ちを軸に、ヤマト、牛若、ジャックの３人が[illegible]く友情を感じるまでを描く。[illegible]に、ヤマトに少しイラつき[illegible]だった牛若が、最後は通じ合[illegible]変化が見どころ。川に落ちた[illegible]のシールを[illegible]水の中に入って探すシー[illegible]な青春ドラマそのものだ。[illegible]

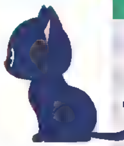
ところで変な声を漏らしてしまうのは、かなり細かいディレクションが入っていました。
梶田　そうだったんですね（笑）。
斉藤　とっても楽しそうに演じていました。梅ちゃんは僕と同い年ですけど、僕がフェニックスを演じるのと同じように、彼も漢気あるキャラを演じるようになってきて、年を重ねるのに合わせて任せてもらえる年齢も上がっていくのは感慨深いです。
梶田　だからこそ、二人にしかない空気感が生まれているんですね。

フェニックスも、一本釣には気を許しているような感じがあります。
——そしてクラスメイトのタカやん。脇キャラながら意外と重要なポジションですよね。
梶田　学校では彼が愛を持ってビックリマンシールについて熱弁してくれています。何か一つのものを好きになって、ここまで純粋に熱量高く誰かに伝えられるって、人として素敵だなって思いますね。だからこそヤマトは、何かあるとまずタカやんに相談しに行くのかなと。シリーズの後半でタカやんがどう物語に関わってくるのかも、一つの見どころです。

デビルストアの面々のドラマにも注目

——デビルストアの人たちについてもお聞きします　まず、フェニックスとマリスとは何か因縁めいたものがありそうです
斉藤　彼らはお互いに対して、独特の感情を抱いているんです。マリス役の小西（克幸）さんとは昔から何度も共演してお世話になっているし、なんなら誕生日も1日違いだったりと、いろいろご縁があって。それで今回、マリスが小西さんだと知って、とても嬉しかったです。今後の放送話数でマリスと掛け合いをするシーンがあるのですが、演じながら心を動かされたというか、とてもぐっときました。物語はヤマトの目線で進んでいきますが、マリスももう一人の主人公かなと思うんです。今はまだよく分からない人に見えていると思いますが、マリスの視点で物語を見直すと、また違ったものが見えてくるのではと思います。
——マリスのドラマにも、乞うご期待と。
斉藤　ぜひとも、後半戦のマリスに期待してほしいです。第1話で間違って届いたビックリマンチョコのシールを勝手に開封して、「私が弁償する」とか言い張っていた男がね（笑）。
梶田　「君が弁償するか？」とか冷たく言われて。ヤマト的にはヤバかったです（笑）。
斉藤　何を言ってるんだこの人!?みたいな（笑）。
——同じくデビルストアのフッドやピーターの印象はいかがですか？
梶田　フッドは乱暴者で、第1話でもフェニックスに食ってかかって、急に合神して戦いを挑んできたりして。だけどどこか憎めないので僕は好きです。彼の生い立ちについては今後描かれていきますが、光にも闇にも傾くことができるから、その危うさもあって魅力的だなと感じます。ピーターもただかわいいだけじゃなくて、第1話でも照光子を襲うシーンもあるし、見た目とのギャップがあります。でもピーターは純粋なんだろうなって感じます。自分がすがれるものに対する思いとか。
斉藤　つまりマリスに対してね。僕もこの二人は、若くてまだ青いという印象です。フェニックスは敵か味方かで世界を見ていないと思うんです。彼にとってはフッドもピーターも、ヤマトたちと同じように日々を健やかに生きてほしいと願う存在だと思います。単純な善悪二項対立の物語ではないので、この二人にもそれぞれの救いが訪れるのかに注目してほしいです。
梶田　なるほど。ヤマトを演じている僕から見ると、フッドやピーターはわりと同じ目線で捉えちゃうんですけど、フェニックスを演じている壮馬さんから見ると子どもでしかないんだなぁ。演じているキャラクターによって感じ方が少し変わるのも面白いですね。
——この他、印象深いシーンはありますか？
梶田　やっぱり第1話でしょうか。それまでのヤマトくんの日常に、ビックリマンシールの世界という非日常が入ってくる流れです。そういう展開は個人的にもわくわくしました。さらに第3話、第4話と牛若やジャックの過去にも触れつつ、牛若がカーン先生とシールの交換をしようとしたり、ジャックが歌の力を借りて海外の人と触れ合ったりとか。ビックリマンを通して、老若男女問わず、言語の壁も超えた交流が描かれているので、そういう一つ一つのシーンも楽しんでもらえていたら嬉しいです。
斉藤　僕はさっきも言った、第1話のマリスがシールを開封しちゃうシーンですね（笑）。ここに限らずコミカルなシーンは多いんですけど、演技としては意外とアニメ的なデフォルメはしないでほしいというディレクションになっているんです。このマリスの淡々としたユーモアが、『ビックリメン』での一つの方向性を打ち出した気がして。
梶田　確かにそうかもしれません！
——では、最後にファンへのメッセージをお願いします。
梶田　後半も、ギャグとシリアスがいいバランスでテンポよく描かれつつ、さらにドラマが奥行きを増して広がっていきます。大事な場面がたくさんあるので、見逃さずに最後まで楽しんでいただけたらと思います。
斉藤　人が何に説得力や包容力を感じるのかというと、やはり表層的な声色や口調ではなく中身の部分、もっと根源的なところなんだなと。それって役者にとって、ごく初歩的なことですが、やはり芝居の神髄でもあるなと。それを今一度、フェニックスによって気づかされました。これから物語が核心に迫っていきますが、皆さんにはシンプルに楽しんでいただきつつ、それぞれの捉え方で味わってもらえたら嬉しいです。

斉藤さんの兼ね役
黒猫のクロ



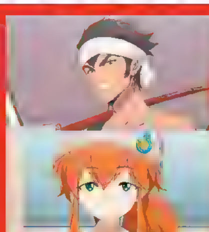
梶田　壮馬さんとは、最初の頃はクロ役でやりとりするほうが多かったですね。
斉藤　本編では、フェニックスよりクロのほうが先に喋っているくらいだからね。「にゃ～ん」って。
——どういう経緯で、クロも演じることになったのですか？
斉藤　指名です（笑）。第1話の台本に「クロ：斉藤壮馬」って書いてあったんです。
梶田　ビックリしましたよ（笑）。
斉藤　僕じゃなくてもできそうな方、いっぱいいるだろうにね。第1話で演じてみたら、音響監督の藤田さんが「思ったよりかわいいな」って。
梶田　言っていましたね（笑）。
斉藤　やったぜ、と思いました（笑）。演じていて楽しかったです。僕、なぜか猫役を定期的にやることがあるので、これもご縁ですね。それにクロを演じることで、フェニックスの出てこない話数でも一緒に収録できて嬉しかったです。

第4話
「NO BIKKURI, NO LIFE.」

[illegible]ックが主役となるお話[illegible]ベーシストという新たな一面も見ることができる。クライマックスで合神して[illegible]シーンが最大の見せ場[illegible]クの特殊EDもトピッ[illegible]ヤマトたちはシールを[illegible]市・はむら市の様々なところを歩き回[illegible]が、舞台のモチーフとなっている福生市や羽村市のご当地ネタ的な要素もある。

第5話
「釣竜釣竜」

アリババが亀の姿から[illegible]大暴走に。天涯孤独だった生い立ちや、マリスとの関わり合いも語られることになる。悪魔にされ、敵側に利用され続ける不幸な運命を背負うアリババ。しかし、過去は過去にすぎないと、今の彼を信じるヤマトの気持ちが胸を打つ。また一本釣も初登場。ヤマトの悩みに豪快な答えを返す人柄が楽しい。



第6話
「日曜日のブララ」

いわゆる水着回。といっても、大きくフィーチャーさせるのは牛若、ジャック、フッド、ピーターの少年組。女体化変身＆水着という、おバカなノリのコミカル回だ。Bパートのシール争奪のビーチバレーも愉快で、敵として描かれてきたフッドとピーターの憎めない部分もここで垣間見ることができる。

ウマ娘 プリティーダービー Season 3

◆毎週水曜日◆深夜0時◆TOKYO MX、BS11ほか
HP◆https://anime-umamusume.jp/　X(Twitter)◆@uma_musu_anime
©2023 アニメ「ウマ娘 プリティーダービー Season 3」製作委員会

最高の親友（ライバル）

譲れない想いを胸に、いくつもの苦難を乗り越えたキタサンブラックとサトノダイヤモンド 二人の歩む道が、いよいよターフの上で交わる！

サトノダイヤモンド
菊花賞を制し、GⅠ勝利という一族の悲願を成就させた。お淑やかな性格だが、一度決めたことをやり遂げようとする頑固さも持つ

キタサンブラック
ダイヤの影響を受けて、どんな困難も打ち破ろうとする強い意思を手にした。明朗快活で誰とでも距離を縮めることのできる一面も

幼いころからの親友である、キタサンブラックとサトノダイヤモンド。キタサンは憧れのトウカイテイオーのような スターになるという夢を叶えるため、ダイヤは一族の悲願であるGⅠ制覇を成し遂げるために、レースの世界へと飛び込んだ。

二人はそれぞれ困難にぶつかりながらも、自身と境遇が近い先輩ウマ娘の言葉、仲間やファンの応援を、自分の力に変えて乗り越える。その中には、かけがえのない幼なじみの存在もあった。キタサンが天皇賞（春）に向けての強化合宿で挫けそうになった時、彼女に力を与えたのは、凛然と困難に立ち向かう意志を見せたダイヤの強さ。ジンクスにとらわれたダイヤが自信を取り戻すきっかけを生んだのは、彼女の身を案じるキタサンの優しさ。ひたむきに頑張る姿やお互いへの思いやりが、二人の成長につながった。

折り返し地点を迎えたキタサンとダイヤの物語。後半戦ではついに、二人の直接対決が描かれそうだ。支え合い、励まし合ってきた親友が、同じレースで勝利を争うライバルとなった時、二人はどんな想いを胸に走るのだろうか。

新たなスタート

弱くて、ズルくて、カッコ悪い自分に悩むキタサンに救いの手を差し伸べたのは、彼女のようにトウカイテイオーへの憧れの気持ちがあったナイスネイチャだった。泥臭くもがき、あがき、[illegible]を掴んだキタサンは僅差で菊花賞に勝利し、新たな道を歩みだす。

失意のどん底

皐月賞、日本ダービーでドゥラメンテに敗北したキタサンは、リベンジに向けて練習する中、ドゥラメンテが骨折したと知る。世間から注目されるドゥラメンテを羨み、彼女がいなければ菊花賞に勝てるかもと考えたキタサンは、自分自身に失望してしまう

託されたもの

初の有馬記念(作中では馬の点は二つ)出走で奮い上がるキタサンと、今回の有馬を<トウインクル・シリーズ>でのラストランに決めたゴールドシップ。悪命に走る二人だが、1着を逃す結果に終わった。ゴルシから一面だけ描ったキューブを託されたキタサンは、さらなるG1制覇を誓う。

サトノ家の誇り

キタサンがクラシック戦線を駆けるかたわら、トレーニングを重ねていたダイヤに、デビュー戦の日が訪れる。キタサンやサトノクラウンたちが見守る中、ダイヤは素晴らしい末脚を見せゴールイン。<トウインクル・シリーズ>デビューを華々しい勝利で飾った。

猛特訓の末に

さらなる成長のため、ミホノブルボンのハードトレーニングを受けるキタサン。なかなかタイムが縮まらず弱気に、なるが、皐月賞で敗北しても凛とした姿を見せるダイヤに元気をもらう。特訓を乗り越えたキタサンは天皇賞(春)で、二度目のG1優勝を手にする。

秋空の皐月賞

サトノ家の悲願であるG1レース初勝利を目指し、皐月賞に向けてトレーニングに励むダイヤだったが、敗北を喫してしまう。不利もあったが、「実力が十分にあれば覆せたはず」と、記者たちの前で毅然とした態度で答えた。

因縁の対決

幕を開けた宝塚記念。自身の変化を感じながら先頭を走るキタサンだったが、怒涛の追い上げを見せたドゥラメンテに差されてしまい、3着という結果に。しかし、ドゥラメンテに自身の強さを認められたキタサンは、喜びの中でドゥラメンテと再戦の約束を交わす。

ドゥラメンテ

クールな性格で、凱旋門賞制覇に向けて努力を重ねる。キタサンに"ドゥラちゃん"と呼ばれて一瞬戸惑うも、密かに笑みを浮かべた。

"怪物"の帰還

次の目標を宝塚記念に定めて練習に励むキタサンは、復帰したドゥラメンテが宝塚記念に出走すると知る。偶然ドゥラメンテと会い、凱旋門賞勝利という夢に挑む彼女の心に触れたキタサン。彼女はドゥラメンテに、成長した自分の走りを見せつけると宣戦布告する。

自分を信じて

ダイヤのもとを訪れたのは、キタサンから彼女の話を聞いたメジロマックイーン。「積み重ねた努力は、貫き続けてきた想いは、後付けのジンクスなどで揺らぐものではないのです」。憧れのマックイーンの言葉で、ジンクスにとらわれていたダイヤの心は晴れる。

ジンクスの壁

ダイヤにとって二度目のG1レースである日本ダービー。大接戦を繰り広げるも、落鉄によって末脚を発揮することができず、惜しくも2着という結果に。"サトノのウマ娘はG1を勝てない"というジンクスが頭をよぎるダイヤだが、菊花賞での勝利を決意する。

恋鞭の勝利

マックイーンやキタサンに励まされたダイヤは、菊花賞当日を迎える。サトノのウマ娘たちの想いを背負い、磨き続けた自分の強さを信じて、ダイヤは全身全霊でレースを駆ける。他のウマ娘を突き放す、圧倒的な勝利を収めた彼女は、ターフの上で大粒の涙を流す。

迷走するあれこれ

サトノのジンクスを必要以上に意識してしまうダイヤ。占いのアドバイスと逆の行動を取ったり、風水の結果を受けてあえて不幸を呼び込む場所に向かったり、学園の七不思議に挑んだりと、ダイヤはジンクス破りの特訓に乗り出すが、キタサンに心配されてしまう。

——アフレコについて伺いたいのですが、第2期の時はコロナ禍の真っ只中でしたよね。

矢野　はい。第2期はほぼ私たち二人だけで録っていた記憶があります。

立花　そうだね。ずっと二人でやっていました。

矢野　今回も最初は分散収録だったんですが、途中から集まって録れるようになり、出演者全体の半分くらいの方と一緒にアフレコできました。

立花　第3期はダイヤとキタちゃん、クラちゃん（サトノクラウン）、シュヴァル（シュヴァルグラン）の4人で、ご飯を食べたりするシーンが多いんですよね。今までずっとキタちゃんと二人だったのに、当たり前のように4人組で馴染んでいるのが、なんかすごいなって（笑）。

——サトノクラウン役の鈴代紗弓さん、シュヴァルグラン役の夏吉ゆうこさんも、すぐ現場に溶け込んだんですね。

立花　二人ともすごく上手ですし、すぐに馴染んでいました。

矢野　何をやっても受け入れてくれるんです（笑）。

立花　真面目だけどちょっと抜けているクラちゃん、ツンが入っている僕っ子のシュヴァルで、絶妙にキャラの調和が取れているんですよね。掛け合っていて、とても落ち着きました（笑）。

お互いの存在に支えられて

キタサンブラック役

矢野妃菜喜

Tachibana Hina
6月14日生まれ　宮城県出身　アーツビジョン所属
最近の出演作は『うちの会社の小さい先輩の話』（片瀬詩織里）、『魔都精兵のスレイブ』（大川村寧）ほか

サトノダイヤモンド役

立花日菜

——アフレコで印象に残っていることはありますか？

立花　第8話の商店街のシーンじゃない？　妃菜喜ちゃん、泣いてたもん。

矢野　そう、私テストの時にボロ泣きして（笑）。

立花　私もテストで感動しちゃった。すごく良かった。

矢野　セリフが被っちゃうから、本番では一緒にアフレコできなかったんですよね。でも、キタちゃんはこうやって周りの方たちに支えられて、頑張ることができているんだという空気が感じられました。

立花　商店街の人たちに愛されてる感じがね。

矢野　「みんなでアフレコできて良かった」と特に実感したのは、商店街の人たちとのシーンかもしれないです。

——第3期ではキタサンとダイヤそれぞれのレースシーンも描かれましたが、アフレコはいかがでしたか？

立花　レースシーンは大変でした……（笑）。

矢野　レース中は実況やセリフが挟まるから、どこで息を入れたらいいのかが、そもそもわからなかったんです。それに「キタちゃんはスタミナがすごくあるから、そんなに息を切らさないでください」「アスリートみたいな走り方をしてほしい」とディレクションを受けて（笑）。

立花　「疲れないでください」って言われていたね（笑）。

矢野　「どういうことですか？」って思いました（笑）。実はキタちゃんって、走り方が3種類くらいあるんですよ。お話の中での成長や体調に応じて、走り方も変わっていったんです。監督の及川啓さんや音響監督の森田祐一さんが、その都度「こういうアプローチはどう？」とお話してくださって。それに乗っかって演じさせていただき、その時々のキタちゃんの走り方を完成させていきました。すごく難しくて、今までやってきた先輩たちの凄さを改めて感じました。

立花　そうだよね。

矢野　あと酸欠になります（笑）。ここまでで……

立花　なります（笑）。ここまでダイヤにがっつりレースシーンがあったのは第6話の菊花賞くらいで、妃菜喜ちゃんほど体力的な苦労はなかったんですが、逆に「ここで決めないと！」ってメンタル的な大変さはありました。この一回にかける想いは大事にしなきゃ、と。第3話のゴルシ（ゴールドシップ）のラストランは、ゴルシ役の上田瞳さんも大切なレースシーンだからとても気合が入っていて、「こうしたい」と相談されながら演じていたんです。その姿を見て、私も菊花賞にかけるダイヤの気持ちをちゃんと表現したいと思いました。ダイヤが初めてサトノ家のジンクスを打ち破って勝つ、そんな大事なレースをしっかり決めなきゃと、台本を受け取ってからアフレコまで、プレッシャーを感じていたんです。これを毎週のようにやっている妃菜喜ちゃんはすごいなって。

矢野　ダイヤちゃんと逆に、キタちゃんはほぼ毎回レースがあったから。

立花　上田さんや妃菜喜ちゃんのレースを頭の中で思い返しながら、ダイヤなりに走ることを意識していました。

矢野　第6話は心配しすぎて、アフレコブースで見守っていたんです。キタちゃんの出番はないのに（笑）。

立花　そうだったね（笑）。

矢野　あの時はひーちゃん（立花さん）とメジロマックイーン役の大西沙織さんが、二人でアフレコしていて。先輩と二人きり、っていうのも緊張するじゃないですか。

立花　大西さんとマイク前でがっつり掛け合ったのは、たぶんそこが初めてでした。シーン的にも、ダイヤが緊張している自分を見せないよう「大丈夫です」「勝ちます」と言っているのを、マックイーンさんが優しくほぐしてくれる、という流れで。ガチガチになっていたところを、マックイーンさんの言葉を聞いて柔らかくなっていくことを意識して演じました。私も緊張していたから、妃菜喜ちゃんがいてくれたのはとても心強かったし、大事な場面で大西さんが一緒に録ってくださったことが、すごく嬉しかったです。

——ある意味、立花さんとあのシーンのダイヤの心情がシンクロしていたわけですね。

かわいい！　ネイチャ先生

ナイスネイチャ

チーム<カノープス>所属のウマ娘。意気消沈のキタサンを励まし、[illegible]から"ネイチャ先生"と慕われ、頼りにされるようになった

矢野　ほかのキャラだと、ネイチャ（ナイスネイチャ）役のかおりん（前田佳織里さん）とは結構掛け合いでお芝居ができました。キタちゃんが「とにかく助けて！」って泣きすがってくるのを、ネイチャが絶妙な受け止め方をするんですよね。キタちゃんに頼られたから悩みを解決してあげようとする反面、「私は3着なのに何回1着を獲っているんだ」と葛藤する感じが本当にかわいい（笑）。

立花　そうそう。

矢野　それでも、ネイチャはすごく優しい子だから、真摯に毎回毎回向き合ってくれて。キタちゃんとしてすごくありがたいですし、私自身は「もう、かわいいな！」って思いながら見ていました。第3期の中だと、個人的にはかなり好きなキャラです。それに、チーム<カノープス>にも新メンバーが入って、ツッコむのが大変そう[illegible]

立花　[illegible]

矢野　どんどんボケキャラが増えるから（笑）。

そうかもしれないです。

矢野　あの時はいつもとなんか違っていたもん。

本当？　じゃあ、ゾーンに入っていたのかも（笑）。

——キタサン、ダイヤを含めた第3期のメインキャラ6人が歌うOP「ソシテミンナノ」の印象を教えてください。

矢野　またいい曲をいただけたな、と思いました。出だしの「勝ちたい」からして、すごく『ウマ娘』らしいなって。

結構熱血なんだよね。

矢野　そう！　やっぱり主役のキタちゃんがかなり熱血な子だから、そのOPに相応しいというか。歌詞も希望を感じる部分はありつつ、「何度だって」みたいに諦めない気持ちや、挫けてもそこから這い上がるような、力強い感じのフレーズが多いんです。

だって、（Aメロが）「絶望しても」から始まってもんね、あんな明るい曲調なのに。そこがすごく面白い。

矢野　確かに。歌うのが難しかったよね。

うん。キタちゃんにはとてもピッタリな曲だけど、ドゥラちゃん（ドゥラメンテ）みたいな静かめな子たちがどう歌ったのかすごく気になる、一トレーナー（※『ウマ娘』ファンの通称）として（笑）。私は録ったタイミングがちょうど、第6話のアフレコの後だったから、強いダイヤをイメージしやすくて、あの話のレースの時の表情感でレコーディングできました。

——ある意味、タイミングが良かったんですね。

第6話を録る前だったら、たぶんどう歌うかすごく悩んでいたと思います。

——そんな第6話のEDは、ダイヤのソロ曲「夢のこたえ」でした。

この曲は落ちサビがなかなか上手にできなくて、何度も録らせていただきました。「ロストシャイン」を歌った時の妃菜喜ちゃんみたいに、泣きの演技もしてほしいけど、極力歌にしてほしいってディレクションを受けたんです。あまりニュアンスは入れすぎず、でも声がたまに震えたり、息が詰まったりする感じを出すという表現に苦戦しました。あとはレースに勝った後の歌だから、笑顔感、多幸感は大事にしたくて。曲調自体はそこまではっちゃけた感じではないので、淑やかに幸せを感じながら、「宝石」「涙」「大切」「夢」など歌詞も大切に歌わせていただきました。

——お話を伺っていると、かなり難易度が高い歌だったんですね。

結構難しかったです。歌というかお芝居みたいな感じで。

矢野　ダイヤちゃんはもともとの歌い方がかわいいしね。

そうそう。この曲が流れている場面のキタちゃんやクラちゃん、トレーナーさん、サトノ家のみんなが、泣きながら喜んでくれている表情を思い浮かべながら、レコーディングに臨みました。

——お互いの役の第3期で魅力的なところは？

矢野　第3期のダイヤちゃんはかわいらしい面がありつつ、カッコいいところ、強いところが出ていた気がします。

立花　確かに！

矢野　私が想像していた以上に芯が強かったです。もちろんキタちゃんとして、ダイヤちゃんの隣にいたつもりではあるんですが、今まで見たことがない表情がどんどん出てくるというか。「あ、ダイヤちゃんってこんな表情や声色も出るんだ」と感じていました。それに対して、キタちゃんが戸惑うところもあって。あと、今回はあんまりボケてないんです（笑）。

立花　第6話で走るまでは、ちょっとボケも言っていたんだけど（笑）。

矢野　そうだね（笑）。かわいい顔してカッコいい、そのギャップが素敵だなと思いました。

立花　キタちゃんはとにかく素直で、真っ直ぐなところが一番の魅力だと思います。誰に対しても分け隔てなく接して、笑顔をあげられる。それでみんなに愛されるって、誰にでもできることじゃないと思うんです。お助けキタちゃんだからこそ、商店街の人たちにもあんなに好かれているわけですし。それから、「あたしはキタサンブラックだ」ってセリフが本当に好きで……。「自分は自分だ」という確信を持っていないと言えない言葉だし、真っ直ぐなキタちゃんが言うからこそ、刺さるような気がします。

——第3期の二人のシーンで、印象的なところを挙げるとしたらどこでしょう？

矢野　部屋の中とか一緒にいるシーンはあるんですけど、ここまでは二人ともそれぞれ頑張っていて、お互いの姿を見て何を感じ、行動するかってところが描かれていたと思います。本格的に交わっていくのは、この先のお話からなんです。

立花　〝仲間でライバル〟の仲間の部分が前半戦で、ライバルの部分が後半戦ってイメージがあります。

矢野　そうそう。

立花　私、皐月賞の二人のシーンがすごく好きなんです（第4話）。キタちゃんがミホノブルボンさんと修行している時に、皐月賞でダイヤが走ることを思い出して、走ってレース場まで見に来てくれて。会話は交わさないけど、ダイヤの姿を見てキタちゃんが「自分も頑張ろう」と思ってくれる。直接関わりを持たなくても、お互いが支えになっているんだとすごく感じて、二人は本当に仲が良いんだなと思いました。今後、お互いのことが支えになっていることがより如実に表れてくるので、尊みを感じてほしいです（笑）。

矢野　あの回は体力的に一番大変だった（笑）。

立花　大変そうだった（笑）。

矢野　ずーっとトレーニングしたり走ったりしていて（笑）。でも、キタちゃんはそんな状態なのに走ってダイヤのレースを見に行くんですよ。スタミナがすごい（笑）。

立花　タフだよね、本当に（笑）。

矢野　しかも、そのあとまた走って帰ってきますから。もうわけがわからない（笑）。私は寮でのシーンが印象的です。朝起きた時にいる、いないって確認しているんですよね。そこがルームメイトならではだし、「今日も練習に行ってるんだ」「頑張ろう」と思っているのが良いなって。

立花　部屋の中が細かく映るのは、アニメならではだと思う。ベッドの脇にお互いのぬいぐるみを置いているのが、メチャクチャかわいい（笑）。キタちゃんのほうには、テイオーさん（トウカイテイオー）のでっかいポスターが貼ってあって。

矢野　額縁もすごかった。「東」「海」ってうちわもあるし。

立花　どんな生活しているんだろう、って思います（笑）。かわいい。

——第7話以降の見どころを教えてください。

矢野　第7話はカッコいいサトノダイヤモンドが見られる回です！

立花　ビックリすると思います。

矢野　ね！　台本読んだ時に「どうやって演じるの!?」って言ってたよね（笑）。

立花　言ってた（笑）。アフレコの時に及川監督から「今日のダイヤはラスボスで」と言われて、「ラ、ラスボスですか……」ってなっていました（笑）。

矢野　「もっとラスボス感を」ってたくさん言われていて。

立花　そう、「もっと強くていい」って（笑）。ゲームとかだと、ほわほわお嬢様だから。

矢野　温度差で風邪を引いちゃうかも。

立花　ゲームのイベントストーリーで、ちくわをくわえながら後ろ向きにドリブルしていた姿が想像できないくらい、カッコいいダイヤが見られると思います。

一同　（笑）。

立花　キタちゃんもこの先、レースに対する気持ちが変化していくし。

矢野　キタちゃんにとっては、衝撃的な展開もあるんですよね。カッコよくて強いところを見せるダイヤに対して、ここからキタちゃんがどう頑張っていくのか。そこが後半戦の見どころだと思います。

ゴルシらしいラストラン

ゴールドシップ
有馬記念を最後に〈ドリームトロフィーリーグ〉へ移籍。破天荒で飄々としているが、キタサンに先輩らしい振る舞いを見せることも

ゴルシのラストランはすごく感じるものがありました。

そうだね。アフレコも一緒にできました。

今ガムシャラに何かを頑張っているとしても、絶対にいつか何かしらの区切りは来るもので。どう終わらせるのかを考えるのがすごく深いし、人生と一緒だなと思いました。上田さんの演技を隣で見ていた分、なおさら最後に賭ける想いみたいなものを感じました。たぶんゴルシファンの方も、アニメでゴルシのレースが見られることを待っていたと思うんです。ラストランは切なさやつらさがありつつ、最後は先輩としてカッコいい姿も見せてくれて。走る前はギャグシーンもありましたし（笑）。

矢野　「本当にラストラン走るの？」と思うくらいのおふざけシーンが（笑）。

上田さん、現場で無茶ぶりされていたよね。回想シーンみたいなところで「全部にアドリブ入れてください」って言われて（笑）。

矢野　あった、あった！　しかも、「もう1パターン！」みたいに言われなかった？

[illegible]

矢野　楽しみだね。

楽しみ。真面目なところ、面白いところ、カッコいいところが描かれた、ゴルシらしさが詰まっている話数だったから、第3話は結構お気に入りかもしれません。

い職場！

してきた同僚も。愉快な職場で、桃瀬の苦い記憶が塗り替えられていく！

パワハラ上司からの転職、新しい職場で心機一転！

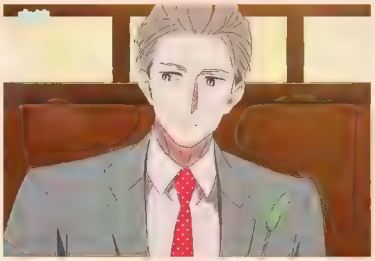
パワハラ上司からのパワハラが原因で転職し、新しい職場で心機一転！ 新しい上司・白崎主任のど天然っぷりに癒されながら、桃瀬は少しずつ過去のトラウマを克服していった。

その一方で、新たに転職してきた金城と教育係・青山課長との関係にも注目だ。初めは白崎主任ばかりを気にしていた金城だが、青山課長のノリの良さや仕事ぶりに感銘を受け、良い関係を築いている。

こうして賑やかになった職場で仕事をするうちに、桃瀬の緊張はほぐれ、自然と笑顔が増えてきた。人間関係にストレスを感じることなく、新たな企画も順調に成功させ、自分に自信がついてきたのだろう。

ここまでほのぼのとした展開で進んできた本作だけど、6話目のあらすじでは雰囲気が一転。桃瀬の元上司が登場し、直接対決が……!?

心に深く刻まれたトラウマを、桃瀬は克服することができるのだろうか――。



「と、かつぐほど天然な白崎たか、仕事に対する集中力は高く、業界に関する天然はしない。また、いい広告を作るためなら苦手なものにも立ち向かう。そんな白崎の姿に感銘を受けた桃瀬は、より一層仕事に励む

ほんわかしてもらえるように

監督・阿部記之

寝る前のちょっとした癒しのひとときを

まずは、原作漫画を読んでの印象を教えてください。

阿部 ショートのギャグ、コメディーで構成されていますが、人を思いやるいい話が作品全体に散りばめられていて、それが読み手を引き込み、温かい気持ちにしてくれる作品だと思いました。

アニメにするにあたり、大切にしたいと考えたポイントは？

阿部 大切にしたのは、癒しです。疲れて家に帰ってきた女性たちに、寝る前のちょっとした癒しのひとときを。このアニメでほんわかと気持ちよくなってもらい、眠りについてもらえたらと、スタッフ一同考えて作りました。この「癒し」がコンセプトなので、笑いを充実させるよりも、全体として穏やかに、ほんわかとしてもらえるように、一話数で一つのまとまりになるよう構成してもらいました。また、会社を舞台にした4人の上司と部下ものですが、本編でやっていることはファンタジーです。なので、舞台となる会社や取材先、住んでいるマンションなど、美術的にはなるべくリアルにしています。とはいえ、こんな人はなかなかいないようなど天然な上司の話なので、それとは反対のかわいいイメージカットもたくさん入れて、バランスをとっています。

白崎と桃瀬の関係性については、どのように捉えていますか？

阿部 例えば男性向けのアニメで、アイドルになろうと頑張っている仲良し女子グループという設定があったとして、それを観ている男性は、女性の本当のところは知りたくなくて、ただ仲良く頑張るいい子たちに癒されているんだと思います。この作品はその逆なんだろうと思っています。男の私から

白崎と青山

自分の「かまってちゃん」発言にいい「クション」を返す金城に、青山は目をかける。転職したての金城は、白崎の優しさと天然な行動に目を奪われていたが、青山や他とは違う独自の目線で広告を作っていることに気づき始める。

パワハラ
あるあるな
通じる

桃瀬と金城

前の職場の上司がパワハラだったという共通点から、転職してきた金城ともすぐに打ち解けた桃瀬。休憩中に、パワハラあるあるが話題になると、仲良く意気消沈してしまうが、白崎の天然に癒されて二人の空気は軽くなる。

白崎と青山

実は昔、白崎が教育係だった青山。かつて自分と同じようにパワハラを使って部下を追い詰める広告制作の仕事に使用・体験することで疲れた…と言われると、つい教えを乞うて（？）白崎に成長を期待し、頼っている。

癒やし 癒やされ 楽し

ど天然な上司と、かまってちゃんな課長、そして自分と同じくパワハラで転職

新しい上司はど天然

毎週土曜日 夜11時30分 TOKYO MXほか
HP https://www.do-tennen.com/
X(Twitter) @do_tennen_anime
TikTok @do_tennen_anime
©いちかわ暖(秋田書店)／「新しい上司はど天然」製作委員会

すれば、こんな関係はリアルにはあり得ないのですが、女性から見ると、社会人男性が、女子高生みたいにキャッキャしているのがかわいいと感じる（もちろん美形限定ですが）。そこがこの癒しのポイントなのだと考えています。

白崎役の梅原裕一郎さんや桃瀬役の西山宏太朗さんのお芝居はいかがですか？

阿部 お二人とも、とても素晴らしいです。原作を読んで理解して演じられていることが伝わってくるので、特にオーダーしたこともありませんでした。

三人の成長に期待!!

白崎＆桃瀬、白崎＆青山、桃瀬＆金城は、それぞれ違った会話の雰囲気や関係性が描かれるのも見どころの一つですね。

阿部 全員それぞれネガティブなところを持っています。そして、現実ではあり得ないレベルの超優しいど天然の白崎によって、みんな癒されています。アニメを観た皆さんも、「こんな上司いるわけないけど、いたらいいな」と感じてもらえればと思います。

阿部監督自身がお気に入りのペアは？

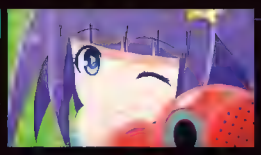
阿部 猫好きなので、白桃とくまってちゃんのペアには、癒されています。

6話目以降の見どころを含めて、読者にメッセージを！

阿部 5話目までで、4キャラ＋白桃の人となりが見えてきたと思います。作り手としては、どの話数が印象に残るとかではないのですが、観ている方の推しが見つかってくれたらうれしいです。6話目以降は、まだ漫画になっていない白崎と桃瀬の成長を、原作のいちかわ暖先生にネームやアイデアいただいて、描いております。ぜひご期待ください。

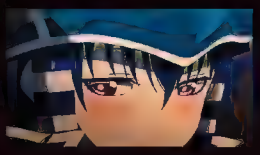
「プラネット」

戦闘やダンジョン攻略だけが「プラネット」の遊び方はではない。メイのようにホームの整理やガーデニング、料理を楽しむプレイスタイルもあり、楽しみ方は人それぞれだ。



ピコの想い

「黒い鳥」を手に入れるため、「海賊団」が"赤羽一家"に宣戦布告したように見えたが、実はピコの目的はイチ。何度断られてもイチを勧誘するピコの一途な想いにも注目！



仮想世界の家族

「黄昏の丘」を拠点に活動し、最強の廃人集団である"赤羽一家"。他のプレイヤーからは恐れられているが、実際はボスの士郎を中心にして、家族のような絆があるパーティーだ。

理想と現実の世界

電脳世界を舞台に、現実世界で崩壊した家族の繋がりを描いたアニメ「グッド・ナイト・ワールド」が配信中！「プラネット」の中の物語が、次第に現実をも巻き込んでいく!?

マナ／有間心愛

最強パーティー"赤羽一家"の要となる存在で、非常に口が悪く好戦的。現実世界では6年間引きこもり生活を続けているネトゲ廃人

メイ／有間雅

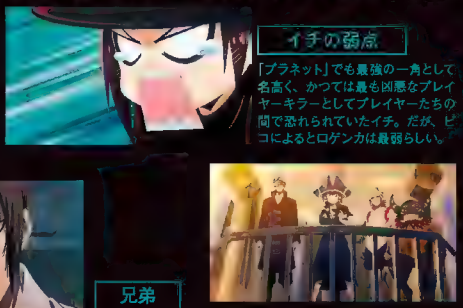
"赤羽一家"の一員で、優しく朗らかな性格のお母さん的存在。現実世界では太一郎の母で、家を出てネットカフェで寝泊まりしている

ああああ／有間明日真

"赤羽一家"の一員で、マイペースかつ穏やかな性格。名前と衣装は適当に決めたそう。現実世界では太一郎の弟で、超のつくほど優等生

赤羽士郎／有間小次郎

"赤羽一家"の頼れるリーダーで、一家の絆より「黒い鳥」に執念を燃やす。現実世界では太一郎の父で、「プラネット」の設計者



イチの弱点

「プラネット」でも最強の一角として名高く、かつては最も凶悪なプレイヤーキラーとしてプレイヤーたちの間で恐れられていたイチ。だが、ピコによるとログン力は最弱らしい。

兄弟

片や6年間引きこもりのネトゲ廃人、片や成績優秀で運動神経抜群の優等生。太一郎が明日真にコンプレックスを持つのも仕方ないが、明日真はどう思っているのだろうか？

海賊団

メンバー総数3000人の巨大ギルド。ならず者たちが多く、迷惑行為を働くためプレイヤーたちからのヘイトが高い。ピコを中心に、組織として上手く機能しているように見えるが。

ネットゲーム「プラネット」において最強と呼ばれる4人組パーティー「赤羽一家」。他のプレイヤーたちから廃人集団と揶揄される彼らは、リーダーの士郎を中心に疑似家族を作ってゲームを楽しんでいた。しかし、互いには知らないが、彼らの正体は現実世界で崩壊した本物の家族で――!?

引きこもりの長男、優等生の次男、我が子から尊敬されない父親、家庭を顧みない母親。そんな家庭環境でありながら、お互いの正体を知らないため、ゲーム内では幸せに暮らしていた4人。だが、運営から発表された「黒い鳥」というモンスターを討伐すると、現金3億円がもらえるというイベントをきっかけに、物語が大きく動き出す。

「赤羽一家」を中心に、「海賊団」「グラナダ商会」など他ギルドとの戦いや、「黒い鳥」をめぐっての計略など、「プラネット」内での展開はもちろん、現実世界での有間一家の問題をどう解決していくかも見どころのひとつ。すでにNetflixにて全12話が配信されているので、イチたちの物語をぜひチェックしてほしい！

グッド・ナイト・ワールド

※Netflixにて独占配信中　HP※gnw-anime.com

©岡部岡・小学館/GLM　©ANYCOLOR,Inc.

レオン

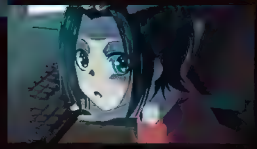
「プラネット」最大のギルドであり、"赤羽一家"唯一の同盟ギルドでもある「グラナダ商会」のマスター。最古参プレイヤーの一人。

ピコ

ならず者たちが集うギルド「海賊団」のマスター。古参プレイヤーで、かつてコンビを組んでいたイチに対し特別な感情を抱いている。

過去の父子

世界一のIT企業・グリーム社でエンジニアとして働いていた小次郎。太一郎がネットゲームにハマったのも、幼き頃に小次郎が隣でパソコンの扱いを教えていたからかもしれない。



私の宝

イチと組んで好き放題していたピコだが、自分以外の仲間がイチに必要だと思い、「海賊団」を設立。結局イチは入らなかったが、「海賊団は私の宝さ」と言えるまでになった。

究極の最終標的

「黒い鳥」を最初に捕獲するか、討伐したプレイヤーに現金3億円が贈られる。現在3億円に最も近いとされているのは"赤羽一家"だが、誰がその幸運を手にするのだろうか!?

命の危険

「黒い鳥」は文字通りのモンスターで、ネット回線を通じて人すら殺してしまう。メイを庇って攻撃を受けた「あああああ」こと明日真は、現実世界でも倒れて入院することに。

狂信的な愛

グラナダ商会のレオンがシガテラのクーデターに賛同したのは、ひとえに「プラネット」への愛ゆえ。「プラネット」の不純物である「海賊団」を取り除くために協力したのだった。

裏切り

ピコや団員からの信頼も厚かった「海賊団」のサブマスター・シガテラだが、クーデターを起こし、ピコをギルドから追放する。すべては「黒い鳥」を手に入れるためで……!?

Artist interview

OPテーマ「Black Crack」

葛葉

Kuzuha
にじさんじ所属。親の甘い蜜を吸い続けるニートカゲーマー吸血鬼。1st SINGLE「Black Crack」が絶賛発売中!

今回のオファーを受けた際のお気持ちをお聞かせください。

葛葉　どこでも何度でも言うんですけど、すごく嬉しかったです。アニメのOPに自分の曲が流れるってすごいことだし、そういう大きなことを任せようと思ってもらえたのも嬉しかったです。

――原作や台本を読んだ感想は？　どんなところに魅力を感じましたか？

葛葉　そもそも個人的に先の展開が読めないマンガがめっちゃ好きなんですけど、『グッドナイト・ワールド』は特に展開の読めなさが強くて引き込まれましたね。

――葛葉さんは「ニートのゲーマー吸血鬼」ですが、引きこもりのネトゲ廃人の有間太一郎についてどう思いますか？

葛葉　いや、まじで他人事とは思えないですよ！　というか、ゲーマーとかに関わらず、感情移入できる人は意外と多いと思います。

――好きなキャラクターは？

葛葉　ピコっすかね。ただ、ネタバレになるんで理由は言えないです。読んでください、観てください。

――「Black Crack」の制作についてお聞かせください。作品側からリクエストなどはありましたか？

葛葉　アニメ側からは、特に「こう歌ってほしい」みたいなのはなかったですね。　なので、どちらかというと感じたまんまで歌うことができました。

――「Black Crack」の楽曲を初めて聴いたときの印象は？

葛葉　「かっこいい」が一番ですね。好きな系統と真ん中って感じだったので、すんなり入ってきました。

レコーディングはいかがでしたか？

葛葉　わりと今まで歌ってきた楽曲に近しい雰囲気があったので、歌うのはそこまで苦戦しなかったです。歌詞が結構強い言葉が多くて、そこはちょっと「言っていいのか？」みたいになりました。

――「Black Crack」で好きなフレーズは？

葛葉　「コミクズ」です。　歌詞じゃなきゃ公然とこんな言葉言えないですからね。

――OP映像の感想を教えてください。

葛葉　最初「マンガで読んでた作品が動いてる！」っていうアニメ化特有の感想で観てたんですけど、盛り上がるところで音楽が鳴って「うお、かっけえ！」ってなって、よくよく聴いたら自分の曲だったんですよ。映像と曲がめっちゃマッチしてて、めっちゃかっこよかったです！

葛葉さんが「プラネット」をプレイするなら、どんなRPをしたいですか？

葛葉　リスナーとギルドを作って、でっかいギルドにします。面倒なことは全部リスナーにやってもらいましょう。

にじさんじのライバーを誘って「プラネット」をプレイするなら、誰を誘ってどう遊びたいですか？

葛葉　俺がガンガン行くんで、サポートできるタイプの人がいいっすね。で、ボス狩りに行きます。

――葛葉さんはゲームの長時間配信をされていますが、ゲーム廃人化している人に向けてアドバイスをお願いします！

葛葉　長時間やるメリットは実はないです。集中力も落ちるし、眠くなるし、長時間やらないでください。休憩が大事。

最近ハマっているアニメはありますか？

葛葉　最近アニメ観れてないんですよねー。ちょっと前ですけど、『進撃の巨人』めっちゃ観てました。すべてが面白かったです。

――配信を楽しんでいるファンに向けて、メッセージをお願いします。

葛葉　アニメの主題歌なったよー。アニメもおもろいから観てねー！

Artist interview

EDテーマ「salvia」

Nornis

Nornis

現在、YouTubeチャン……精力的に活動中

でいう「クソデカ感情」を抱えていて、それを自分の中で噛み砕いて

――共感したキャラクターもいましたか?

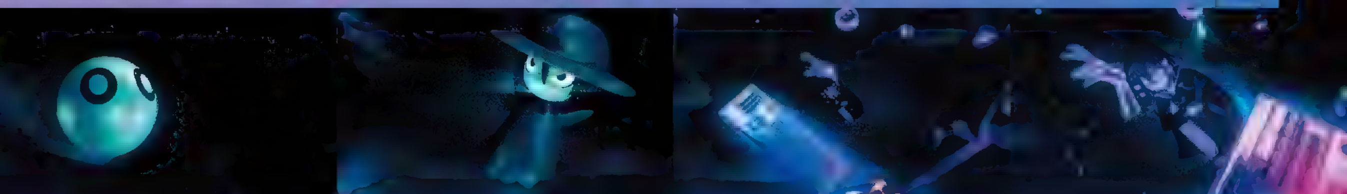
――他に好きなキャラクターがいれば教えてください。

――EDテーマのオファーを受けた際の気持ちをお聞かせください。

――アニメの主題歌を担当する

――確かにさまざまな受け取り方ができる作品だと思います。原作や台本などを読んでどんな印象を持ちましたか?

――「salvia」の楽曲を初めて聴いたときや、歌詞を見てどう思われましたか?



Machita Chima

――レコーディングについてはいかがでしたか?

――好きなパートや聴きどころは?

――ED映像を観ての感想はいかがでしたでしょうか。

……を育てるのはアリ？

——もしお二人がネットゲーム「プラネット」をプレイするなら、どのように遊びますか？

——にじさんじのライバーを誘って「プラネット」をプレイするなら、誰を誘いますか？

——これまでの人生で影響を受けたアニメ作品はありますか？

——ちなみに推しキャラクターは誰ですか？

Inui Toko

——先日のとこさんの誕生日配信内で、お二人それぞれの1st mini Albumの発売決定がサプライズ発表されました。それぞれどんな1枚になりましたか？

——最後に読者へのメッセージをお願いします。

Q. 最近ハマっているアニメは？

戌亥　町田さんは何が好き？
町田　『葬送のフリーレン』を観ています。まず、勇者とそのパーティによって魔王が倒された後の世界の話で、全編後日談という描かれ方が珍しくて惹かれました。『グッド・ナイト・ワールド』と一緒で、感情がキーになっている作品なんですよね。主人公のフリーレンが勇者の死から人間を知りたいと考え、冒険を続けて人々と交流しながらかつての勇者一行との思い出を振り返って、いろいろな感情を見せてくれる部分がすごく刺さりました。
戌亥　へぇ～面白そう！　わたしが最近ハマっているのは『Dr.STONE』で、アニメは何回も見返しました。科学が全然わからなくても毎回ちゃんと説明を入れてくれるし、キャラクターもかわいらしさや信念があって……。なんと言っても、主人公の石神千空への圧倒的な安心感があります。

ホノカ、アキツ、天使くんと、続けざまにカミサマ候補たちと死闘を繰り広げてきたゴロー。しかし、あまりにも代償が大きすぎる力を使い続けた結果、イヨとの戦いで、目から血を流し倒れてしまった。

これまでは性犯罪歴が追加されたり、一生異性にモテなくなるといった不幸を受け入れて能力を使用してきたが、いよいよ意識が混濁するほど体に負荷がかかるような代償が訪れた。ほかの候補者は無条件に能力を使用できるのに対して、ゴローだけに課せられている能力使用のリスク。一体この違いはどこで生まれたのだろうか……？

また、なぜかゴローにだけラルという相棒(?)が存在するのも、気になるところ。イレギュラーだらけの二人に、果たしてどんな秘密が隠されているのか。願いと命を賭けたバトルロワイヤル後半戦も見逃せない。

カミエラビ

◆毎週水曜日◆深夜0時55分◆フジテレビ「+Ultra」ほか
HP◆https://kamierabi.com/　X(Twitter)◆@kamiwrabi_PR
©カミエラビ製作委員会

カミサマ候補たちを撃退してきたゴローの能力「愚者の聖典」

力の代償

代償として訪れる不幸に恐れた彼らは、その力を行使してきたゴローは、

戦いの末に、ついに力尽きてしまい

小野護郎
ゴロー

コミュ障で無職。ライトノベルの主人公のようにイヨとの出会いをラッキーなどと言ったことに変わりはない。と、思わることを言う。

【能力名:愚者の聖典】
自身に不幸が訪れることを代償に、世界の因果を捻じ曲げる

攻めた音楽を聴いてみて

音楽 MONACA

- 岡部啓一
- オリバー・ケンド
- 広川恵一
- 井上翔太
- 高橋邦幸

今までのMONACAとは毛色が違った楽曲に!!

編集部　原案のヨコオ(タロウ)さんからの直々のオファーでした。それから監督の瀬下(寛之)さんとお会いし、プロジェクトの内容を伺って。当時まだ作品の設定や世界観は細かくは決まっていませんでしたが、集まっているスタッフの面々を知り、とてもわくわくさせられました。ただ、詳しい内容が決まるまで、全く連絡がなくて。もしかするとプロジェクト自体なくなったのかな？と不安になりましたが、無事アニメ化することができて、今はほっとしています(苦笑)。

広川　個人的には、ヨコオさんとじんさんがタッグを組んで作るアニメという部分に惹かれ、この二人なら面白いものが生まれるなという予感がありました。

編集部　制作にあたって、どのようなテーマを念頭に置いていたのでしょうか？

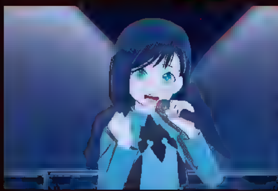
編集部　瀬下さんから「少しとがった、エレキトリックなサウンドの音楽にしてほしい」というオーダーをいただきました。普段MONACAには「ポップでキャッチーな劇伴」を求められることが多いのですが、今回はその真逆で。耳になじむ音楽ではなく、むしろ違和感を抱く音楽がこの作品カラーなんだと思いました。このことを制作チームの共通認識としてすり合わせ、制作に取りかかりました。今までの「MONACAの音楽ってこういうのだよね」とイメージするものがある方からすると、今回は毛色の違った楽曲になっていると思っていただけたんじゃないかな。

編集部　通常のTVアニメと同じで、必要な楽曲をオーダーリストでいただきました。今回は、それぞれの曲に「このモチーフを使って、こんな雰囲気で」とか、「この曲はこういったシーンで使います」といった細かい指示も書かれていました。厳密に設定されていたので、曲を作る側としては大変助かります。このリストをもとに、メンバーそれぞれが得意とする曲を僕が割り振りました。ただ、全ての曲をいつも通りに割り振ってしまうと、想定の範囲内に収まってしまう気がしたので、半分は得意分野を、半分はあえていつもと

第6話
PLAY BACK

ライブ会場で、偶然にもイヨがカミサマ候補の一人だと知ったゴローとフル。そんな彼女の前に悪質なストーカーが現れ、隠されていたイヨの秘密が明らかになる。

1. イヨの[illegible]



イヨを自殺に追い込んだストーカーが再び現れたことで、イヨを演じてきた青年は復讐を試みる。途中でゴローが邪魔に入るも、「お前なんかがイヨを語るな」と逆上。イヨを完全に模倣できた彼だからこそ気づいた彼女の痛みや苦しみが、言葉や表情から伝わってくる。

2. 勇気づけられた言葉

「君が作る未来を見てみたい。だって俺は、まだ一年しか君を知らないにわかなんだぜ」というゴローの言葉に胸を打たれ、イヨは引き続きアイドル活動を続けることを決意。偽りの存在だとしても、今のイヨを見てくれるファンのため、新しい挑戦が始まる。

[illegible]

は違う方向性の曲を担当していただきました。

——[illegible]曲ぐらいあったのでしょうか？

岡部　大体80曲ぐらいかな？

——すごい物量ですね！

広川　そうですね。リストを見たときから、多いなとは思いました。MONACA以外のスタッフさんからも「物量的に大丈夫そうですか？」と心配されました(笑)。ですが、むやみやたらに多いわけではなく、書かれていた80曲それぞれに役割があると感じましたし、どれも『カミエラビ』に必要だと思いました。

岡部　結果、リスト通りに80曲ぐらいの曲を作ったと思います。

自由に曲を作れたから いいものができた

——それぞれが担当された曲の聴きどころを教えてください。

岡部　僕が実際に手を動かして制作したのは、テーマ曲になります。制作中に瀬下さんから「いくつかバリエーションが欲しい」という追加のオーダーもあったので、どのシーンで流れてもテーマ曲だと分かるよう、大元の曲はフレーズ感を意識しました。

広川　僕はいろいろな戦闘シーンの曲を担当しました。『カミエラビ』はとにかく刺激的な描写がいっぱいあるので、戦いに合わせ、とことん攻めた曲を作り上げてやろうという気持ちで挑みました。第6話までの戦い以上のことが、今後のエピソードでも起こりますので、ぜひ音楽と合わせて楽しんでいただけたらと思います。

高橋　第3話でアキツの能力「可逆時計」を発動するシーンの曲は、僕が作った曲の中でも印象に残っています。一方的にゴローがやられるシーンで流れる曲なのですが、「なんで、友達同士で戦わないといけないんだ！」というゴローの切ない気持ちが乗るように、実は他のシーンで使われている「ゴローとアキツの友情曲」がモチーフになっているんです。また、今作は全体を通してノイジーでダークな音色を目指しているので、一見普通のピアノの音でも、音色を歪ませたりピッチを揺らしたりと、ひとクセ加えています。普段あまりやる機会のないアプローチなので楽しかったですね。

オリバー　自分はゴローの能力「愚者の聖典」を発動するときの曲を書きました。そもそもゴローは主人公で、他のキャラの能力よりもすごくパワフルです。ヒーローっぽい要素があってもいいかな？　と思いつつ、少し荒々しい力でもあるので、両方のバランスを保った曲になるようにしました。例えるなら、半分は正義で、半分は呪いみたいな。そういった雰囲気を少しでも感じていただけると嬉しいです。

井上　自分はホノカにまつわる曲を作りました。ホノカって見た目以上にめっちゃ強烈なキャラなんですよね！　最初はヒロイン的な顔立ちだったのに、段々ヘイトの表情をまとっていって。アニメを観ている人の感情を振り回すのが『カミエラビ』という作品だとすると、ホノカはそれを体現しているキャラだと感じました。なので、音でもその一面が表現できるように意識しました。

——そのほか、制作中に印象に残っている出来事はありますか？

岡部　じゃあ、若い人たちに聞こうか。取りまとめる立場である僕もそうだけど、井上やオリバーは、他の人の曲を聴きながら自分の担当曲を作っていたんだよね？

井上　そうですね。皆さんが作った曲を聴きつつ、自分が聴かせたい部分と、全体のバランスを見ようと思って。

オリバー　僕も同じ理由です。広川さんや高橋さんの攻めた曲は、想像以上に攻めていたので驚きました。「攻めていいよ」と言われたときの広川さんの攻め具合は相当えぐいですね(笑)。

一同　(笑)。

広川　今日（9月上旬）はまだ放送前なので、実際にダビングしたときに、瀬下さんたちがどう整備してくれたのか。僕自身も、オンエアを観るのがとても楽しみです。

——最後に読者に向けて[illegible]をお願いします。

オリバー　シナリオは全て読みましたが、毎話毎話、先の展開を安心させない不穏な雰囲気を感じました。それこそが作品の肝の部分だと思うので、音楽と合わせてこれからの展開も楽しんでください。

井上　カミサマ候補共通のモチーフを使っている曲が複数存在します。それが何かを発見できると、曲から先の展開を予想したり、考察できたりするんじゃないかな？　ぜひ劇伴にも注目して、観ていただきたいです。

高橋　この号が出る第6話の時点では、物語の根幹に関わるような真相がまだ伏せられていますね。ここから終盤にかけてさらに面白くなっていきますので、音楽にも耳を傾けつつ、最後まで楽しんでもらえたらと思います。

広川　みんなが熱を持って打ち込んで、クオリティの高いものを出し切りました。最後までついてきてもらえたら嬉しいですし、攻めの音楽を聴いてみてください(笑)。

岡部　こちらが提案した曲に対して瀬下さんは、「いいですね！　カッコいいです！」と肯定してくれることがほとんどでした。僕らの気持ちを汲んでくださっているというか、クリエイティブをすごく尊重してくださるスタッフばかりでした。自由に曲を作れたからこそ、いいものができたと確信しています。最終話まで、作品も音楽も楽しんでもらえたら幸いです。よろしくお願いします！

二奈唯世
イヨ

[illegible]

【能力名：みんなのおうえん】
人の姿、声、記憶すべてを模倣することができる

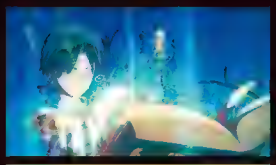
カミサマ候補の一人で、ゴローの同級生。一緒に天使くんの謎を解明した。自称サイエンティストで廃部寸前の科学研究会に所属する

雨野[illegible]／天使くん

人を操る力を持つ、生徒会の副会長。ゴローに負け、カミエラビから「[illegible]する」と宣言した後、[illegible]身体を切断されてしまう

MONACA[illegible]／アニメ・ゲーム・映像作品などの音楽制作集団。最近は『薬屋のひとりごと』『シャングリラ・フロンティア』などの音楽も手がける

違和感を抱く音楽



オリバー・グッド WORKS

ゴローの能力発動

曲がどんどん転調してテンポアップ。しかしゴローが勝利しても曲調は暗いまま。能力で人を殺めているという彼の気持ちに寄り添っている。

岡部啓一 WORKS

テーマ曲

ティザーPV①でも流れるテーマ曲。やや幻想感がありつつも、穏やかな日常のメロディ。そこに切り裂くようなノイズが走り、恐怖感を覚える。

広川恵 WORKS

戦闘シーン

ファンタジー要素が強い特殊能力者たちの戦いでは、"カミサマ"というキーワードから連想される讃美歌っぽいコーラスが流れている。

高橋邦幸 WORKS

アキツの能力発動

時間にまつわる能力を持つ彼の曲調は、聴き心地がいい三拍子が特徴的。同じフレーズを繰り返すのも、能力と相まってどこか癖になる。

井上馨太 WORKS

ホノカの曲調

普段のホノカはおしとやかな曲だが、戦闘になると表情も音も一変。銃を引きずり迫るとき、怖さが増した不協和音が聴こえてくる。

MONACAの注目キャラは

オリバー　能力発動の曲を担当させてもらったというのもあって、やはりゴローですね。

岡部　僕も！　主人公であるゴローの心情は、どの曲を作る上でも意識せざるを得ないので、このときゴローは何を思ったのか。常にいろいろと考えさせられました(苦笑)。

井上　僕はホノカかな。この子がヒロインだったっけ？　と思うほどの豹変っぷりだし、話数ごとに立ち位置がこんなにも入れ替わるキャラって、なかなかいないですよね。

高橋　僕はアキツが推しメン！　彼には友情という軸がどこかにずっとあって。良いやつなんですよ(笑)。アキツ単体というよりも、ゴローとアキツのセットが好きでした！

広川　僕はイヨが気になっています。第1話で登場して以来、ようやく第6話で再登場しましたね。こういった作品には、第1話に伏線が散りばめられていることが多いので、イヨの存在は忘れずにいようと思っていました。

ゴローと協力関係を結んでいる候補の一人。天使くん戦で活躍できなかったことで機嫌を損ね、ゴローに勝われたイヨのライブを断る

比良坂花
ホノカ

Lady 蓮

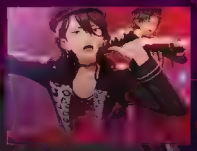
万物をタイムスリップさせる力を持つゴローの親友。ゴローに「最悪な未来を見た」という意味深な言葉を残して、ゴローに殺された

アニメージュ

Animage

このライブにすべてを懸けて

朔間 零
さくまれい
声◆増田俊樹
周囲から信奉されるカリスマ性の持ち主。敬人に頼まれて生徒会長になったが、海外にいることが多く、あまり学院に顔を出さない



乙狩アドニス
おとがりあどにす
声◆羽多野渉
零に連れられて学院に入学。日本語に不慣れで思うように コミュニケ ションがとれず、元々寡黙な性格なこともあり、なかなか周囲と馴染むことができない

羽風 薫
はかぜかおる
声◆細見 圭
素行不良な生徒たちが集まる地下ライブハウスを取り仕切っており、彼らが騒げる場所を提供している

神崎颯馬
かんざきそうま
声◆神谷圭佑
真面目で真っ直ぐな性格。武士のような喋り方と帯刀していることから、学院内で悪目立ちしてしまっている

鬼龍紅郎
きりゅうくろう
声◆神尾晋一郎
中学時代から不良だったことで周りから煙たがられ、アイドル活動で思うような結果が出せないでいる

大神晃牙
おおがみこうが
声◆小野友樹
当時『デッドマンズ』で唯一の1年生。突出した嗅覚で零を探し当て、どこまでも追いかけるが、当の本人からは極力逃げられている

蓮巳敬人
はすみけいと
声◆梅原裕一郎
生徒会副会長をつとめており、零とは幼いころからの知り合い。生真面目な性格で、急なハプニングに弱い一面も

個性豊かなアイドルたちが織成する夢いっぱいのゲーム。『ありながら、時にはシリアスな手に汗握るストーリーを紡ぐ「あんさんぶるスターズ!!」。今回アニメ化する『クロスロード』は、4月にアニメ化された「エレメント」につながるエピソードで、夢ノ咲学院で起きた改革の歴史を語る上で外せない、大事なストーリーになっている。

さかのぼること2年前――アイドル業界における夢ノ咲学院の評価が落ち切っていた時代。危機感を抱いていた蓮巳敬人は、学院一のカリスマ性を持つ朔間零を生徒会長にすることで、廃れていく学院に改革を起こそうとする。そこで登場するのが『デッドマンズ』というユニットだ。のちの『紅月』と『UNDEAD』という両極端にも見える2ユニットのルーツが、実は同じというのも興味深い。

これまでのシリーズでは、学院の改革は天祥院英智の視点で描写されてきたが、『クロスロード』では彼の相棒である敬人視点で描かれる。零と敬人が進む道を分かつとき、夢ノ咲学院に激動の時代がやって来る!?

かつて一夜限りのライブのために結成された、幻のユニット『デッドマンズ』。零、敦人、晃牙、紅郎が願いあめた夢が、今蘇られる――。

鬼龍紅郎

蓮巳敬人

朔間 零

大神晃牙

紅郎お手製のアイドル衣装

ライブで使用した衣装は、紅郎の手作り。一週間という短い期間で、プロにも引けを取らない本格的なアイドル衣装を仕上げた。ライブ直前まで微調整を重ねる紅郎の衣装へのこだわりの強さは、この時代からあったようだ。

POINT 1

アイドルユニットというより、ロックバンドのような印象を受けるスタイル。黒を基調とし、襟が少し破けた紫のダメージインナーや金の装飾もポイント。衣装の方向性は、現在の『UNDEAD』にも引き継がれている。

POINT 2

帽子、チョーカー、ロザリオは全員同じものを着用。だが、チョーカーに付属する鎖の付け方や襟の装飾は「零と晃牙」「敦人と紅郎」でおそろい。今後4人が2つのユニットに分かれることを示唆していたのだろうか？

ユニット曲「ROCK ROAR」

コール＆レスポンスが癖になるハードロックなユニット曲。ライブでは現在よりも派手なパフォーマンスをする零、そんな零を真似する晃牙、観客を煽る敦人など、普段のイメージから想像できない姿を見せている。

幻のユニット!?『デッドマンズ』

零のとある条件をクリアするために敦人が考えた即興ユニットで、ライブの途中から紅郎も参加。ライブ後は書類上で名前だけを残していたが、零と晃牙のわだかまりを気にかけた敦人が、3年生のラストライブ・返礼祭で臨時ユニットとして復活させた。テーマカラーは赤紫で、その後の『紅月』と『UNDEAD』を感じさせる。

原作ゲームも要チェック！

追憶＊それぞれのクロスロード

『UNDEAD』や『紅月』の結成にまつわる、零、敦人を中心とした過去のストーリー。アニメ配信前後にぜひチェックしてほしい。ここで誕生する『デッドマンズ』は、いわば『UNDEAD』の原型となるユニット。「衝突！思い遠しの返礼祭」でも登場するので、合わせてストーリーを読むのもオススメ！

2年前

✦晃牙、颯馬、アドニスたちが入学。

✦敦人が零のカリスマ性を利用して、学院の改革に挑戦する。

3年前

✦世間から夢ノ咲学院の評価が落ち切っていた。

✦英智、敦人、紅郎、薫たちが入学し、零は高校2年生に進級。

夢ノ咲学院革命

あんさんぶるスターズ！！ 追憶セレクション『クロスロード』

✦11月10日（金）より✦YouTube「あんスタチャンネル」にて配信開始

HP✦https://ensemble-stars.jp/anime/crossroad

©2014-2019 Happy Elements K.K

CAST✦朔間 零／増田俊樹　蓮巳敬人／梅原裕一郎　大神晃牙／小野友樹　鬼龍紅郎／神尾晋一郎　安積 翼／鈴貝 圭　乙狩アドニス／羽多野渉　神崎颯馬／神永圭佑　守沢千秋／鈴世隼一　天祥院英智／浪川 大輔
STAFF✦監督／ヤマサキオサム　シリーズ構成・脚本／綾小路 翔　音楽／川井憲次　シナリオ原案／日日日
アニメーション制作／ダンデライオンアニメーションスタジオ　製作／Happy Elements

ポールダンスを題材にしたポールプリンセス!!は、『プリティーシリーズ』『DCGディレクター・乙部善弘さんが企画したオリジナルアニメーション作品。引っ込み思案な少女ヒナノが、ポールダンサー・アズミの美しいパフォーマンスに魅せられ、仲間を集めてポールダンスの世界へと飛び込んでいく青春物語だ。

劇中の「シングルス」や「ダブルス」といった種目は実際のポールダンス競技に即したものだが、本作では華やかな衣装や、歌い踊る要素を加え、新しいガールズアイドルものとして展開されている。昨年12月から、プロローグ8話ショートアニメがYouTubeで配信されてきたが、その続編となる劇場版が11月23日にいよいよ公開される！

ヒナノの当初の目標だった、おばあちゃんのプラネタリウムを盛り上げるための発表イベントは無事成功し、コーチのアズミが掲げた次なる目標は、ポールダンスジャパンカップ。ヒナノたちはチーム名を「ギャラクシープリンセス」と決め、練習を重ねてゆくが……。

大会4連覇中の王者「エルダンジュ」に、ヒナノたちはどう挑む!? 劇場の大画面でポールプリンセスたちを応援しよう！

星北ヒナノ

音系の星！チーム

乙部　「星北」という名前に合わせて、衣装は星や星座モチーフで。そしてウェブアニメ版では白系だったので、劇場版は夜空っぽい青系で。キャラクター原案のトマリさんにはそんなオーダーをしました。

江副　ヒナノは主役ということで、5パターンくらい衣装デザインを上げてくれました。どれも素敵なので、いつかお披露目できるといいですね。

劇場版 ポールプリンセス!

✦11月23日（木・祝）公開
HP✦https://poleprincess.jp/
YouTube✦https://www.youtube.com/@polpri[illegible]
© エイベックス・ピクチャーズ／タツノコプロ／ポールプリ[illegible]／[illegible]委員会

STAFF✦監督／江副仁美　脚本／待田堂子　CGディレクター／乙部善弘　キャラクター原案／トマリ　アニメーションキャラクターデザイン／櫻井琴乃　音楽／東大路憲太　ポールダンス監修／KAORI（STUDIO TRANSFORM）　アニメーション制作／タツノコプロ

Illustrated & special effect by Kotono Sakura
Painted by Sara Kitamura（Hiyori）
Color coordinated by Haruko Nobori（Hiyori）

YouTubeのショートアニメで見せていた「ポールプリンセス!」が劇場のスクリーンに。
鉄のポールで美しく踊る、7人の姿を目に焼き付けよう！

ポールダンスの世界へ

芯央アズミ

ポールダンスは険しいアスリートの世界

監督 江副仁美 × CGディレクター 乙部善弘

乙部　ポールダンス競技って、イメージしやすいもので例えるなら、鉄棒が横じゃなくて縦になっているようなスポーツなんですよね。逆上がりだけでも大変なのに、それを横向きでやるみたいな（笑）。軽やかにやってのけるダンサーさんたち、みんなすごくカッコいいです。
江副　私も体験でちょっとだけポールダンスをやらせてもらったんですけど、普通に回るだけで結構目が回ってしまって（笑）。ダンサーさんたちは腕とかにかなり練習の傷がついているんですけど、笑顔のままでなんなく踊るんです。優雅で軽やかに見えますが、ひたすら頑張りを重ねていくアスリートの世界なんですよ。

煌びやかな憧れの世界を

✶ 監督 江副仁美 × CGディレクター 乙部善弘 ✶

肉体美と柔軟性！

――乙部さんはCGディレクターだけでなく、企画プロデューサーという役職でもあるとのことですが、

乙部 最初に江副さんに「こういう企画はどうですか」と話を持ち掛けたのが始まりなんです。CGディレクターの領域を超える仕事をしやすくするために、そういう肩書きも何かあったほうが、どういう話になってくるかは別にして集めやすかったかもしれません（笑）。

江副 そこから、私のほうで脚本の待田堂子さんや音響監督の濱野高年さん、美術のbamboosさん、色彩設計ののぼりはるこさんといった、一緒にお仕事をしたいと思っていた方々にお願いしました。もうドリームチームができたなっていう感じです。

乙部 キャラクター原案のトマリさんは僕がお声がけしたんですけど、トマリさんは『KING OF PRISM』シリーズを観てくださって、「武道館ライブ」にも何回も行っていたそうなんです（笑）。「ぜひ」の返事で引き受けてくださいました。

――イラストレーターのトマリさんに原案をお願いした理由は？

乙部 トマリさんの絵は、セクシーな服を着ていても上品に見えるんです。衣装は話し合いながら決めましたが、具体的な調整はトマリさんにおまかせでした。

江副 各キャラクターのイメージをざっくりお伝えしたら、ウェブ版のデザインが上がってきて、修正のお願いもほとんどありませんでした。

乙部 ノアの衣装も「着物風でいい感じの」をお願いしたら、着物にスカートをくっつけたような、なかなか思いつかないデザインが上がってきました。

――物語の題材としてはボールダンスですが、これも乙部さんの発案なのですか？

乙部 そうです。『KING OF PRISM』をやるよりも前の時期に、たまたまYouTubeのおすすめ動画に女性の全米チャンピオンのポールダンス映像が出てきていたんですよ。それが、ギリシア神話の女神みたいな肉体美と柔軟性でカッコよくて、「もはやこれは芸術だ！」と感じ入りましたね。『KING OF PRISM』で男子のポールダンスはやったんですけど、やっぱり女子のポールダンスもやりたい気持ちが強くて。そんなふうにずっと温めていたんですよ。

――女の子同士の友情物語という側面もありますね。

江副 乙部さんから「ポールダンスをする女の子たち」と聞きまして、やっぱりみんなで一緒に頑張る青春ストーリーが爽やかでいいなぁ、なと。

乙部 実際にポールダンスをやっている中高生の女の子たちに、どうしたらきっかけで始めたのかを質問したら、「完全にカッコよかったから」とか「親がやっていたのを見て」とかが多かったんですよ。なので、ストーリーの導入としてはポールダンスの一般的なイメージとのギャップというより、純粋な憧れ感から入る感じにしました。そこにドレスや歌を足したら華やかに魅せられるかなぁ、みたいな。

――それでアイドルものみたいな要素も入っているのですね。

乙部 そもそも競技としてポールダンスを極めていくとなると、筋肉のムキムキ感みたいな服装になるし、ポールにつかまったままポーズをとってどれだけ長く動かずにいられるかの技術を競うので、そのままだとそこではすごさが伝わりにくいんです。その意味でも、エンタメに振り切ったほうがいいだろうなって。それに、必殺技もやりたかったし（笑）。

――「プリティーシリーズ」で言うところの、プリズムジャンプみたいな技なら映えますもんね。

乙部 そうそう（笑）。ドレスで歌いながら演技する、華やかな憧れの世界みたいな感じで。ポールダンス監修で入ってもらっているSTUDIO TRANSFORMAというポールダンス教室のKAORI先生も、「ダンスの技術として高度な技でも、一般のお客さんに伝わりにくいと、アニメとして面白くないですよね」とおっしゃって、振付も、アニメでの見栄えを意識した、すばらしいものを作ってくださいました。

――YouTube公式チャンネルには完成したCG映像とモーションキャプチャ用の演技との比較動画が上がっていますが、完全に一致していて驚きます。

乙部 モーションキャプチャの段階できっちり収録していますので。ダンサーさんは『TRANSFORMA』に所属されている方や生徒の方にお願いしましたが、皆さん世界ランカーみたいな超一流の方ばかりなんです。各キャラの性格や歌、ダンスの内容を踏まえて、KAORI先生に「この人のダンスならこの人が合う」と割り振っていただきました。

江副 ダンスって、その人の性格が出ますからね。

――ポールにじんみりつく体勢が、CGとしては鬼門かと思うのですが。

乙部 ええ、その通りです。干渉物がそばにあるだけで、作業カロリーが跳ね上がります。ポールに触れる瞬間に、普通のアイドルもののダンスよりも作業量が倍くらいになっちゃうんです。ポールを握っている腕、のり込みとかの修正がコマ単位で必要になってくるので、ひたすら目を凝らしながらの修正作業が続きました。

――ダンスごとに背景となるステージも変化します。曲の雰囲気に合わせてステージセットを発注したのですか？

乙部 そうです。劇場版は大会ということもあって、当初はもう少しリアル寄りで考えていましたが、ペースを変えるステージが多くなりました。

江副 ウェブ版ではペリーダンス風衣装でしたが、スパルとのペア衣装ということで、アクロバットでも動きやすい方向にガラッと変えてもらいました。実はヒナノの衣装案の一つにこれに近いものがあったんです。

乙部 そこからアレンジしてもらって、リリアたちの衣装になりました。

乙部 衣装もメンバーの中で用意させたかったので、ミオは服飾担当になりました。

江副 実際にコスプレしてポールダンスする人がいるんですよね。そこから、ミオがコスプレイヤー設定になりました。

乙部 メイド衣装にしたのは、海外では「リトルマメイド」をテーマにしたポールダンスが多いからです。この衣装にはコスプレイヤーであるミオならではの、あるギミックが仕込まれているのでお楽しみに。

乙部 ウェブ版のスパルはフードをかぶっていましたが、体操という目標を失い、本当の自分を覆い隠しているニュアンスもありました。

江副 劇場版の衣装はサイバーでスポーティになりました。リリアと同系列なのは、二人でダブルスを組むからです。そのドラマも見どころになります。

東坂ミオ

南曜スパル

物とモニター映像が変わるくらいのミニマムなプランだったんですけど、美術さんがものすごい量の描き込みをしてくださって。
江副　おかげで、バラエティ感のある豪華なステージに仕上がりました。

ヒナノとユカリの因縁のドラマの行方は

——物語の骨子はどのように?
江副　待田さんが作ってくださったベースに対して、みんなで意見を交えつつブラッシュアップしていきました。
乙部　まずはウェブ版のストーリーを作り、その後で劇場版を作りましたね。
江副　ライバルチームのエルダンジュの構想も早くにできていましたが、ヒナノがポールダンスと出会って、おばあちゃんのプラネタリウムの盛り上げのために仲間と発表会をする話にすると、エルダンジュが全然絡んでこないんです。もともとこの企画の目標としては劇場ア[illegible]ったので、大会でのエル[illegible]対決は劇[illegible]ブ版では[illegible]

——プラネタリウムを盛り上げるためにポールダンスをやるという、そもそもの出発点はどこから出てきたのですか?
乙部　ポールダンスで回る景色をどうしようかと考えた時、星空の背景だときれいかなと。そこからプラネタリウムというアイデアが出てきたんですよ。[illegible]北極星は英語でpole starなので、そこともうまく結びつくなぁと。
江副　そうしたらKAORI先生から、ポールダンスの捩りわざを「ポール・ギャラクシー」というんだと聞きまして。うまくリンクしましたね。
乙部　僕としては、最初にプラネタリウムと言ってしまった手前、その要素が邪魔にならないかずっと心配していて。「もし余計だったら、プラネタリウム要素はなくして大丈夫です」とまで言っていたんです。でも最終的にはうまくつなげられましたね。星座モチーフのアイドルアニメはいろいろありますけど、北極星というのはそれほどないと思いますし。
——地球からは、北極星に地軸を通[illegible]ているように見え[illegible]ありますね。
江副　ね、ぴったりでしょう。
乙部　それに今のプラネタリウム[illegible]の大きな[illegible]直接投影するタイプもあるんです。当初はポールの先端に小型投影機が仕込んである裏設定を考えていたんですけど、実際にプラネタリウムの人に話を聞きに行ったら、アニメのままで全然違和感ないと。しかもヒナノみたいにプラネタリウムでポールダンスをやりたいとまで思っていたそうなので、いつかコラボできたらと思っています。
——ヒナノ[illegible]て、イ[illegible]を抱えています。そこをみんなで助け合って乗り越える友情ドラマになっているようですね。
江副　ただ、今回は60分という尺なので、まだ一人一人をそこまで深堀りはできていないですね。内にはいろいろ秘めているものはありつつも、「みんなで頑張っていこう」といった方向性になりました。なるべくキャラクター同士の関係性を見せたほうが、お客さんも楽しめるだろうというのもあり。
乙部　もちろん、劇場版は対決ストーリーなので、キャラ同士がバチバチになるところもありますよ。そのバチバチの関係性がポールダンスのパフォーマンスで回収されるところは熱いドラマになっています。
——劇場版ではエルダンジュ側も見どころが多そうですね。
江副　3人の関係性が分かるシーンも出てきます。ユカリはどんどん高みを目指していく子ですが、見た目通りのクールな性格というわけではありません。サナとノアはそれを分かった上で行動しています。
乙部　ユカリについては、とにかく練習しまくるし、シング[illegible]スとダブルスのどちらも[illegible]そんな体力オバケみたいなところが強さとして見せられたらと思います。ただ、性格的にはちょっと天然です。その天然具合は、江副さんがこだわっていましたよね(笑)。
江副　天然って難しくないですか? 無自覚に意地悪している人みたいに見えちゃわないように、見ていてかわいいと思えるボケ具合を狙いました。天才肌の子なので、ダンスのこと以外はちょっと無頓着みたいな(笑)。それとウェブ版でも少し触れていたヒナノとユカリの因縁がドラマの見せ場になってもいますので、そこも楽しみにしていてください。
——ギャラクシー[illegible]に対して、エルダンジュが3人と、チーム編成が均等ではないですね。
乙部　実力あるチームは人数を抑えないと、より強く見える感じがして。
江副　それにギャラクシープリンセスには、アズミ先生もいるのでね。
乙部　アズミ先生も入れて5人戦隊で強い怪人を倒す感じかな(笑)。それと、企画当初は北斗七星のイメージもあって、2チーム合わせて7人になるといいなと思って。奇数だとセンターに一人立てるからバランスもいいですしね。
——いよいよ劇場版公開直前[illegible]て、[illegible]しみにしているファン[illegible]をお願いします。
江副　それぞれのキャラクターについて、描きたいエピソードがいっぱいあります。でもまずは劇場版の60分の中に、この作品の魅力をギュッと押し込めています。ぜひヒナノたちを応援する気持ちで、映画館に来ていただけたらと思います。
乙部　ポールダンスのジャンルは世界中にいろいろとあって、まだまだ表現していきたいこともたくさんあります。劇場版公開で終わりではないようにしたいし、まだ一歩を踏み出したくらいの気持ちですが、劇場まで足を運んでくれたお客さんが「今回はいいもの観た!」と心地よくなり、[illegible]ダンス部分は「また観たい!」[illegible]できるようなものに仕上がったと思います。ぜひ[illegible]ほしいなと思っています!

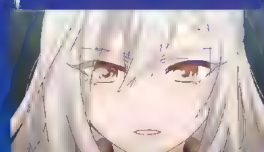
江副　ユカリは軍服っぽいカッコいい系のデザインを作っていただきました。
乙部　ウェブ版は優雅なきれい系でしたが、劇場版では王者の貫禄を出しています。力強さのイメージとしてはジャンヌ・ダルクのような　もちろん実際のジャンヌ・ダルクはこんな服は着ていなかったでしょうけど(笑)。

紫藤サナ

江副　ユカリとのダブルスなので、対比でロリータ系にしました。スカートは短めで、片側だけが長い布です。
乙部　もちろんスパッツも履いています。ウェブ版ではあざとかわいい系でしたが、劇場版ではお嬢様で、ユカリは馬車の御者風。禁断の恋みたいなイメージでデザインをお願いしました。

蒼唯ノア

乙部　ノアは今回も和服で、方向性だけ少し変えました。ウェブ版ははんなり癒やし系でしたけど、劇場版では妖魔と戦うダークヒーロー風。ボンデージ要素はトマリさんが加えてくれたものです。
江副　刀で敵を倒すイメージです。すそのギザギザも、わざと破けた感じになっているんですよ。



謎の解明まであと7日

『ゲゲゲの鬼太郎』の劇場長編アニメは15年ぶり。大人向けホラーとしてTVアニメ6期の鬼太郎誕生の前日譚を描いた本作は、謎解きの醍醐味と妖怪アニメの魅力の両方が満喫できる1本だ。

鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎

◈11月17日(金)公開
HP◈https://kitaro-tanjo.com/
©映画『鬼太郎誕生ゲゲゲの謎』製作委員会

STAFF◈原作／水木しげる　監督／古賀豪　脚本／吉野弘幸　音楽／川井憲次
キャラクターデザイン／谷田部透湖　美術監督／市岡英次　色彩設計／横山さより子
撮影監督／石山智之　制作担当／溝守迷、福越圭文　制作／東映アニメーション
CAST◈鬼太郎の父／関 俊彦　水木／木内秀信　鬼太郎／龍賀時貞／白鳥 哲　龍賀
男　龍賀孝三／中井和哉
海陽子　龍賀克典／山路和
／曽口裕子　長田（龍賀）庚
長田幻治／石田 彰　ある
川登志夫　鬼太郎／沢城み
／庄司宇芽香　山田／松風
じ／野沢雅子

Text by 原口正宏

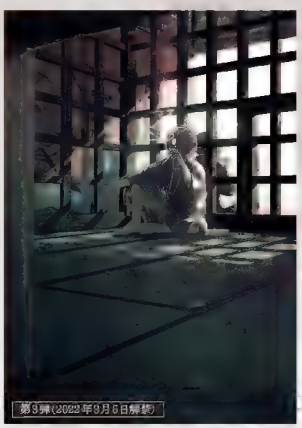
『ゲゲゲの鬼太郎』TVアニメ6期のエピソード0となる「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」の劇場公開が7日後に迫った。物語の中心を担うのは、TVアニメ6期・第1話や最終話の回想にわずかに登場したのみの水木と、第14話に夢の姿として片鱗を覗かせたのみの鬼太郎の父。二人の出会いや鬼太郎誕生に至る経緯など、数々の謎がついに明かされる必見の映画となっている。

本誌では、水木役を演じた木内秀信さん、監督の古賀豪さん、キャラクターデザインの谷田部透湖さんに直前インタビューを挙行。

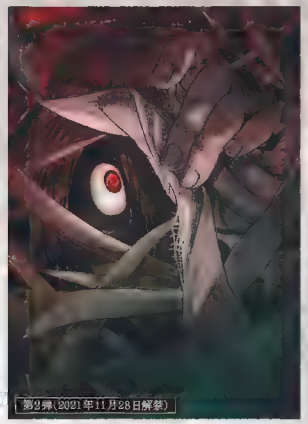
古賀監督は、TVアニメ6期では上記の第14話ほか重厚なエピソードの演出でも知られるが、本作に対しては明確に「大人向けホラー」を強調。今までにない「鬼太郎」映画への意欲を見せている。同じく第14話で原画を手がけた谷田部透湖さんも、鬼太郎の父のデザインを敢えて劇場用にリファインした。つまり、本作は6期と世界観を共有しながらも、独立した映画としての骨格を重視しているのだ。3人の発言から感じられたのは、深い底辺で、「水木しげる生誕100周年記念作品」にふさわしいものにしようとする真摯な覚悟だった。

ティザービジュアルに潜む謎解きのヒント

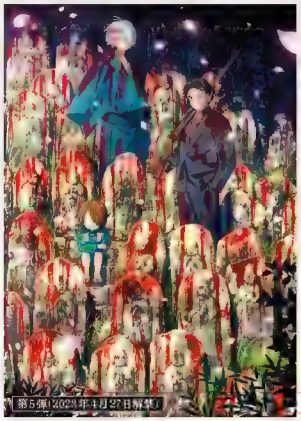
全6種のティザービジュアルのうち、第2弾以降は谷田部透湖さんの作画。発表ごとに作品のヒントを小出しする方法がとられた。


第3弾(2022年9月6日解禁)

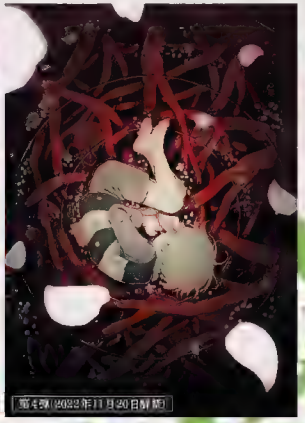
鬼太郎の父の全身像を初めて描く。座敷牢らしき部屋の外には青中合わせに水木がいるが、この時点ではその正体は明かさず。桜の花びら、壁の絵などもさりげないヒントに


第2弾(2021年11月28日解禁)

この段階では、鬼太郎の父としての具体的な描写はぼかしていた。秘密のベールならぬ包帯をかき分けて出てくる謎の男のイメージ。赤い目を強調した画でインパクトを伝えた


第5弾(2022年10月22日解禁)

主役の二人・鬼太郎の父と水木が血染めの姿でこちらを見据える画。手前には鬼太郎の姿も。三八式歩兵銃、血塗られた地蔵群の意味は？　ここにも舞い散る桜の花びらが……


第4弾(2022年11月20日解禁)

胎児のように眠る鬼太郎。周りに波紋が広がり、木の根が巻り巡らされた水面には桜の花びらが舞い散る。キャッチコピー「血が、流れている――」とも響き合う多義的な1枚

血の手形やお札。赤い空から漂う修羅のイメージ。そして、桜の花びらと人影。鬼太郎の父と水木は反射像のように浮かび、手前の鬼太郎親子と見つめ合っているようだ。

第6弾(2023年9月6日解禁)

子どもの頃に観たアニメ『鬼太郎』と同じメッセージを感じる映画でした

水木役 木内秀信

きうち・ひでのぶ♀2月5日、兵庫県生まれ。大沢事務所所属。代表作は『テニスの王子様』(忍足侑士)、『家庭教師ヒットマンREBORN!』(笹川了平)、『はなかっぱ』(お父さん)、『オトッペ』(フレイミー)ほか。

水木には「力強さ」を求められました

『ゲゲゲの鬼太郎』や水木しげる作品は、もともとご覧になっていましたか。

木内 もちろん小さい時から親しんでいました。僕が観始めたのはTVアニメ2期からです。

一番社会派と言われる期ですね。

木内 僕の父も母も戦争を経験しており、『鬼太郎』を観ていた頃は、世の中に戦争の匂いがまだ残っていました。だから、そういう空気もシンクロして、社会的なメッセージを送り届けているアニメなんだな、と思って観ていました。今から考えるとちょっと暗く、影のある作品だと感じていましたね。

――今回の『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』は大人向けでダークな内容ですが、それについては違和感がなかったということですか。

木内 まったくなかったです。子どもの頃の『鬼太郎』そのものでした(笑)。

――水木役は、オーディションを受けられて決まったのでしょうか。

木内 はい。目玉おやじがかって人間型だった頃のお話だということ以外は、まったく情報のない状態で受けたんです。

古賀監督からは、水木の演技についてどのような指示があったんでしょうか。

木内 そもそも僕の受けたオーディションが、水木役と鬼太郎の父役の両方を決めるためのものだったんです。お互いを演じる役者と二人でブースに入って、両方の役を交換しながら受けたんですね。その時、僕が鬼太郎の父を演った時の「力強さ」が古賀監督には印象的だったらしく、収録時には「あの力強さが水木のほうにほしい」と要望されました。

確かに、今回の鬼太郎の父は颯々とした感じがしますからね。その対比でしょうか。

木内 昭和30年代を生きる強い男の感じを求められていたんだと思います。オーディションの時も、当時の映画で俳優が見せるような、早口でまくしたてる感じがほしい、と言われました。水木役が決まってからは、古賀監督から資料として水木先生ご自身のご経験に基づいて昭和時代を描かれた漫画と、佐田啓二さんが主役の松竹映画『あなた買います』(1956年 小林正樹監督)のDVDを渡されました。収録までに勉強しておくように、ということで。

昭和の日本映画を思わせる画面作りと、水木の演技とは相性がよさそうですね。

木内 古賀監督の意向を受けて、出来るだけナチュラルに誇張しない演技を心がけたんです。普通の映画とかドラマに近くて、僕が普段やっているようなアニメとはちょっと違うところがあったかも知れませんね。

水木は鬼太郎の父から愛の大切さを学んだ

――実際のアフレコ現場では、個別に一人ずつ収録されたんですか。

木内 一人での収録が主体で、途中から掛け合いでも録りました。多分、僕が一番セリフ量が多かったと思うんです。だから最初は、僕だけ先に入って、古賀監督とキャラクター作りについていろいろセッションしました。「こういう感じでいきましょう」というスタートラインに立てるまで、イメージが合うようにディレクションをしてくださったんです。その後、いくつか掛け合いのシーンを録ったんですけど、その時もまず僕が一人で演じて、だんだん水木を自分になじませるように進めていきました。関(俊彦)さんも同じように、一人の段階があり、その後にようやく二人の掛け合いに移っていくという流れでしたね。

関さんが演じた鬼太郎の父と、水木との関係については、どのようにとらえて演じられましたか。普通に仲の良い相棒、バディとはまた違ったニュアンスがありますよね。

木内 最初は自分たちの目的のためだけ、利害が一致しただけの関係でしたが、それが最終的には変化していく。途中で、妻を探している鬼太郎の父が「愛している」という言葉を発した時、水木はそれを茶化して笑うんですよ。でも、一緒に話したり、ともに戦っていくうちに、人を愛することの意味を水木はだんだん思い出し、理解していったんじゃないかと思います。それは、ラストシーンにつながる大事な感情だと思います。

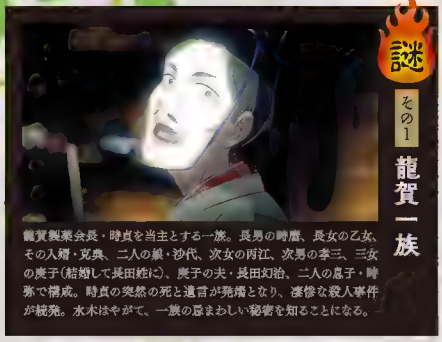
――自分だけしか信じられなくなっていた水木が、むしろ人間ではない「幽霊族」からもう一度愛の大切さを知らされた……。

木内 学んだ、ということだと思います。

古賀監督の創造する映画の世界の中で、水木のポジションをどう歩んでいけばいいのか、模索しながら演じる作業でした。この映画のメッセージは、生まれることも、生きていくことも大変なんだ、ということ。

水木先生は昭和という時代を生き抜き、戦地で壮絶な体験をし、日本に帰ってからもさらにいろいろなことを味わったんだろうな、と思います。それを踏まえた上で昔の『鬼太郎』を思い出すと、人間の汚い部分を妖怪との関わりを通して描くことで、私たちにメッセージを送っていたことがよく解りました。そのメッセージは、今回の映画でも水木先生を継承するように変わっていないと思います。

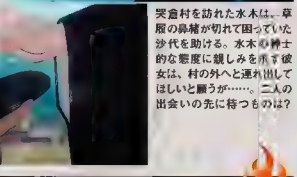
この映画は、いわゆる「妖怪大戦争」を描いているわけじゃない。でも、僕が知っている『鬼太郎』は間違いなくこっちですよ。



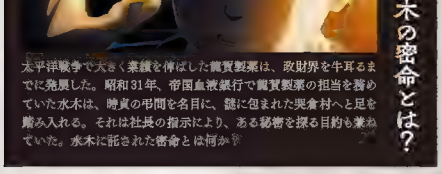
謎 その1 龍賀一族

鬼賀製薬会長・時貞を当主とする一族。長男の時雨、長女の乙女、その入婿・克典、二人の娘・沙代、次女の丙江、次男の孝三、三女の虞子(結婚して長田姓に)、虞子の夫・長田幻治、二人の息子・峰夢で構成。時貞の突然の死と遺言が発端となり、凄惨な殺人事件が続発。水木はやがて、一族の暗まわしい秘密を知ることになる。

水木
人間界に潜伏中。妖怪のための探偵事務所を開業。
唐沢の鬼賀一族に近づく(声/木内秀信)



哭倉村を訪れた水木は、草履の鼻緒が切れて困っていた沙代を助ける。水木の紳士的な態度に親しみを感じる彼女は、村の外へと連れ出してほしいと願うが……。二人の出会いの先に待つものは?



謎 その2 水木の密命とは?

太平洋戦争で大きく業績を伸ばした鬼賀製薬は、政財界を牛耳るまでに発展した。昭和31年、帝国血液銀行で鬼賀製薬の担当を務めていた水木は、時貞の弔問を名目に、謎に包まれた哭倉村へと足を踏み入れる。それは社長の指示により、ある秘密を探る目的も兼ねていた。水木に託された密命とは何か?

監督 古賀豪

こが・ごうや1969年11月20日、福岡県生まれ。'97年、東映動画(現・東映アニメーション)入社。代表作はTV『祝(ハピ☆ラキ)ビックリマン』(SD)、『劇場版 ゲゲゲの鬼太郎 日本爆裂!!』(監督)、TV『ドキドキ!プリキュア』(SD)、TV『ゲゲゲの鬼太郎』6期(演出)ほか。

昭和の日本映画の風格と水木しげるテイストの融合

日本の戦後史を妖怪目線で描く

古賀監督、谷田部さんのお二人は、『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』の企画にそれぞれどの段階から関わられたのでしょうか。

古賀 僕は企画の最初期からですね。ただ、参加した時点ですでに4つのことが決まっていました。タイトルが『鬼太郎誕生』であること、水木と、身体があった頃の鬼太郎の父を出すこと、大人向けのホラーとして作ること、そして水木しげる先生の生誕100周年記念作品として公開することです。逆に言えば、それ以外は何も決まっていなくて、僕はそのオーダーをもとに、当時のプロデューサーだった水富大地さんや脚本の吉野弘幸さんと一緒に、物語を考えるところから始めたんです。

谷田部 私は、皆さんがそうやってシナリオを検討されている途中から参加しました。最初は会議の場に挨拶に伺うだけの予定が、監督たちの話を聞いていたら混ざりたくなってしまいまして……私のほうから「これからも毎回来てもいいですか」と(笑)。監督たちも快く迎えてくださり、そこから徐々に混ざっていった感じですね。

——鬼太郎誕生の前日譚自体はオリジナル色が強いですが、設定の随所に水木しげるテイストが散見できる作りがユニークです。

古賀 そこは大切にしました。僕はまず発想を得るために、水木先生の他の著作を読み込んだんです。特に先生の戦記物や自伝などから感じたのは、先生が大変な人生を歩んでこられたという事実と同時に、自ら漫画にしていらっしゃることにはやっぱり何か意味があるのでは? という思いでした。

最初は、水木先生の人生に重ねて、妖怪目線から描く日本の近現代史100年を描くことも考えたんです。でも、それは約100分の尺では到底無理でした(笑)。そこで、貸本版『墓場鬼太郎』が生まれた昭和30年代をフィーチャーして、戦後の日本を妖怪から見た感じで描ければいいな、と構想を練り直しました。あの時代に起きたことは、今の令和にも連綿とつながっていると感じていまして、そこをテーマとして落とし込んでみようと。

——谷田部さんの出したアイディアが作品に反映された部分もおありなんでしょうか。

谷田部 実は、私の参加した段階ではまだキャラクター像が固まっていなかったんです。そこでまずは鬼太郎の父、その次に水木と、キャラのスケッチをお見せして「こういう感じはどうでしょう」と提案させていただきました。そうしたら、「面白いかも」と言ってくださって……。

古賀 谷田部さんが参加するまで、その二人のキャラクター作りが難航し、暗礁に乗り上げていたんです。当初、鬼太郎の父はもっとクールで強くてカッコいいイメージでした。

——6期・第14話のイケメン目玉おやじのような、ということでしょうか。

古賀 はい、あのイメージからスタートして、水木はそれを補佐する役割みたいな想定でした。でも、それではなかなか話が進みにくいんです。もともと息子の鬼太郎が強いですからね。その父親を、ただひたすら強いキャラクターとして描くことに限界も感じまして。そうしたら谷田部さんが、「ある種の弱さみたいなものがあってもいいじゃないか」と。「弱い男が、生懸命頑張って奥さんを探すというテイストが、逆にカッコいいんです」と言われて目から鱗が落ちる思いでした。

——本編の仮映像を一部観せていただきましたが、確かに鬼太郎の父よりも水木のほうがグイグイいく性格に見えますね。

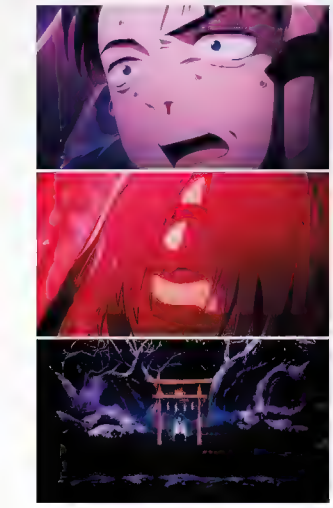
古賀 どっちかというと水木を強めのキャラクターにして、父のほうを掴みどころがない存在として描く。それによって、水木の行動もチャーミングもつけやすくなったんです。

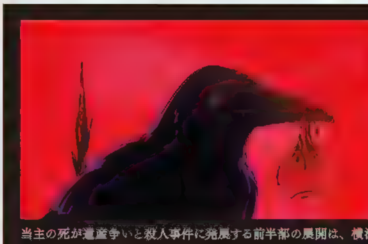
——第14話では、イケメン父のデザインはもっと目が切れ長でした。それが今回の映画では、息子の鬼太郎を思わせる、水木ファンにはお馴染みの糸田形の目になりましたね。

谷田部 最初、様子見で会議のお話を伺った後、次の会議の際に「こういう見た目に変えるのはどうですか」と早速ラフスケッチを描いていったんです。その時点で、ちょっと飄々とした、第14話とは異なる姿を提案させていただきました。鬼太郎ファンの自分としては、やっぱりあの目が描きたかった。水木先生の鬼太郎の象徴でもありますし、最終的には包帯だらけになる原作の父の目に近づけられる、という思いもありました。もちろん、清水(空翔)さんのデザインによって、当時ものすごく話題になったことは理解していました。ですが、映画は大人向けとして作るのでデザインもTVより大人っぽくしたい、というオファーだったこともあり、そういう変更ができるのならば!と提案しました。水木先生の画により近いものを描きたいという思いを、監督たちが受け入れてくださったんです。でも、そのため第14話のあのイケオジ姿が「目玉おやじの夢見た理想の父親の姿」というものになってしまったのですが……(笑)。でも、それはそれでとても愛おしいなと思っています。

リアルさに水木しげるのエッセンスを

——谷田部さんはキャラクターデザイ





謎 その5 連続殺人事件

当主の死が遺産争いと殺人事件に発展する前半部の展開は、横溝正史原作、市川崑監督の『犬神家の一族』(1976年)を彷彿させる。古賀監督は、邦画へのオマージュ、江戸川乱歩や夢野久作へのリスペクトなどさまざまなエッセンスを混合。正統妖怪アニメが描くホラー展開の結末は、観る者の予想を超えたものになるだろう。

ンを担当されていますが、途中からは作画監督も兼ねられるようになったのでしょうか。

谷田部　そうですね。最初はキャラクターデザインというオファーで参加したんですけど、その後は総作画監督の一人として作業しています。私に回ってくるカットはメインキャラクターの設定にない表情や、肝になる芝居のカットなどで、それらを重点的に見ています。

──映画は、甘い展開を極力排除したストイックで骨太な道筋が貫かれている印象を受けます。古賀さんの狙いでしょうか。

古賀　そうですね。劇中に鬼太郎の父の「おためごかしよりはマシじゃ」という台詞があるんですが、コンテを切っていて、物語を甘くするためのスイーツみたいな部分は全部そぎ落としてしまおうと考えました。大人向けということもあり、演出する自分の感情的にもそのほうがすんなりと嵌まったんです。

基本的に、戦時中も戦後も今も、日本人の精神構造はあまり変わっていない。その歴史が令和の現代にも流れていると感じるんです。あまり声高に言うといやらしくなっちゃうんだけど、さりげなく作品のなかに匂わせたかったという意識はあります。つまり、今この時期に公開するのにふさわしい内容なんじゃないかと。

──谷田部さんは総作画監督作業が佳境だと思いますが、手応えはいかがですか。

谷田部　重い内容ですよね。私自身、シナリオ段階から参加したので、キャラクターたちに対して感情移入や思い入れがすでに出来上がっているんです。自分としては、デザイナーや総作画監督の立場から、それが少しでも画に落とし込めたらいいなと思って描いています。

──デザインや総作画監督をしていて苦労はありますか。

谷田部　今回が初めてのキャラクターデザインだったので、どういうキャラが描きやすい・描きづらいのかよくわからず、暗中模索で設定を描いていました。キャリア的にずっと演出の仕事をメインでしていたので作画監督経験もあまりなく、しかも普段仕事しているスタジオを離れて……と、いろいろ初めてのことだらけで戸惑うことは多いです。が、昔から好きな鬼太郎なので頑張れます!

──一瞬映った人物や小道具が、伏線として後半に生きてきたり、一度観ただけでは気づかないような仕掛けが随所にあったりする、ということらしいですが……。

古賀　そうですね。子ども向けのTVシリーズであれば基本的に全部説明していくんですけど、今回は大人向けを目指していることもあり、情報をいっぱい散りばめつつも、その説明をしすぎない方法をとりました。

──二度三度と観ると発見があるということですね。

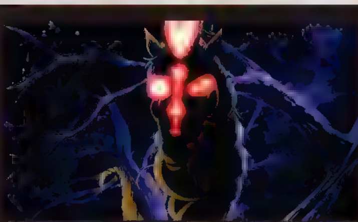
古賀　そうです。

──古賀監督にとっては、今回は5期の『劇場版ゲゲゲの鬼太郎 日本爆裂!!』に続き、2度目の『鬼太郎』長編映画となります。その間、6期で7本のエピソードも演出されていますが、TVではなく劇場作品を再び監督することに対してはどんなお気持ちでしょうか。

古賀　映画って特別なものだ、という意識が僕らの世代にはまだ残っていて、その意味では映画の持っている魔術みたいなものを表現したい、という思いはあります。ただ、映画になるための確固とした方法論があるわけではないんです。その意味では、『劇場版ゲゲゲの鬼太郎 日本爆裂!!』の時も「映画」を作ろうとしていたことに変わりはありません。

一方、5期の派生映画だったので、子どもたちがTVで愛してくれた部分は拾っていかなきゃなと思いながら、プログラムピクチャーとしての側面も大切にしていました。いい作品になったと思うんですけど、改めて見直してみると、作りたかった「映画」になりきれているか?と感じてしまうところはあるんですね。

ですから、今回の企画をいただいて、しかも大人向けだということで、ちょっとフルスロットルで今度こそ「映画」を目指してみよう、という意気込みで臨んでいるんです。



謎 その6 出没する妖怪たち

本映画では、ある強大な妖怪がラスボス的存在として事件全体に関わるが、その正体と出現理由については物語の核心に触れるため、ぜひ、映画館で確認していただきたい。ほかに登場する複数のゲスト妖怪たちについては、古賀監督は今まであまり陽の目を見なかった妖怪をなるべくフィーチャーするようにしたという。

──予告編の段階から、昭和の日本映画に対するオマージュのようなものも感じましたが、そこは意識されましたか。

古賀　それはかなりあります。もともと僕は古い邦画が好きなので。今回、舞台となる昭和30年代は日本映画の黄金期でした。僕自身、昔の日本映画はすごく面白かったという記憶があり、そのテイストを盛り込むことで今の若い観客の皆さんにも喜んでもらえるのではないか、と思っているんです。かなり自分の趣味の世界に近いですけどね(笑)。

──アニメであると同時に、どっしりと風格のある日本映画を1本観るみたいな予感があります。

古賀　ぜひ、そういう風に観ていただけると嬉しいです。大人向けのホラーとして予告編も怖めにしているんですけど、一方でとても切ない映画でもあります。怖そうだと敬遠されている方も、観ていただければきっと胸に刺さるものがあると思います。

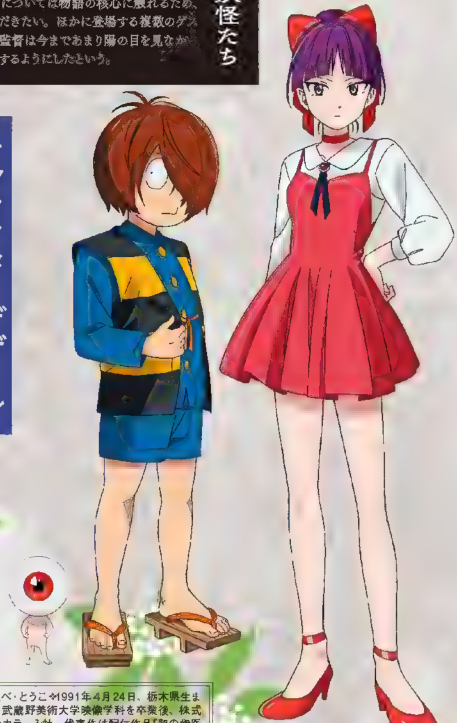
──谷田部さんからも、この映画の見どころを伺いたいです。

谷田部　古賀さんから最初に「大人っぽくしたい」と聞いていたので、TVシリーズほどデフォルメを強くしない人物デザインを心がけました。監督に昭和の男優・女優を例に挙げられることも多かったので、そういうリアルさというか、生っぽさが出ればいいなと考えていました。そして水木先生のエッセンスは常に盛り込みたいという思いがあり。いろいろ混ざり合って生まれた結果がこのデザインです。TVのイケメン目玉おやじから変えたり、原作の水木青年からアレンジしたりした部分については、すでにいらっしゃるファンの方々に受け入れられなかったらどうしよう、という不安もありましたが、変えるからには魅力的なキャラクターにしなければ、と。このキャラたちはこのキャラたちで好きになってもらえますように、という願いを込めてデザインしました。それが届いたら嬉しいです。

映画は、大人向けですしヘビーですけれど、さまざまな願いや気持ちが込められた作品なので、それらの意味や伏線を探しながら何度も観てもらえたら嬉しいなと思います。

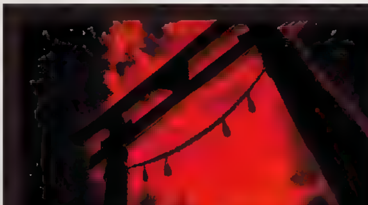
キャラクターデザイン

谷田部透湖



谷田部さんが6期デザインをベースにリファインした鬼太郎、ねこ娘、目玉おやじ

やたべ・とうこ◆1991年4月24日、栃木県生まれ。武蔵野美術大学映像学科を卒業後、株式会社カラー入社。代表作は配信作品『龍の歯医者』画コンテ・演出、TV『ゲゲゲの鬼太郎』6期(原画、ED3 絵コンテ・演出・作画)、映画『シン・エヴァンゲリオン劇場版』(副監督) ほか



謎 その7 空白の時間

従来、原作の『鬼太郎』で描かれてきた誕生編では、鬼太郎の父は包帯だらけのミイラ男のような姿で病を患っており、母もまた痩せ細ったお岩のような容貌だった。健康だった両親が、なぜこんな姿になってしまったのか、という空白の時間を埋めるドラマの創造こそが本映画の最大の意義であり見どころとなっている。

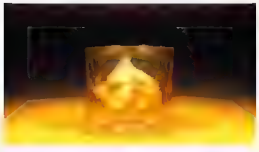
駒田蒸留所へようこそ

◆11月10日(金)より全国ロードショー
HP◆gaga.ne.jp/welcome-komada
©2023 KOMA復活を願う会／DMM.com

STAFF 原作／KOMA復活を願う会 監督／吉原正行 脚本／木澤行人・中本宗応 キャノクター原案／高田文果 キャノクターデザイン・総作画監督／八面恒介 美術監督／竹田悠介 色彩設計／田中美穂 3D監督／市川元成 撮影監督／笠本 智 編集／高橋 歩 音楽／加藤達也 アニメーション制作／P.A.WORKS
CAST 駒田琉生／櫻見沙織 高橋光太郎／小野賢章 河端朋子／内田真礼 安元広志／細谷佳正 ほか

琉生が背負うものの重さも知らず、光太郎は仕事への鬱屈した気持ちを彼女にぶつけてしまう。肩を落とす光太郎に、ベテラン職人・東海林が語る蒸留所の歩みとは——。

光太郎の記事はよくも悪くも、熱心なウイスキーファンの反響を呼ぶ。プレビュー数が伸びたことや、蒸留所で働く人々の想いを知るうち、光太郎の仕事に対する意識にも変化が訪れる。



大切な人たちとともにあるKOMAの思い出を、スケッチブックに描き留めていた琉生。琉生にとってKOMAは、今はバラバラになってしまった家族の絆を象徴するものでもある。

ウイスキーは熟成期間が長く、商品になるまで時間がかかる。苦境を考えれば買収話も選択肢のうちだが、駒田蒸留所で「KOMA」を復活させることへのこだわりは拭い切れずにいる。

高橋光太郎
ニュースバリュージャパンの記者で、琉生と組んでウイスキーの記事を手がける。やりがいのある仕事を持つ琉生を、恵まれていると感じるが……

駒田琉生
亡父の跡を継ぎ、駒田蒸留所の若社長に就任。クラフトウイスキー「わかば」をヒットさせた新進ブレンダーとして、業界注目の存在でもある

取材対象であるウイスキーに関心を持てず、下調べもろくにしてこない光太郎。これまで職を転々としてきた彼は、現在のニュースサイトの仕事も辞めることばかり考えていた。

よみがえれ、幻の銘酒

「働くこと」をテーマとした、P.A.WORKSおなじみ「お仕事シリーズ」最新作が劇場アニメで登場！
ウイスキー蒸留所を舞台とした、あたたかく薫り高い物語をぜひご賞味あれ！

災害の影響で製造困難になってしまった「KOMA」。その商品名に込められた思いとは……？

学生時代から絵が得意だった琉生は、今でもイラストを描くことも。趣味で描く程度だったが、一度は諦めたはずの絵の道が、琉生と光太郎に大きな転機をもたらすことに！

上司である安元や、琉生の兄・圭も光太郎の仕事観に大きな影響を与えていく。彼らもまたはじめから興味あることや、やりがいを感じられる仕事に出会えたわけではなかったのだ。

河端朋子
駒田蒸留所の広報担当。琉生とは幼なじみで、お互い何でも言い合える仲。今イチやる気が感じられない光太郎にイライラと呆れ顔を隠せない

安元広志
ニュースバリュージャパンの編集長でよき上司。記者の仕事に魅力を感じられない光太郎を気にかけ、ウイスキーの記事を書くよう勧める

ひたむきに働く人々の姿を描くP.A.WORKSの「お仕事シリーズ」最新作は、海外からも注目を集めるジャパニーズウイスキーの世界！ 駒田蒸留所の女性社長・駒田琉生は、幻のウイスキー「KOMA」復活に奮闘する若きブレンダーだ。

そんな彼女を取材する記者の高橋光太郎は、今ひとつやる気のない印象。でも実は、はっきりとした目標を持つ琉生を内心うらやましく思っているようだ。だが、琉生の行く道は光太郎が思う以上に険しいものだった。被災した蒸留所の再建に奔走し、父親は過労死——琉生は大好きな絵の道を諦め、美大を中退して蒸留所の跡を継ぐことを決意する。設備を修繕するため、多額の借金も背負い、さらに兄の圭は大手酒造メーカーに就職し、なんと駒田蒸留所の買収を画策している。そして、重い決断の連続だった琉生にさらなる困難が……!?

ニュースサイトの記者だからこそできる方法で、琉生をサポートしていく光太郎。駒田蒸留所で働く人々に触れ、いつしか彼にとっても、そこはかけがえのない場所になっていく。KOMA復活に向け、時を超えて絆と未来が繋がっていくさまは、まるで時間とともに熟成されていく銘酒そのもの。劇場からの帰り道はきっと、おいしいウイスキーが飲みたくなるはず！

蒸留所を支える社長の素顔

――この作品に最初に触れた時の印象をお聞かせください。

早見　『駒田蒸留所へようこそ』はP.A.WORKSさんが手掛ける、さまざまな仕事をテーマにした「お仕事シリーズ」のひとつです。琉生は駒田蒸留所の社長として働く女性ですが、亡き父が遺し、働いてくれている人たちは家族も同然という蒸留所を存続させたい。そしていつか、かつて駒田蒸留所で作られていた幻のウイスキー「KOMA」を復活させたいと、熱意を持って仕事に向き合っています。

――さまざまな想いを抱えて仕事に向き合う女性なんですね。

早見　はい。ただ一直線に駒田蒸留所を存続・発展させたいとか、KOMAを復活させたいというだけではなく、父の死をきっかけに変わってしまった家族への想いや、駒田蒸留所を継ぐにあたって諦めざるを得なかった琉生自身の夢など、多くの想いから仕事に向き合っているんですね。私はウイスキーに関しては素人ですが、琉生の仕事に向ける想いの中に、共感できるものがたくさんありました。この作品をご覧になった方々もさまざまな角度から、共感する要素を感じ取ってもらえるのではないかと思っています。

――早見さんが琉生に共感できたポイントは？

早見　琉生はもともと絵が好きで、将来もその方面に進みたいと考えていた子です。でも、前社長だった父が亡くなり、他にもいろいろな事情があって駒田蒸溜所を畳もうという話になった時、琉生は絵に対する想いを胸に押し込めて、蒸留所存続のために立ち上がりました。夢と引き換えにしても守りたいものがある。その“守りたいもの”が何かは本編を観ていただきたいのですが、彼女が抱く想いの源泉には、大きな共感を抱きました。

――琉生は普段落ち着いて見えますが、内心は強い感情を持っているのですね。

早見　そうなんです。表にはあまり見せませんが、熱い想いを持っています。自身が大切と感じるものに、心血を100%注ぐことができるのは、本当にすごいなと思います。普段は駒田蒸留所を背負う若き社長としての責任感が前に出ているし、大変な時でもそのプレッシャーを大きく表に出すでもなく、自分の胸の内にしっかり抱えて生きる――そんな姿がすごく素敵だなと感じました。

やる気のない光太郎の変化

――もっぱらの主人公、ご覧になる太郎についての印象をお願いします。

早見　高橋さんは物語を通じて、最も変化した人物だと思います。琉生に同行し、ジャパニーズウイスキーについての特集記事を作成する仕事を担っていますが、当初はやる気がないというか、仕事に情熱を注ぎきれないところがありました。そんな彼が、琉生や駒田蒸留所のスタッフの仕事に対する情熱に触れつつ、ウイスキー作りの奥深さに気づいていくことで、自身の仕事に対する熱量が上がっていく。そうしてやりがいを感じるようになれば、仕事への向き合い方も変化していきます。高橋さんの心の中で眠っていた情熱が、どんなきっかけで目覚め、人としてどう成長していくのかは見どころのひとつなので、ぜひ注目していただきたいですね。

――「自分のやりたい仕事と違う」と言ってしまう、今の自分からの脱皮でしょうか？

早見　誰しも大なり小なり、「これは本当に自分がやりたいことなんだろうか」と思う気持ちがあると思います。高橋さんも、最初はウイスキーのことを全然知らない状態で取材に来て、琉生も内心ではちょっと不安もあったんじゃないかなと思います。序盤は、幼なじみ兼仕事の相方でもある朋子に見せるような素の表情は一切向けず、他人としての距離感で接していました。でも、高橋さんの仕事に対する意識が変化して、蒸留所の内情に関わってくるようになってからは信頼が芽生え、琉生のほうから自身の内心を吐露するまでになっていきます。

――朋子の印象は？

早見　朋子は琉生とは学生時代から縁があり、親友と呼べる間柄なんですが、仕事とプライベートをきっちり分けて意識している人という印象です。仕事中、琉生が朋子を友達口調で呼ぶと「その呼び方やめてよ」と言ってきたりとか。

――仕事に不真面目な光太郎に対して、辛辣な姿が印象に残りました。

早見　朋子はチャキチャキとはっきりしているので、事前に勉強もせずに仕事に来た高橋さんにピシッと注意してくれたり、とても頼もしい姿を見せてくれました。駒田蒸留所を昔から知っていて、琉生がどんな想いを胸に蒸留所を支えているのかを理解してくれているからこそなんだと思います。本作は「仕事と家族」がテーマですが、琉生が社長業をがんばる動機となっている「家族の在り方」への想いというのを、朋子もまた大事にしてくれているんでしょうね。

KOMA復活とウイスキーへの愛

――「仕事と家族」がテーマとのことですが、それを強くかんじたシーンはどんなところでしょうか？

早見　琉生は、かつて駒田蒸留所で製造していたKOMAを復活させたいと願っていますが、この動機の根底には、形を変えてしまった家族の在り方への想いがあります。琉生には主という兄がいて、ちょっと複雑な関係になってしまっているんですね。

――兄妹の間に何があったんでしょうか。

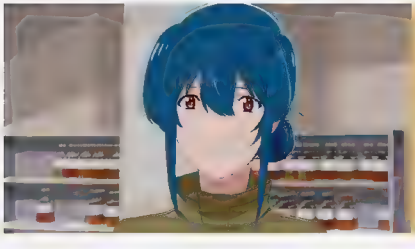
早見　父が存命で、琉生がまだ絵のほうに強い興味を抱いていた学生時代、駒田家の家族の距離感はとても近いものでした。でもさまざまな出来事があって、兄だけが細かい事情を何も語らずに、家族と離れた道へ進んでしまった。琉生はその出来事に対して複雑な感情を抱えていますが、同時に家族がもう一度、かつて父がいた頃と同じように近い関係に戻ってほしいとも思っています。

――その想いがKOMA復活にも関わってくると？

早見　そこは本編を観て確かめていただきたいです。ただ、実は兄は兄で、琉生や家族のことをないがしろにしていたわけではなくて。彼なりに家族と駒田蒸留所を思う気持ちがあり、それゆえに家を出て独立する道を選んでしまったんですが、その事情もKOMAを復活させる過程の中で描かれていきます。

――KOMA復活から始まるシーンの中で印象に残ったシーンはありますか？

早見　ウイスキーの作り方を全然知らなかったのですが、琉生が「どうやってウイスキーが作られていくのか」を詳しく説明してくれるシーンは、どれも新鮮な驚きがありました。KOMAは、駒田蒸留所で製造



胸に秘めた家族の肖像

駒田琉生役　早見沙織

した原酒だけじゃなく、他にもいくつもの蒸留所で生み出された原酒を調合して作られているんです。たくさんある原酒をひとつひとつ、味と香りを確かめて、どんな配分でどの原酒を調合すればいいか、細かくこだわって作っていく。ウイスキーへの愛がなければできない、気の遠くなるような作業だととても感心しました。

琉生の熱さと守ろうとする想い

早見　その手順も大変ですが、他の原酒を製造した蒸留所の人たちのウイスキーに注ぐ愛情も、しっかり感じ取れるところがすごいと思います。P.A.WORKSさんの「お仕事シリーズ」ではたくさんの人が集い、それぞれの想いを胸に抱きつつ、ひとつのモノを生み出していく過程が描かれています。本作でもそれは健在で、KOMAに関わる人々の強い想いが感じられるからこそ、細かな作業のひとつひとつが、よりリアルに胸に迫ってくるんだと思います。

早見　琉生はわりと落ち着いた女性で、そこまで強く感情表現を見せることは、あまりないんです。でも収録中、「お酒にまつわる話や、KOMAに関する話をする時は、内側に持っている熱さがにじみ出るように演技してください」とディレクションをいただきました。普段は表に出さないけれど、計り知れない熱さと強い想いを持って仕事に取り組んでいることを琉生のセリフの端々から感じ取れるように、お芝居には注意したつもりです。

早見　物語の後半、KOMA復活に取り組んでいる最中に、大きな事件が駒田蒸留所で発生します。その時、琉生は自分の身を省みず蒸留所に飛び込んでケガをしてしまうんですが、なぜそこまでしてKOMAを守ろうとするのか？　その時、琉生がKOMAを通じて「守ろう」としていたものは何だったのか？　それが伝わるように想いを込めてお芝居をしましたので、注目してほしい場面ですね。

早見　「お仕事シリーズ」は、仕事を通じて働く場所や家族など、周囲の人たちとの繋がりを考えさせる作品で、本作はまさに「仕事と家族」をテーマにした1本になります。お仕事に向き合っているすべての人に刺さるシーンが、きっとある物語です。スクリーンでご覧になって、たくさん心を動かしていただけたら嬉しいです。

Saori Hayami

5月29日生まれ／東京都出身／アイムエンタープライズ所属／主な出演作に、『SPY×FAMILY』（ヨル・フォージャー）、『鬼滅の刃』（胡蝶しのぶ）、『婚約破棄された令嬢を拾った俺が、イケナイことを教え込む』（シャーロット・エヴァンズ）ほか

琉生への共感

子供の頃、自分の心情を明かすのが苦手でした。でも、学生時代に声優の仕事を始めて、いろいろな感情を抱え込むことが増えたんです。そんな時、帰宅すると母が「今日どうだった?」と声をかけてくれて、「ああ、ここでは私の気持ちを話していいんだ」と安心したことがあって……。さまざまな出来事で行き詰まった琉生が、母親に「この後どうしよう」と吐露する場面があるのですが、自分の経験と重なって、本当に共感しかありませんでした。

理想的な先輩

安元さんは、琉生が手掛けた別の仕事で関わりがあったくらいの関係で、直接言葉を交わすことも稀だったんです。そのため、収録時は気づかなかったのですが、完成した映像を観た時、「自分の仕事場に、こんな先輩がいてくれたらいいな」と思いました。仕事に行き詰まった時や失敗した時、気づけばしっかりとフォローしてくれて、言葉少なに指針を示してくれる安元さん。彼はまさに理想的な先輩ではないでしょうか。

イラストと色

琉生は原酒のテイスティングをすると、その印象をイラストで描き出しますが、私も音楽を耳にした時、イメージを色で感じることがあります。例えば、私が昨年出した「Awake」という曲は、モノトーンだった夜が明ける時に強い光が差し込むというイメージだったんです。以前のライブで、何も伝えていなかったのに「Awake」の照明がイメージ通りになっていて、スタッフの皆さんと心の一部を共有したような、不思議な感動を味わった経験があります。

未知の世界に飛び込んで

モヤモヤを抱えた光太郎へのシンパシー

小野　実は、光太郎にも共感できる部分はかなりありました。「何もわからないことをいきなりやれって言われても」「俺は知らないよ」みたいな。たとえば僕自身、いきなり医者を演じてと言われたら、これは難しい（笑）。何も知らない、わからない……光太郎はそういう戸惑いから始まるキャラクターなので、ごく自然に役に入ることができました。

小野　台本を一読して、光太郎の戸惑いから成長までの流れがごく自然に描かれているなと思いました。この流れのままに演じていけば大丈夫だな、という安心感がありましたね。異世界やファンタジーではないリアルな世界観なので、等身大の人間らしい自然な会話になればなと。

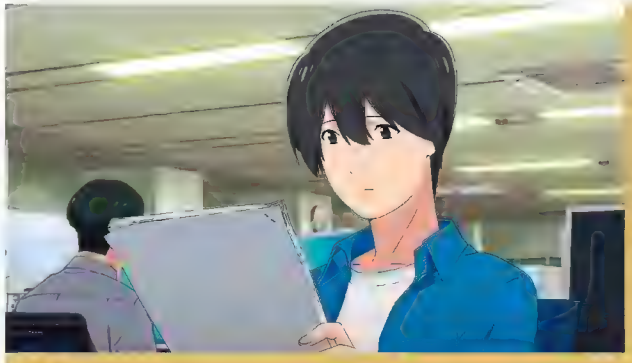
小野　そうですね。たとえ自分が知らない世界でも、知識が増えてくるにつれてどんどん楽しくなってくることってありますよね。未知の世界に飛び込んでいくのはかなり不安だし、フラストレーションもたまると思います。でも、物事の仕組みや、関わっている人たちの想いがわかってくると、これまで興味がなかったことでも楽しくなってくる。同じように、光太郎も知ることで面白味ややりがいを発見していきます。僕はそこにすごく共感しました。

小野　普通だな、と（笑）。キャラクターのビジュアルも、台本から読み取った人物像も、いい意味で普通だと思いました。なので「もうちょっとこうしようかな」といった色付けは特に考えず、台本やキャラデザを拝見した時に受けた自然なイメージを大切にしています。あと、収録は僕が一番最後だったので、ほかの方のお芝居を受け取って、きちんと返せば成立するなと思いました。それもあって、収録はかなりスムーズに終わったんです。ただ、最初の役作り——もうちょっと若めにやってみようかとか、もう少し元気にとか、そうした微調整はやってから収録に挑みました。

ウイスキーを通じて繋がる縁

小野　美大に通っていたくらいだから、おそらく絵に関わる職業を志していたと思うんですよね。でも、自分が好きだったことを諦めてでも、琉生は大事な家族や蒸留所を守りたかった。それは彼女にとって、とても重い選択だったと思いますが、光太郎からすると、やりがいがある仕事をしている姿がうらやましくて、どこかまぶしく映る。そのすれ違いというか、対比が序盤の見どころだと思います。

小野　「なんでもいいからやってみろ!」といった感じで、入社してさほど経っていない光太郎に無茶ぶりするようなところがある人です。光太郎も最初はどこか納得がいっていない感じだったんですが、それも安元さんなりの優しさや、部下を育てようという意図があってのことで。人間的に成長した光太郎には、そんな安元さんの懐の深さが理解できるんじゃないかな。さらに、安元さんがどんな経緯で記者になったのかとか、その背景にあるものを深掘りしていくと、やっぱりそこには彼の人生があって……。あと、キーアイ



高橋光太郎役 小野賢章

――小野さんが気になった人物は？

小野　東海林さんです。駒田蒸留所の一番の古株で、最初は光太郎に対しても無愛想でしたが、蒸留所の歴史や、そこにいる人たちの歩みを誰より知っている。光太郎が琉生に心ない言葉を投げつけた時、東海林さんが「おまえ、ちょっと来い」と光太郎を連れ出すシーンがあるんですが、これって完全に怒られる流れだと思うんです。でも、ここで東海林さんが光太郎に語ったことは、蒸留所の歩みを知っているからこそ出てくる言葉なんですね。長年そこに動めてきた大人の、器の大きさを見せてもらったシーンでした。

――今作のモチーフは『ウイスキー作り』です。今作に関わったことでウイスキーに対するイメージに変化はありましたか？

小野　序盤、光太郎が居酒屋でウイスキーを頼むシーンがあるんですが、あの心理はすごくよくわかるし、一番共感できたポイントでもありました。これまではあまり口にしてこなかったけど、関わったら興味が湧いて「ちょっと飲んでみるか」という気持ちになる。僕もバスケットボールの選手……プロのBリーグ選手に取材させていただいたことがあって、やっぱりそういうご縁ができると、自然とその選手が所属しているチームを応援したくなりました。僕は普段、お酒はあまり飲まないのですが、光太郎を通じてウイスキーのことを知るうちに飲んでみようかなという気持ちになったし、実際に飲みました（笑）。

――小野さんはおのみつパーソナリティーも務めていて、お酒に縁があるお仕事が多イメージがあります。

小野　よく「毎日飲んでいそう」と言われます。なんでかな……顔が濃いからかな（笑）。もちろんお酒が嫌いなわけではなくて、仕事が終わった後の締めとして飲みたくなることが多いです。あとはみんなが飲むなら、という程度ですね。

――初めてお酒を飲んだ時のことを覚えていますか？

小野　初めて飲んだのは二十歳くらいだと思うんですが……そのころはビールもウイスキーもおいしさがわかりませんでした。最初はピーチウーロンとかカシスオレンジ、カルアミルクとか、口当たりのいいお酒から入ったんじゃないかな。でも、台湾で飲んだ青島ビールはすごくおいしかったです。暑かったこともあるのですが、日本のビールと比べて軽めで、そこからビールのおいしさがわかるようになりました。

――たしかにそのお酒を飲んだ場所、気候も記憶に残りますよね。

小野　人から「めっちゃ暑い日にガッとビールを飲むと、最高の瞬間が訪れるよ」と言われたことがあるんですが、それを実際に経験できてよかったです。ああ、これかって（笑）。ビールと違って、ウイスキーは特にきっかけもなく、自然と飲めるようになっていましたね。

――お酒は控えめにされていらっしゃるとのことなので、琉生のようなウイスキーのインストラクターになるのは厳しいでしょうか？

小野　いやあ、僕には無理ですね。あんなに飲んだら致死量です（笑）。

――公開を楽しみにしているファンに向けて、見どころを教えてください。

小野　僕自身、本作を通じて初めてウイスキー作りの過程や大変さに触れて、これまで知らなかった世界を知ることができました。それと、働き方や仕事への向き合い方について、もう一度見つめ直す機会をもらいました。本作をご覧になる方の中には、今の仕事をなんとなくこなしている方、やる気はあるけど、どうしたらいいかわからない方、職場での居心地があまりよくない方……いろいろな方がいると思います。でも『駒田蒸留所へようこそ』を観て、ちょっとここを変えてみようかなとか、もう少し責任を持って仕事してみようとか、何かひとつでもいい影響を受け取ってもらえたなら、とても嬉しく思います。

Kensho Ono

10月5日生まれ／福岡県出身／アニモプロデュース所属／最近の出演作は、『ドッグシグナル』（佐村永祐）、『僕らの雨いろプロトコル』（時野谷絢）、『Paradox Live THE ANIMATION』（九頭竜智生）ほか

テムとして和重子が登場するんですが、これにまつわる安元さんのシーンがすごく素敵なんです。人生は何がどう繋がるかわからないからこそ、ひとつひとつの縁を大事にしている人。知れば知るほどいい上司だなという印象です。

――ほかにもさまざまなキャラクタ

すみっコぐらし
ツキハキ工場のふしぎな
みんなの
笑顔が見たいから

ひょんなことから、森のすみっこにある不思議な工場で、おもちゃ作りを始めたすみっコたち。力を合わせてぬいぐるみを完成させ、くま工場長にも褒められて気分は上々！

ところが、その仕事量はとんとんエスカレートし、すみっコたちは休む間もなく働き続けることになる。出荷されたおもちゃは明らかな供給過多。それでも生産をストップすることはできないまま、そんな中、町にあふれたおもちゃたちは、意思を持ったかのように動き始める。一体この工場にはどんな謎が!?

工場はあくまでものを作るためのもの。ならは動き続けないと存在意義はない。壊れたものや古いもの、役に立たないものは捨てられて当然——そんなふうに自分で自分の価値を決めてしまうと、そこから抜け出せなくなっていく。

しろくまなのに寒がりなコ。とんかつなのに食べてもらえなかったコ。本当はきょうりゅうなのに言えないコ——みんなそこにいるだけで意味がある。お互いを認め合うことができたなら、きっと明日は笑顔になれるはずだ。

すみっコたちの生き方は時代のスタンダード

監督 作田ハズム × 脚本 角田貴志（ヨーロッパ企画）

※ストーリーのネタバレ部分も含まれます。鑑賞後にお読みください。

さくた・はずむ
1979年生まれ。主な監督作品に『猫のダヤン』『大家さんと僕』『宇宙なんちゃら こてつくん』ほか

すみた・たかし
1978年生まれ。劇団「ヨーロッパ企画」所属の俳優、デザイナー。様々なTV・映画などの脚本も手掛ける

「すみっコが働く」

——作田監督は『映画 すみっコぐらし』ご初参加ですが、どのような経緯で？

作田 第1作から『すみっコ』を制作しているファンワークスさんとは、僕は20年ぐらい仕事をやっていまして、その流れで声がかかりました。ファンワークスのみんなが『すみっコ』のお仕事をしているのを、僕はちょっとうらやましく見ていたので、いつか関われたらいいなぁとは思っていたんですけど、まさか監督の話が来るとは、という感じで。

オファーを受けて考えたことは？

作田 映画1、2作目もそうですが、すみっコたちって劇中で一切喋らないんですよね。これって、実は演出的には難しくて。変な間ができたりしてリズムがおかしくならないよう、旧作を見直して勉強しました。

映画1作目から築かれてきた『すみっコ』独自の世界がありますよね。

作田 最近のアニメって、撮影処理（エフェクト）でバリバリに見た目を良くしていく方向性ですよね。でも極力そういうのはなくし、なるべく原作絵のような素朴な雰囲気を目指しています。絵の角度もあまりつけず、奥行きを感じさせない平面的な構図で。それと音周りで言うと、すみっコたちが喋らない分、音楽がずっと入っているんです。その分、あえて音楽がない部分も何ヵ所か作り、音楽の効果を狙いました。

たとえばどんなところで？

作田 とんかつがバタバタしているところから、くま工場長から魂が抜けるミステリアスなシーンに切り替わるところとか。当初はつながる感じで曲が作られていたのですが、あえて一瞬、空白を作り、シーンの切り替わりを見せました。

そして角田さんは、1作目以来の参加ですね。

角田 2作目で監督も脚本も変わったので、3作目でまたお呼びいただけるとは、という驚きがありました。作りたい場面もまだたくさんあったので、とても嬉しかったです。今回の工場という舞台は、よこみぞゆりさん（原作）から出てきたものですが、実は1作目の時に僕から出したプロット案の1つに「工場見学」もあったんです。僕としては、ベルトコンベアにすみっコたちが乗っていたら楽しいかな、くらいの思いつきだったのですが、今回形になってよかったです。

すみっコたちって、もともとぬいぐるみっぽい造形ですよね。後半おもちゃになりすますシーンも出てきますが、それを逆手にとった感じがしました。

作田 それに「働く」というのが、すみっコたちのイメージと離れているので、面白いんじゃないかなと。すみっコたちって、僕の中では毎日ゴロゴロしていて、テキパキ動くイメージがなかったので（笑）。

——今作、意外とみんなしっかり働いていますよね（笑）。

作田 そうなんですよ（笑）。頑張ってもらいました。

お二人は、今回のお仕事が初めましてなのでしょうか。

作田 はい、そうです。実は僕、角田さんが出演されているお芝居（ヨーロッパ企画25周年ツアー「切り裂かないけど攫いはするジャック」）をちょうど昨日拝見したんです。めちゃめちゃ面白かったです！

角田 ありがとうございます！

作田 ヨーロッパ企画のちょっとバカバカしい面白イズムって、『すみっコ』の面白さと全然違う気がするんです。『すみっコ』はもっと感傷的な優しい世界だと思いますが、角田さんの中で、どういう棲み分けをしているんですか？

角田 ヨーロッパ企画は、ちょっと人をイジる感じの、あんまり今時ではない方向性なんですね。ただ、『すみっコ』も似たところはあって、「そこ、いいね」って相手を褒めると『すみっコ』の世界観になる気がします。それにヨーロッパ企画は「主役はこの人」って感じではないんですよね。「コイツらの集団の動きが面白い」みたいな。そこも『すみっコ』と共通していて、実は両者そんなに遠くないんです。

作田 なるほど。確かに言われてみるとそうかもしれない。

角田 第1作の時にも、会話劇による群像劇が得意だろうということでオファーをいただいたんです。とはいえ、やっていること自体は違いすぎるので、ある種、頭を切り替えて作っているところはありますね（笑）。

角田さんから見た作田監督は？

角田 作田監督の『宇宙なんちゃら こてつくん』は知っていたので、こういうかわいくて楽しい作品を作る人なら『すみっコ』も面白く作っていただけそうだなと思いました。

作田 ありがとうございます。

角田 あと、打ち合わせで感じたのは、ちゃんとやりたいことがある方だなと。ご一緒する相手が何をやりたいのかを探るのに時間がかかる場合もあるんですが、作田監督はそこがすんなり伝わってきたので、頼もしい方だなと思いました。

——すみっコって、社会のセンターになれない人たちのメタファー的な感じがありますよね。そういった世界観についてはどのように捉えていますか？

作田 僕の偏見かもしれませんけど、アニメを作っている人たちって、だいたいセンターにいない人たちなんです（苦笑）。でも、もはや僕らだけじゃないというか、「自分はセンターにいる」と自覚している人って、逆にそんなにいない気がして。だからこそ『すみっコぐらし』が、こんなに幅広い層に受け入れられているのだと思います。

はたから見たらキラキラしている人でも、「自分はすみっコだ」と思っている人も多いのかもしれません。

角田 すみっコたちの生き方って、みんな何かしら思い当たる節がある気がします。それに、本人が引け目を感じていることでも、他の人から見るとそこが魅力的だったり愛らしいと感じる部分だったりするので。

作田 もはや、すみっコたちのマイペースな生き方こそが、今の時代のスタンダートなのかなと。

角田 原作の資料をめくっていても、すみっコたちっていつも誰かと一緒にいるんですよね。一人でいると、つい卑屈になったりネガティブなことを考えてしまうこともあるかもしれない。けれど、「そのままでいいんじゃない」とお互いに認め合えたら、それは素敵なことなんじゃないかなと思います。

工場の不思議さは古代遺跡のイメージ

今作の方向性が決まり、すみっコたちを工場で働かせることになったと。

角田 そして事件に巻き込まれ、最後は工場の秘密に迫っていきます。

「ツギハギ工場のふしぎなコ」というタイトルの意味が、最後のほうになってようやく分かる仕掛けですよね。

作田 サンエックスさんから、「工場という大きなすみっコを出す」というアイデアがありまして。すみっコたちってちんまりしたイメージがあるでしょ。大きい身体だから「コ」というのは不思議な感じはしますが、精神的にはすみっコだから「コ」ということで。

劇中での工場、かなり身体が伸び縮

しろくまの過去のドラマ

角田 よこみぞさんとサンエックスさんのアイデアに「顔の付いた工場」のほか、「しろくまの過去」というのもあって。どちらも捨てがたくて、2つとも生かしたお話になりました。

作田 しろくまのツギハギのぬいぐるみは、実はくま工場長と同じ姿をしていました。そこは後半のびっくり要素なので、本当はもっと、似ても似つかない造形のぬいぐるみにしたかったんです。でも、『すみっコ』の世界観だと、丸っこいフォルムから崩せなくて（苦笑）。

しろくま

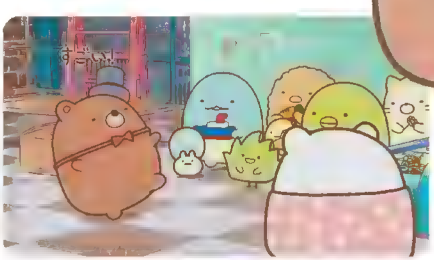
[illegible]

♪おもちゃに変身！
くまの着ぐるみ姿で太鼓をトコトコ

「工場でのお仕事着」
スカーフとして、ふろしきはいつも一緒

しろくまの過去
しろくまなのに寒がりな体質で、故郷から逃げるように温かい町へとやってきた。家に置いてきた大事なツギハギぬいぐるみとの出会いの記憶を紐解き、工場の謎へとたどり着く。

くま工場長
[illegible]の工場に呼び寄せておもちゃ作りを手伝ってもらう。実は自[illegible]おもちゃだったと判明


すみっコたちを先導
おそろいの制服や美味しいご飯、住み込みの部屋を用意し、すみっコたちのやる気を引き出す。しかし生産数が頭打ちになっても、ひたすらみんなを急かして働かせ続けるように。

みしますよね。
作田　ちょっと精神世界のイメージもありますね。気持ちが小さくなると、身体もキュッと小さくなります。

逆に、巨大ロボになるシーンは、メカアニメの定番的な面白さがあります。

作田　これはぜひやりたくて。手足の生えている工場のデザインを最初によこみぞさんが出された時から、「もうこれはもう暴れさせるしかない！　ならば変形ロボだろう！」みたいな（笑）。

工場から脱出するすみっコたちもカッコいいです！　勇ましいBGMがバックに。

作田　いわゆる男児アニメの要素も入れたかったんです。子どもたちって、かわいくて柔らかいものだけでなく、カッコいいものも好きでしょ。メカ好きの層にもリーチしたいというお話もあったので。

――最初にすみっコたちが工場に入った時に、バーンと工場の全容が見えるカットも、ギリギリ絵本感もありつつ、カッコいいですよね。

作田　ちょっと『天空の城 ラピュタ』みたいなスチームパンクというか、古代遺跡に足を踏み入れたようなイメージが出せればと思いました。

そんな工場で嬉々として働いていたすみっコたちですが、どんどん疲弊していきます。

作田　みんな働くことに没頭するあまり、心をなくしていく感じです。本来の楽しかったおもちゃ作りから離れてしまいました。

角田　愛情を持ってもの作りをしていたはずなのに、どこか「作業」になってしまっていないだろうか、ということですよね。とんかつが機械の中に落ちてしまっても機械の動きが止められないというのは、チャップリンの映画みたいなイメージです。

作田　本当に危ないですよね。子どもたちは真似しないでほしい。

角田　いわゆる現場猫案件ですよね。

作田　だから、事故の描写はともかく、「機械に乗って遊ぶ」みたいな見せ方はしないよう、サンエックスさんからも言われていました。たぴおかがベルトコンベアで運ばれてしまうくだりもありますが、あれは機械が動く前に乗っていたので、いわば巻き込まれただけなんです。

――すみっコたちがベルトコンベアで脱出するシーンでは、みんなおもちゃに変装しましたが、このアイテアは？

作田　衣装替えとして、サンエックスさんからすみっコたちのおもちゃコスプレのデザインをいただいていたんです。それをシナリオに組み込んだ形です。

特にとんかつは車になって大活躍ですね。

作田　最初はトラックを運転してみんなで脱出するという話だったんです。でも、「すみっコたちに車の運転をさせるのはどうか」という話になり、ミニカーなら大丈夫かなと。「じゃあ、とんかつに乗っちゃえばいいじゃない」という感じで決まりました。デザインとシナリオがうまくはまりましたね。

すみっコたちを追い込んでいくゲストキャラクター・くま工場長はどのようにして考えられたのでしょう？

作田　「工場がキャラクターとして動き出すまでの間、誰がストーリーを回すのか」というところで、くま工場長が生まれました。そこから、しろくまの過去とリンクさせました。

角田　最初からそこを明かさないよう、しろくまの記憶がとんとんさかのぼっていく流れにしています。そして最後に、ぬいぐるみとの出会いの瞬間にたどり着いて「実は！」という形にしています。

しろくまは自分の環境になじめなかったコですよね。しろくまなのに寒がりって結構致命的な話で。家族に何も言わずに飛び出したというのは、とてもそこにはいられなかったんだなと。

作田　しろくまにとっては、切実な話ですよね。寒くてたまらない場所にずっといるというのも、なんとなくもの悲しさがありますし。見た目的にも、おかあさんときょうだいは毛がふさふさしていて、しろくまはツルッとしているんです。

しろくまの家族は、今回の映画で初登場ですね。

作田　原作では、いくつかの絵本に家族の背中や手足だけがちらっと出ているだけでしたが、アニメだと顔を見せない描き方が難しくて。なにしろみんな手足が短いので、たとえばぬいぐるみを持ち上げて顔を隠すといったことができないんです。そのため、映画用によこみぞさんにデザインしていただきました。

しろくまとぺんぎん（本物）が顔見知りというのも『すみっコ』ならではで面白いです。北極のシロクマと南極のペンギンって、実際は一生出会えない気がするので。

角田　映画に使えそうな要素を原作の4コマ漫画や図鑑からいろいろ引っ張ってきているんですが、その中にぺんぎん（本物）が旅をしているという設定があったので、現在のしろくまのところにも来てもらえればと。

作田　しろくまが故郷を出るきっかけを作ったキャラクターなので、もう一度来てもらおう、となりました。

「人生の再出発」をどのように考えるか

工場の心に触れるクライマックスは、それでも仲間だよ、といったすみっコたちの言葉が温かいです。たとえ古くなっても、役に立たなくても。

作田　そこは映画の見せ場に持ってこようと思いました。暴走した工場と対話し、受け入れるのがすみっコたちの優しさかなと。

私たちの問題に引き寄せると、実は周りの人たちって意外と温かいんだよってことでしょうか。

作田　そうですね。自分は一人だと思っ

♪おもちゃに変身！

ライバルはしろくま!?
作田　ぺんぎん？は、しろくまとちょっと張り合っている感じがしていたので、今回の工場でも二人には競い合ってもらいました。
角田　ぺんぎん？とぺんぎん（本物）の出会いのシーンもあります。一緒にきゅうりを食べるというほっこりネタは、原作から拾わせてもらいました。

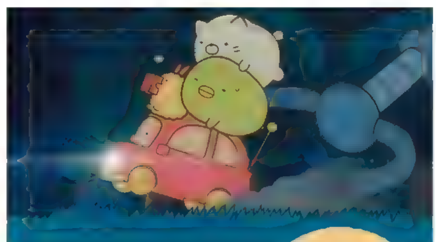
工場でのお仕事着

とんかつ

♪おもちゃに変身！

工場でのお仕事着

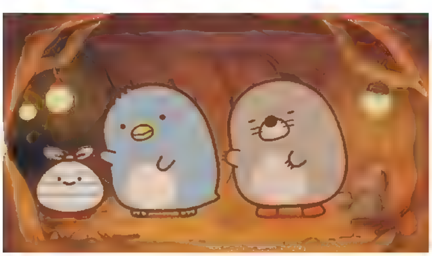
大量のニセとんかつが
作田　みんなで木に引っかかったボタンを取ろうとしたり、アクションシーンでは車になったりと、今回のとんかつは大活躍でした。中でも、大量のニセとんかつが出てくるところは見せ場です。
角田　ニセとんかつとの引っ張り合いは、「大岡裁きがやりたい」という、よこみぞさんからの要望でした。ちなみに、とんかつは工場のお仕事では箱詰め担当でしたが、とんかつはこういう単純な作業に一番順応できる気がしたんです。



♪おもちゃに変身！

工場でのお仕事着

妄想で華麗なダンスも
角田　今回のねこは、これまでになく、はっちゃけている気がします。理想のスタイルで踊るシーンもかわいらしいです。
作田　妄想の中ですが、ねこがラインダンスみたいなのを踊ります。性別設定はないものの、ねこはかわいいものが大好きで、スレンダーな姿にも憧れていて、ちょっと乙女チックですよね。



ていても、助けを求めれば助けてくれる人もきっといるはずで。あなたがみんなに必要とされているのは成果の部分だけじゃない。あなたがあなただから仲間なんだよと。アニメの仕事にしてもそうですが、人って数字で計れないところが結構あると思うんです。単に絵の上手さとか手の速さだけではないところで、チームに貢献している人もたくさんいます。

すみっコたちのぬくもりが工場に伝わり、絡まったツタがほどけていきます。

角田 ツタというのは廃墟のイメージとして分かりやすいかと思いまして、脚本段階から入れておきました。

作田 ツタのほどける描写は、絵的にかなり苦労したところです。要は「人生の再出発」ですよね。一度役目を終えてしまった人が、その後の人生をどう歩むのかという。

そこからの、工場が映画館に生まれ変わるラストは驚きました。

作田 ここは僕の独断ですね。工場が壊れるというのは早々に決まっていたのですが、壊れっぱなしで終わらせるわけにはいかないだろうと。サンエックスのどなたかが「廃校を水族館として再利用しているところがある」といった話をされて、そんなふうに姿を変えての再出発を入れられればと。じゃあ一体に何にすればいいのか、何週間か宿題にしていたのですが、メタ的なことをやったら面白いんじゃないかとふと思いついて。それで次の会議の時に「映画館にしたいです！」と提案したら、僕のテンションに呑まれたのか、それでいいんじゃないかということになりました（笑）。

角田 映画館というアイデアを最初に聞いた時には、正直ちょっと唐突かなと思いました（笑）。だって、そこまでの本編に映画館の話が全然出ていませんでしたから。でも、工場が映画館として生き生きと動いているエピローグを観たら、全然気にならなかったというか。「ああ、元気でいてくれてよかった！」という気持ちになりましたね。

——客席に座っているすみっコたちを見て、これは彼らの記録映画だったのかもしれないとも思わされました。

作田 最後に工場の顔がパッと出て、観ている子どもたちが「今自分がいる映画館って工場なのかも？」と思ってくれても楽しいかなと。工場はすみっコの町を後にしたという説明もわざわざ入れたので、「ひょっとしたらあなたの町にいるのかもよ」みたいな感じにできれば、夢があるかなと思いました。

——くま工場長は最後、劇場支配人として映画館にいましたよね。

作田 くま工場長と工場は、いわば一心同体の存在です。エピローグのくま工場長に魂があるのか、それともただの置き物なのかは、観た人によって解釈してもらえたらと思います。

工場のロゴマークが消えていないので、また動けそうですよね。

作田 動かそうと思えば、また動かすことはできるのかもしれません。それをやるかどうかは、工場の気持ち次第なのかなと。

——出荷されたぬいぐるみたちも、一時は町で徘徊していましたが。

作田 そうですね。ちょっとゾンビものみたいな見せ方でしたが。サンエックスさんから「怖くなりすぎないように」という要望があったので、楽しげな感じも入れつつ、バランスをとりました。

まるで大量生産、大量消費、大量廃棄社会の象徴のようでした。

作田 すみっコの町、そんなに住民がいると思えないのに、明らかに作りすぎでしたよね（苦笑）。動かなくなった後も、普通のおもちゃとして、あちこちでみんなにかわいがってもらえているといいなと思います。

——最後に、映画を観てくれた大人視聴者へのメッセージをお願いします。

角田 「大量生産は悪だ」みたいな話に見えるかもしれませんが、買った人にとっては、それはその人だけのものです。たとえ量産品であっても、プレゼントしてくれた思い出と共に、大切にできると思いますし。日々誰かが作ったものが、誰かの手元に届いているんですね。

ものづくりをしている人へのエールの側面もある映画ですよね。

角田 また、作る立場でなくなったとしても、また別の生き方もあるんだよと。それぞれの暮らしに引き寄せて、何かしらのメッセージを受け取ってもらえたらと思います。

作田 『すみっコ』の映画って、第1弾の頃から「大人が泣ける映画」みたいに言われがちですが、僕らとしては、子どもたちに楽しんでもらえる映画を一番に目指して作っています。この映画が身につまされるという人は、ひょっとしたら働きすぎかもしれないので、適度にお休みをとってもらえたらと思います（笑）。

——すみっコたちの生産グラフ、途中からガクンと落ちたのは明らかに働きすぎですよね（笑）。ただ、アニメ制作現場でもこういったグラフってありそうです。

作田 グラフではないですが、「何カットできた」みたいなノルマ表は『すみっコ』の現場にもありましたよ。「今週はあとどのくらい到達していない」みたいなのも出ていて。つまり、自分たちもしろくまたちと同じだったわけですが、それに気づかないぐらい大変でした（苦笑）。

——ただ、そうやって追い込んで頑張った結果、ファンの人たちに喜んでもらえるということもあり？

作田 そう、頑張ることはいいことなんです。だから、頑張れるなら頑張ればいい。そして頑張れない人は無理して頑張らなくてもいい。そういうお話なのかなって思います。

さりげない優しさ

角田 とかげはおっとりしている分、周りが見えているところがあるのかなと思います。

作田 食堂でねこがお水を待っているところで、とかげがスッと自分のお水をねこにあげましたよね。こういうさりげない優しさがあるのが、とかげかなと思います。

♪おもちゃに変身！
怪獣の着ぐるみ姿でガオー

工場でのお仕事着
にせもの仲間の、にせつむりとのコンビプレーも

映画 すみっコぐらし™
ツギハギ工場のふしぎなコ

応援ありがとうございます。
これからもよろしくお願いしますすみっコ♪

映画すみっコぐらしチームより

©2023 日本すみっコぐらし協会映画部

あっちもこっちも推しだらけ！

**日本最大級のコスプレイベント、今年も堂々開催！
コスプレパレード、コスプレクションのほか、
親子で楽しめるステージが用意され、
10周年にふさわしい豪華なイベントとなった**

『ゲゲゲの鬼太郎』鬼太郎（サンシャインシティ代表取締役社長）合場直人

『ウマ娘』ウマ娘神社CEO 横澤大輔

『ヒプノシスマイク』麿政

『鬼滅の刃』鬼舞辻無惨（豊島区長・高際みゆき区長プレフェスのコスプレコンテスト審査員）小林幸子

『シン・エヴァンゲリオン』葛城ミサト（豊島区長）高際みゆき

『薄桜鬼』風間千景（ビッグ・ホールディングス株式会社）丹羽庸弘

今年は、目玉企画「池ハロコスプレパレード」が規模を拡大して開催。アンバサダーの小林さんは「コスプレといえば歌の世界で私は30年以上やっているが、ゲームやアニメの分野は初めて。初心者でも楽しめる池ハロで一緒に盛り上がりたい」と話し、出発した

メインステージのあるイケ・サンパークの様子。女性によるコスプレは、『ブルーアーカイブ』や『勝利の女神 NIKKE』あたりが、勢力を増してきているように感じられた。男性のコスプレイヤーは、仮面ライダーシリーズや『呪術廻戦』のキャラクターに人気が集まった

会場の熱気は最高潮!!

2日ともに人出は、人数は、[illegible]ステージのあるイケ・サンパークでは、ガチ勢だけでなく、キッズを連れたファミリー勢も多数参加。大混雑ではあったが、非常に穏やかで広々としたコスプレ空間が形成されていた。

ハロウィンということで、おばけなどをモチーフにした衣装で参加する人たちもいっぱい。写真は『あんさんぶるスターズ！』とボーカロイドのキャラクターのハロウィン仕様。コスプレイヤーたちは、作品の垣根を越えて交流やパレードを楽しんだ

街全体がお祭りモード

[illegible]の商業施設や100店舗超の周辺店舗では、コスプレ衣装での入店が可能になった。池袋の至るところで、コスプレを楽しむ多くの人の姿が見受けられた。

池袋東口エリアを中心に、毎年2万人以上のコスプレイヤーが参加する日本最大級のハロウィンイベント「池袋ハロウィンコスプレフェス」通称、池ハロ。開催10周年を迎えた今年は、これまでにない大盛況となった。

池袋サンシャインシティとイケ・サンパークのコスプレエリアでは、スマートフォンゲームのコスプレ率が高く、『原神』、『ブルーアーカイブ -Blue Archive-』、『ウマ娘 プリティーダービー』などのコスプレイヤーが多く見られた。アニメ作品では、『ソードアート・オンライン』などのコスプレではお馴染みのタイトルから、『【推しの子】』、『機動戦士ガンダム 水星の魔女』といった、2023年の人気作のコスプレイヤーが勢ぞろいした。また、バーチャルYouTuberやボーカロイドなど、様々なジャンルのコスプレも見られ、同じ作品同士で集まり、集合写真の撮影を楽しむグループの姿も各所で見られた。

オープニングセレモニーでは、豊島区・高際みゆき区長が『シン・エヴァンゲリオン』の葛城ミサトのコスプレを、アンバサダーを務める小林幸子さんが『鬼滅の刃』の鬼舞辻無惨のコスプレを披露した。小林さんは、「池ハロコスプレパレード」にも参加し、歩行者優先道路となったサンシャイン通りからHareza池袋前を約400名のコスプレイヤーたちと練り歩き、手を振ったり撮影を楽しんだりしていた。

ほかにも、参加者が自慢のコスプレをランウェイで披露できる「ニコニココスプレクション」、親子でステージに立てる「親子でハロウィン」、コスプレイヤーによる腕相撲大会など、幅広い層が楽しめる様々な企画が催された。

池袋ハロウィンコスプレフェス2023

10月28日(土)・29日(日) 東京・池袋　HP https://ikebukurocosplay.jp/

©池袋ハロウィンコスプレフェス実行委員会

大人気配信アプリ『IRIAM』で話題のVtuber/Vライバーに注目!

IRIAM

Liver Magazine

IRIAM×アニメージュ
2023 December Vol.9

from あるやん

あるやんファミリーの皆ー！
みろっ！　ここがTEPPENだぁぁあ！
改めまして、『Animage』の1位ありがとう。
皆と想いの強さで掴んだ金メダルですっ。
あるやんが、『IRIAM』で目標に掲げたのが、
駅ポスと雑誌イベ1位。そしてS3ランク到達。
そんな、大きな目標を支えてくれて、
ずっと付いてきてくれて、ありがとう。
辛い時期も、もう無理だって挫けそうになった時も、
やっぱり、そばにいてくれて、笑顔にしてくれて、
早く立て、お前がやらなきゃ！って背中を押してくれたのは、
ここまで一緒に付いてきてくれた、リスナー様たちでした。
そして、お母様へ。
こんなに可愛く産んでいただきありがとう。世界一です。
大きくなって、お母様にこの雑誌を読んでもらうこと、
それもひとつの夢でした。
あなたの子に産まれてよかったです！
皆、ありがとう大好きだぁぁあ！
さて!!　感謝文はここまでにして、寒い一言を
ここでかまします。これ、ミッションなので。
イベント中これ、何度やりましたかね？
それでは大きな声で
「バラがバラバラーーっ！」
ありがとうございました。

あるやん

@aruyan_katakoto

見た目と圧倒的関西弁トークの落差の沼にようこそ。『IRIAM』いちでっけー羊ライバー

IRIAM

PROFILE

『Animage12月号』をご覧になっていただきありがとうございます!!
『IRIAM』より、みなさんを元気にするためにやってきましたっ!
あるやんいいますぅー(ハィ拍手)!
見ての通り、顔がとてもいい!
でも中身はコテコテ関西人。
よろしゅーなぁー!

わん(王)

@maroyaka_1 →

Liver * 02 | 10

王と書いてわんと読む！音楽好きな明るいお姉さんです！

PROFILE

はじめまして！
『Razzプロダクション』所属、
作曲家兼バーチャルライバーの
わん(王)と申します。
ファンネームは「わん王国民」、
一緒にいる鳥類の名前は
「あ昼さん」。『IRIAM』という
配信アプリを中心に
活動しています！

from わん(王)

わん王国民の皆様へ。
いつも一緒に夢を叶えてくださりありがとう！
たくさん愛していただき、わんは果報者にございます。
突然ですが世界は優しくあってほしい！
それぞれが「"好き"という感情を大切にする」を
積み重ね、その先にある
「昨日よりよい今日の世界」が見たい！
わんは「話し声を届ける」「楽曲・歌を届ける」
配信活動が好きです。バーチャル世界でも
表情や気持ちを想像できる
コミュニケーションが好きです。
皆様のことが「とてつもなく大好き」です！
何かを始める・やり直すのに遅すぎることは
ないのかもしれません。ひょんなことから
始めた活動ですが、見える世界は日々よりよく
変化しています。できるだけ長く一緒にいたいと
思えるひとがいるのはとてもあたたかく、なんだって
やってみようという気になるのです。
これからもご一緒に、明るい
現在の話をたくさんしましょうね。
心から愛しています。

音々乃一歌

IRIAM

from 音々乃一歌

いつも応援してくれる皆へ♪
デビューからまだ3ヵ月目の新人ライバーだけど、
いつもそばにいてくれてありがとう
皆の言葉や応援で毎日幸せです
たくさんの幸せな気持ちを教えてくれて、
苦しい時悲しい時は寄り添ってくれて、
本当にありがとう
私はデビュー当初自分に自信がなくて、
そんな気持ちをなくしてくれたのは、
まぎれもなく音々乃一歌の応援隊の皆です
私は努力は必ず実るっていう言葉を
信じてるライバーです
これからももっと努力してみんなの
自慢の最推しになります
ずっとそばにいてね　だいすき
♪いっちゃんか
いっちゃん最強アイドル♪
音々乃一歌より

アニメ大好き！元気100%アイドル

PROFILE

はじめまして
アニメが大好きでアニソンを
たくさん歌ってます♪　最強アイドルです！
キミの大好きを連れて走り出すよ♪
準備はもちろんOKだよね？
『ピカフロダクション』12期生の
音々乃一歌です
（誕生日は2月10日
#ねねのんにキャッチされたいのん）

芋之山かわる

@kawaru_imo

Liver No.05 | 10

『IRIAM』で唯一
9ヵ月連続で
掲載されているオンナ

PROFILE

皆、累計連続9ヵ月に到達したわ。
もちろん、『IRIAM』史上初よ、
そしてそれは今後も続いていく。
つまらないなんて絶対に言わせない。
徹底的に遊び、走り、そして勝つ。
いつでも遊びにいらっしゃい。
貴方を歓迎するわ。かわるより。

愛永星ミア

@mana_mia

Liver No.06 | 10

君のことを虜にしちゃう
未来警察だぞ♡

PROFILE

『IRIAM』で配信しています。
『Li:start事務所』所属。
クランD超絶顔と
声が良い愛永星ミアです♡
可愛さ、楽しさ、ドキドキ、
癒しを毎日22時半～深夜にお届け！
来たら沼ること間違いなし。
君が新しい扉開けるの待ってるね♡

IRIAM
Liver Magazine

あなたと話したい。
あなたのことが知りたい。
この出会いに感謝を込めて。

PROFILE

見つけてくれてありがとう。アオソラと申します。
僕は皆の話を聞くことが好きなんだ。
ここで出会えたのも何かの縁、1度遊びに来てほしいな。
その時はぜひ『Animage』から来たって
言ってくれたら嬉しいな、歓迎するよ。

アオソラ

@sorahatensai

Liver No.06 | 10

鹿之フカ

@fuka_kanou

Liver No. 08 | 10

フカちゃんに不可能はない！をモットーに様々なことにチャレンジする新人探偵ライバー

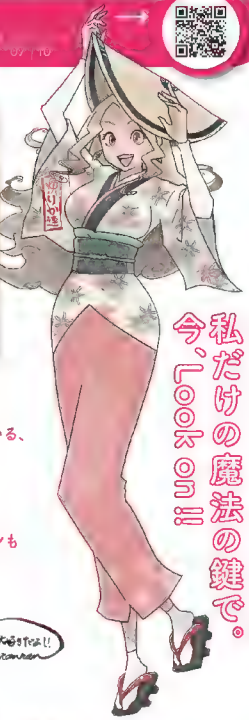
PROFILE

鹿之探偵事務所、
新人探偵の鹿之フカというぞ！
都会ジャングルにいたニホンジカなのだけれど、名探偵になるべく『IRIAM』の世界に
飛び込んできたのだ！
（依頼が来たことないけれど）
貴殿からの依頼、
ドシドシ待っているぞ!?

ゆりからんらん

@yurikaranran7

Liver No. 07 | 10



いつでもキミのそばに。私だけの魔法の鍵で。今、Look on!!

PROFILE

愛があふれる配信を毎晩お届けしている、
ゆりからんらんです！
私はお酒は飲めないけど、
皆はどんどん飲んで
私のトークについてきてね。
昭和の匂いがぷんぷん！ でもオリソンも
多くて流行りの曲は歌えるし、
モノマネ歌唱も挑戦中♪

フリル・ラピュセル

@hanamarufrill

Liver No. 10 | 10

キミと一緒に成長するどたばたメイドドール♪

PROFILE

初めましての人間様も、いつも仲良くしてくれる皆様にも夢の誌面で会えてとっても嬉しいです。 相棒のたぬきテディベアの花円たぬきと毎日一緒にどたばた配信中っ。
ちょーっとおっちょこちょいだけど許してね！
キミとお話しできるのを待っています♫

まこねぇ

@mako_baribari

Liver No. 09 | 10

PONなワタシも愛してね？永遠の24歳周回中の音楽系エンターテイナー！

PROFILE

こんまこ！ 皆のとなりのお姉さん、
まこねぇです！
いつもリスナーさんが楽しく
気楽に過ごしやすい雰囲気を
最優先に配信しています。
週末にはサックス演奏や
歌枠もやっています！

新房昭之の本棚の奥から

第49回「ブラック・ジャック」

ゲスト 石川達也

週刊連載で各話完結 多彩なアイデアに感嘆

——今回のゲストはアニプレックスの石川達也さんです。

石川 僕は、新房監督と初めて仕事をしたのは、2013年の『劇場版 魔法少女まどか☆マギカ[新編]反逆の物語』です。三番手か四番手の制作担当だったので、その時は新房さんにまだ認識されていなかったと思います。覚えていらっしゃいますか?

新房 ……すいません、その時のことはほとんど覚えていないです(笑)。むしろ石川さんとはいつの間にか、ずっと前からお付き合いさせていただいているような気がしています。

石川 実際は、10年くらいご一緒させていただいています。『まどか☆マギカ』の後は『ニセコイ』や『メカクシティアクターズ』、2015年頃からは〈物語〉シリーズやOVA『クビキリサイクル 青色サヴァンと戯言遣い』などの西尾維新先生作品を中心にご一緒させていただき、今に至りますね。

——今回のテーマに選んでいただいたのは『ブラック・ジャック』(以下『B・J』)です。

石川 最初に読んだ手塚作品が『B・J』でした。1987年生まれなので後追いですが、小学生の頃に学校の図書室に置いてあったものを読んだらとても面白くて。それ以降もずっと「かっこいいモノ」「好きなモノ」としてあり、大人になってからあらためて読んでも、やはり本当に面白いと感じています。新房さんは、初めて読んだ手塚作品の記憶はありますか?

新房 最初は何だろう……連載をリアルタイムで読んで印象に残っているのは『ザ・クレーター』(※1)や『サンダーマスク』(※2)ですね。それと『ジェットキング』(※3)という作品が載った雑誌の別冊付録が、自分で買った記憶はないのに、なぜか家にあって。それを繰り返し読んでいたのも覚えています。

——いずれも手塚作品の中では比較的マイナーなものですね。

新房 当時は「手塚治虫漫画全集」(※4)が刊行される前で、名作とされているような初期の作品を読む機会は意外となかったんです。のちに全集を読んで「初期の手塚先生ってこんなにかっこいい絵を描いていたの!?」と驚き、それから手塚作品にハマりました。『ジャングル大帝』も、あの時代によくこんな話を描いたなというくらいよくできているし、手塚先生本人はあまり気に入っていないという『W3』も、最後が綺麗にまとまっていて面白い。『黄金のトランク』(※5)という絵物語も好きです。海野十三などの時代のジュニアSFに負けないぞ、という意気込みを感じます。

——初期の頃から名作ぞろいだったんですね。

新房 『B・J』と近い時期では『奇子』(※6)や『きりひと賛歌』(※7)も全集で読みましたし、晩年の作だと『アドルフに告ぐ』(※8)も読んで「なんて面白い漫画だろう」と思いました。

石川 僕も『アドルフに告ぐ』は『B・J』と同時期に読みました。大人向けだけど面白かったな。

——小学生だった石川さんが『B・J』のどこに惹かれたか、覚えていますか?

石川 やはり、ブラック・ジャックというキャラクターに惹かれたのが大きかったと思います。いわゆるダークヒーロー、「無免許の医者」という設定がかっこいいなと。僕はホラーやグロテスクな作品も好きなのですが、そういうものの原体験のひとつだったなと今回、読み直してあらためて気づきました。お話も絵もかなり生々しくて、小学生にとっては"怖いもの見たさ"的な魅力もあったかもしれないです。

——手術シーンや、ケガ・病気の描写は生々しくグロテスクですね。

新房 単行本の初期の巻には「恐怖コミックス」と書かれていましたから。でも、僕はそういう意識では読んでいなかったな。連載がスタートしたのは中学1〜2年生でしたが、恐怖というよりエロティックだと感じて、ドキドキしながら読んでいました。手塚先生自身も「読者にウケる要素」として意識的に取り込んで描いていたんじゃないかな。

石川 確かに、車椅子の少女に翼を移植して鳥にするエピソード(「人間鳥」)なども、捉えようによってはフェティッシュですね。

——「車椅子の少女に翼を移植して鳥にする」というのも、今では考えられないような尖ったエピソードですね。

新房 手塚作品は本当にアイデアの宝庫で。知り合いの脚本家も「『手塚全集』にはすべてのアイデアが入っている」と言っていました。

——特に印象に残っているエピソードはありますか。

石川 子供の頃に読んでなぜか記憶に残っているのは、巨人症の男の子のお話です(「デカの心臓」)。スポーツや格闘技にスカウトされるけれど、心臓が小さいから激しい運動ができなくて、本人は養鯉家になりたい……というエピソード。今回、あらためて読み返し「何で覚えているんだろう」と不思議でした。

新房 最後にブラック・ジャックが彼の願いを叶えてくれる「いい話」だからじゃないですか?

石川 ああ……そうかもしれません。「いい話」といえばブラック・ジャックが手術代を取らないエピソードも好きです。普段は高い手術料を取るブラック・ジャックが、貧しい患者の必死な思いに応えて「ラーメン一杯おごってくれればいい」とか、「10円でいい」とか。

新房 わかります。いいですよね、そういうエピソード。あと僕はやはり、ピノコの話が好きです。有名なピノコが誕生する回(「畸形嚢腫」)と、ピノコを治療するために「お姉さん」を呼ばなきゃいけない回(「ピノコ生きてる」)、そしてピノコが風邪薬と間違えて青酸カリのカプセルを飲んでしまい、手術して取り出さないと死んじゃうという話(「ガス」)。

石川 ありましたね! ガスを腸に入れてカプセルを押し出し、位置を特定するという話。最後は、おならが止まらなくなるというオチで(笑)。

新房 そう、その話です(笑)。その3本はピノコ三部作という感じでよく覚えています。ブラック・ジャックが自分で自分を手術する話も好きだな。当時「すごい発想だな!」と感じ、強く印象に残りました。

石川 本当にアイデアが多彩です。しかもそれを毎週、新たに生み出していた。あらためて、手塚治虫という作家の凄みを感じますね。

「ブラック・ジャック」作者は手塚治虫。1973〜1978年に「週刊少年チャンピオン」(秋田書店)で連載された後、1979〜1983年に同誌で不定期連載。現在は秋田書店の単行本のほか、全集版、文庫版等さまざまな[illegible]。

[illegible]治療不可能と思われた患者を奇跡[illegible]うが、その[illegible]を請求する[illegible]世界的にも有名なその男の名はブラック・ジャック。人里離れた診療所に[illegible]あらゆる[illegible]者から見放された患者たちが[illegible]をしてやってくる。自身も医師免許を持つ巨匠[illegible]なエピソードを通して人の生と死を問いかける[illegible]代表作のひとつ

石川達也のオススメ5選

『島耕作』シリーズ
弘兼憲史
「モーニング」(講談社)
1983年〜連載中

『銀と金』
福本伸行
「アクションピザッツ」(双葉社)
1992年〜1996年

『ご近所物語』
矢沢あい
「りぼん」(集英社)
1995年〜1997年

『ナニワトモアレ』
南 勝久
「週刊少年マガジン」(講談社)
第1部2000年〜2007年
第2部2007年〜2014年

『それでも町は廻っている』
石黒正数
「ヤングキングアワーズ」(少年画報社)
2005年〜2016年

Akiyuki Shinbo
アニメーション演出家/代表的な監督作品に『化物語』『魔法少女まどか☆マギカ』『3月のライオン』ほか

Tatsuya Ishikawa
アニプレックス所属/プロデューサー/『かぐや様は告らせたい』『ぼっち・ざ・ろっく!』などの作品を手掛ける

※1 『ザ・クレーター』 1969〜1970年に「少年チャンピオン」で掲載された、怪奇、サスペンス、ミステリーなどの連載短編。

※2 『サンダーマスク』 1972〜1973年に「週刊少年サンデー」(小学館)で連載。同名のTV特撮ヒーロー作の漫画版だが、内容は大きく異なる。

※3 『ジェットキング』 1959年に「漫画王」(秋田書店)で連載。夢見がちな少年・アッちゃんが、何にでも変身できる力でマスクのヒーロー・ジェットキングとして悪人たちと戦う。

※4 「手塚治虫漫画全集」 1977〜1997年にかけて講談社より全400巻が発売された。

※5 『黄金のトランク』 1957年に「西日本新聞」で連載。謎の男が残した黄金のトランクを巡る冒険譚。

※6 『奇子』 1972〜1973年に「ビッグコミック」(小学館)で連載。大地主の家に不義の子として生まれた少女を中心に、崩壊する旧家の姿と戦後日本の変化を描く社会派ドラマ。

※7 『きりひと賛歌』 1970〜1971年に「ビッグコミック」で連載。徐々に身体が犬のように変形し死に至る奇病の治療に情熱を注ぐ医師の物語。

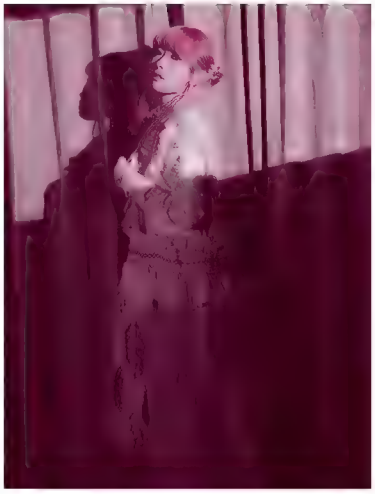
※8 『アドルフに告ぐ』 1983〜1987年に「週刊文春」(文藝春秋社)に連載。第二次世界大戦中のドイツと日本を舞台に、ヒトラーの「秘密」に翻弄された[illegible]人のアドルフを描く大河ドラマ。

AM Cruise アニメージュ★クルーズ

すっかり秋になりすごしやすい気候となりました。そして、年末のフェスやコミケが近づいてきました。体調万全で挑めるように、ここが勝負どころですよ！

Front Interview

降幡 愛 Ai Furihata | デビューから最新までがギュッと詰まった1枚に



2020年にアーティストデビューした声優・降幡愛が、初となるフルアルバム「Super moon」をリリース。シティ・ポップを愛する彼女らしい80年代サウンドが大きな話題となった。デビュー曲から最新曲まで、これまでの彼女の集大成となったアルバムについて話を聞いた。

——待望の初アルバムが、ようやくリリースされましたね。

降幡 無事、完成させることができてホッとしています。そして何より、この3年で曲も増えたんだなと実感しています。デビューからアーティストとしての自分を「月」と表現して活動してきました。アルバムタイトルから中身まで、すごくすごく悩みながら作っていったのですが、その甲斐もあって完成したアルバムにはとても満足しています。デビューから最新の曲までがギュッと詰まった1枚になりました。

——「Super moon」がリード曲となっています。

降幡 「Super moon」は、初めての試みをしっかり表現できた曲なのでいろいろな思い出が詰まっています。サウンドも今までよりは90年代に近いですし、作詞作業もガラッと変えました。普段はフィクションの物語として歌詞を書くことが多いのですが、この曲はメッセージ性が強い歌詞になっています。また「PLAY BOY」は、デビューからお世話になっているプロデューサー・本間昭光さんに作っていただきました。この曲は実はすごく前にできていたのですが、今回のアルバム制作に合わせたタイミングで歌詞を書きました。アーティストデビュー3年目のテーマでもある「飛躍したいうさぎのようにぴょん！と飛び出したい」。そんな想いを歌詞にのせて制作しました。

——「Fashion」についてはいかがでしょうか。

降幡 初めて女性チームで制作しました。歌詞は共作です。最初に聴いた時の印象がすごくよくて。「こういう楽曲も歌えるんだぞ！」と、また新たな一面を引き出してくれた楽曲です。

——今作も多くの曲で作詞を手掛けていらっしゃいます。一番のお気に入りは？

降幡 「CITY」は人生で初めて書いた歌詞です。その中で「二人だけの夜を離したくはない」というフレーズは特に気に入ってます。一緒にいたいという想いをどう表現しようかなと考えた歌詞ですが、処女作としてはいい言葉が選べたかなと思います。

——ソロデビューから3年。心境の変化はありますか？

降幡 取り巻く環境が目まぐるしく変わった気がしています。デビューの時は想像していなかったですね。コロナ禍で活動をスタートさせたので、最近はフェスやイベント、ライブで皆さんの声を直接聴くことができて嬉しいです！

——逆に変わらなかったことは？

降幡 変わらないことは、「自分の好きなことを貫く姿勢」ですかね。自分がつまらなかったらファンの皆さんに何も伝わらないのかなと思うんです。そして、これからも皆さんに照らされて「月」として、きれいに輝き続けていきたいと思っています。

——最後に、読者へメッセージをお願い致します。

降幡 ここまで読んでいただき、ありがとうございました！ 声優として歌手として、いろんな面を皆さんにお見せして楽しんでもらえるようにもっともっと頑張っていきたいと思っています。アーティストデビューから3年のタイミングで出来上がったフルアルバムです。11曲ある中で、1曲でも多く皆さんの心のフックに掛かれば幸いです。

Super moon
Purple One Star
初回限定盤(CD+BD)5280円
通常盤(CD)3520円
発売中

※初回限定盤Blu-ray Discには、3曲のMVとアーティスト写真撮影時のメイキング映像、カナダで行われたアニメコンベンション「ANIMETHON 2023」での舞台裏映像を収録。

TEXT＝花木 洸

MUSIC

内田彩 発売中

Nippon Columbia
初回限定盤(CD+BD)4400円
通常盤(CD)3300円

アーティストデビュー10年目に突入する声優・内田彩が5枚目のアルバムをリリース。曲ごとにかわいく、カッコよく、セクシーにもなる彼女の表現力がこれでもかと詰まっている。初回限定盤にはMVに加えてジャケット撮影のメイキング映像も。

インタリオ

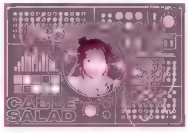
花澤香菜 発売中

ポニーキャニオン
初回限定盤(CD+BD)2850円
通常盤(CD)1750円

『ダークギャザリング』の7月クールED「インタリオ」と、10月クールED『灰色』を収録した実質両A面のような贅沢なシングル。EDのバラード2曲に加えて収録された3曲目がかなり extreme な EDM×アニソンという味付けでクセになります。

ケーブルサラダ

夏川椎菜 11月15日発売



ミュージックレイン
完全生産限定盤(CD+BD+Goods)9900円
初回生産限定盤(CD+BD)4400円
通常盤(CD)3100円

声優として、そして声優ユニット・TrySailのメンバーとして精力的に活動を続ける夏川椎菜の3枚目となるフルアルバム。今回も13曲中9曲が新曲という大ボリュームかつ、"ポップしなないで""カメレオン・ライム・ウーピーパイ""sympathy"などバンド好きならニヤリとしてしまう作家陣が参加している。彼女のアイコンとなっている、前向きかつ元気でポップなロックサウンドは今作も健在。さらに8曲も作詞を手掛けており、メッセージ性の強い歌詞や、独特の言葉遊びなど、おなじみの夏川節が炸裂している。BDにはリード曲「ラフセカンド」のMVとメイキングを収録。さらに完全生産限定盤には本人書き下ろしで、リードトラックと同名の短編小説集「ラフセカンド」も付属しており、こちらも絶対にチェックしてほしい！

聖なる交差点

神聖かまってちゃん 11月15日発売

Warner Music Japan
初回限定盤(CD+DVD)6600円
通常盤(CD)3300円

結成15周年を迎えるインターネット・ポップ・ロックバンド、神聖かまってちゃんのベストアルバムが間もなくリリースされる。多くの若者に衝撃と衝動を叩きつけた名曲「ロックンロールは眠り止まないっ」から、MVが海外を中心に話題になった『るるちゃんの自殺配信』、『進撃の巨人』第2期ED「夕暮れの鳥」、同作『The Final Season』OP「僕の戦争」まで、新曲含む全16曲を収録。ずっと真夜中でいいのに。のACAねや、ano、戸川純など、ゲスト陣もインターネットとロックの狭間にいる彼らならではの人選になっている。初回限定盤には下北沢シェルターで行われたワンマンライブを収録したDVDが付属。「あの頃聴いてたな」という方から、最近アニメで知ったという人まで、名作ぞろいだからこの機会に聴いてみて♪

Y

内田雄馬 11月29日発売

キングレコード
5th Anniversary BOX(CD+BD+GOODS)9900円
CD+BD盤(CD+BD)4950円
通常盤(CD)3520円

実力派声優としてのみならず、アーティストとしても昨年日本武道館公演を成功させるなど大活躍の内田雄馬が、約2年ぶりのアルバムをリリース。自作曲もあり、新曲3曲を含めた全13曲は、EDM、ロック、バラードなどどれもが挑戦的だ。

Shiny Girl

MindaRyn 11月22日発売

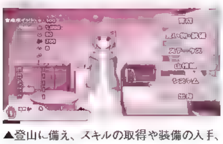
ランアース
CD 1430円

『SHY』のOP主題歌。バンド"SpecialThanks"のMisakiが作詞作曲を手掛けており、メロディアスで爽やかなポップ・ロックに。ひたすらに前向きなメッセージが印象的だ。伸びやかで自由な彼女の歌が存分に楽しめる　曲になっている。

※価格は全て税別です

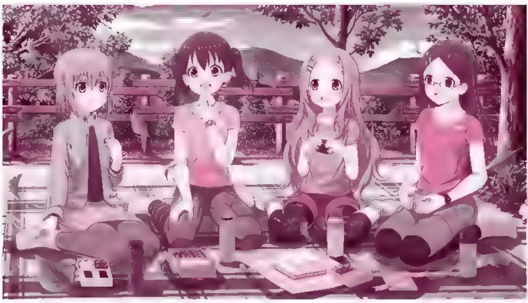
game

約束の山・谷川岳への登頂を果たしたあおい。彼女の新たな挑戦は？



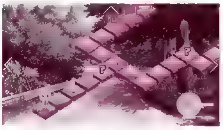
▲登山に備え、スキルの取得や装備の入手、自身や山の状況を確認できる「準備パート」

▲以前登った山に再挑戦することを決めたあおいの背中を押す、かえでとここな



▲お弁当を広げるヒロインたち。左からあおい、ひなた、動物やかわいいものに目がない中学生のここなに、あおい&ひなたの学校の先輩・かえで

▲止まったマスによっては、休憩したり動物との出会いがあったりとイベントが発生する



▲「登山パート」はスゴロク形式で進行。どのルートを選ぶかも、登頂に重要な要素だ

雪村あおい
Yukimura Aoi
インドア趣味で人見知りな高校生。高所恐怖症で、山にも苦手意識を持っていた。再会した幼馴染のひなたに誘われ登山をはじめてから、徐々に心を成長させていく

倉上ひなた
Kuraue Hinata
父親の影響で登山が好きになった、あおいの幼馴染の同級生。明るく人見知りしない性格で、半ば強引にあおいを登山に誘う。成績優秀だが料理はまったくできない

かつて登ったあの頂きを、もう一度！

高校で再会した幼馴染の倉上ひなたに誘われて、登山をはじめたインドア派の雪村あおい。登山を通じ、同じ高校の先輩・斎藤かえでや同じ街に住む中学生・青羽ここなと仲良くなり、少しずつ心を成長させていった。

やがて幼い頃にひなたと登り、もう一度一緒に朝日を見ようと約束した谷川岳の再登頂を果たしたあおいは、「以前登った山にもう一度挑戦したい」と思いつくのだった。

13年に第1期が放送されて以来、「セカンドシーズン」「サードシーズン」「Next Summit」と4期にわたりTVシリーズが制作され、OVAも3本リリースされた人気作が、PS4とNintendo Switchに登場。

ゲームシステムは、アドベンチャーとスゴロクを組み合わせたもの。登る山を決める「導入ストーリー」からはじまり、登山に備えて育成や買い物などを行う「準備パート」、そしてルーレットを回し山頂を目指す「登山パート」の3つの要素から構成されている。

中でも特徴的なのは「準備パート」と「登山パート」。「体力」など5つのカテゴリーから自由にスキルを取得し、装備などの購入を行う「準備パート」はシミュレーション風。スゴロク形式の「登山パート」では、止まったマスによってイベントが発生することもある。

ストーリーはゲームオリジナルの書き下ろし。思い出に刻まれたあの山の頂を、再び目指すあおい。彼女が織り成す新たな物語を、フルボイスで楽しもう！

ヤマノススメ Next Summit ～あの山に、もう一度～

▲あおい、ひなた、かえで、ここなが並ぶ限定版パッケージ
※画面は開発中のものです

DATA
メーカー／エンターグラム　プラットフォーム／PS4、Nintendo Switch　発売予定日／12月7日(木)　価格／【完全生産限定版(PS4、Nintendo Switch共に)】14,278円(税込)、【通常版(PS4、Nintendo Switch共に)】8,778円(税込)、【ダウンロード版(PS4、Nintendo Switch共に)】8,360円(税込)　ジャンル／アドベンチャー+スゴロク　CERO：A(全年齢対象)※【完全生産限定版(PS4、Nintendo Switch共に)】は、アクリルジオラマやB2タペストリー、オリジナルサウンドトラックCDが付属。

公式HP | https://www.entergram.co.jp/yamanosusume-ns/

CAST
雪村あおい／井口裕香　倉上ひなた／阿澄佳奈　斎藤かえで／日笠陽子　青羽ここな／小倉唯　黒崎ほのか／東山奈央　千手院小春／岩井映美里

©しろ／アース・スター エンターテイメント／『ヤマノススメ Next Summit』製作委員会
©ENTERGRAM

goods

TVアニメ『葬送のフリーレン』がカッコいい&かわいい姿で登場！

魔王を倒した勇者ヒンメルのパーティーに同行していたエルフ・フリーレン。その後、旅に出て50年後にかつての仲間と再会を果たしたものの、ヒンメルは老いて死んでしまった。人間について知ろうとしなかった彼女は、それを悔やみ、仲間たちの弟子であるフェルンとシュタルクを連れて、今度は人間を知るための旅に出た。

長命のエルフと短命な人間のズレをモチーフにした『葬送のフリーレン』が絶賛放送中だ。ゆる～い日常パートと大迫力のバトルシーンのコントラストが際立っており、人気大爆発！　今回はエンスカイから発売される2アイテムをご紹介。アクスタもデフォルメアイテムもとっても魅力的なので、ぜひゲットしてほしい！

フリーレンA　ヒンメル　フェルンA
フリーレンB　フェルンB　シュタルク

TVアニメ『葬送のフリーレン』おまんじゅうにぎにぎマスコット

握って柔らかさを楽しめる、おまんじゅうマスコット。ボールチェーン付き。フリーレンBやフェルンB、シュタルクの表情が絶妙だ。ブラインドパッケージ仕様でどれが当たるかお楽しみ。未開封状態のBOXで購入すると1BOXで全部そろうようになっている／各660円、BOX3960円(共に税込)／5×7×5センチ／12月発売予定／発売元：エンスカイ

ヒンメル

フェルン

フリーレンA

フリーレンB

シュタルク

TVアニメ『葬送のフリーレン』アクリルスタンド

各キャラの特徴を表すようなポーズで作られたアクリルスタンド。ベース部分にはキャラ名がアルファベットで記されている。およそ1/12スケール前後で割と大きい。フリーレンはミミックに食べられている姿も！／各1980円(税込)／キャラプレート部分 全高9.7～15cm、パッケージ13×18cm／12月発売予定／発売元：エンスカイ

余白部分にもデザインが施されており、フリーレンBのみ集中線が加えられている

薬屋のひとりごと キーホルダー

後宮謎解きエンタテイメントがカプセルトイで登場！「でふぉラバ！薬屋のひとりごと キーホルダー」は全6種、1回300円(税込)でタカラトミーアーツから11月中旬発売予定。

猫猫1　壬氏1

猫猫2　壬氏2　高順　玉葉妃

エンスカイお客様相談窓口　048-932-4992(土日祝日を除く9～12時、13～16時)
タカラトミーアーツお客様相談室　0570-041173(土日祝日除く10～17時)

©山田鐘人・アベツカサ／小学館／「葬送のフリーレン」製作委員会
©日向夏・イマジカインフォス／「薬屋のひとりごと」製作委員会

Feature

ナポレオン｜これでもかの戦シーンに大コーフン！

NAPOLEON

85歳を数えるリドリー・スコットの最新作は『ナポレオン』。あまりにも有名なあのフランスの英雄ナポレオン・ボナパルトの名前を冠した彼の伝記映画、というより何と戦争映画になっている！

そう、上映時間2時間38分の間、スコットが追ったのは彼の戦争。生涯で61回の戦いを指揮し、300万人以上を戦死させたというナポレオンの戦いを再現することに心血を注いでいるのだ。

取り上げられているいくつかの戦争のなかでとりわけ素晴らしいのはフランス軍がロシアとオーストリア連合軍を破ったアウステルリッツの戦い。氷の張った池での攻防戦を緻密かつ大胆に描いて、今まで観たことのない戦いの図が繰り広げられている。もうひとつの白眉はナポレオンが大敗を喫したワーテルローの戦い。これまで何度も映画で取り上げられてきた戦いだが、スコットはそれとは異なる視点でよりリアルな戦闘を再現し、まさに目は釘付け状態！

また、宮廷等の夜のシーンではろうそくだけを使ったかのような、スタンリー・キューブリックの『バリー・リンドン』的映像が驚くほど美しい。

ということはつまり、スコットが撮りたかったに違いない映像がこれでもかとてんこ盛りになっているということ。これはもう、フアンはたまりません！

NOTES

18世紀末のフランス。コルシカ島出身の若き軍人ナポレオンは、その類まれな軍事的才能によって異例の早さで成功の階段を登って行った。そんな彼が結婚したのは奔放な女性ジョセフィーヌだった。ナポレオンには『ジョーカー』のホアキン・フェニックス。（12月1日公開）

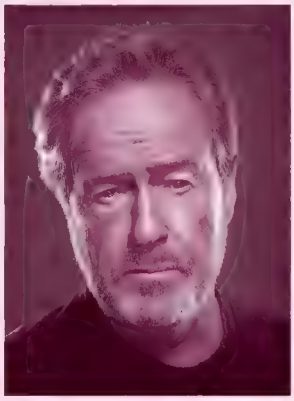
1ルックスがナポレオンしているホアキン・フェニックス。スコットとは『グラディエーター』以来2さまざまな戦闘シーンを楽しむことが出来るのが嬉しい3ナポレオンの戴冠式。あの有名な絵画を動かしたような映像4エジプト遠征中のナポレオン。スコットの大好きな『アラビアのロレンス』っぽいビジュアル5ジョセフィーヌを演じるのは英国人女優のヴァネッサ・カービー。ふたりの会話はなぜか笑える6ワーテルローで大敗したナポレオンと勝利した英国のウェリントン。彼を演じるのはルパート・エヴェレット7撮影中のスコットとホアキン。85歳のじいさんが撮ったとは思えない大迫力のバトルシーンの連続！

Interview

リドリー・スコット「ナポレオンは複雑な男だ」

Ridley Scott

1937年イギリス生まれ。CFを経て『デュエリスト/決闘者』で長編デビュー。SF映画の金字塔『エイリアン』『ブレードランナー』でトップ監督に。代表作に『ブラックホーク・ダウン』『アメリカン・ギャングスター』『プロメテウス』『オデッセイ』等。次回作は『グラディエーター2』の予定。



85歳にもかかわらず精力的に映画を撮り続けているリドリー・スコット。『グラディエーター』や『キングダム・オブ・ヘブン』等、史劇には定評のある彼はナポレオンのどういう部分に魅力を感じたのか？　語って頂きましょう！

「そもそも私は歴史ドラマが大好きなんだ。歴史は大変興味深く、しかも私たちはその過ちから何も学んでいないからだ。

そんななか、私がナポレオンに惹かれたのは、その複雑さにある。彼の生涯を簡単に定義することは出来ないだろうし、あれだけの素晴らしい才能をもちながら、妻の前では無力な男になってしまう。モスクワを征服しようという男が、その間パリで妻が何をしているのか気になってしょうがない。そして、ジョセフィーヌなしでは自分は無価値だと認めている。あの戦略の天才が！　私はそういうところに惹かれたんだ。

ナポレオンをホアキン（・フェニックス）に演じて貰うことにしたのは、彼の類まれな才能もあるが、やはり彼の顔。その特徴のいくつかは驚くほどナポレオンに似ているからだ。私とホアキンはナポレオンの肖像画を見ながら、あらゆることについて話し合った。オフィスで血を流したこともあれば、口論になったこともあったが、最終的にはいい関係になったと思っている。彼といると正直でいられるので、私にとってはいい相棒だよ（笑）。

撮影は何でも一気にやるのが私のやり方だ。たとえばワーテルローの戦いの場合、撮影期間は7日間。現場の野原には100頭の馬と300人のエキストラをスタンバイさせ撮影して行く。そのあとはVFXの作業となり、最終的に観客は2万頭もの馬を目にすることになるんだ。プロダクション・デザインを始め、各部門のスタッフはみんなとても優秀なので、効率的に仕事を進めることが出来るのも嬉しい」

設定資料FILE vol.261

『悪魔くん』の巻

©水木プロ・東映アニメーション

INTRODUCTION

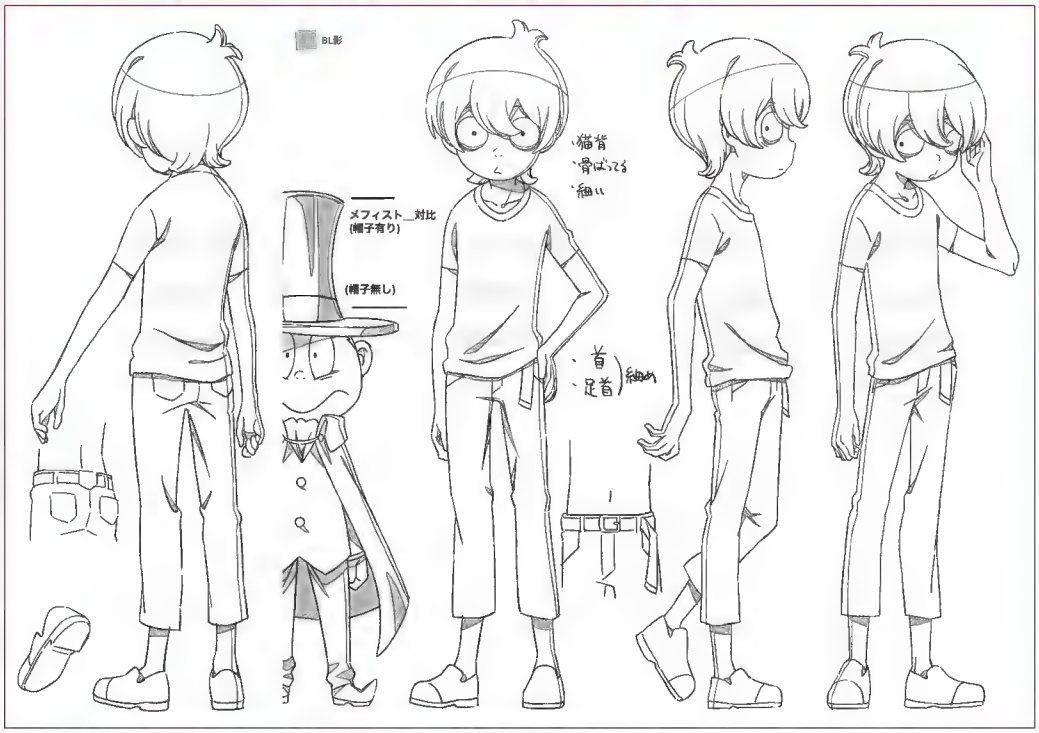
「ゲゲゲの鬼太郎」で知られるマンガ家・水木しげるの代表作のひとつである、「エロイムエッサイム、エロイムエッサイム、我は求め訴えたり!」の呪文でおなじみの「悪魔くん」が新たなアニメシリーズとなって令和の世によみがえる。今作の主人公は、1万人にひとりの天才少年のため《悪魔くん》と呼ばれる埋れ木一郎。彼が奇々怪々な事件の数々に相棒のメフィスト3世と共に挑みながら、自らの出自の謎を追う。総監督を1989年のTVアニメシリーズディレクターを務めた佐藤順一、「ケロロ軍曹」をはじめとした佐藤順一作品で活躍した追崎史敏が今作のシリーズディレクターを担当している。悪魔くん達や兼板設定の数々を紹介していこう。

STAFF

●11月9日からNetflixにて独占配信●原作／水木しげる●総監督／佐藤順一●キャラクター原案・シリーズディレクター／追崎史敏●シリーズ構成／大野木寛●キャラクターデザイン・作画監督／浜名孝●美術監督／望月由美子●色彩設計／沢田師夫●撮影監督／荻原富夫●録音演出デザイン／藤星郎フタル●音響／[illegible]●アニメーション制作／エンカレッジフィルムズ●製作／東映アニメーション

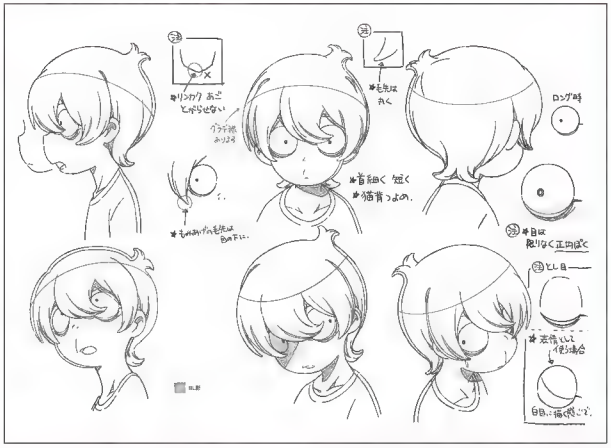
埋れ木一郎（悪魔くん）

義理の父である埋れ木真吉から全ての人類が幸せに暮らす事ができる「千年王国」実現の使命を受け継ぎ、二代目悪魔くんとなった。普段は、根城にしている千年王国研究所に持ち込まれる不思議な依頼を解決する事で生計を立てている。依頼の謎にばかり興味があり、依頼者に対してぶっきらぼうな態度をとって相棒のメフィスト3世をヤキモキさせる事もしばしば。悪魔に育てられた過去があり、その出生は謎に包まれている。（声・梶裕貴）

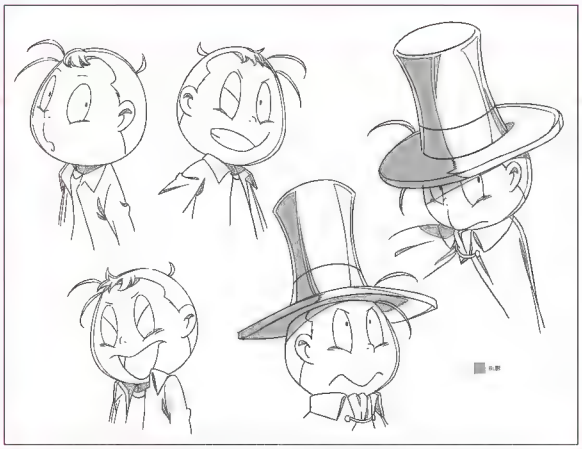


▲悪魔くんの全身。初代悪魔くんと違ってメラリとしていて骨張った体型。相棒のメフィスト3世とは、身長の面でも考え方の面でもデコボココンビ

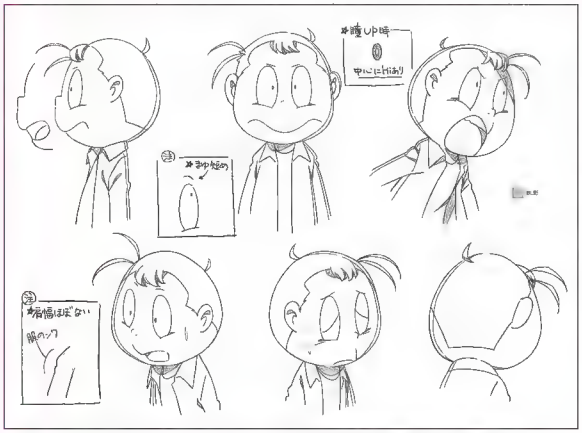
▼悪魔くんの表情集その2。首は細くて短く、猫背気味のため頭部がやや前に出ている。また、毛先は丸くなっており もみあげの毛先は目の位置よりも下だ



▲悪魔くんの表情集その1。髪の下、目の下などの影はBL（黒色）。彼に限らず、本作ではキャラクターにBL影が多用されている

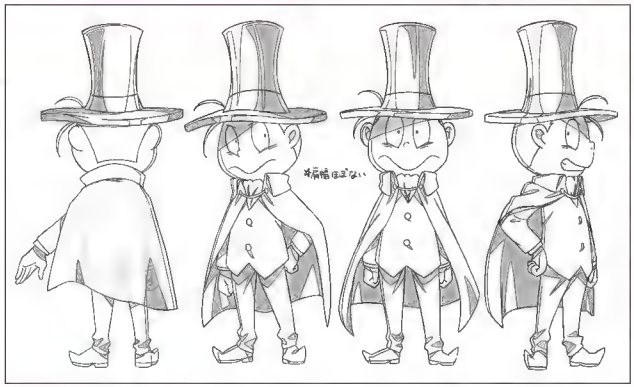


▲メフィスト3世の表情集その1。悪魔くんの魔法陣で魔力がアップすると頭部から父親譲りの角が生えてくる



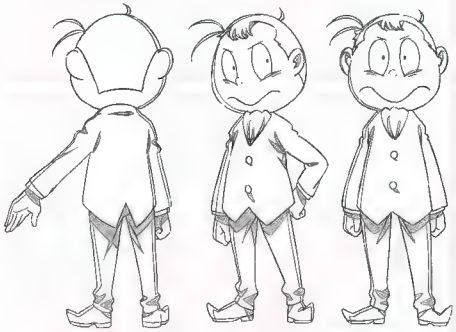
▲メフィスト3世の表情集その2。肩幅がほとんどなく、体のシルエットが足元に向かって広がる三角形型になっている

▼トレードマークであるシルクハットとマントを身にまとったメフィスト3世の全身



メフィスト3世

悪魔であるメフィスト2世と人間の埋れ木エツ子の間に生まれ、人間の世界で育った。千年王国研究所では悪魔くんの相棒として事件解決に協力するだけでなく、家事が得意でない悪魔くんを公私共にサポート。悪魔くんが描いた魔法陣によってパワーアップした魔力で、迫りくる悪魔に強烈な一撃をおみまいする。(声・古川登志夫)

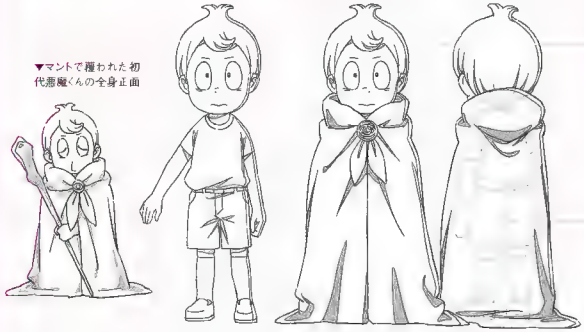


▲シルクハットとマントがないバージョンのメフィスト3世の背面と全身正面

▶シルクハットとマントがないバージョンのメフィスト3世の全身横

◀メフィスト3世が腕まくりをした時の参考

▼マントで覆われた初代悪魔くんの全身正面



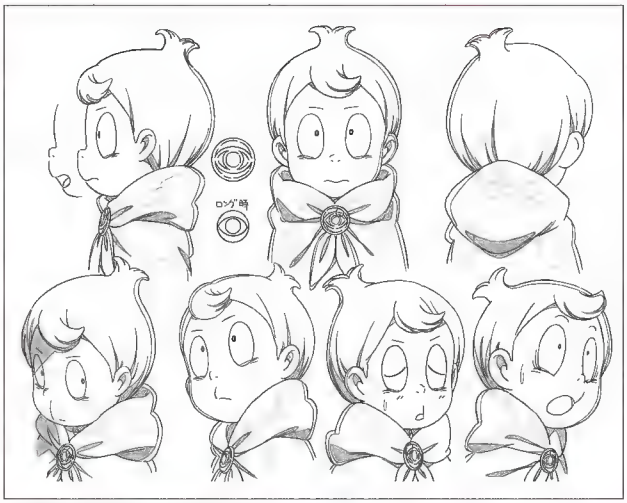
▲初代悪魔くんの全身。マントは体をすっぽりと覆うほどの大きさだ

◀マント姿で杖を持った時の初代悪魔くんの全身

◀マント姿の初代悪魔くんの全身横。マントの裾は長めで地面についている

初代悪魔くん（埋れ木真吾）

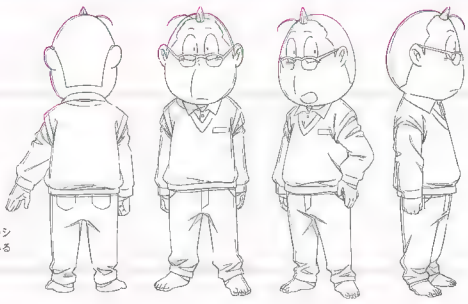
二代目悪魔くん・埋れ木一郎の義父。かつて、悪魔を従わせる力を持つソロモンの笛に見いだされ、12使徒と共に妖精界、地獄界、天上界、人間界の四界征服を企む大魔王・東嶽大帝の野望を打ち砕いた救世主だ。1989年版のTVアニメから同じキャストが継続して演じている。(声・三田ゆう子)



▲初代悪魔くんの表情集。少年のような見た目をしている

メフィスト2世、埋れ木エツ子

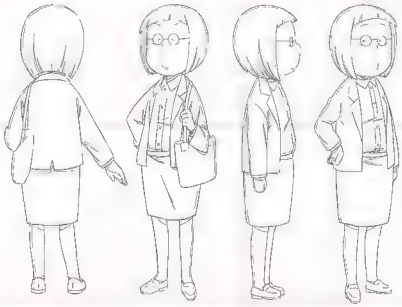
メフィスト3世の父と母。2世は、初代悪魔くんの第一便徒として人間に悪さをする悪魔達と戦った。エツ子は、初代悪魔くんの妹で家に遊びに来た2世に一目惚れ。初代悪魔くんと同様に1989年版のアニメと同じキャストが演じている。(声・古川登志夫［メフィスト2世］、柳沢三千代［埋れ木エツ子］)



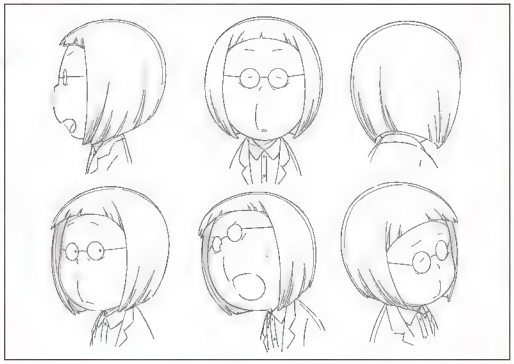
▶メフィスト2世の全身。過去のシリーズとは違い、眼鏡を掛けている

▲メフィスト2世の表情集。頭部には角が生えている

◀さなえの全身正面、横。ポニーテールの先が左肩に掛かっている

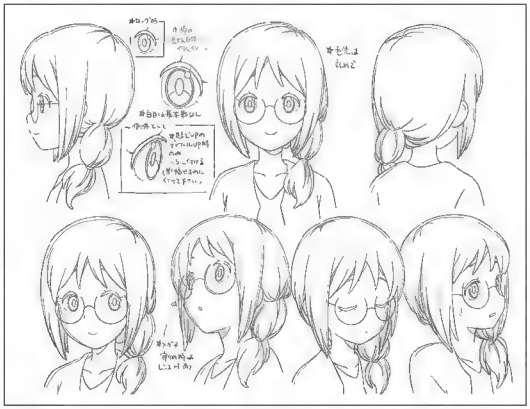


▲エツ子の全身。パリッパリと働きに出ている



▲エツ子の表情集。髪型も丸い眼鏡も少女時代の面影がある

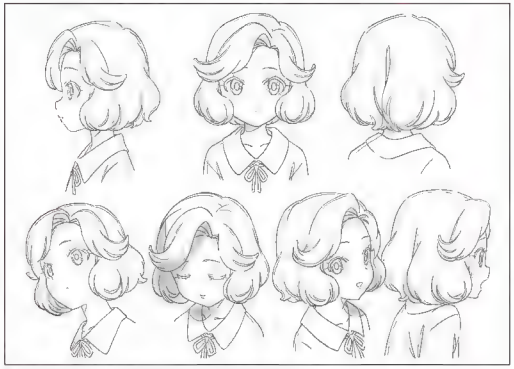
▶さなえの全身背面。体のラインが出ないゆったりとした服装だ



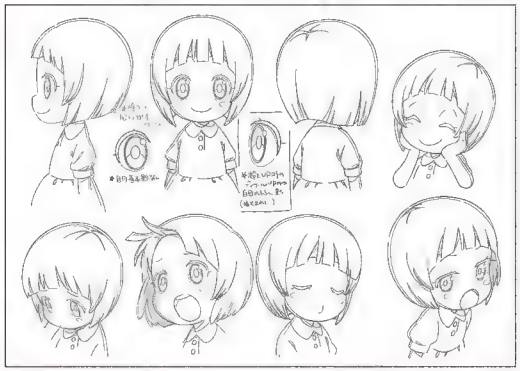
▲さなえの表情集。目の処理について、画面いっぱいに描く時以外は白目に影を描かないように との指示がある

朝風ヒナ

同じ大学に通う友人達の不可解な死の原因を調査してもらうために千年王国研究所を訪れた。裕福な家庭に生まれ、自室の棚には父と母との家族写真が飾られており、家族仲もよいようだ。(声・藤井ゆきよ)

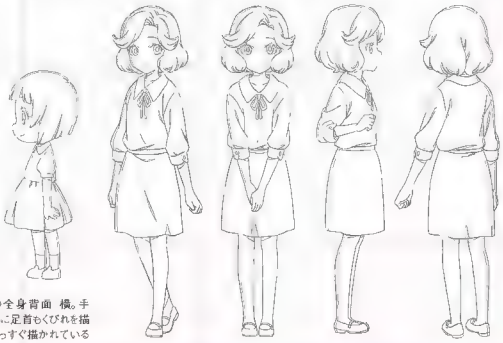


▲ヒナの表情集。柔らかい表情からどことなく気品を感じる佇まいだ



▲みおの表情集。愛らしい表情の少女だが、家賃を滞納し続けている悪魔くん達には厳しく接する

▲みおの全身正面。手首はまっすぐになるよう描かれている



◀みおの全身背面、横。手首と同様に足首もくびれを描かずにまっすぐ描かれている

◀ヒナの全身。足下は紺のタイツを履いている

風間さなえ、風間みお

風間さなえは、悪魔くん達が拠点にしている千年王国研究所の大家さんで、映画館・神調布オデオン座のオーナーでもある。行方不明になった夫の帰りを独りみおと共に待ち続けている。(声・白石涼子［風間さなえ］、花守ゆみり［風間みお］)

◀グレモリーの表情集。顔部や首元をはじめとした全身にゴージャスな装飾品をまとっている

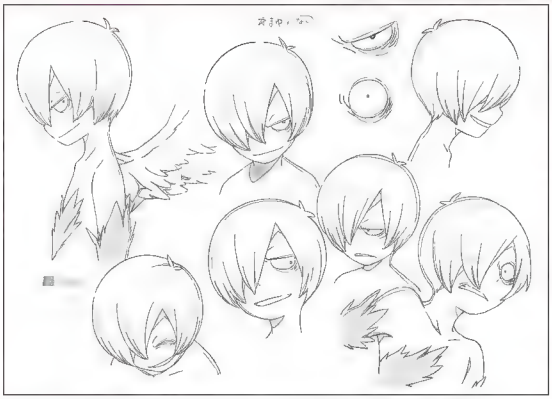
◀グレモリーの全身。細身でありながらグラマラスな体型だ

グレモリー

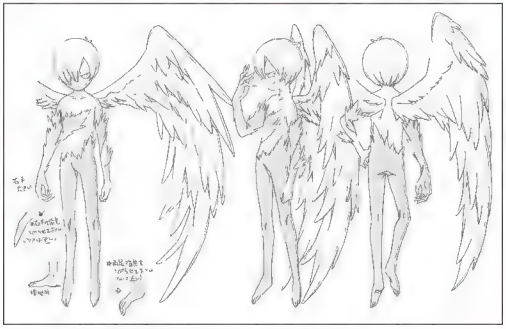
オリエンタルな服装の若い女性の姿で悪魔くん達の前に現れる悪魔。能力は未知数。悪魔くんから依頼を受けて行動することもあるが、それにはある理由が。（声・ファイルーズあい）

ストロファイア

少年のような姿をした謎の存在。背中に生えた大きな翼は真っ赤に染まっており、体にも真っ赤な羽根をまとっている。謎のベールに包まれた悪魔くんの幼少期の事を知っている、ミステリアスな存在。今後の物語に大きく関わっていくようだ。（声・下野紘）

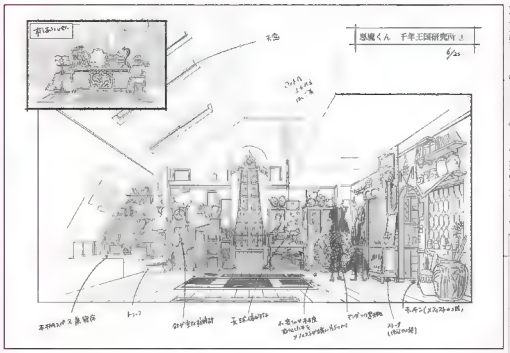


▲ストロファイアの表情集。普段は半眼に閉じた目元だが、見開くと悪魔くんのように正円に近い形になる

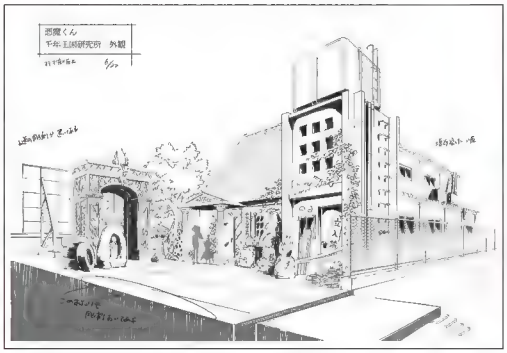


▲ストロファイアの全身。手や足の指先は爪を描かないが尖らせて描かれている

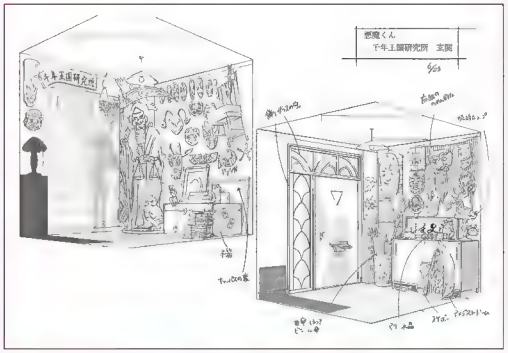
千年王国研究所



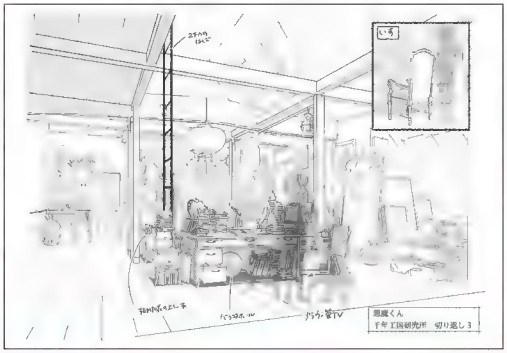
◀内部の様子その1。所狭しと散乱した本は依頼者が訪れる度にメフィストS世が端に寄せている



◀外から見た様子。神調布オデオン座の屋上にあった小屋を増改築している。入口の周りには おびただしい数の謎の彫刻が並ぶ



◀研究所の玄関。異国情緒を感じる様々な国のお面やグッズがずらりずらりと並んでいる

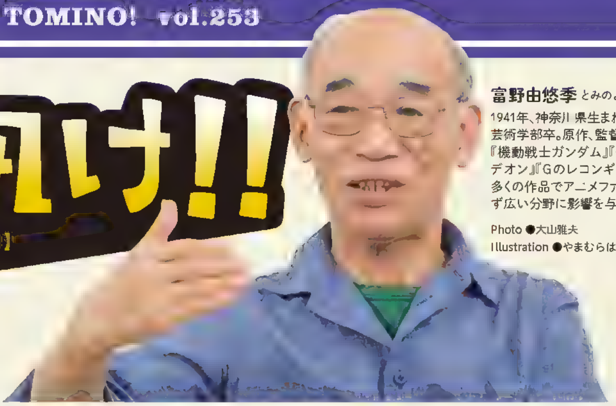


◀内部の様子その2。机の手前にはロフトへ上るためのはしごが設置されている

アニメージュ
Animage

富野に訊け!!

人生相談【第253回】



富野由悠季 とみのよしゆき

1941年、神奈川県生まれ。日本大学芸術学部卒。原作、監督を担当した『機動戦士ガンダム』『伝説巨神イデオン』『Gのレコンギスタ』ほか、多くの作品でアニメファンのみならず広い分野に影響を与えている。

Photo ●大山雅夫
Illustration ●やまむらはじめ

**終わりよければすべてよし。
それだけに物語のラストは重要です。
幾多の名最終回を生み出してきた富野監督は、
どのように考えて作ってきたのでしょうか？**

Information
『富野に訊け!!〈怒りの赤〉篇』『富野に訊け!!〈悟りの青〉篇』は全国書店にて発売中。電子書籍版は、2010年発売の文庫『富野に訊け!!』とあわせて、キンドル、楽天kobo、Reader Store/SONY、BookLive、iBookstore 他にて配信中。

Question 269

物語の終わらせ方が難しいです

千葉県/あかね（高校3年生・18歳）

富野監督、こんにちは。私は中学生の頃から、趣味で小説を書くようになりました。お話を考えること自体は楽しいのですが、終わらせ方が毎回難しいです。強引に着地点を見つけてまとめても、これでよかったのかなというモヤモヤが残ったりします。

学校でレポートの宿題が出たとき、先生からは「つたなくても無理やりでもいいから、とにかく締切までに最後まで書き終えるように。あれこれ考えすぎた挙句、途中で投げると、投げグセがついてしまう」と言われました。確かになるほどなと思っています。

ただ、物語を完結させるのはプロでも難しいのでしょうか？　私が中学生のときに夢中になって読んでいた小説の作者さんも、いくつものシリーズが中途半端なままで何年も経っています（もちろん出版社の事情もあるのかもしれませんが、ファンとしては残念です）。

富野監督が物語を終わらせる時に考えていることを教えてください。

最後の質問に対する回答ですが、**次の仕事のことを考えています、生活のために。**他のことは一切考えません。それがプロです。

プロでも無精な作家は、ボクサーをいつまでもチャンピオンにさせないで延々描き続けたりもしますが、そうすると、はじめはよかった評判がいつの間にかフェードアウトしていることに、本人が気づかないという地獄に陥ります。だから、ほどよいところで終わらせることで、作品や自分自身の評価につながったりします。

嘘でもエンディングまでちゃんと書けていれば、ひょっとしたら30年後や40年後に化けるかもしれません。実際にそういう小説もあるし、アニメでも僕自身の評価がそうでした。僕の作品はことごとく打ち切りだったけれども、何十年も経って忘れた頃に、もてはやされたりしました。

物語を終わらせるときに**予定調和はやっちゃいけない**ということを、僕はアニメのTVシリーズを作っていく中で思い知りました。TVアニメというのは元来、起承転結みたいな構成論は必要なくて、視聴率がよければ、同じことを延々と繰り返していい構造なんです。でも、初めて監督した『海のトリトン』のとき、途中で打ち切りが決まって、それまでのように、モンスターに追いかけられてやっつけるだけの話をしているわけにはいかなくなりました。

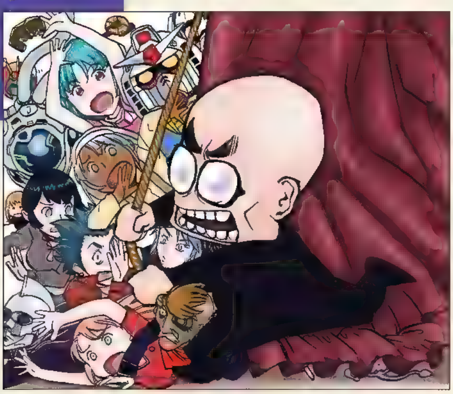
なんとか決着をつけなくちゃいけない。そこで「トリトンが追いかけられていたのは、かつて悪であった一族の末裔だったから」という終わらせ方にしたわけです。シナリオライターは「視聴者に対する裏切りだ」と言ってみんな逃げてしまったし、筋論でいえば、それは正しいと思うけれども、僕は観ている子どもたちに嘘はつきたくなかったのです。子ども向けは勧善懲悪でなければならないというテーゼは大人が作ったもので、**「自分は正義だと思っていたけれど、実はそうではなかった」という苦い経験も世の中にはある**という事実を、子どもたちに話してもいいだろうと思ったんです。

結果的に、悪のモンスターをやっつけるファンタジーものでなんとなく終わらせなかったからこそ、子どもたちの中で、作品の記憶が廃れなかったんだと思います。このあいだも、あるアニメーターから「自分は小学校三年生か四年生のときに『トリトン』を観て、この作り手は、子どもを舐めていないと思った。それで富野さんの名前を覚えたんです」と言われました。

ただ、あかねさんは「趣味で小説を書いている」人なので、そこまで創作の過酷さに向き合うべきかどうかは疑問です。**アマチュアとして気合を入れて楽しむのも幸せな生き方**じゃないかと思います。でも、「小説を書く」という創作活動を通してイメージを形にしたいと本気で思っているのなら、基礎学力とか経験値みたいなものをいっぱい持った上でないと、作品は書けません。それらを手に入れるためには、億劫がらずにやるべきことをしっかりやっていただきたいというのが、爺からの忠告です。

ものを書くとき、他人とは違う自分独自の視点を発見するのは、とても大事なことです。「いや、自分にはそんな特別なものはない」と思うかもしれませんが、あなたにも**生まれ育った土地の記憶がある**はずです。それはあかねさん固有の経験なのだから、千葉県に住んでなんとなく過ごしているのではなく、その土地をはっきり意識するように努めることが、次の小説のテーマを見つけることになるのかもしれません。

**嘘でも最後まで書くことが作品の評価につながる。
楽しむだけでなく本気で創作したければ
自分ならではの固有の視点を手に入れよう。**



さらなる悩み
まだまだ募集中!!

このコーナーではみなさんの悩みを募集中です。どんな些細な内容でもかまいません。詳しい悩みの内容、氏名（本名掲載不可の場合はペンネームも）、年齢、学年（もしくは職業）を明記して、右の住所までお送りください。ご記入いただいた個人情報は上記の目的以外での利用はいたしません。なお、投稿原稿は返却いたしません。掲載の際に原稿の一部を手直しすることがあります。掲載された原稿は書籍化などの複製使用

郵送の宛先　〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒CS
(株)徳間書店

Web投稿

戦争によって焦土と化した日本。人々は心に傷を抱えながらも、懸命に日々を生きていた。少しずつ復興が進んでいたこの国に、抗いがたい巨大な絶望が迫っていた。

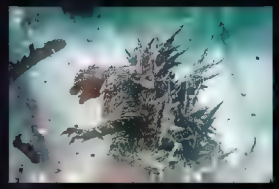
「ゴジラ」シリーズ70周年の記念作であり、日本で製作された実写映画としては30作の節目の作品である『ゴジラ-1.0』が、現在上映中だ。シリーズのファンを公言する山崎貴さんが監督・脚本・VFXを務め、主演の神木隆之介さん、ヒロインの浜辺美波さんを筆頭に実力派俳優が集結。戦後日本を襲うゴジラの脅威が、VFXによる精緻さと大胆さを併せ持った映像演出、心情を丁寧に表した演技で、高い実在感をもって描き出されている。

ある時は人類に警鐘を鳴らす存在として描かれ、またある時は地球を守るヒーローとして活躍したゴジラだが、本作では絶対的な恐怖の対象として登場。人間を巨大な足で踏み潰し、鋭利な牙で噛みつくといったゴジラの原始的な攻撃は、かえって生々しい怖さを感じさせるだろう。

次第に明らかになっていくゴジラの恐るべき能力。絶望そのものと言えるこの怪物に、抗う術はあるのか？　ゴジラと人間の戦いの行方を、劇場で見届けてほしい。

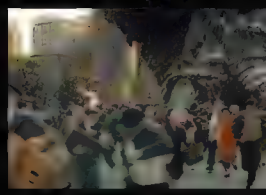
大石典子役
浜辺美波
はまべ・みなみ
2000年8月29日生まれ／石川県出身／東宝芸能所属／最近の出演作は「連続テレビ小説『らんまん』」（槇野寿恵子）、「シン・仮面ライダー」（緑川ルリ子）ほか

敷島浩一役
神木隆之介
かみき・りゅうのすけ
1993年5月19日生まれ／埼玉県出身／Co-LaVo所属／最近の出演作は「連続テレビ小説『らんまん』」（槇野万太郎）、『大名倒産』（松平小四郎）ほか



恐怖（ゴジラ）との邂逅

「シン・ゴジラ」から7年ぶりの国産ゴジラ映画がスクリーンに登場
朝ドラでの共演も記憶に新しい神木隆之介さんと浜辺美波さんが
シリーズ史上最も絶望的なゴジラとの戦いが描かれる本作の裏側を語る



ゴジラ-1.0

✖全国東宝系にて公開中
HP✖http://godzilla-movie2023.toho.co.jp/
X (Twitter)✖@godzilla231103
©2023 TOHO CO., LTD.

CAST　神木隆之介　浜辺美波　山田裕貴　青木崇高
吉岡秀隆　安藤サクラ　佐々木蔵之介
STAFF　監督・脚本・VFX／山崎貴　音楽／佐藤直紀　制作プロダクション／TOHOスタジオ、ROBOT

撮影／大山隼矢
神木隆之介　ヘアメイク／MIZUHO（VITAMINS）　スタイリスト／橋本 敦
浜辺美波　ヘアメイク／George　スタイリスト／瀬川結美子（sharey）

ゴジラを体感して

現場で作り上げた敷島と典子の関係性

――出演のオファーをいただいた時の心境をお聞かせください。

神木　お話を伺った時に第二、三稿の台本を読ませていただいたんですが、敷島には演じるのが難しい、責任が大きい役という印象を抱きましたね。実際に戦争を経験したことがない僕が演れるのか、正直プレッシャーを覚えましたが「頑張ろう」と思いました。

浜辺　「ゴジラ」に出演することは、子役のころからのちょっとした憧れで夢が叶った気持ちになりました。台本は戦後という時代設定もありますがゴジラが出るということでト書き（セリフ以外の文章）が多かったんです。どんな画になるのか浮かばなくて、きっと私が想像もできないような映像になるんだろうなとワクワクしました。

――ご自身の役を演じるうえで大切にしたことを教えてください。

神木　敷島はずっと自分を責め続けている人間で、どうやって役が精神的追い込まれている姿を表現するかはずっと悩んでいました。両親からは生きて帰ってこいと言われたけど、自分のせいで多くの犠牲を出してしまったトラウマを抱えて、実際に帰ってきたら「恥知らず」と罵られ、その苦しみは想像するしかなくて、最後まで答えが出なかったかもしれません。でも、撮影現場の雰囲気はすごく楽しかったですね。山崎貴監督がお茶目な方で、ゴジラをこよなく愛していて「ゴジラに関われて最高！」というテンションだったんです（笑）。重い題材の作品だから、どんな雰囲気の現場になるのかわからなかったのですが、本番と休憩中で気持ちの区切りがつけられました。監督のキラキラした少年みたいな姿を見て安心しましたし、今回は監督に助けていただいた気がします。

浜辺　戦後に生きている真実味が感じられるように演じたいと考えました。日本の傷が癒えていない時代が舞台なことに緊張感があり、事前に戦後を描いた映画もいくつか拝見したんです。ただ、監督からは必要以上に気をつけなくていいとお話いただき、私もいろいろな世代の方に観てほしいと思っていたので、わざとらしくお芝居しないことは意識しました。スタッフさんがスタジオにリアルな廃墟や瓦礫の山を作り上げてくださったおかげで、戦後の絶望感はイメージしやすかったです。何度も心の中で「生きてこそだ」と唱えそれに縋るように典子を演じました。

――敷島と典子の関係性の表現で意識したことは？

神木　僕は二人が夫婦に見えるよう演じてはいました。もちろん実際には夫婦ではないし、敷島が自分たちをそう思っていたわけでもないんですが、はたから見たら婚約していると感じるくらいの距離の近さで喋ろうと意識していて。二人が結婚してないとわかった時の驚きにつながればと思い、少しミスリードする感じでやったんです。あそこは敷島の闇の深さも改めて実感しました。

浜辺　敷島さんとのシーンでは、どこか居心地の悪さを抱えていた気がします。典子が敷島さんの家に転がり込んで一緒に住むようになったこともあり、だんだん距離が近づきながらもずっと引け目があったと思うんです。典子が自分の中でいつか解決しなくちゃいけないのに、なかなか一歩踏み出せない、あの感情の動きはとても人間らしいし、本当に切なかったです。

神木　台本で読んだ印象と、実際に現場で演じた時の気持ちの動きってまた違うんですよね。ト書きには抱きしめてと書いてあるけど、肩だけ抱くようにするとか、逆にト書きには書いていないところで触れてみるとか、監督には僕らが現場で感じたことを話したり芝居を見てもらって感想を聞いたりして、二人の関係性を作り上げていきました。

最大限の恐怖心で相対したゴジラ

――実際に目の前にはいないゴジラを相手に芝居をする、特撮映画ならではのシーンもありましたが、演じるうえで気をつけたこと、印象的なことを教えてください。

神木　ゴジラとのシーンは僕の人生で培った想像力をフル回転し、自分に表現できる絶望や恐怖を最大限引き出しました。そうじゃないと、多分釣り合わないと思ったんです。初号試写でゴジラと相対するシーンを観た時、人生最大の恐怖のお芝居をしたことは正しかったと思いましたし、「やっと会えたね」という気持ちにもなりました。あそこはすごく迫力があって、アトラクション感覚で楽しかったです。

浜辺　電車のシーンは脚本を読んだ時どう撮るのか全く想像できずに、疑問符がいっぱい浮かんでいたんです。実際の現場では電車を一両用意して、それを機械で持ち上げて揺らしたり、斜めにしたりして撮影しました。役作りの参考に、監督と西武園ゆうえんちの「ゴジラ・ザ・ライド」に乗車したんです。助けになったところもありますが普通にアトラクションを楽しんでいた分、ゴジラを恐怖の対象として見ることに一瞬戸惑いを覚えてしまったりもしました。現場でも想像を膨らませて演じましたが、試写で観た時は「そりゃ怖いわ」と思いました（笑）。緻密なVFXや素晴らしい音響効果で、何倍も怖く感じられたんです。監督は少年の心を持った楽しい方なので、つい身近な存在だと思ってしまいますが、すごい方だと改めて実感しました。

――お二人ともアニメ好きで知られていますが、特に好きな作品は？

神木　僕、「ToHeart2」が大好きで。アニメ版もありますが、僕が最初に触れたのはゲーム版のほうです。高校生のころ、「神のみぞ知るセカイ」を観て主人公の桂木桂馬に憧れていた時期があったんですが、その時に出会いました。傷を負った、さまざまな悩みを抱える人間らしいキャラクターたちの物語に、すごく心打たれるものがありまして、キュンキュンしながら「守ってあげたい」「そばにいてあげたい」と思い、「ギャルゲーってこんなに面白いんだ！」と感じたんです。主題歌もダウンロードしました。

浜辺　好きなキャラは？

神木　草壁優季さん。ほかの子を攻略しないと出てこないんですよ。

浜辺　なるほど。「ToHeart2」が一番好きってことでいいんですか？

神木　「アマガミ」も「ラブライブ！」も好きなんです。「アマガミ」なら森島（はるか）先輩と七咲（逢）、「ラブライブ！」だったら西木野真姫が大好きですね。

――想いがあふれて止まらないですね！

神木　浜辺さんもどうぞ。

浜辺　私は「コードギアス」シリーズです。小中学生くらいのころ、東京に泊まり込みで仕事をしていた時に、深夜に眠れずテレビを点けたらたまたまやっていて、そこからハマりました。元気がない時に観るとスッキリして、自分が無敵になったような気分になれるんです。

神木　コメントがちょっと物騒じゃないですか？

浜辺　（笑）。「この人は死なないだろう」と思っていたキャラが亡くなって、逆に死ぬだろうと思ったキャラは意外と長生きしたり、生き残ったり、生き返ったりするのがすごく面白いなと。キャラだとルルーシュが一番好きで、ヒロインもトゲトゲしているのがいいんです。同性が応援できる女の子というか。ほかのアニメでも、最強系の主人公が活躍する作品は結構好きです。

――思い入れのあるシーンを教えてください。

浜辺　「ゴジラ-1.0」のですか？

神木　そうです、アニメの話で終われませんから（笑）。

浜辺　そっか（笑）。

神木　浜辺さんはあそこじゃないですか？「あれがゴジラ」。

浜辺　私はそうですね、やっぱり。あそこは撮影している時から監督に「これ、予告で使われるかもしれないからね」と言われていて、ザ・ゴジラ映画なセリフをいただけて、本当に幸せでした。

神木　「ゴジラ-1.0」を代表するセリフですよ。「らんまんじゃ」と同じです。

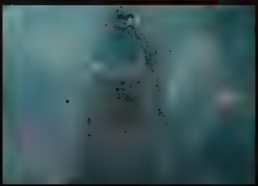
浜辺　そうだ！　松坂慶子さんと一緒なんだ。

神木　そうそう。僕らが出演した「らんまん」で、松坂さんが題名の入ったセリフを言っていたんです。「あれがゴジラ」というセリフをもらった浜辺さんは、やっぱり東宝を代表する女優なんだと感じましたし、僕も感慨深く思いました。

浜辺　光栄の極みでした。

神木　僕は新生丸でのシーンがお気に入りです。撮影は大変でしたが、僕ら船員4人の絆が深まった、思い出深いところでもあって。「こんな戦闘シーンある!?」と思うくらい迫力のある映像になっていて、ゴジラに追いかけられるところは観ていてハラハラしました。この作品の主役は僕らではなく、ゴジラなんですよね。約70年の歴史を紡ぎ、日本だけでなく世界でも愛されている「ゴジラ」というコンテンツを純粋に、アトラクションに来たみたいに楽しんでいただければ嬉しいです。

今度のゴジラは 史上最悪・最恐



海では船舶や戦艦を沈め、地上では目に入るものを灰燼に帰していくゴジラ。VFXを駆使したゴジラの破壊シーン、常識が通用しない生態の描写は、観る者に絶望感を与える。

今度のゴジラは ドラマがポイント

主人公の敷島を中心とした、繊細な人間模様が本作の特徴。トラウマを抱えた敷島が、典子や戦後処理の任につく新生丸の船員とどのように関わり、行動していくのかに注目だ。

撮影／四本一人（千賀スタジオ）

王様戦隊キングオージャー

毎週日曜日 朝9時30分 テレビ朝日
HP https://www.tv-asahi.co.jp/king-ohger/
X(Twitter) @King47_toei
©テレビ朝日・東映AG・東映

王様戦隊 謁見の間 第3章

不動を貫く

ゴッカンの王様兼最高裁判長
法を司る者としての使命を背負う、リタ・カニスカは揺るがない

Guide to ゴッカン

常に雪が降り積もる氷雪の国。巨大な天秤が目を引くザイバーン城は、国際裁判所の役割も担っており、有罪となった者は城内の牢獄へと投獄される。被告人を雪だるまのようにして拘束する"白玉"という風習があり、ギラやジェラミーも白玉にされたことがあった。

リタ・カニスカ パピヨンオージャー役

平川結月

新衣装のポイントは耳飾り！

「第2章になってジャケットが短くなり、新しくチェーンが付きました。髪を耳にかけるようになって、左耳のイヤーカフがよく見えることもポイントです。前から付けていたんですが、これまでは風が吹いた時に、ちょっと映るくらいだったんです。結構オシャレでカッコいいんですよね。イヤーカフについては描写がなく、リタがどう思っているのかはわからないですけど、個人的にはあれを付けると、スイッチが入る感じがします」（平川）

リタ・カニスカ パピヨンオージャー

キョウリュウジャーとの共闘を経て、チキューに帰還。国人が跋扈し、無法地帯と化したゴッカンの秩序を取り戻すべく、行動を起こす

絶対中立国ゴッカンを治めるリタ・カニスカは、王様でありながら国際犯罪者に裁きを下す裁判長でもある。「法とは王を穿つ矛。法を守る盾。なればこそ、ゴッカンの不動なり」。リタはどんな時も信念を曲げず、法に基づいて公正にジャッジする。

[illegible]覚えるし、感情が抑えきれなくなると人目もはばからずに絶叫する。右目への恐怖を感じていた。それでもゴッカンの国王として中立であろうと自らを律する、不動を貫こうとすることがリタの強さ。そんなリタの在り方に理解を示したり、心配したり、助けようとする仲間ができたことは、リタにとってプラスだったはず。

王様戦隊の現在のミッションは、宇宙五道化に制圧されたチキュー各国の奪還。ゴッカンを支配するコーマは、かつて入れ替わりの術によって王様たちを翻弄した一筋縄ではいかない相手だ。いずれ来たるゴッカンを取り戻す戦いで、リタを待ち受けるものとは？

なりきりのコツは立ち姿！

「ただ突っ立っているだけに見えないよう、立ち姿は常に気をつけています。足を揃えすぎると女性らしくなるので、若干足を開き、正面を向いて立っています。アゴも上がっていると間が抜けて見えるから、しっかり引くことを意識して。あとは声。低い音で安定して響かせつつ、ボソボソにならないように息の量は少なめで、滑舌もしっかりと。言葉が流れてしまわないように、強めに圧をかけて言い切るのも大事かもしれません」（平川）

蜂須賀さんから学んだ剣さばきを活かしたい

——話が進むにつれて、ほかの王様と行動をともにする場面も増えましたが、関係性の表現で意識していることはありますか？

平川　基本、個人的な感情は入れないように心がけていますが、第2章に入ってからは距離が前より近くなった感じがします。無意識に気持ちとして繋んでいる部分が出てきたというか。ただ、リタとしてはあくまで友達みたいな感覚ではなく、チキューを守るための仲間だという意識があると思います。一番距離が近いヒメノも、特別に接し方を意識するというよりはリタとしてナチュラルに、積極的に仕掛けてくるヒメノに対してオドオド返す、みたいなことをしていますね。

——28話でヤンマと入れ替わった時も、ほかの王様たちと違って仲が深まるようなことがなかったのが面白いなと。

平川　ほかは結構いい話になっていたんですけど、私たちは面白枠というか、「あれ、何やってんだろう？」って（笑）。あの話は王様たちの中でヤンマは入れ替わったことを一番楽しんでいるだろうなと、上堀内佳寿也監督とも話して、とにかくカオスな状況を楽しむことを一番大事にしましたね。あと、あまりガチガチに決め込むとキザっぽくなるというか、ダサくなっちゃうと思ったので、自然に落とし込もうとしました。監督からも「ヤンマをやろうとしなくていいよ」みたいなことを言われて、だいぶ素の自分で演った感じです。

——ヤンマ役の渡辺碧斗さんから感想は聞きましたか？

平川　会った時に「めっちゃノリよかったね！」「カッコよかったよ」と言ってくれました。でも、碧斗のリタはやりすぎでしたね（笑）。私、別に白目を剥いたりとか寄り目したりとかしてないし。入れ替わったストレスで、イライラMAXの状態に達したからああなった……って考えれば成立するんですが。出来上がった映像を見てどう演じたのかを知ったから、「こんなことやってたの？」って驚きがありました。

——側近のモルフォーニャとの掛け合いで大切にしていることは？

平川　あまり気負いすぎずに、なるべくフラットな状態で接しようとしています。25話の壁ドンしたシーンみたいに、思っていることを伝えたい時は不器用なりに、しっかりと伝えようとする意識も若干あって。リタもモルフォーニャもお互い何を言っても絶対に離れないというか、関係は変わらないとわかっているから、遠慮がないのかなと感じます。

——パピヨンオージャーのスーツアクターを務める蜂須賀祐一さんとのやり取りで、記憶に残っていることはありますか？

平川　普段はお互い別々の撮影なので、蜂須賀さんとは会うたびに情報共有をしています。私がお話ししたことを、変身後のアクションに落とし込んでいたりもしていて。素面で戦う時はずっとカメラの横について、親身になって丁寧にアドバイスしてくださるんです。演技から離れた世間話もできますし、とても気さくに接していただいていて、とてもありがたいなと思っています。

——素面のアクションだと、32・33話はかなり激しいアクションシーンが描かれていたかと思います。

平川　そうですね。第2章になって初めての素面で、手数も結構多くて。リタは自分から向かっていかず、敵が来たら斬る戦い方なので、剣さばきが重要になるんです。動きを止めるところ力を入れるところのメリハリが大事で蜂須賀さんにアクション練習の時だけでなく、現場でもいろいろと教えていただきました。私は昔から体を動かすのがめっちゃ好きで、『キングオージャー』の前にも何回かアクションの現場に参加して、興味を持っていたんです。蜂須賀さんから剣の構え方、振り方など基礎的な部分を教わったので、『キングオージャー』が終わった後も挑戦したいですね。

使命と恐怖の間であふれ出した感情

——『キングオージャー』はキャストの皆さんが積極的にSNSで発信されていて、特に平川さんはファンと交流する機会を大事にされている印象があります。

平川　SNSは毎日、何かしら動かすことは意識しています。私が所属するLDHはアーティストの事務所として有名だと思うんですが、アーティストの方はライブやリリースイベントなど、応援してくれている人と直接触れ合う機会が多いんです。でも、俳優チームはあまりそういう場がなくて。ファンの人と交流する場所を作りたいと思い、X（Twitter）のスペースで喋ったり、インスタライブを配信したりしています。それと、リタを通じて私自身のことを知ってもらう機会になればとも考えていて。ファンの人もリタと私のギャップを面白がったり、楽しんだりしてくれていて良かったです。

——なるほど。深い考えがあって発信されていたんですね。

平川　まあでも、もともと喋ることが好きだから、家に一人でいる時に「なんか暇だな」「ちょっと喋ろっ」てはじめることもあります（笑）。配信をするようになって喋るのが上手になった気がしますし、頭の回転も前より速くなったと思います。これまではファンの人とコミュニケーションを取る機会があまりなく、コメントを読むと「こんなにたくさん応援してくれる方がいるんだ」と実感できて、励みになっています。

——リタ以外で好きなキャラを挙げるとしたら？

平川　ヤンマは入れ替わり回で演ったこともあって、愛着が湧きましたね。ああいうカッコつけている感じというか、ちょっと口調が荒い役は、前から演じてみたかったんです。あとは、なんだかんだ言ってギラかな。真っ直ぐで、素直で、かわいらしいところがあって。大切なものを傷つけられた時に見せる怒り、仲間を思う気持ちみたいなものも魅力だと思います。どんどん王様の顔になっていって、29話なんかは目から光が走るエフェクトも入って、超カッコよかったです！

——ここまでで思い入れのあるエピソードを教えてください。

平川　30話はリタの右目の秘密が明かされましたし、"神の怒り"の犯人がグローディだとわかった話で、やっぱり印象に残っています。右目の秘密は私も知らされていなくて、台本を読んだ時に驚きました。グローディ役の天野浩成さんは事務所の先輩で、仮面ライダーも演じられていましたし（※『仮面ライダー剣』橘朔也／仮面ライダーギャレン役として出演）、共演できることを喜んだ思い出もあります。

——32・33話に出演した立風館ソウジ／キョウリュウグリーン役の塩野瑛久さんも、同じ事務所でしたよね。

平川　はい。塩野さんにはリタ役に決まってすぐ、たまたま別の作品でお会いする機会があって、戦隊に出演することご報告させていただきました。「頑張ってね」とエールをくださった塩野さんと、コラボ回でご一緒できてすごく嬉しかったです。

——30話に話を戻すと、リタ的には大きなターニングポイントとなるエピソードだったと思います。

平川　前国王のカーラスとの関係性が深掘りされていたし、リタの使命のために動くところや民を守る覚悟が描かれて、演じていてカッコいいなと思っていました。リタの感情が高ぶるシーンは、事前にこう表現しようと持ち込まず、現場の雰囲気でやりたいと考えていたんです。カーラスが目の前で倒れたシーンは、自分の中でこみあげてくるものが大きくて、こんなに感情を動かされるんだと驚きました。グローディに"氷の封印"を使うシーンは、特に感情があふれ出てきて。自分もろとも相手を封印する秘術だから、使うことはリタの死につながるんですよね。王として民を守る使命、自分の死に対する恐怖でリタは葛藤していて。その気持ちを想像して演じたんですが、大切な人を亡くした経験とかない分、逆に膨らみすぎちゃって、撮影中に涙が止まらなくなって、心を落ち着かせる時間をもらいました。

——感情を大きく揺さぶりながら演じたんですね。

平川　台本を読み解くのに、その時の心の声をよく書き込むんですけど、秘術を使うシーンは「あとは頼んだ」と書いたんです。そうしたら、いざ演じる時にみんなの顔が浮かんできて……。「死にたくないなぁ」「でもなぁ」と思っちゃって、リタとしてだけでなく、平川結月としても泣けてきました（笑）。自分の命よりも民の命、チキューの平和を守る覚悟を決めて、リタがまた一つ成長できたし、それをヒメノが止めてくれたことで、自分は一人じゃないと強く自覚できた気がします。一緒に倒そうと言ってくれる仲間がいる、その心強さを感じられたのかなと思います。

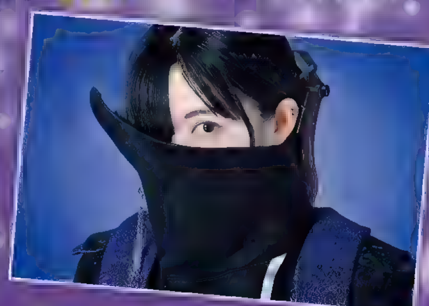
——最後に、今後の見どころをお願いします。

平川　36話のヒメノのお見合い話でもリタが面白いことをしているんですが、リタ的には38話が見せどころじゃないかなと。撮影はこれからで（※取材当時）、私も頑張らなきゃと思っていて……ぜひ楽しみにしてほしいです（笑）。

ヒメノ・ラン役　村上愛花さんからの質問！

Q. リタはどんな食べ物が好き？ヒメノのゴッカン用コートを作るなら、どんな案を出す？

「リタは甘いものが好きな気がします。私が個人的に好きなので、和菓子のほうがありがたいです（笑）。コートは脚が出たドレスで寒そうだから、ポンチョみたいに上から着られる、フード付きのロングコートがいいと思います。もふもふした白玉（雪だるま）コートか、カマキリコートで！」（平川）



カグラギ・ディボウスキ役　佳久創さんへ質問！

「カグラギって、よくみんなの目を盗んで一人だけ違う場所に行ったり、どこかに潜入したりしているんですよね。あの大きな身体で、どうやってみんなの輪から抜け出しているのかは気になります。あとは、あのロングヘアーをどうケアしているかも知りたい。近くで見ると結構サラサラなんですよ、カグラギの髪。実際はカツラなんですけど、カグラギがサラサラヘアーをどうケアしているか、佳久さんの解釈を聞いてみたいです」（平川）

TSUBURAYA CONVENTION 2023

●11月25日(土)・26日(日)●東京ドームシティ
HP●https://tsubu-con.com/2023/

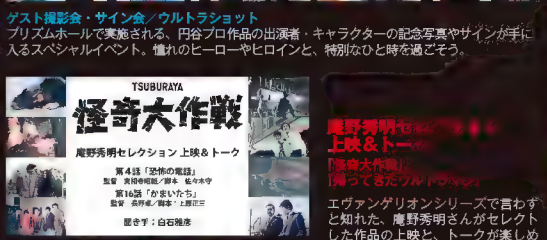
© TSUBURAYA PRODUCTIONS Co., Ltd.
「TSUBURAYA IMAGINATION」にて過去開催時の映像を配信中

空想世界の過去・現在・未来

**ウルトラマンやグリッドマンで知られる
円谷プロがファンに贈る祭典・ツブコンが間もなく開催
注目のプログラムやグッズエリアのポイントを大紹介！**

ゲスト撮影会・サイン会

ゲスト撮影会・サイン会／ウルトラショット
プリズムホールで実施される、円谷プロ作品の出演者・キャラクターの記念写真やサインが手に入るスペシャルイベント。憧れのヒーローやヒロインと、特別なひと時を過ごそう。



庵野秀明セレクション 上映＆トーク
『怪奇大作戦』
『帰ってきたウルトラマン』

エヴァンゲリオンシリーズで言わずと知れた、庵野秀明さんがセレクトした作品の上映と、トークが楽しめる特別イベント。ここでしか聞けない、激レアなお話も飛び出すかも？

◆出演者
庵野秀明／聞き手：白石雅彦
◆開演日時
『怪奇大作戦』
11月25日（土）夕方3時30分
『帰ってきたウルトラマン』
11月26日（日）夕方3時
◆場所　東京ドームホテルシンシア

New Generation 12 Stars Meeting
「ウルトラマンギンガ」からはじまり、今年10周年を迎えたニュージェネレーションシリーズのスターが大集合！　ウルトラマンを演じたキャスト12人によるトーク、主題歌を担当した「voyager」の歌を堪能しよう。

◆出演者
根岸拓哉（ウルトラマンギンガ＝礼堂ヒカル役）、宇治清高（ウルトラマンビクトリー＝ショウ役）、高橋健介（ウルトラマンエックス＝大空大地役）、濱田龍臣（ウルトラマンジード＝朝倉リク役）、小澤雄太【劇団EXILE】（ウルトラマンゼロ＝伊賀栗レイト役）、平田雄也（ウルトラマンロッソ＝湊カツミ役）、小池亮介（ウルトラマンブル＝湊イサミ役）、真原有沙（ウルトラウーマングリージョ＝湊アサヒ役）、井上祐貴（ウルトラマンタイガ＝工藤ヒロユキ役）、寺坂頌我（ウルトラマントリガー＝マナカ ケンゴ役）、松本大輝（ウルトラマンデッカー＝アスミ カナタ役）、蕨野友也（ウルトラマンブレーザー＝ヒルマ ゲント役）、voyager
◆開演日時　11月25日（土）夜8時　◆場所　東京ドームホテル天空

ジラシリーズの特技監督などを務めた円谷英二さんが創設し、ウルトラマンシリーズをはじめとした、さまざまな作品を生み出してきた円谷プロダクション。そんな円谷プロが19年から2年に1度開催している最大の祭典が、「TSUBURAYA CONVENTION」（ツブコン）だ。

創立60周年の節目に開催される今回は、4年ぶりのリアルイベントとなる。ステージプログラムやゲスト撮影会・サイン会といった有料イベントだけでなく、無料で入場できるグッズエリアも登場。ステージプログラムは「ウルトラマンガイア」や「電光超人グリッドマン」、ニュージェネレーションウルトラマンなど、記念の年を迎えた作品を中心に多種多様なイベントが催される。さらに、オープニングセレモニーでは24年以降に展開する新作品やプロジェクトの最新情報が発表されるとのこと。きっと幕開けを熱く盛り上げてくれるに違いない。

“空想の力”というテーマのもと、円谷プロの過去と現在、そして未来がつながるこの祭典。空想の世界を愛する人なら、円谷プロ作品のファンならずとも要注目だ。

吉岡毅志
（『ウルトラマンガイア』高山我夢役）

—吉岡さんのツブコン出演は、19年の初開催以来、二度目となります。

吉岡 そうですね。21年の時も出演オファーはいただいていましたが、当時の世の中の状況的に難しくなり、泣く泣く中止になってしまいました（※21年はリアルイベントとしての開催は中止され、オンライン生配信が実施された）。それを乗り越えてヒーローショーでも声援が戻ってきた今、『ウルトラマンガイア』25周年を大々的にツブコンで祝えるというのは感慨深いです。前はつるの剛士くん、杉浦太陽くん、高野八誠と一緒に、『ウルトラマンダイナ』と『ウルトラマンコスモス』、『ガイア』で盛り上がりましたが、今回は20周年の時以来、久々の単独イベントなんです。ただ、この5年の間に『ガイア』にとって重要な二人の人物、石室コマンダー役の渡辺裕之さんと村石宏實監督が亡くなってしまって……。『ガイア』を語るにはどうしたらいいのかすごく悩んで、スタッフの方と何度も打ち合わせをしました。

—打ち合わせの段階から携わっているんですね。

吉岡 はい。XIG（シグ）のメンバーにお声がけするとなった時、僕のほうからガウをMCとして入れてほしいとお願いしました。八誠やガウとはよく会うのですが、ほかの皆さんとは結構久しぶりなので、オペレーター役だったガウがいてくれたら、当時のコマンドルームの雰囲気がそのまま出せるんじゃないかなど。彼女には盛り上げてもらおうと思っています（笑）。

—今回の『ガイア』イベントで楽しみにしていることは？

吉岡 やっぱりXIGのメンバーと再会するのが、今から楽しみですね。先日、梶尾リーダー役の中上雅巳さんとお会いしましたが、全然お変わりなくて。一瞬で25年前の人間関係に戻れたことに驚きましたし、感動しました。XIGの男性キャストでは僕が一番年下で、当時現場では皆さんにかわいがってもらっていたから、久しぶりに家族や親戚に会う気持ちです。

—吉岡さんはほかにも、高野さんと二人で26日のゲスト撮影会・サイン会の登場も予定されています。

吉岡 円谷プロ公式のイベントとして、25年経った僕らと写真を撮るというのがいいですよね。今でも世界中のファンの人から声をかけていただいたり、当時生まれていなかった子から「ガイアが好きです」と言ってもらったりしていて。ぜひサインや一緒に撮った写真をいつまでも大切にしていただきたいですし、ツブコンで我夢と藤宮と会ったという貴重な時間も大事にしてもらいたいなと思います。

—ご自身が出演されていないイベントで、気になるものはありますか？

吉岡 『ウルトラマンギンガ』の根岸拓哉から、『ウルトラマンブレーザー』の蕨野友也さんまで、ニュージェネのみんなが集まるイベント（「New Generation 12 Stars Meeting」）は面白そう。ニュージェネは集まると僕ら平成三部作とはまた違った、不思議な空間になるんです。年齢がバラバラで、巨大な男子校みたいというか（笑）。そんな後輩たちの姿を、ドキドキしながら見守りたいです。庵野秀明さんのセレクション上映も気になります。語り手として庵野さんご自身もいらっしゃいますし。特に『帰ってきたウルトラマン』の回は興味を惹かれます。グッズエリアも、ブース出展される企業が本当にたくさんあって、どんなアイテムが並ぶのか楽しみですね。新しい『ガイア』グッズにも期待したいです。

—改めて『ガイア』イベントの意気込みをお願いします。

吉岡 トークコーナーでは、久々に集まってくださったXIGメンバーの皆さんから今一度、『ガイア』への想いを伺えればと思っています。当時のそれぞれのポジションから見た『ガイア』を掘り下げてみたいです。そして、暗い話にはしたくないんですけど、コマンダーが不在になってしまったというのは大きくて。コマンダーの分まで、みんなでXIGを守らなければいけないという、隊員としての使命感みたいなものもどこかにあります。まだ当日どうなるかわからないのですが、目に見える形でコマンダーの存在を感じられるイベントにできないか、スタッフの方に相談しています。

—吉岡さんの想いが実現することを願っています。最後に読者へ向けてメッセージを。

吉岡 もし今回のイベントに来られなかったとしても、配信でご覧いただければと思いますし、30周年、35周年と今後も『ガイア』のイベントをやっていくつもりです。『ガイア』はあの当時にしか作れなかった、とんでもない作品。何度観ても新発見があるので、まだ観ていない方も一度観た方も、この機会に触れてほしいです。僕も八誠も歳は取ってしまいましたが、まだまだ地球のため、みんなのために、ギリギリまで頑張っていきます。ぜひ『ウルトラマンガイア』の応援を、引き続きよろしくお願いいたします！

25年目のヴァージョンアップ
今夏のイベントで初登場した、ウルトラマンガイア スーパー・スプリーム・ヴァージョン。ガイアとアグルの力が合わさって誕生した、新たなる姿だ。「新形態の登場はすごく嬉しかったです。ニセガイアの回（第27話）に『命あるものは、常に前に進みます』というコマンダーのセリフがありますが、ガイアは今も進化し続けていると感じられました。これから活躍して、皆さんに愛される新形態になってくれればと思います。そして、ガイアとアグルが進化しているように、ファンのみんなも一緒に前に進んでほしいです」（吉岡）

▲『ウルトラマンガイア』出演当時の写真

ウルトラマンデパート／コレクションゾーン

ウルトラマンシリーズのオフィシャルグッズストアと、グッズメーカーが多数出展するコレクションエリアが、プリズムホールに出現。ニュージェネレーションウルトラマンを演じたキャストがデザインしたTシャツ、円谷プロ作品と縁深いアーティストのサイン入りブックレット、限定カラーのソフビ人形など、スペシャルアイテムの数々を見逃すな！

『ウルトラマンガイア』25th [illegible] XIGファイターズ Get glory！

ウルトラマンの変身者や、防衛チーム・XIGのファイターチーム（航空部隊）のリーダーを演じたキャストなどが登場。トークやショーで『ガイア』の世界に浸れる、25周年を記念した豪華ブリーフィングイベントだ。

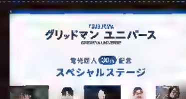
◆**出演者**
吉岡毅志（高山我夢役）、高野八誠（藤宮博也役）、中上雅巳（チームライトニング／梶尾克美リーダー役）、賀川黒之助（チームファルコン／米田達彦リーダー役）、権藤俊輔（チームシーガル／神山篤志リーダー役）、松田 優（チームハーキュリーズ／吉田 悟リーダー役）、中村浩二（チームハーキュリーズ／桑原孝信役）、ガウ（オペレーション・クルー／ジョジー・リーランド役）
◆**開演日時** 11月26日（日）昼11時
◆**場所** 東京ドームホテル天空
※「U-NEXT」にてライブ・見逃し配信を実施。チケット販売価格は3,300円（税込）

『ウルトラマンガイア』関連の撮影会・サイン会スケジュール
吉岡毅志＆高野八誠
撮影会：11月26日（日）昼1時45分～【1時間】
サイン会：11月26日（日）夕方3時30分～【1時間】
ウルトラマンガイア スーパー・スプリーム・ヴァージョン
ウルトラショット：11月25日（土）昼12時～／夕方5時～【各回30分】
ウルトラマンガイア（V2）＆ウルトラマンアグル（V2）
ウルトラショット：11月26日（日）昼12時～／夕方4時30分～【各回30分】

New Generation VOICE Stars Meeting

ニュージェネレーションシリーズを彩った声優陣が一堂に会する、ウルトラ豪華なプログラム。出演者とキャラクターたちの共闘など、スペシャルな催しも用意されているとか!?

◆**出演者** 内田雄馬（ウルトラマントレギアの声）、日野 聡（ウルトラマンタイタスの声）、葉山翔太（ウルトラマンフーマの声）、駒田 航（ウルトラマンリブットの声）、畠中 祐（ウルトラマンゼットの声）、MC：関 智一、アシスタントMC：湯浅かえで
◆**開演日時** 11月26日（日）夕方3時
◆**場所** 東京ドームホテル天空



電光超人30th記念「グリッドマン ユニバース」スペシャルステージ

3月公開の『グリッドマン ユニバース』。その原典で30周年を迎えた『電光超人グリッドマン』をフィーチャー。グリッドマン役の緑川光さんを筆頭に、両作のキャストが集結！

◆**出演者** 緑川 光（グリッドマン役）、広瀬裕也（響 裕太役）、濱野大輝（レックス役）、稲田 徹（アレクシス・ケリヴ役）、小尾昌也（翔 直人役）
◆**開演日時** 11月26日（日）夜8時
◆**場所** 東京ドームホテルシンシア

大塚隆史 メライフ！

第6回 演出家ってどんな仕事をしているの？

イラスト：川村敏江

「各話の監督」である演出家の仕事とは？

小松田　「演出家」という肩書きを聞いたことがある人は多いと思いますけど、実際にどんなことをしているのかって、意外とわかりにくいですよね。

大塚　そうそう、僕もこのあいだ、親戚のおばちゃんにどんな仕事なのか説明しようとしたら、「漫画を描いている人ね」と言われちゃいました。別に漫画は描いてないんだけど（笑）。

小松田　絵コンテは漫画みたいに見えますからね（笑）。じゃあ、演出家とはどんな仕事なのかというところから、まずは話していきましょう！

大塚　演出家とは、ざっくりと説明すると「絵コンテを描き、その絵コンテを元に映像を完成まで導いていく人」になります。演出家の仕事って、大きく、絵コンテ」と「演出（演出処理）」に分けられます。「絵コンテ」とは、脚本家が書いて監督とプロデューサーがOKを出した脚本を、具体的にどう映像化していくかを記した映像の設計図のことです。「演出（演出処理）」は、その設計図（絵コンテ）に基づき、作画さんや背景さん、色彩設計さん、撮影さん、声優さんなどといった各セクションに「この作品はこういうふうにしたい」という一つの指針を伝え、必要な成果物を制作してもらい、フィルムを完成に導いていく仕事です。最近では「絵コンテ」と「演出（演出処理）」を別々の人が担当することもありますけど、同じ人が担当するのが本来の演出家の仕事だと僕は思っています。

おおつか・たかし
アニメ監督・アニメ演出家
1981年2月23日生まれ　大阪府出身　業界歴23年目　代表作は「映画プリキュアオールスターズDX 1～3」（監督）、「スマイルプリキュア！」（シリーズディレクター）、「劇場版ONE PIECE STAMPEDE」（監督・脚本）ほか。アニメの仕事をわかりやすく解説した書籍「アニメができるまで」発売中

いかに映像として面白いものにするのがお絵コンテの醍醐味

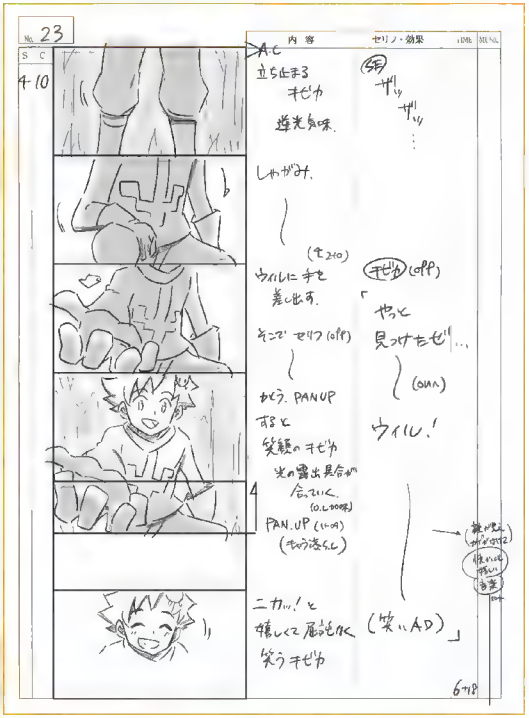
小松田　読んでいる方の中には、それぞれのスタッフはプロなんだから、放っておいても勝手に必要な絵を描いて、必要な色を塗って、必要な声を当てるのが当たり前なんじゃないの？と思う人もいるかもしれませんけど、意外にもそうではなくて、やっぱり誰かが指針を持って導いていかないと、チグハグになってしまうんですよね。

大塚　そうそう、それと、作業する人が違った意図で解釈してしまう場合もあるので、そういうときに「もう少しこうしてください」と伝えて修正してもらったり、あるいはその解釈でもテーマがブレずに成立するのかを判断したり、微調整を加えたりするというのも大切な作業です。

小松田　言ってみれば、演出家ってオーケストラの指揮者みたいな存在なのかなと思います。なんとなく、いなくても成り立つのでは？と思われがちですけど、指揮者がテンポやリズム、展開を決めるからこそ、各演奏者たちはそれに従って演奏することで、一つの曲としてまとまりのある形になるし、指揮者が違えばまったく違った仕上がりになる。アニメの演出家もまさにそういう立ち位置だと思います。

大塚　「じゃあ、監督と演出家ってどう違うの？」というのが次に生まれる疑問だと思うのですが、TVシリーズでいうと「監督は作品全体を見る人、演出は各話数を担う人」という違いがあります。1クール全12話だったとして、その12話すべてを監督が細部まで面倒を見ることはできないから、各話数を担当する演出家が立ちます。担当となった演出さんは監督とも相談しながら、その話数がシリーズの中でどういう立ち位置にあるのか、それを表現するためにどういう映像にしていくのかを考え、約21分、300～400カットの絵コンテを作っていく。そして、監督やプロデューサーの承認を得たのち、各スタッフと打ち合わせをして「こう描いてほしい」「こういう表現にしたい」ということを話めていく。

小松田　「演出」という言葉だとふわっとしていますけど、アメリカではシリーズものの演出家は「エピソードディレクター」とクレジットされているんです。まさに「その話数の監督」ですよね。一方、TVシリーズの監督は、各演出家が積み上げた一個一個のエピソード全体を俯瞰して、12本で一つの作品としてきちんと成り立っているか、相互に矛盾やミスがないかをチェックする役割」なので、そこが演出家と（TVシリーズの）監督の違いと言えるのかなと思います。



アニメーター高橋優也さんの原作漫画「残光のキビト」を元に大塚さんが描いた絵コンテ。飛鳥新社刊「アニメができるまで」より（著　大塚隆史　文・構成／堀田孝之　マンガ・イラスト／フナヤマヤスアキ）

アニメとして面白い形にできると気持ちいい！

大塚　こうやって説明すると硬く感じるかもしれませんが、演出家の仕事ってめちゃくちゃ楽しいんですよ。その魅力を伝えて、一人でも多くの人に面白そう！　やってみたい！と思ってもらうのが、今回の僕の目標です！

小松田　大塚さんはどんなときに演出という仕事の面白さを感じますか？

大塚　僕は絵コンテを描き始めるとき、まずシナリオを読んで「この話数のテーマはなんなのか」を捕まえることから始めます。「この話数で何がしたいか」「どう感動させたいか」という意図を読み取り、その意図を一番良い形で表現するためにはどういう映像設計を立てたらいいのかを考えていく。シナリオのテーマからブレずに、いかに映像として面白いものにするのかを考えるのが絵コンテを描くときの醍醐味だと思っています。だから僕は絵コンテを描いているとき、つまりどんな面白い仕掛けの映像にしようかなと考えているときが一番楽しいかな。

演出デビューしたばかりの頃は、シナリオの字面通りに、1カットずつ画を並べていただけでしたが、それだと全然面白くならないんですよ。何をどう見せたいかを考えて、「主人公の成長に焦点を当てるなら、このシーンはコンパクトにして、むしろこっちにFXを使おう」「この話数ならアクションをたっぷり見せたほうが、もっと敵の強さが伝わるんじゃないか」「ここでこの音楽をかけ始めて、観る人の気持ちが頂点に達した瞬間にこのカットが来るようにしたい！」と、映像の展開や音楽との合わせ方を含めて考えることで、映像作品として面白くなっていく、それがうまくハマったときがたまらなく気持ちいいんです！

小松田　そうなんですよね！　めちゃくちゃわかります。具体的にうまくハマったって思える演出回はありますか？

大塚　演出の仕事がうまくできたって思えたのは、『Yes！プリキュア5』の第34話「ミルクを守れ！白馬の騎士かれん」ですね。その回のテーマをどう見せるか、アクションシーンではどのような戦闘にしたらテーマをしっか

小松田大全 ハッピーアニ

～“好き”を進路にしてみたら～

アニメーションの演出家って重要な役割だというのはなんとなくわかるけど、具体的にはどんなことをしているのかよくわからない……そう思っている読者も多いのではないだろうか？　知っていそうで意外と知らない、演出家の仕事内容やその醍醐味をご紹介！

こまつだ・だいぜん
アニメーター・アニメーション監督・演出家
1973年3月13日生まれ／埼玉県出身
業界歴25年目／代表作は『ブブキ・ブランキ』（監督）、『エヴァンゲリヲン新劇場版』シリーズ（副監督）ほか。現在、映画『アイゼンフリューゲル』（監督）を鋭意制作中

り立たせることができるかについて腐心し、当時の自分なりにうまく表現できたと思えました。音楽も絵コンテ段階から見せ場の音楽を想定してカッティング（編集）し、選曲さんとも相談し、イメージした以上の形に仕上げることができて、面白くできたと思います。

小松田　いいですね！　演出家としてしっかり面白く仕上げられたって思えるのは最高です。

大塚　だから僕は、基本的に出来上がった話数が面白いか・面白くないかの責任は演出家にあると思っています。面白くない出来の言い訳に、「シナリオがいまいちだった」とか「良いアニメーターが集まらなかった」みたいに言う演出家も時々いますけど、それは違うかなって思います。

小松田　まったくですね。それに、原作が面白い作品でもそれをそのまま原作通りにやればアニメも面白くなるかと言うとそうではなくて、その原作やシナリオを映像作品として盛り上がる形、面白い形に翻訳しないといけない。

　ただ、大塚さんの音楽の話は、東映アニメーション出身の演出家ならではの視点だなと思いました。多くのアニメ制作現場の場合、音回りは音響監督が担います。だから、各話の担当演出で、音楽のことを考えながら絵コンテを描くという人は実は少数派なんじゃないですかね？　僕も実際、監督になって初めて「音楽ってどうやってつけるの!?」という問題に直面しました。でも、東映アニメーションの場合は演出が音響監督も兼任するから、演出の仕事の中で音回りの感覚が身につけられるのがいいですよね。

大塚　確かに。東映アニメーション以外では一般的なやり方ではないので「これも演出家の仕事だ」と言い切るのは難しいです。ただ、映像の設計図である絵コンテが音と深く関係しているというのはどの作品も変わりません。音を意識することは絵コンテを描くうえで絶対に欠かせないと思います。

“師匠”から学べる演出の面白さと奥深さ

大塚　小松田さんは演出の面白さってどんなところにあると思いますか？

小松田　僕はね、人に話を訊くのが好きな人間にとっては、演出家ほど面白い仕事はないと思っているんですよ。大塚さんは演出助手を経て演出になったタイプですけど、僕の場合は本連載の第2回でお話しした通り、作画からいきなり演出になったので、演出助手という過程を経ていないんです。だから、同じスタジオにいる演出家に「教えてください！」と頼み込んで演出のイロハを学びました。そうやって、自分ではわからないことや知らないことを、人から教わることができるというのが一番好きなところです。だいたいの疑問は、人に聞けば解決できると思うんですよね（笑）。

人に話を訊くのが好きな人間には、演出家ほど面白い仕事はない

大塚　それって小松田さんの才能ですよね。疑問が解決するとわかっていても、なかなか素直に聞きにいくのって難しいじゃないですか。すごいことだと思いますよ。

小松田　『交響詩篇エウレカセブン』の演出をしていたときは村田和也さんに、『シュヴァリエ』のときは古橋一浩さんに“師匠”になってもらって、いろいろなことを教えてもらいました。古橋さんは、僕のコンテの不要だと思う内容もわざとそのまま残して、カッティング（編集）のときに「ここで、足元からパンアップ（カメラを上に振ること）すると西部劇みたいでダサくなるでしょ？　だからいりませーん」と、なぜそこを落としたほうがいいのかを説明しながら切ってくれるんです。これは本当に勉強になりました。

　『エヴァンゲリヲン新劇場版』シリーズを監督である鶴巻和哉さんの下で演出していたときは、鶴巻さんが僕の修正したタイムシートを見て、「どういう意図でこういうシートにしているの？　ちょっと理解できないんだけど、ひょっとして俺が間違ってる？」といった感じで、わざわざ僕の席まで聞きに来てくれるんです。そのうえで、「それなら、ここは逆にしたほうがいいかも」といった意見をくれて、いろいろなプランを相談しながら進められたのが楽しかったですね。

大塚　ほかの人の仕事から、自分ではまるでイメージできなかったやり方が思いもよらない効果が生むという発見をすることってありますよね。先輩から教わるのはもちろんのこと、「俺が間違ってる？」という鶴巻さんの言葉の通り、後輩から新しい視点をもらうこともあって。僕も15年以上演出をしていますが、今でも「こういうやり方があるのか」とか「今度真似して実験してみよう」と思うことは多いです。

小松田　演出の仕事って、人の数だけ違うやり方・考え方があるから面白いんですよね。監督から自分のコンテがどう直されるかといったことからも、いろいろなものを得られますしね。演出は監督になるための単なる通過点ではなく、それそのものが新しい発見や学びに満ちていて、それがまた演出という仕事の奥深さだと僕は思います。

熱意があれば、案外チャンスは巡ってくる

大塚　演出家って、人を楽しませたり驚かせたりすることに喜びを感じられる人や、そういう仕掛けを考えるのが好きな人にはすごく楽しい仕事だと思うんです。ただ、実は今、業界的に演出家は慢性的な人手不足という問題があって。毎クール作品本数が多すぎるがゆえに実力のある演出家はすぐ監督に抜擢されてしまうから、各話の演出が力不足になってしまっている傾向にあるように思います。それにどの作品もいわゆる勝負作ばかりで、新しい演出家が失敗して経験を積む機会も少ない。演出家の報酬もそこまで高くはないので、作品の掛け持ちをすることも多く、結果いろいろ模索して考える時間も多くは取れない。そういう、よくない流れができてしまっていて、TVシリーズを作ること自体がどんどん難しくなってきているなと感じます。

小松田　それに危機感を感じて、最近では演出を育てようとしている会社も少しずつ増えてきているようです。トムス・エンタテインメントやA-1 Pictures、WIT STUDIOなどでは、演出家を社員登用したり、これまでベテランが善意で後輩たちに教えていたことを改めて明文化して演出のルールブックを作ったりしていて。演出のスキルを次世代に引き継いでいくべく、業界自体が積極的に変化しようとしている最中ですね。

大塚　素晴らしい取り組みですね！　社員登用されると生活に困窮しにくく、仕事に集中できるし、一定水準の演出家を会社でしっかり確保できる意義は非常に大きいですね。

小松田　あと、「フリーランスで業界に入った場合、演出になるにはどうステップアップすればいいんだろう？」という不安もいまだにあると思います。ただ、僕という例もある通り、「演出をやりたい」という熱意があれば、意外とチャンスは巡ってくるもので。互いに信頼関係が構築できれば、例え経験がなくても任せてみようと声をかけてくれるプロデューサーがいるものなので、そこは不安がらなくてもいいんじゃないかなと思います。

大塚　大切なのは、声をかけられたときにちゃんと準備ができているか、ですね。声がかかって初めて「どうやればいいんだ？」と考えるのではなく、原画なり制作進行なり演出助手なりをやりながら、あらかじめ「演出とは何をやるのか」や「自分だったらこうするのに」などと自分なりに考えておくといいと思います。そうやって考えていたことを、チャンスが来たときに発揮することができたら、次の仕事へとさらにチャンスを繋げることもできますから。

小松田　あと、コミュニケーション能力を磨いておくのも大切ですよね。やっぱり、演出っていろんな人の力を借りる仕事なので。

大塚　本当にそう！　みんなと仲よく仕事ができること、無駄なケンカをしないことって本当に大切。忍耐力とコミュニケーション能力は磨いておいて損はないと思います。どんなにすごい才能があっても、対人関係がうまくいかなかったがために消えていった人の話、実際にけっこうありますから！

小松田　そうですねぇ！　そういったことが得意だと、より楽しく仕事ができると思います！　演出家の楽しさ、伝わりましたか？　今回のお話で演出家の仕事に興味を持つ人がいてくれたらうれしいです！

大塚　この流れで、次回は「監督の仕事」について詳しくお話していきましょう！

ペリ山タ夕の愛を知りたい!!

荒木哲郎 平尾隆之

季節はもう秋、そしてあっという間に冬へ……というわけで今回からイラストが秋冬バージョンに！どこがどう変わったか、チェックしてみよう!!

イラスト／高橋平理

#96 時代や時間や世代を知りたい!

街で見かけたあのキャラ、この作品

平尾　先日、あらためて「アニメはもうアニメファンだけのものではなくて、広い層に認知されているんだな」と実感するような、ちょっとした出来事があったんですよ。

荒木　ほお、どんな？

平尾　阿佐ケ谷の駅前で工事をやっていて、現場にクレーン車が停まっていたんです。建築用の大きいものじゃなくて、ちょっと小さめのミニクレーンみたいなやつですけど。

荒木　はい、はい。

平尾　そのクレーン車のクレーンの部分に、「マクロスF」のランカとシェリルの大きなシールが貼られていたんですよ（笑）。

荒木　ははは（笑）。しかし、そのクレーン車って会社の持ち物じゃないのかね？　現場で働いているお兄さんが勝手に貼っていいものなのか？　個人の車を痛車にしているのとは、明らかにちょっと違う。どうやったって仕事以外に使いようがない車だし。

平尾　わからないですけど。たとえば、会社の社長の子供が『マクロス』が好きだから貼っているのかもしれないけど。いずれにしろ、アニメは工事現場のお兄さんにまで広まっているんだなと思いました。

荒木　そうだよね、アニメはもはやオタクだけが観ているものではないというのは、間違いない。人気の男性アイドルが実は「ウマ娘」の大ファンだ、なんて普通のことだし。『ウマ娘』ってそんなイケメンが好きになっていいものだったのか！　と思うけど（笑）。

平尾　僕もさすがに、工事現場でアニメのシールが痛車のように貼られているのは初めて見たから驚きましたよ。しかもクレーンの部分にかなり大きなシールが貼られていて、とても目立っていましたからね。

荒木　。街で見かける。と言えば、オレは意外なほど頻繁に、『甲鉄城のカバネリ』と『ギルティクラウン』を街で見かけているよ。

平尾　ああ……わかります。パチンコですよね（笑）。荒木くんも時々SNSで「街で『カバネリ』を見つけた」とかポストしていますけど、阿佐ケ谷駅前のパチンコ店にも「カバネリ」の大きな壁紙が、ずっと貼られています。

荒木　そうそう。あれを見かけるとても嬉しいです。そして……嬉しいという前提で言うけれど、事前に何も教えてもらえないという寂しさはある（笑）。

平尾　ははは（笑）。

荒木　もちろん、それが不満だとは思っていないけどね。もっと言えばパチンコ　パチスロ用に描かれた版権イラストとかをチェックさせてくれとも思っていない――いないけれど、「こういうのが出ます」とか「こういうものが描かれているんですよ」と知らせてほしいなとは思っているんですよ。だってオレ、自分の作品の絵なのに街で初めて見るから。

平尾　ああ、そうか。SNSに書いているのは裏返しのアピールだったってことですか？（笑）

荒木　いやいや、そんなつもりはないが（笑）。でもまあ、できれば共有程度に教えてもらえたら嬉しいなとは思っているね。もちろん、最初に「パチンコ　パチスロはスタッフさんにお任せで進めます」「いいですよ、お願いします」ってやりとりをしたのは確かで、それは問題ないんだけどね。

平尾　『ギルティクラウン』や『カバネリ』は荒木くんが監督であり原作者でもあるわけですから。できれば報告とか、パチンコ用のムービーのデータとか、ほしいですよね。気持ちはわかります。

荒木　だって、自分の身長よりデカい看板が街に立っていたりするからね（笑）。でも何か、自由にやってもらっているからこそたくさん見かけるわけで、アニメ側がいろいろ把握しようとするのも難しかったりするのだろうなあ。

『ポンポさん』新刊にあのキャラが出るぞーっ！

平尾　ところで今回は、僕からみなさんにお知らせしたいことがあるのですが。

荒木　ほお、何でしょう？

平尾　先日告知されたのですが、杉谷庄吾さんの漫画『映画大好きポンポさん』シリーズ最新作『ニャリウッド-2』が来年1月に発売されますが、そこに映画版のオリジナルキャラクター、アランくんが登場することになりました。

荒木　素晴らしい！

平尾　映画から原作に逆輸入という形になって、僕としてもとても光栄に感じています。実は、少し前にネームは読んでいて、「アランくんを原作にも出したいと思って、そのネームを描いたので、確認してください」ってわざわざ杉谷さんが送ってくださったんですよ。

荒木　へえ、それは律儀だねえ。

平尾　「許可も何も、『ポンポさん』の原作者は杉谷さんなので、お好きにしていただいて結構ですし、お話の展開が映画版と違っても、キャラクターをアレンジしていただいても構わないです」と返事をしたんです。でも、やっぱりそういう形で筋を通していただけるのは嬉しかったですし、なにより読んだネームはとても面白いものでしたので、今から新刊が出るのが楽しみです！　発売されたらみなさんにも読んでいただきたいですね。

荒木　アニメ版の設定が原作に活かされるというのだと、『進撃の巨人』の時は嬉しかったなあ。

平尾　嬉しいですよね。

荒木　たとえばOAD（原作単行本第13巻特装版付録「突然の来訪者」）で、ジャンの母親がジャンのことを「ジャンポ」と呼んでいる。というネタをアニメで作ったんだけど、それが原作に逆輸入された時はすごく嬉しかった。思わず脚本の瀬古（浩司）さんに「採用されてますよ！」ってメールしちゃったよ（笑）。

平尾　原作者の方も多分、アニメスタッフが原作を大事にしながら楽しんで作っていることを、感じ取ってくれるんでしょうね。

荒木　そういえば……そういう「原作者」側の気持ちを何となく感じる機会も、最近あったな。10月9日に

ひらお・たかゆき／1979年生まれ、フリーの演出家、監督。『劇場版 空の境界 第五章 矛盾螺旋』、『魔女っこ姉妹のヨヨとネネ』、『映画大好きポンポさん』などで監督を務める。

EGO-STのラストライブがあって、ご招待いただいたんですよ。

平尾　EGO-STってもともとは、『ギルティクラウン』に登場したバンドだったんですよね。

荒木　そうそう。『ギルティクラウン』が終わった後も、supercellのryoさんがその名義で活動を続けてくれていたんだけれど、いよいよ活動終了ということで。でね、ライブに行ってみたら「知らなかったけれど、EGO-STのライブってこんなにも『ギルティクラウン』の世界だったんだ」と思った。まあ、その日は最後だから尚更だったのかもしれないけれど。会場に着くとまず澤野（弘之）さんが作った『ギルティクラウン』の劇伴がかかっているし、ライブ中はずっといのりが歌っているし（EGO-STのライブでは、作中でのボーカル＝楪いのりの3Dモデルがステージ上に登場する）。しかもいのりが、我々が作った懐かしい作中の衣装を順番に着替えていったりもするんだよ。終盤は『ギルティクラウン』の楽曲が連続で演奏されたし、まるで『ギルティクラウン』という作品自体のフィナーレみたいだったよ。

平尾　すごいじゃないですか。それだけ『ギルティクラウン』という作品を大事にしていてくれて、活動を続けることで世界を活かし続けてくれていたわけで。

荒木　そう、そういう意味では本当にありがとう、という気持ちですよ。それにね、ライブを見ていてあらためて気付いたこともあって。「EGO-ST」という名前を考えた時に込めていた思いは、実は今でもオレの中にしっかり残っているし、これから作る作品のテーマとしてもまだ生きているな、と。

平尾　ああ、わかる気がします。僕も新作の話をしていて時々「ここは『（魔女っこ姉妹の）ヨヨとネネ』の時と同じ構造ですね」とか「ここは『GOD EATER』が入っていますね」とか言われることがあります。もちろんまったく同じではないですけれど。きっと、今まで作ってきた作品でやり残した部分を、どこかで引きずっているところがあるのだろうし、自分が今までチャレンジしてきたことを何度も繰り返している。意識はしていないけれど、確かにそうなっているなとも思います。手を変え品を変え、その人が背負っているテーマを、何度もブラッシュアップしながら繰り返し描いていくものなのかな。

荒木　多分、そうだろうね。あの頃のオレがこのグループに「EGO-ST」という名前をつけたことが象徴する何か――オレがやろうとしていたこと。そんなオレの中のテーマに、まさに目の前で演奏しているEGO-STの姿を通してあらためて出会わせてもらいました。

40代クリエイターの苦悩ふたたび……

荒木　ちなみに、その会場には『ギルティクラウン』のシリーズ構成の吉野弘幸さんがいて、副シリーズ構成の大河内一楼さんがいて、キャラ原案のredjuiceさんがいて、作監の門脇聡さんや、アニプレックスの懐かしのプロデューサーさんもいた。だから予期せぬ同窓会のような雰囲気にもなって、「こんな風に作品が続いていたんですね」みたいなことも話した。それは、いい場だったよ。

平尾　『ギルティクラウン』はもう、何年前の作品になるんですか？

荒木　2011年の放送だから12年前かな。あっという間だよね。その時間を考えると、「『ギルティクラウン』が好きで業界に入りました」なんて人がオレの前に現れるのも、まあ、それはそうだよなと思う。こういうのってタイムラグがあって、自分の作品を観てくれていた人が現場で目の前に現れるのには、10年が必要だってことだよね。

平尾　月日の流れる速さが怖いけれど（笑）、そんな若い人たちが登場してくれるのは嬉しいですよね。

荒木　嬉しいが大きいね、どちらかというと。あと数年したら「『カバネリ』（2016年放送）が好きだった」という人と、最近やたらと会うなぁ……」みたいな感じになるといいなと、期待していますよ。

でね、最後にそれと関係あるようなないような話がしたいんだけど。

平尾　はい、何の話でしょう？

荒木　先日、この連載の読者の方から感想のメールをいただいたじゃないですか。

平尾　ああ、編集さんに転送していただきましたね。嬉しかったですよ。このコーナーを読んでくれている人がいたんだなって（笑）。

荒木　そうなんです、我々にも読者がいたんです！（笑）。

【編集部より：ページ左下のアドレスからバリウタにメールが送れます！　感想や質問などどしどしお送りいただけると荒木さんも平尾さんも大変に喜ぶので、よろしくお願いします！】

荒木　でね、どんな内容を喜んでもらえたんだろう？　そもそも最近どんなこと話したっけ？　と思って先月号から遡って過去の回をいくつか読んだんだけど。その中で、あらためて読んだらめちゃめちゃ面白かった回があって。

平尾　ほお、どの回ですか？

荒木　それは、藤田陽一さんと浅野直之さんにゲストに来ていただいた回です（2023年7月号の創刊45周年記念企画「ぼんやりリアルなアニメ業界よもやまトーク」）。

平尾　ああ、あの時。

荒木　あの回で語った「40代を迎えた作り手の悩み」がいまさらオレにグサグサ来て。特に「若い世代と上手く打ち解けられない話」とか、まさに今、めちゃめちゃ悩んでいることなんだよ。藤田さんが「若い作り手からすると、我々でも〝巨匠〟」という話をしていたの、覚えていますか？

平尾　ありましたね。飲みの場でも若い人が恐縮してしまって、気軽な雑談ができないって。なるほど、それこそ自分の作品を好きで業界に入ってくれたような若い世代とのコミュニケーションの話ですね。

荒木　そういうこと。実は最近「今度、若い演出さんたちと一緒に飲むんですけど、荒木さんもよかったら来ませんか」と誘ってもらって、「いいんですか!?」って混ぜてもらう機会があったんだよ。相手は10歳近く年下の人たちが大半で、オレとしては楽しく打ち解けたいなと思っていたんだけれど、実際にはそれだけ年が離れているとめちゃめちゃ敬われちゃう。藤田さんの言うとおり。

平尾　そうかもしれないですね。

荒木　もちろん、初対面の人が多かったというのもあるとは思うけれど。それにしても、たとえばお店の人が持ってきたお皿をオレが配るだけで「そんな、荒木さん……すいません！」みたいに恐縮されるとか、そんな雰囲気で。「僕なんかがねぇ……」みたいに自虐的なトーンで話しても「いやいや、荒木さん！　そんなことないです！」とか。自虐ネタとして笑ってほしいのに（笑）。

平尾　そんなにも恐縮されるんですか（笑）。

荒木　そんなにも恐縮されちゃうんだよ。それに、彼らが手掛けている作品も本当に素晴らしいから。オレがいろいろ褒めるんだけど、やっぱり「荒木さん、そんな、やめてください！」みたいな反応になる。

平尾　先輩に観てもらって褒められるとか、逆に緊張するというのもあるかもしれないですよ。

荒木　まあ、確かにそうかもね。何なら、貶したほうが喜ばれるような気すらしたが、それも板についてないから無理なんだけどね（笑）。ただ、そうなるとオレもなんとなく構えてしまって、申し訳ない気持ちになったんですよ。「オレさえいなければ、みんな楽しく過ごせるのに……！」みたいな（笑）。

世代を超えてどんな関係を築くのか？

荒木　でもさ、思い出すと我々自身はどうだっただろう。それこそ20代の頃とかに10歳くらい離れた先輩と飲みに行く……そんな機会、あった？　オレは、そんなになかった気がするけど。

平尾　僕は今でこそ、若い人に限らず業界の人と一緒に飲みにいくことは少ないですけれど。若い頃は逆に、わりと先輩たちと飲みに行くことは多かったですよ。

荒木　それこそ今　敏さんたちとも、そういうお付き合いをしていたわけだよね。

平尾　そうですね。あとは平松禎史さんとか。ただ、僕自身は彼らが作った作品をそれほど観なかったからな……。もちろん、今さんの漫画『海帰線』は大好きだったし、平松さんにしても、それこそ僕が子供の頃からガイナックスなどでバリバリに活躍していて名前は知っていたから、最初に「ファンです」と伝えたし、緊張もしましたけれど。でも当時、お二人の直近の作品にはあまり触れていなかったんですよ。

荒木　そういう時、「その作品、観たことないっすねぇ」とか言っていたわけ？

平尾　そうですね。「そういう作品を作っていらしたんですね、知らなかったです」とか（笑）。

荒木　すごいね（笑）。まあでも、平尾くんはそういうところを今さんたちに面白がられていたし、それが逆によかったとも言えるよね。

平尾　それこそ、あまりに恐縮されるよりも話がしやすい、ということだったかもしれないですね。

荒木　オレは逆に若い頃、恐縮しちゃうタイプだったから。特に、結婚する前は人見知りが強いタイプの人間だったので、先輩と飲みに行くような機会からは逃げ回っていた記憶がある。

平尾　僕は逆に、年を取るごとに人見知りになっていますけど（笑）。あと、僕が若い頃に年上の人にかわいがってもらえたのは多分、僕がひたすら何も知らなかったからかもしれない。無知な若者って年長者からするとある意味、かわいく見えるじゃないですか。「お前は本当にバカだな」って言いながらいろいろ教えてくれる。

荒木　ああ、確かに当時の平尾くんはそういう感じだったかも。

平尾　逆に「僕は知っていますよ」という顔で接すると、「生意気なヤツ」とか「いけすかない」とか思われたりして、知りたかったことを教えてもらえるチャンスを逃してしまうこともある。まあ、当時も今も本当に知らないことがたくさんありますけれど、その「知らないこと」を隠そうとせず、むしろ積極的にアピールするように心がけていました。そういう若者をかわいがってくれる先輩たちが、当時は多かったかもしれないですね。今はどうなのかわかりませんが……。

荒木　そこはむしろ、今、オレたちがどういう態度をとっているかという話だよね。目の前で10歳くらい下の後輩が無知を晒した時に、「お前、本当にわかってねえなぁ」って笑いながら自分の知っていることを教えたりできているかといえば、できていないことも多い気がする。

平尾　どこか一歩踏み込めていない気もしますね。「そっかぁ……」で終わっちゃう。

荒木　そういう意味では「お前、何もわかってねえなぁ」と言ってもらえるのは、逆に優しさかもしれないよね。「知らないんだぁ……じゃあ結構です」――現場だと、わりとこれがリアルじゃん（苦笑）。このほうがひどいな。

平尾　そうなんですよね……でも振り返ると、僕はそこで食らいついていたかも知れない。「知らないならいいよ」となっても「〝いいよ〟じゃなくて教えてください」って。

荒木　そういう風にできるのはいい関係だよ。実際に今、若い人がそんな風に接してきたら「キミ、すごいな」って思うだろうし、機会があったら自分の作品に呼んでみようかなって思うかもしれない。

平尾　そういう意味でも、知らないことは知らないと素直に態度に出したほうがいいんでしょうね。

荒木　そして現在の我々も、若い人たちとそんな風にいい関係を築きたい、もっと仲良くなりたいと思っているってことですよ。

荒木監督と平尾監督への励ましのメッセージや語って欲しいテーマ　疑問質問等は右のアドレスまで！
ambariuta@gmail.com

あらき・てつろう／1976年生まれ、フリーの演出家、監督。『DEATH NOTE』、『ギルティクラウン』、『進撃の巨人』、『甲鉄城のカバネリ』、『バブル』などで監督を務める。

アニメージュ

Animage

アートギャラリー
Art Gallery

アニメ歳時記

今月のテーマ
オータムファッション

朝晩の冷え込みが厳しいこの季節。できることなら推しが寒くないよう、コーディネイトしてあげたいな♥目指せ、秋のトレンドファッション

▶神奈川県／Yu-li
秋らしいアースカラーのコーデ。乱くんも京極くんもよく似合ってる～

▲福岡県／本田由美子
ちょっと大正浪漫風のサイタマとジェノス。キマってるね!!

GAME ▲福岡県／ぶっとび意理子(30)
「食欲の秋」に惹かれてしまうグリコちゃん☆

◀兵庫県／炭太郎
エルさんがペイントアートに挑戦！

◀秋田県／カタバミ
キンモクセイに包まれてピクニック♪

▲大阪府／おーかゆかり
マフラーと手袋が温かそうだね☆

▲千葉県／伯ミシェル(18)
チェックとフリルでスイートな篝星

▲神奈川県／たまちゃん(12)
赤いベレー帽がアーティスト風◎

▲山梨県／とうや
ポイントはスカーフと袖のリボンかな

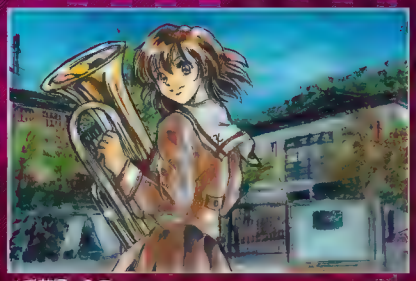
▲山口県／IMAGE(44)
千鳥格子のジャケットが上品だね♪

▶神奈川県／のにの1(29)
あっこ様子、キンモクセイの飾りで秋らしさを演出☆

▶神奈川県／織人(51)
秋の澄んだ空気は、サイクリングデートにぴったりだね♪

Vtuber ▶鹿児島県／さゆ(15)
チェックのニットベストがよく似合っている長尾さん♥

▶岡山県／てがみ(15)
秋らしいファッションでキメた一人、どこに行くのかな？



▲千葉県／みこ
美しい！　来年春からの第3期が今から楽しみになっちゃう♪

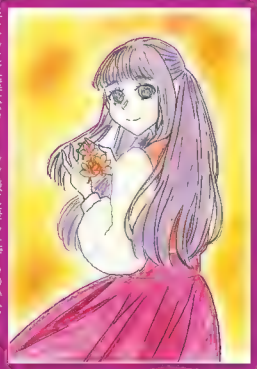
▲神奈川県／miマカロン(27)
松犬の活躍を観ると元気がもらえそう

▲北海道／野澤多加志(53)
かわいいを合わせたら、2倍かわいい

▶茨城県／Rie(35)
変身前後のギャップは歴代屈指。どっちもかわいいよ！

▶千葉県／絵描きの冒険者KATOSAN
「犬の日」合わせでいつもの笑顔！

◀神奈川県／るん(27)
祝『ペルソナ5』7周年。『タケティア』も楽しみだね



手にした紅葉は、フリーン様に捧げしたいのかな？

▲大分県／紅水晶(41)

りんご、梨、ぶどう、メガネ、柿、トップスの銀さん。最高！

▲埼玉県／INN

▲福島県／翠華
編集部にも諭吉が来てくれないかな

▲広島県／かなみ(32)
エレンもミカサもよく頑張った

▲大阪府／なます48号
エンバーとウェイドの笑顔が…チキ

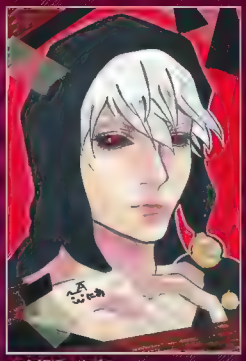
▲滋賀県／MAX SLEUTE
ペルダンディーに癒やされたい

ORI CHARA

▲千葉県／紫雲寺 雫(19)
チョコアイスのCMみたいでカッコ

▲神奈川県／ヒロカ
女神のかわいさに

▲栃木県／夏鳥 葵
おお、心ゆくまで観て楽し



▲京都府／にあ
ソットのことをもっと…りた

▲福岡県／ひいらぎ一帆
あきらのチョコはちょっと…ビタ

◀東京都／くまるユーコ(41)
お茶目ポーズのマジェスティ
こう見えて最強の強さなので

今月のイラストコンテスト！

フリースペース
Free Space

『実は俺、最強でした?』

選者（寸評）
浅見松雄さん（副監督）
長島明裕さん（制作デスク）
植田慎也さん（アニメーションプロデューサー）
関澤 遼さん（プロデューサー）

1等賞

静岡県／白玉ゆきみ

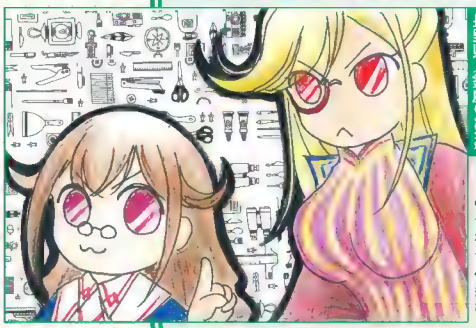
▲浅見：ハルトとシャルの関係性、仲良くお互いを思い合っていることが伝わってきます！　長島：二人とも、かわいらしいですね。特にシャルの「兄上さま、大好き」感がたまりません　植田：ちょっと照れているハルトの表情がいいですね。さりげなく結界を出しているところもポイントです　関澤：淡いのに鮮やかな色使いが印象的です。二人の特徴もよく捉えていてすばらしいです！

ハルトにシャルにフレイにリザ……。
どのハガキもみんなが生き生きと
描かれていて、今にも声が
聞こえて動き出しそう。
実はみんな、最強でした?

2等賞

新潟県／和

▶浅見：序盤のキャラが大集合で嬉しい。もはや懐かしさも感じます。女神さまとか、もっと本編で活躍させたかった～。主線の色が青ということもあって、カラフルな印象も受けます



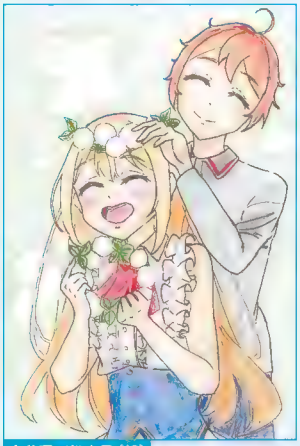
長野県／鈴鹿Stella

◀長島：先生たち、最後のほうにしか出てこなかったのに、ポーズや表情など、キャラの特徴をよくつかんでいると思います。個性のある絵に落とし込まれているところも目を引きました

3等賞

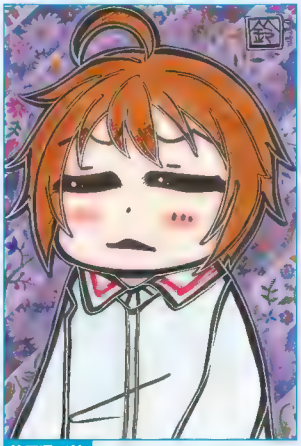
栃木県／竹ちょ（47）

▶植田：魔法少女コスプレのシャルをかわいく描いてくださってありがとうございます。ピンク系でまとめた彩色もいいですね。『プリキュア』の主人公になれそうです



大分県／紅水晶（13）

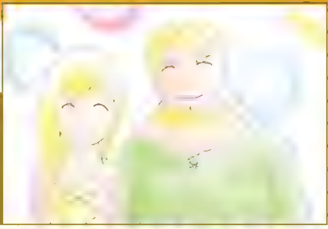
◀浅見：幼年期と少年期の間くらいのあどけなさ。表情がとてもかわいくて、二人とも心から楽しんでいるようです。見ているとほっこりします



静岡県／鈴

◀関澤：隙あらばうきこもりたいというハルトの性格が、夢な表情ににじみ出ています。まさに絶妙なバランスでクセになりそうな味わいです！　背景も工夫されていていいですね

三重県／チヤ（22）



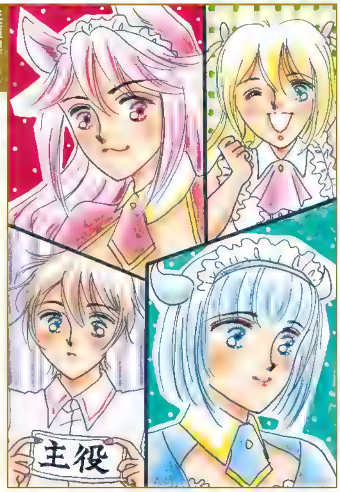
◀植田：最高のほっこり感！　夫婦でハルトとシャルを見守っている感じがあって、癒やされます

千葉県／白ミシェル（18）

佳作

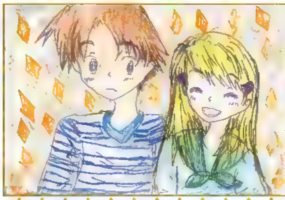
▶浅見：あと何年かしたら、シャルもこんな感じになるのかな。スピンオフで魔法少女ものが作れそうです

兵庫県／[illegible]



◀浅見：特にブレイとリザの生き生きした表情がいいですね。ハルトが隅に追いやられているのも面白いです

茨城県／ココア

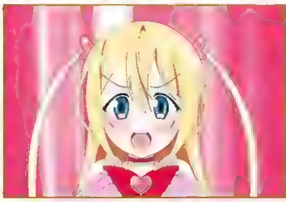


▶植田：現代風衣装。こちらの世界で兄妹デートしているのかな？　そんな二人も見てみたいと思いました

石川県／たると

▶長島：デフォルメされているのに、3人それぞれの特徴がよく出ています。最強の3人組って感じですね

千葉県／絵描きの冒険者KATOSAN



▶長島：表情といい、ポーズといい、アニメに夢中になっているシャルの興奮がビシビシ伝わってきます

神奈川県／朔

◀植田：全体を赤系でまとめて、シュナイダルの尊大さや怖さ、カッコよさを出しているのがいいなと思います

岐阜県／桜田[illegible]助

◀関[illegible]：僕もEDのデフォルメ絵が大好きなので、描いてくださって嬉しいです！　表情にも、らしさが出ています

神奈川県／ヒロカ

◀植田：主線のタッチや彩色がほわっとした雰囲気でステキ。ハルトとシャルの手のポーズもいい感じです

福島県／エーリク

▲長島：今にもしゃべり出しそうなジョニー。きちんと骨っぽく描かれていて、細部まで気を遣って描かれています

山梨県／ぽい

▲植田：まだこの世界に慣れていない感じがいいですね。腕を後ろで組んでいるポーズもイリスらしいです

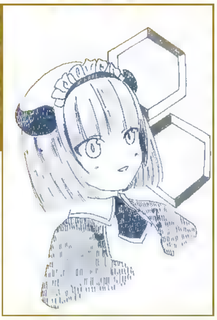
東京都／食べ切り八宝菜

▲長島：第4話の黒い戦士登場シーンでしょうか。背景や衣装のラインなどがきちんと描かれていてカッコいい！

東京都／RURITO.

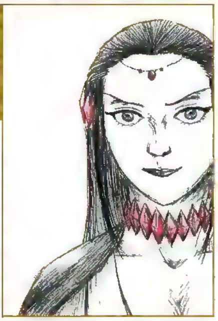
▲浅見：ハルトの欲望が書き連ねてあって、思わず笑ってしまいます。こっそり見守っているジョニーも効いています

埼玉県／まろん（18）



▲植田：ペン1色なのに、なんとなく色が感じられる気がします。リザのシンプルなかわいらしさが引き立っています

静岡県／にーや

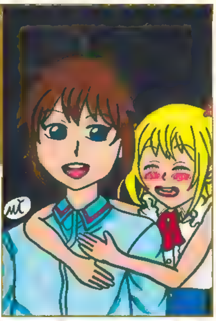


▲浅見：ギーゼロッテの雰囲気がよく出ていて怖い！　自信に満ちあふれた目ヂカラが印象に残ります

静岡県／せいんとせーちゃん

▲長島：何があったのか困りきったハルト。でも絵柄のかわいさから、見ていてほのぼのしてしまいました

北海道／橘マコト（47）



▲浅見：兄上さまにベタ惚れなシャル。すまし顔をしつつ、満更でもなさそうなハルトの表情もいいですね

東京都／あま（21）

▲長島：涙ぐんでいるハルト。視線の先に何があるのか気になります。かわいく描いてくださって嬉しいです

滋賀県／属性勇者カズト

▲浅見：背後にギガンもいて、戦隊ものっぽい雰囲気。本編でもこういう集合シーンを描いてみたかったです！

ワンポイントレッスン『実は俺、最強でした?』

One point Lesson!

©澄守彩・講談社／「実は俺」製作委員会

小美戸幸代さん
(総作画監督)

こみとさちよ／主な参加作品は『金装のヴェルメイユ～崖っぷち魔術師は最強の厄災と魔法世界を突き進む～』『転生したらスライムだった件 転スラ日記』『戦×恋』(いずれも総作画監督)ほか。

1月号『ダークギャザリング』
選者:**博史池畠さん**(監督)
募集終了

2月号『ビックリメン』
選者:**月見里智弘さん**(監督)
※こ"キャ"ノ"ンス"ト及び本家ビックリマンのデフォルメイ"ンストはご遠慮ください
11月30日(木)消印有効

3月号『薬屋のひとりごと』
選者:**中谷友紀子さん**(キャラクターデザイン)
1月3日(水)消印有効

募集作品＊2月号のフリースペースは『ビックリメン』。応募締切は11月30日(消印有効)。続く3月号は『薬屋のひとりごと』の登場です。応募締切は1月3日(消印有効)。

応募要項＊●ハガキ、またはハガキ大のサイズに描いて送ってください。●イラストの裏には、住所・氏名(本名)・ペンネーム(必要な場合)・年齢・月号と作品名(例えば【2月号『ビックリメン』】など)を忘れずに書いてください。●イラストの簡単な説明もあると嬉しいです。WEB投稿も受け付けます。●投稿イラストは選者に譲渡する場合もあります。

取材日記 Today's Diary

今月お邪魔したのは、荻窪のStaple Entertainment。お仕事部屋もちらっと拝見しましたが、スタッフの皆さんは来年放送の別作品に向けて真剣に作業中でした。無事に最終回を終えた『実は俺、最強でした?』ですが、まずはハガキの総評を聞かせてください。

「終盤になって登場したキャラクターのイラストもあって、最後まで作品を楽しんでもらえたんだなと安心しました」(浅見)、「サブキャラもフィーチャーされていて感激しました。どのキャラもかわいく描かれていて、心が温まりました」(長島)

制作中、印象に残っていることは?

「アニメ制作会社はいつもギリギリで戦っているのですが、それでも思い返すと『実は俺』は楽しく作れた感覚がありますね」(植田)、「スタッフがそれぞれに精一杯頑張ってくれて、いいチーム感が生まれた作品だったと思います」(関澤)、「初めて制作デスクを担当したので、思い出深い作品となりました。ギーゼロッテとの対決回となった第5話が特に印象に残っています」(長島)、「この作品はどのキャラもかわいくて、全キャラに思い入れがあるんです。もっともっともっと活躍させたかったので名残惜しいです」(浅見)

応援してきたファンへのメッセージをお願いします。

「ハルトとイリスが親しくなって、これからまた物語が盛り上がりそう……というところで終わってしまったのが残念。僕としては2期があると非常に嬉しいです。ぜひ今後も引き続きよろしくお願いします!」(浅見)

▶「この絵がかわいい」「こっちもかわいい」と大盛り上がり。「かわいい」と「愛を感じる」以外の言葉が出てこなくなりますね(笑)」と浅見さん

宛先→〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒CS 株徳間書店 アニメージュ「フリースペース○月号」係

▲愛知県／光流ヒスイ。
少しずつ人に馴染んでいくフリーレンを見守りたい……

▲千葉県／紫雲寺 零（19）
祝・初デジ絵！ 文字サイズは今回の誌面を参考に♪

『BJ』から『AI』へ 2期を期待したい

AIが高度に進歩した世界。そこでは「人間」、感情と人権を持った人間と区別がつかない「ヒューマノイド」、感情も人権もない人間の暮らしをサポートする産業用AI「ロボット」が共存しています。山田胡瓜さんのマンガ『AIの遺電子』の主人公は、総人口の1割を占めるヒューマノイド専門の医者。彼は、非合法の治療を行う闇医者でもあります。「週刊少年チャンピオン」連載、毎回一話完結という形式からも、「近未来版ブラック・ジャック」とも呼ばれています。

アニメでは、短い原作一話一話を羅列的に配置するのではなく、毎回30分の尺のなかに複数のエピソードを組み合わせて、主人公の物語の一部として再構築していました。第1話の冒頭に、いきなり原作続編『RED QUEEN』の第8話を持ってきたのには驚きました。それだけ大胆に原作にメスを入れているのが分かります。

残念ながら、いくつものエピソードを残したまま終了してしまいましたが、第2期として『RED QUEEN』がアニメ化されるとともに、映像化されなかったエピソードがなんらかの形で日の目を見ることに期待します。

東京都／アンガージュマン

物語として面白いだけではなく、いろいろと考えさせられることもある良質なアニメでした。

いつもクールな須藤先生が、時々感情を露わにするところもBJっぽいんだよ。

冷たさと温かさがないまぜになった感じ？ 夏アニメの中でも異色な作品でした。

▲北海道　橘マコト（47）
昔も今も、かなちゃんはかわいいな☆

▲鹿児島県　さゆ（15）
源田＆佐久間が仲良く試験勉強中！

▲埼玉県　苺シロップ（37）
秋らしいコーデがよく似合ってるよ◎

▲秋田県　カタバミ
憎珀天の学ラン姿かっわいい！ お菓子あげたい！

▲和歌山県　帆風海音
連れて歩きたいスペシャルウィーク♥

▲新潟県／色
どんなキャラなのか、もっと知りたい♪

▲大阪府／ミンミン（46）
声の演技でシーンがさらに魅力的に♥

45周年プレゼントで届いた色紙に歓喜！

アニメージュ7月号のプレゼント、45周年記念のお祝いのため数多くありました。その中から私が応募した中嶋敦子さんの色紙が……ありがとうございました！

私が中嶋さんを知ったのは『トリニティ・ブラッド』。作画が好みというのもありますが、エンディング曲とアベルとエステルさんのイラストが絶妙すぎて、印象に残っています。ほかにも中嶋さんはいろいろな作品に携わっていらっしゃいますが、『薄桜鬼』がアニメ化される時に、中嶋さんが担当されると知って、本当に嬉しくなったのを覚えています。

大切にします。本当にありがとうございます。

福島県／栖葦

おおっ。当選おめでとう♪

ご協力いただいたクリエイターやキャストの皆さま、ありがとうございました！

今月号の表紙も中嶋敦子さんだよ。ぜひ堪能してね。

▲栃木県　夏烏 葵
昭和と令和が出会ったら、どんな話をするのかな？

10月号アンケートハガキ

★毎回プリキュアの表紙の絵がかわいくて、きれいで、素敵だなと思っています。またプリキュアで表紙を飾ってほしいです。『ひろがるスカイ！プリキュア』だと嬉しいです。 愛知県／S（12）

★『BLEACH 千年血戦篇-訣別譚-』記事、隅から隅まで読みました！ 杉山さんのインタビュー記事を載せてくださり、ありがとうございます！ 最高です！ 今後のアニメージュも楽しみにしています!! 富山県／N（25）

★『王様戦隊キングオージャー』の新連載、ありがとうございます!! ポスターもインタビューも全部最高！ 渡辺碧斗くんのファンなので家宝にします♥ 他の王様たちの登場も楽しみにしています☆ 福岡県／M（25）

WEB投稿受付中!!! 公式HPからも投稿できます。https://animageplus.jp から赤いバナーをクリックして進んでください。イラスト画像も投稿できます！

私、困ってるんです～

回答編【10月号】

後悔の念を克服するには？

三浦大亮さんへ

★私の後悔は、お台場を訪れるたびによく行っていた大型商業施設が、去年の3月末で閉館になってしまったことです。コロナ禍のせいで最後に行くことができず、悔しい思いをしました。でも同時に、「もし無理して行って、新型コロナに感染していたら……？」と考えるようにしています。家族や職場のことを考えると、安易な行動はできませんから。

三浦様は、コロナ禍やいろいろな理由でイベントを断念したそうですが、同じ理由で行けなかった方もいらっしゃるかもしれません。「行けなかったのは自分だけじゃない」「つらいのは自分だけじゃない」、私もそう思って後悔を和らげました。

あとは楽しいことを考えたり、楽しいことをして忘れることにしました。美味しいフードを食べたり、好きなDVDを観たり。三浦様も、イベントを我慢したご褒美を自分にあげてみてください。つらい思いをした自分を労ってあげれば、後悔の念も和らぐと思います。

千葉県／つなマヨ＝クレープ

★僕の場合は、2015年の『ラブライブ！The School Idol Movie』が近くの劇場で上映されず、観にいくのを断念しました。映画は大ヒットし、僕はひどく落ち込みました。それでも『ラブライブ！』は大好きなので、気に入ったグッズやアニメ本を買うなど、作品にお金を落とすことで心を癒やしています。

10月号「富野に訊け!!」で富野由悠季監督が「イベントに行く行かないでファンの価値が決まるというのはおかしな話です。イベントに行かなくてもファンはファンです」とおっしゃっていたように、ファンは人それぞれだと思います。『トロピカル～ジュ！プリキュア』のみんなも、イベントに来たくても来られないファンがいることをきっと分かってくれていると思いますよ！　僕自身、今も後悔が完全に消えることはなく、三浦さんの気持ちが痛いほどわかります。これからも『プリキュア』を好きでいてあげてください。

青森県／はやぶさ

★後悔の念の克服方法についてです。まずは、①行かなかったことによる後悔の念が、かえって当該プリキュアへの愛や想いを深めたと考えてください。これが基本です。次に、②浮いたお金と時間、得られた今後への教訓など、出向かなかったことで生じたメリットを挙げてみてください。それでも心残りがあれば、③行った場合にかけたあろう時間とお金の分、自宅など自らの生活圏で、フィギュアや変身道具などで遊び、サントラや主題歌を流し、DVDを鑑賞する。さらには、④実際にスパリゾートハワイアンズに行って宿泊し、ほかの客の迷惑にならないよう配慮しつつ部屋で同じことをするなど、埋め合わせの自主活動をする。そうすれば、相当の満足感を得られるのではないでしょうか。後悔の気持ちを活かさない手はありません。積極的に活用して、克服以上のものを目指すのがよろしいかと存じます。

宮城県／仙台四郎(54)

★三浦大亮さんの気持ち、とてもよく分かります。確かに一度きりの地元イベントを逃したのは、悲しいですね。私は10代の頃に、ある少女漫画雑誌の文具デザインイラストコンテストに投稿したことがあります。でも結果は選ばれなくて、自信をなくし、投稿をしなくなりました。でもアニメージュなどのアニメ雑誌の読者ページ投稿を始めてから、また楽しいと思えるようになりました。

三浦さんは「若者の賞味期限一歩手前」と言っていましたが、何かをするのに年齢は関係ないのではないでしょうか。私は今では自信を取り戻し、またグッズデザインコンクールにも挑戦できるようになりました。きっと三浦さんにも、これから楽しいことが待っていると思いますよ！　応援しています、頑張ってください！

鹿児島県／上下チエ(36)

様々な克服方法が出ましたが、三浦さん、いかがでしょうか？

時間はかかるかもしれないけれど、いつかは心の痛みがなくなることを祈っているよ。

今月の永野のりこさんのマンガにもあるよう「未来は未だ来ていない」。これからどんどん、いい思い出を作っていけるといいですね。

お悩み編

男性キャラを描くのが苦手

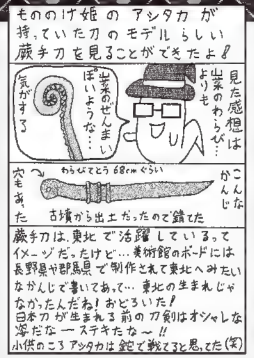
★少年漫画などに出てくる男性キャラが好きなのですが、女性キャラと比べるとかなり描くのが苦手です。たくさん描いて練習するのは前提として、女性キャラとの描き分け方や、練習方法などのアドバイスをお願いします！

神奈川県／愛坂ななか

以前も同じようなお悩みが登場したけど、悩んでいる人も多いみたいなので、改めて取り上げてみたよ。

皆さんは、描く時にどんなことに気をつけていますか？　ポイントや練習方法が分かるといいですね。

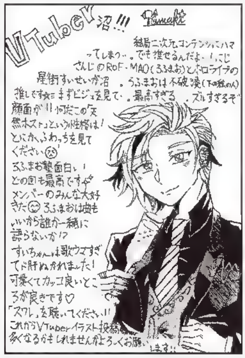
いろいろなアドバイス、待ってるよ！



▲長野県／モリテル
どんな切れ味だったのか、気になる……

▲広島県　上田美和(35)
親子で同じアニメを楽しめるのはイイね！

▲愛知県　銀花
開花衣装、おしゃれでいい感じだよね♥



▲神奈川県／たまちゃん(12)
ハマると意外と深く、楽しいVTuber沼♪

▲神奈川県／織人(51)
ハードと軽妙のバランスは、さすが『CH』

▲千葉県　しまなか(16)
祝・投稿1周年！こちらこそヨロシクね☆

▲福島県／みにゃん(34)
小村くんもめがねがよく似合っているね♪

▲宮城県　りあん(15)
プリティーシリーズはこれからも永遠！

←つづく

そこまで言っちゃっていい!?

➡『ひろがるスカイ！プリキュア』第32話。スプーンを掲げて変身しようとしたエルちゃんを見て、「ウルトラマン」のハヤタ隊員を連想したのは、私だけではないと思う！　しかしエルちゃん、本当に追加プリキュアになってしまうとはなぁ……。　**群馬県／ゼフィランサス**

★「映画プリキュアオールスターズF」のインタビューが読みたくて購入しました。プリキュアファンかつMOCOCOさんのファンなので、ご本人の写真も可愛くて、買ってよかったです！ 今回の表紙やクリアファイルも、プリキュアらしいキュキュしたイラストで、見ていてとても元気がでます。映画がより楽しみになりました。 東京都／S（29）

★「呪術廻戦」&梶原岳人さんのファンです。梶原さんが演じられたからこそ見えてきた、灰原の人物像を知ることができて嬉しかったです。本編ではフォーカスされなかった去来や二海との相性、紘の深さなど、ここでしか読めない梶原さんの見解について触れられていて、とても満足しました！ 今後、七海と灰原を取り上げていただけることがあれば、大変嬉しく思います……！ 静岡県／K（21）

★「アリスとテレスのまほろし工場」観ました！ スコイ作品でした。上田麗奈さん、榎木淳弥さん、脚本・監督の田口智里さんのインタビューからも熱意が伝わってきて、胸がいっぱいになりました。一劇場版シティーハンター 天使の涙（エンジェルダスト）」の記事も、ビルクールとエスパーダのセリフや収録の裏話が嬉しかったです。海原神のキャスト決めは、指名じゃなくて意外！ 埼玉県／A（28）

動画の倍速視聴での疲れに気をつけて

スマホの倍速視聴が脳によくないという話は少し前に聞いていたが、先日TVを観ていたら新情報が。脳は、「映像と音を処理する速度」と「感情を処理する速度」がわずかに違うから、倍速視聴だと感情が追いつかなくて、そのズレも大きくなる。脳が自覚していなくてもストレスで体が疲れるそうだ。

2倍速までなら情報収集や勉強には効率がいいが、2.5倍速は感情の処理がより遅れる。無味乾燥な情報なら倍速で観てもいいが、アニメやドラマやお笑いの倍速視聴は絶対NG！ 若者が倍速でアニメを観ていると知った時、私は制作者の意図が正しく伝わらなくなると危惧したが、やはり……である。

また、スマホの使用時間が長ければ長いほど、脳の活動が弱くなるって！ スマホの小さいモニターだと、脳の活動が小さいとのこと。スマホからの情報には現実感がないから、前頭葉が働かないのでは？ということらしい。TVもリアルではないが、スマホよりもモニターが大きい分、マシだとか。また、夜寝る前の倍速視聴は、観た後も脳の緊張状態が1～2時間続くので、不眠症や睡眠障害を招くという。番組ゲストのゆうちゃみの倍速視聴の弊害、酷くてヤバかったわ。

倍速視聴の緊張をほぐすには、10秒呼吸がおすすめ。3秒で鼻から息を吸って、口から7秒かけて吐く。これを10回繰り返す。倍速視聴が習慣になっている人は、改めないとガチで危険そうだよ！

普通にアニメを観ていても感情処理が追い付かないと感じることも多々あるから、倍速だと心を無にして観ないといけませんね。

それに、知らないうちに疲れが溜まるって怖い。せっかくのアニメも楽しめなくなっちゃうから気をつけないとね。

兵庫県／まーし（60）

『モルカー』声優つむぎちゃん安らかに

9月、「PUI PUIモルカー」でポテトを始めモルカーたちの声を担当していたつむぎちゃんがお星さまになったそうです。最初に『モルカー』を観たとき、「えっ？ モルカーたちの声ってカピバラさんみたいに効果音!? ……」にしてはリアルだなあって思っていましたが、本物のモルモットの声と知って、めっちゃびっくりしました。1期のタイムモルカー回では、モルカーたちの先祖として実写でゲスト出演したときもびっくりしました。

見里監督を始め、ここまでアニメファンに愛された（本物の）モルモットは、つむぎちゃんしかいないのではと思います。これからは天国で、大好きな見里監督や「ご家族を見守っていてくれるといいですね。どうか安らかに……。

大分県／のんのん（17）

いつかはお別れの日が来ると知っていても、悲しいよね。映像に残っている声を聴いて、在りし日のつむぎちゃんを偲びたいと思います。天国でもいっぱい食べて、楽しく過ごしていますように。

▲三重県／舞夢（20）

▲新潟県　スナメリ
リョウガ&デモニア、これからも一緒に！

▲京都府　みみたん
毎日2話ずつ、じっくり楽しんでね☆

▲愛知県　Ryonn（••）。
まさに一目惚れ。その魅力に脱帽☆

▲埼玉県　零薬（11月で16歳）
祝・投稿2周年！ 部活も頑張って！

▲東京都　くま&ピーコ（41）
いつから放映なのか　待ち遠しいな♪

▲大阪府　プリン
3作品から　つぶらな瞳で集合～♥

▲神奈川県　るん
オタ観光を楽しめたようでよかった◎

▲神奈川県　のにこの一（29）
美夢ちゃんにケモ耳とケモしっぽが。

▲静岡県　前川 泰
オリキャラ『聖煉の騎士と神火の姫巫女』。身長差もポイントかな。とにかく美しい！

祝投稿7年目&祝成人。年々腕を上げていくのでイラストが楽しみ♪

▶千葉県／みこ
おばあちゃんも、千鶴が幸せに過ごしていたら喜んでくれるはず……

➡「君たちはどう生きるか」を観て、「魔界戦記ディスガイア」を連想したのは、自分くらいな気がする……。 東京都／鳳舞 祐

➡こら「ヒルナンデス!!」 木村昴さんがレギュラーの日に神谷明さんと関智一さんがゲストなのをラテ欄に書いてないなんて。TVをつけて変な声が出たわ！ 福島県／ねんころりん

マイアニ御殿

今月のテーマ

アニメでワンワン！

かわいくてカッコよくてお利口さん。
中には戦ったり変身したり……!?
アニメにはさまざまな犬が登場するけど、
みんなはどのワンちゃんが好き？

★『SPY×FAMILY』のボンド。未来予知ができるエスパー犬で、そこらへんの犬とは比較にならないほど賢いです。爆弾処理をするロイドをアーニャと一緒にサポートしていたときは、ナイスコンビだと思いました。みんなと家族になって楽しく過ごして、遊んだりケンカしたりでとてもよかったです。

滋賀県／属性勇者カズト

▶福岡県／みいにゃん(28)

▶広島県／上田美和(35)

★『ワッチャプリマジ！』のひゅーい。狼のマナマナ（魔法界の住人）で、みるきのお眼鏡にかなうイケメンさん。「犬！」と呼ばれても「狼と呼んでくれる?」と返すところがまた面白いです。橙真に懐く一方で、みゃむを守るため裏で必死に動いているシーンは、勇気と優しさが伝わってきて泣けてきます……。また彼の活躍が見たいです。

宮城県／りあん(15)

★『妖怪ウォッチ』のコマさん。とにかくかわいくて、初めて観たときから好きになってしまいました。あの見た目も、遠藤綾さんののんびりかわいらしい声も、田舎者で少し天然だけど弟思いの性格も好きなんだけど、特に好きなのはあのほっぺ!!! 触りたい。確実にスクイーズとかよりも気持ちいい気がするわ……。

大分県／のんのん(17)

★『ジョジョの奇妙な冒険 スターダストクルセイダーズ』のイギーです。かわいい外見とは裏腹に、トラブルメーカーのふてぶてしいボストンテリア。見知らぬ少年を見捨てられず、助けてしまう情に厚いところが大好きです。かわいくて強いだなんて欲張りですよ！ コーヒーガムをたくさんあげたい！

神奈川県／やゐと

★『幻日のヨハネ -SUNSHINE in the MIRROR-』の狼獣ライラプスは、おしゃべり（時にツッコミ）上手でいいですね！ もたれかかって昼寝もしたいです……。

東京都／さかえはるお(55)

★『アホガール』の「犬」です。孤独なあっくんに寄り添い、よしこを背中に乗せて疾走し、時には一匹で街に出て川に飛び込むなどの大活躍。状況を冷静に捉える視点を有しており、まさにクレバードッグです。

宮城県／仙台四郎(54)

★『妖狐×僕SS』の御狐神双熾。厳密には妖狐だけど、「犬にしてください……!」って言ってたし。多少（?）愛が重すぎる偏執的ストーカー気質だけど、どんな時も凛々蝶様への想いと忠誠を貫くあたり、素晴らしいワンコだと思います♥

愛知県／月辺流琉(22)

▶大阪府／おーかゆかり

▶神奈川県／蒼空を翔けたいんです(13)

★『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』の、こいぬポケモンのパピモッチが大好きです。困り顔の麻呂眉。パン生地みたいな柔らかそうな見た目で、しかも吐息でなんでも発酵させるので、現実にいたらいいなと思うポケモンです。さらに進化するとバウッツェルになるんですが、なんだか焼きたてパンみたいになります。ちなみに特性は「こんがりボディ」(笑)。かわいいのですが、この子たちを見ているとパンが食べたくなります。

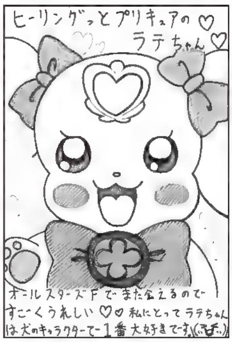
千葉県／つなマヨ=クレープ

★『それいけ！アンパンマン』の名犬チーズ。ばいきんまんの変装を見抜き、アンパンマン号の操縦、新しい顔の投げ渡しと、名犬の名に違わぬ活躍。

『ONE PIECE』のイヌアラシ。ミンク族の中でも屈指の強さで、匿っている忍者のことを敵に最後まで話さない義理堅さ。犬らしく骨に目がないのも親しみが持てる。スーロン化すると白い狼のようになってカッコいい。

あとは『犬夜叉』の犬夜叉。鉄砕牙を振るう剛腕の持ち主。かごめを守る姿はやはりカッコいい。

兵庫県／坂戸孝允(29)



▶埼玉県／苺シロップ(37)

▶愛知県／いとうあつし

★『勇者エクスカイザー』の星川一家の愛犬・マリオ。星川一家のマイカーに乗り移ったエクスカイザーが、星川コウタ少年の指令を受けて飛び出しているところを毎回目撃しており、コウタ同様エクスカイザーの正体を知っているスゴいワンちゃんです。イベントに集まったペット犬たちをガイスターから守ったシーンは、私の心にとても大きく残りました。

愛知県／キュアファイヤー(50)

★『おはよう！スパンク』のスパンクです！ 飼い主の中学生、森村愛子ちゃんとは大の仲良しで、一緒に楽しく遊んだり、彼女が元気がない時は慰めようと奮闘するなど、優しくて愛嬌もたっぷり。犬なのに、なぜか猫に恋したり、結構ドジなところもありますが、純粋で無邪気なとてもかわいいワンちゃんです！

大阪府／小谷 彰(62)

★狼といえばやはり『仮面ライダーギーツ』に登場する狼モチーフの仮面ライダーロポです。ワイルドな戦い方をするロポはとてもカッコいいです！ 仮面ライダーブッチー（ダルメシアン）や仮面ライダーグルービー（ビーグル）もいいけど、『宇宙戦隊キュウレンジャー』でオオカミブルーに変身する狼獣人のガルが、第14話でオトメキュータマを使って姫になった姿が、とても面白かったのでオススメです！

山口県／河村友美(33)

★ほう。ワンコのキャラ特集とな？ となれば、この年寄りとしては、かの犬を語らねばなるまい。そう。「フレンダー」。全盛期タツノコプロの傑作『新造人間キャシャーン』に登場した、主人公の頼もしき相棒にして愛犬たるサイボーグ犬である。通常状態でも大変に高い戦闘能力をもつが、あの時代だから許された、素材も質量も物理法則も無視したダイナミックな変形の数々に、幼少の我々は熱狂したことよ。しかし、彼のような忠勇篤実にしてカッコいい犬を飼いたい（変形はともかく）と思っていたのに、何故か延々猫を飼っている人生であった……。

群馬県／ミネバ様記念♡(55)

「11月1日」は犬の日でした。大人投稿者の皆さんからは、懐かしの犬キャラがたくさん上がりました。どの子もかわいくて甲乙つけがたい！

全犬集合したら、どんな会話をするんだろう。聞いてみたいね。

この胸のキュンキュン、大切にしたいですよね～。ということで2月号のお題は「推し活マストアイテム」。皆さんが推し活をする時にこれは必須というものを教えてください。

うちわやペンライト、痛バッグなど一般的なものだけではなく、「私にとってのマストアイテム」といえる意外なものでもOKだよ。

僕は、イベントや公演チケットの半券を保存できるチケット収納ファイルですね。半券を眺めて、公演を見たときの感動を何度も反芻しています。

こんな感じで、使い方や理由も教えてくれると嬉しいな。締切は11月30日消印有効でよろしく。

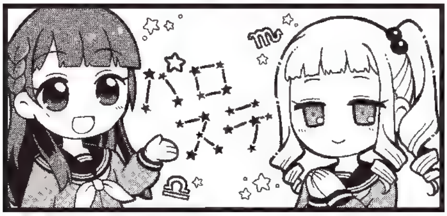
←つづく

何でもおしゃべり箱

➡日テレのものまね番組が主軸のものまね声優・山寺宏一さんに、年末恒例のフジテレビ「ものまね王座決定戦」にも出演していただきたい。こちらにはルパン（栗田貫一さん）が出演、ナレーターが次元（大塚明夫さん）なので、銭形警部との共演を密かに楽しみたいです。 **長野県／ふじまる**

Paro Sute パロステ

PARU パル & マル MARU

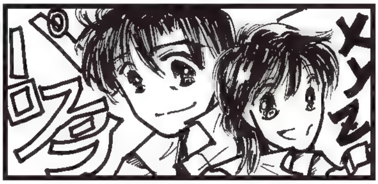


福岡県／ぶっとび恵理子(30)
星空の題字!『黄道寮の星座な日々』から、季節にちなんだ二人が登場☆

今月のタイトル看板

▶神奈川県　やゐと
『超探偵事件簿レインコード』から、死に神ちゃんが元気よくイエイ♪

◀兵庫県／㊊
牛乳と同じように、バロステも月々で味わいが変わるのだよ〜!

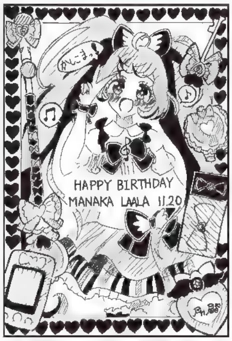


▶埼玉県　伊藤幸恵(46)
マイアニも『シティーハンター』には長年お世話になってます♪

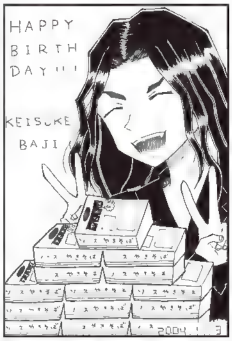
♥カット♥ただのかずみ

4コマ、ダジャレ、擬人化、ちびキャラ、カン違い……笑えてハッピーになれるパロディハガキはこちらに集合!

▶宮城県　りあん(15)
何歳になっても　神アイドルとして歌い続けてほしいな♪



▶徳島県　七福猫(29)
年齢と同じ14個の焼きそば。満面の笑顔が切なくなる……

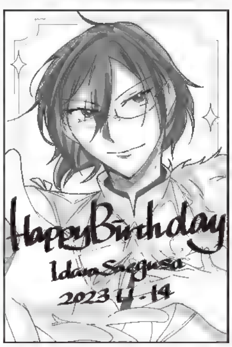


▶千葉県　しまなか(16)
その笑顔が見られるのなら、全力でお祝いしちゃうよ〜

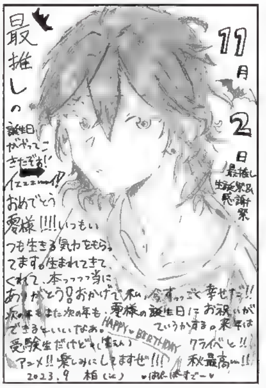
▶静岡県／孤空 琥石騎(33)
飲んでいるワインは、誰かから奢ってもらったのかな?

▶千葉県／絵描きの冒険者KATOSAN
璃奈ちゃんがどんな成長をしていくのか、見守りたい♥

▶埼玉県　わさび。
一つ年を重ねた茨くん。今よりもっと輝いてほしい♥

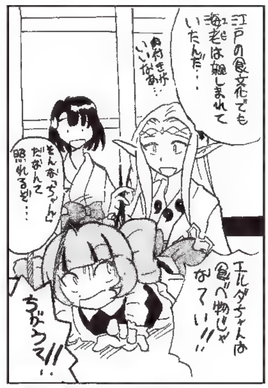


▶宮城県　柏(14)
受験期も心に余裕を持って、誕生日のお祝いができたらいいね☆



声ネタ

▲福岡県　ひいらぎ一帆
かぐや様ならぬエル様。まさに「イエス・ユア・マジェスティ!」な風格



▲東京都　飛剣 祐
エビ姿のメイドさんって珍しいよね。エルダ同士、仲良く遊んであげて!

アニメコラボ

▲北海道　楯マコト(47)
モフモフモフルンはしゃべるし食べるし、プリキュアにもなるモフ〜♪

★ミュージカル「コードギアス 反逆のルルーシュ 正道に准ずる騎士」の記事目的で購入しました。とても深い濃密な記事で感動しました。赤澤さんと小南さんのお互いの話は胸熱でした。登場人物の紹介もあり、初めて「コードギアス」に触れる方にも分かりやすい内容だったと思います。　神奈川県／S(31)

★音楽座ミュージカル「シャボン玉とんだ宇宙(ソラ)までとんだ」のWキャストインタビューが、アニメージュならではの切り口で、畠中さんがミュージカルに挑戦することを初めて知る人にも興味を持ってもらえるような内容で嬉しかったです!　畠中さんの連載「タスクのつぶやき」も一緒に読めて良かったです。　東京都／K(29)

★ようやく解禁された「君たちはどう生きるか」特集。やはりジブリと言えばアニメージュ、と言われるだけの濃密なものでした。　東京都／H(27)

★様々な特集が組まれているので、面白いです。10月号では、秋アニメの特集が多く組まれていたので、とても嬉しかったです。特に『SAND LAND』の声優さんインタビューは楽しく拝見しました。　栃木県／S(14)

何でもおしゃべり箱

➡9月号「このすば」ワンポイントレッスン、見比べると違いがよくわかる。原作風は一番情報量が多い。アニメ風は線が少なく、グッズ風はアニメよりちょっと線が多く上品。ゲーム風はアニメとグッズの中間。アニメの初期は、原作挿絵との違いに不満を感じる人もいたようだが、私はアニメはこのデザインが正解だと思ってきた。実にのびのびと、よく動く! 新作が次々作られているし、アニメのファンも多い証拠♪　兵庫県/まーし(60)

まとめて募集告知

月替わりテーマ投稿

2月号のテーマ

★アニメ歳時記★
「新春2024」
お正月だよ、推しキャラ集合! ご来光やおせち料理、初詣に初夢、新年の縁起のいいイラストを♪

★ハッピーバースデー★
「1月生まれのあなたへ」
アニメキャラや声優 俳優、クリエイターのお誕生日祝いに、イラストやお手紙をお願いします!

★マイアニ御殿★
「推し活マストアイテム」
推し活をするときにこれは必須!というものを、使い方や理由と共に教えてね。イラストも歓迎!

★締切:11月30日(木)消印有効

フリースペースのテーマ

2月号『ビックリメン』
選者:月見里智弘さん(監督)
★締切:11月30日(木)消印有効

3月号『薬屋のひとりごと』
選者:中谷友紀子さん(キャラクターデザイン)
★締切:1月3日(水)消印有効

※選者に向けたイラストの説明もあると嬉しいです。

レギュラー投稿

★アートギャラリー★ あなたの好きなアニメの絵をカラーで。アニメ作品の新旧は問いません。マンガ・小説・特撮・ゲームなどの絵でもOK。
★レタールーム★ 文章投稿では、アニメの感想や身近な出来事について語ってね。イラスト投稿では アートギャラリー同様 オールジャンルOK。白黒でヨロシク。
★合作にトライ☆★ 投稿仲間や友達、家族と一緒に一枚のイラストを完成させてね。住所・氏名(ペンネーム)・年齢は全員分お忘れなく。なるべく白黒でお願いします。
★私、困ってるんです〜★ 人には言えないお悩みやギモンをお寄せください。読者のみんなが答えてくれます。
★そこまで言っちゃっていい!?★ そんな まさかと思ったことへのツッコミはこちらへ。
★アニメ川柳★ 五・七・五のリズムに乗せて 感じたことを表現しよう。
★なんでも おしゃべり箱★ アニメについて何でも叫んでください。
★パロステ★ あなたの笑いのネタ、待ってます。
★ファンコールプリーズ★ マイアニ投稿者の交流の場。熱いメッセージをお願いします。

投稿のパクリはダメ絶対!

投稿する作品は、自分が制作した著作物および二次的著作物に限ります。トレスやネタのパクリ、他の著作物をもとに自動生成されたものなど、他人の作品を無断で投稿する行為はNGです。マイ・アニメージュは読者の善意で支えられているページです。好きなアニメを応援したいという気持ちを大切にして、あなた自身のセンスをそのまま投稿作品にぶつけてください。他のファンの方に不快な思いをさせないよう、どうかご協力よろしくお願いします!

応募の宛先ときまり

★ウェブ投稿はこちらへ★
https://animageplus.jp/から赤いバナーをクリックして進んでください。イラスト画像も投稿できます。

★郵送はこちらへ★
〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒CS
㈱徳間書店 アニメージュ編集部
マイ・アニメージュ「○○○(コーナー名)」係

★応募のきまり★
①イラストは必ずハガキサイズで。イラストの裏面には、あなたの住所・氏名(本名)・ペンネーム(必要な場合)・年齢・送りたいコーナー名・アニメ作品名とキャラ名をはっきり書いてね。イラストの簡単な説明もあると嬉しいです。②文章投稿は、1枚の紙には1コーナーごとのネタをお願いします。同じ紙にまとめて書くと 他のコーナーにまぎれてしまいます。③投稿物を複数作成された時は、まとめて封筒に入れて送っても大丈夫です。封筒には裏面に住所 氏名(本名) 表面には送りたいコーナー名をはっきり書いてお送りください。その際 中のハガキ1枚1枚にも、住所・氏名(本名)・ペンネーム(必要な場合)・年齢・送りたいコーナー名を忘れずにご記入くださいね。
※皆様の個人情報は運営上、誌面に掲載されます。ご了承の上お送りください。※ご記入頂いた個人情報は、上記の目的以外での利用はいたしません。※文章投稿は誌面のスペースの都合で全文掲載できない場合がありますのでご了承ください。

「レギュラー投稿」は「月替わりテーマ投稿」の締切に準じて送ってね!

震災12年祈念個展、誠に貴い機会、思い出、心に宝石のようです。本当にどうもありがとう御座います!
➡http://naganoare.wordpress.com/ (ナガノ)

END

アニメ川柳

実は俺
シャル フレイ リザ
愛おしい
新潟県◎ひーろーがーる(41)

「実は俺、最強でした?」の三人娘、本当にかわいかった♥ ハルトくんとのやりとりも、イヤミがなくて好きでした。

昌平君
やはり実写も
イケメンだ
埼玉県◎PG

アニメ版「キングダム」では諏訪部順一さんのイケボが印象的です。実写映画の玉木宏さんも、まさに公子といった雰囲気で役にぴったり!

ファンコールプリーズ /読者交流の場/

F.C Thanks 山口県 IMAGE(44)

FAN CALL 鹿児島県/上下チエ(36)

FAN CALL
千葉県/つなマヨ=クレープ

FAN CALL
神奈川県/miマカロン(27)

11月のハッピーバースデー

◀千葉県/伯ミシェル(18)
バラの花に囲まれたアラン。メリーベルが生きていた頃の姿かな?

▲京都府/にあ
今後の葛葉さんの活動にも期待が高まるね。みんなで応援しよう!

◀茨城県/むちゃ
くろむとケロリ、どちらの姿もかわいい〜☆

▶埼玉県/りふる(14)
誕生日のごちそうは、やっぱり豆腐料理づくしかな?

▶神奈川県/U
こんな表情でお礼を言われたら、嬉しくなっちゃう♪

▶山梨県/とうや
向こう1年も元気に、すてきな声を響かせ続けてほしい♥

パル&マルからのお願い
ハガキか紙に、黒のインクやサインペンで、縮小印刷でも読みやすいように大きめにハッキリ描いてね。マニアックなネタは、宛名側に解説を付けておいてくれると助かります(笑)。「パロステ」のタイトル看板は6センチ×13センチのワク内で。切らなくても大丈夫だよ。

STAFF

Editor-in-Chief
川井久恵

Contributing Editors
久保田志乃
佐久間翔大
近藤　瞳

Advertising
岩水洋子
小出健太郎
谷川浩史

Marketing Analyzer
片山伸之
柳楽公三

Public Relations
斎藤信恵
松本留衣子

Writers
徳木吉春
原口正宏
渡辺麻紀
渡辺由美子
石井　大
中野克己
浜田肇生
ぽろり春草
新庄　圭
ぬのまる
川畑　剛
スタイル
福西輝明
許士明香
鈴木雅規
高円寺工房
後藤悠里奈
みちかみ

EDITORS VOICE

1年って早いですよね。もう11月ですよ、来月で今年も終わりですよ！　2023年も始まったなーと思っていたらあっという間に半年が過ぎ、あんなに暑かったのに気温が下がり、今年もあと1ヵ月半。10月になると時の流れが加速し、11月はさらに加速し、12月は一瞬です。一瞬の光の矢です。こんな時、『1000年女王』のOPが頭をよぎるんだよな〜。コスモスドリ〜ム♪　（久）

絶賛制作中の「ひろがるスカイ！プリキュア」特別増刊号（P.29参照）に、今月号で載せた「ひろプリライブ」の追加レポートも。今回のライブは「キラキラkawaii! プリキュア大集合♪」の20周年ver.に圧倒されました。合いの手で各世代のコールが入っていくとこ、最後に「ひろがるスカイ！」が来た時はジーンときました。走り続けて20年、ついにここまで‥！（志）

調べものがあってバックナンバーを読み返したのですが、その時にどうしても目についてしまうのが自分の担当記事。「ほかのアプローチもできたな」という反省がありつつ、今の自分にはないガムシャラさみたいなものも感じました。この編集部に来て約2年。その間に何を身に着けて、何をこぼれ落としたのか。つい考え込んでしまう秋の夜でした。　（サ）

今年でなんと10周年を迎えた、池袋ハロウィンコスプレフェス。数年前から友達の付き添いで参加してきましたが、コロナ禍で不参加が続いていました。ですが、少しずつイベントの規制も緩和され、今年は多くのコスプレイヤーたちが集まると思うと、それだけでワクワクします。私は見る専ですが、ステージやパレードで一緒に盛り上がりました。　（近）

アニメージュ12月号アンケート用作品リスト

下記の作品リストから該当するものの番号を、ハガキ表面（宛名面）の解答欄に記入してください。

①100カノ　②100秒でわかる名作劇場　③16bitセンセーション　④BASTARD!!　⑤BEYBLADE X　⑥B-PROJECT　⑦GAMERA　⑧Helck　⑨MFゴースト　⑩ONE PIECE　⑪Paradox Live　⑫PLUTO　⑬SHY　⑭SPY×FAMILY　⑮Sランク娘　⑯アークナイツ　⑰悪魔くん　⑱新しい上司はど天然　⑲アニアキングダム　⑳アンダーニンジャ　㉑アンデッドアンラック　㉒アンパンマン　㉓イケナイ教　㉔ウマ娘　㉕怨嗟のエジンバラ　㉖オーバーテイク！　㉗おさるのジョージ　㉘おじゃる丸　㉙お嬢と番犬くん　㉚おしりたんてい　㉛オチビサン　㉜おでかけ子ザメ　㉝オトッペ　㉞オトナプリキュア　㉟鬼武者　㊱陰の実力者になりたくて！　㊲カノジョも彼女　㊳カミエラビ　㊴鴨乃橘ロンの禁断推理　㊵川越ボーイズ・シング　㊶ガンダムビルドメタバース　㊷帰還者の魔法は特別です　㊸絆のアリル　㊹キミゼロ　㊺キャプテン翼　㊻薬屋のひとりごと　㊼クズ悪役の自己救済システム　㊽グッド・ナイト・ワールド　㊾クリプトニンジャ咲耶　㊿クレヨンしんちゃん　(51)ケンガンアシュラ　(52)攻略ぉぉんてっど！　(53)こてつくん　(54)ゴブリンスレイヤーⅡ　(55)最果てのパラディン　(56)サザエさん　(57)し〜くれっとみっしょん　(58)しまじろう　(59)シャドウバースF　(60)シャングリラ・フロンティア　(61)終末のワルキューレⅡ　(62)呪術廻戦　(63)進撃の巨人　(64)聖剣学院の魔剣使い　(65)聖女の魔力は万能です　(66)銭天堂　(67)全力ウサギ　(68)葬送のフリーレン　(69)ダークギャザリング　(70)盾の勇者の成り上がり　(71)ちいかわ　(72)チキップダンサーズ　(73)ちびまる子ちゃん　(74)ティアムーン帝国物語　(75)でこぼこ魔女の親子事情　(76)デッドマウント・デスプレイ　(77)デュエル・マスターズ WIN　(78)転スラ コリウスの夢　(79)とあるおっさんのVRMMO活動記　(80)東京リベンジャーズ　(81)逃走中　(82)ドッグシグナル　(83)トミカヒーローズ ジョグレイバー　(84)ドラえもん　(85)トランスフォーマー　(86)ニンジャラ　(87)忍たま乱太郎　(88)バービー　(89)パウ・パトロール　(90)パジャマスク　(91)パズドラ　(92)はめつのおうこく　(93)範馬刃牙　(94)ぴーくるずー　(95)ひきこまり吸血姫の悶々　(96)ビックリメン　(97)火の鳥　(98)ヒプノシスマイク　(99)ひろがるスカイ！プリキュア　(100)豚のレバーは加熱しろ　(101)プルバスター　(102)放課後少年花子くん　(103)襲食のベルセルク　(104)ポーション頼みで生き延びます！　(105)僕らの雨いろプロトコル　(106)ポケットモンスター　(107)星屑テレパス　(108)ぽのぽの　(109)松犬　(110)魔法使いの嫁　(111)ミギとダリ　(112)ミニ豆ちゃん　(113)ミリマス　(114)名探偵コナン　(115)め組の大吾　(116)メック・カデッツ　(117)黙示録の四騎士　(118)遊☆戯☆王ゴーラッシュ！！　(119)柚木さんちの四兄弟。　(120)ラグナクリムゾン　(121)るろうに剣心　(122)レエル・ロマネスク　(123)私の推しは悪役令嬢。

新番組＆新作映画・OVA情報

TV MOVIE OVA WEB ANIME ETC NEWS

ついこの間まで、夏だったのに。気が付けば秋アニメが盛り上がってきて、2023年も残り1ヵ月半！　来年の新作情報が続々と入ってきているので、チェックしていきましょう♪

ANIMAGE NEXT RECOMMEND

ANIMAGE NEXT RECOMMEND

地球侵略を目論む“わるもの”だって疲れた心身を癒したい!!

TV 1月

©森川侑／SQUARE ENIX・今日は休日委員会

悪の組織で働くわるものさんが、争いのない充実した休日を目指すヒーリングコメディ。その最新ビジュアルが公開!!

地球防衛組織のレンジャーや組織の同僚も描かれており、彼らがどんな休日を過ごすのか、とっても気になる！

休日のわるものさん

▶電撃G'sマガジン掲載

STAFF
原作／森川侑　キャラクターデザイン／ヒロ　ほか

CAST
ホンダリョウ／つまり／ヒロ／ほか

中国発祥の人気タイムサスペンス SFとヒューマンドラマの融合

TV 未定

©bilibili/BeDream

撮影者の意識にリンクして写真の世界に入れる能力を持つトキと、撮影後12時間の出来事を把握できる能力を持つヒカル。二人は写真館を経営しながら、さまざまな過去を引きずるクライアントの依頼を解決している……。

昨年1月より日本語吹替版が放送された中国発の人気タイムサスペンス。待望の第2期が日本でも放送決定！それを記念して10月から第1期の再放送が始まっている。

SFとヒューマンドラマが融合した物語の続編が観られる日が待ち遠しい☆

時光代理人 -LINK CLICK-

▶第2期日本展開決定

STAFF
原作／リンククリック　監督／秋本ノ未

CAST
未定

アリスと坊ちゃんの恋が！　運命が！ 二人の物語がいよいよ結実へ

TV 2024年

©イノウエ／小学館・死神坊ちゃんと黒メイド製作委員会

触れたものすべてを死なせてしまう呪いをかけられた坊ちゃん。メイドのアリスの逆セクハラに負けず「(?)」、魔女の友達がでたり、家族との距離も少しずつ縮まってきているが……。

坊ちゃんとメイドの切ない両想いを描く人気ラブコメ。その第3期が放送決定。原作者・イノウエから豪華な描き下ろしイラストが到着した。

果たして呪いを解くことはできるのか。二人の運命の物語を、最後まで見届けよう。

死神坊ちゃんと黒メイド

▶第3期放送決定

STAFF
山[illegible]　石[illegible]

CAST
フ／倉持武彦　弟モン／[illegible]　ウォルター／[illegible]　ダレス／日笠陽子　ほか

『はめふら』新ストーリーが劇場で！ 新たな破滅フラグは超特大……!?

MOVIE 12月

©山口悟・一迅社／劇場版はめふら製作委員会

悪戦苦闘の末、数多の破滅フラグを回避してきたカタリナ。そんな彼女が巻き込まれる、かつてない大事件とは!?

すでに公開が決まっている劇場版「はめふら」の本予告映像が公開された。本シリーズ史上、超特大の破滅フラグを、劇場で見届けよう！

劇場版「乙女ゲームの破滅フラグしかない悪役令嬢に転生してしまった…」

▶12月8日　全国ロードショー

STAFF
[illegible]

CAST
ラ[illegible]／松岡禎丞　スアリハント／[illegible]　ジョ[illegible]／[illegible]　ルー／[illegible]　ジョ[illegible]／[illegible]　ラン・スティアート／鈴木達央　コル・アスカル／[illegible]　ソフィア・アスカルト／[illegible]　マリア／[illegible]　キャンベル／[illegible]　アーキル／小野賢章　[illegible]／村瀬歩　ナシート／[illegible]　[illegible]／ハーディ　上田麗奈　アルクス／日笠陽子　ビヨ／釘宮理恵　ほか

最強にして新人のアラサー冒険者が行く痛快アクションコメディ開幕！

TV 2024年

大陸最強の冒険者が集うパーティで鍛えたリック・グラディアートルは、新米ながらも、最高位のSランク並みの戦闘力を無自覚に有していた。

岸馬きらく原作の痛快アクションコメディのアニメ化が決定。ティザービジュアルが公開された。厳しい訓練を乗り越えたリックは無双状態!?

新米オッサン冒険者、最強パーティに。死ぬほど鍛えられて無敵になる。

▶アニメ化決定

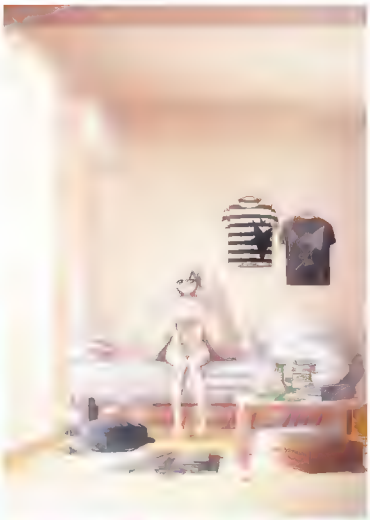
STAFF 原作：岸馬きらく（ホビージャパン／2024新米オッサン冒険者製作委員会）

CAST リック・グラディアートル：久野美咲　ほか

©岸馬きらく・ホビージャパン/2024新米オッサン冒険者製作委員会

天然な天使と高1男子が織りなす癒やし癒され同居ラブコメが開幕！

TV 未定



高校入学と同時に一人暮らしを始めた徳光森太郎は、ベランダで眠る清楚で可憐なとわと出会った。どこか天然な彼女の正体は天使であり、行くあてがなく「このベランダにたどり着いたというが……。

月刊『少年ガンガン』で連載中の人気ラブコメがアニメ化決定。キービジュアルには、柔らかい日差しに照らされているとわが描かれている。とわ役の遠野ひかるから「枕に顔を埋めたくなるような、ほっこりときゅんが沢山の方に届きますように！」と、意気込み十分のコメントが到着した。二人のとっても甘くて、とってもピュアなワンルーム生活を優しく見守ろう。

ワンルーム、日当たり普通、天使つき。

▶アニメ化決定

STAFF 原作：ほのぼのとしたラブコメ作家

CAST 徳光森太郎：梅田修一朗　とわ：遠野ひかる　ほか

©matoba　SQUARE ENIX・天使つき製作委員会

平坂読とカントクがタッグを組んだ天下無双の群像喜劇を刮目せよ！

TV 2024年

貧乏探偵の鏑矢惣助が尾行中に出会ったのは、異世界の皇女・サラ。なぜかなし崩し的に同居生活を始めることになるのだが、彼女に続いて女騎士・リヴィアも出現。しかも、二人はあっという間に社会に馴染み、自由気ままに現代の生活を楽しむが……？

平坂読のドタバタな群像喜劇がアニメ化決定！　二人が岐阜市内を駆けまわるティザービジュアルも到着した。彼女たちが一体どんな現代日本ライフを過ごすのか、とっても楽しみ！

変人のサラダボウル

▶アニメ化決定

STAFF 変人のサラダボウル製作委員会

CAST 未定

©平坂読　小学館　「変人のサラダボウル」製作委員会

魔王・ベルトールがサイバーパンクシティ・新宿市を駆ける

ANIME 未定

究極の発展を遂げた新宿市。超巨大国家として華々しい繁栄を築いていたが、その裏には恐るべき闇が隠されていた。勇者・グラムに倒され、長い眠っていた魔王・ベルトールは発展した未来都市を支配するべく動き出す。

第33回ファンタジア大賞で大賞に輝いた紫大悟のハイファンタジー。そのアニメ化が決まり、ティザービジュアルが到着した。さらに、ベルトール役を日野聡が、ベルトールの部下・マキナ役を伊藤美来が、原作PVから続投で演じることも発表された。

すべてが発展した未来に翻弄されながら、ベルトールは再び国を支配することができるのだろうか？

魔王2099

▶制作決定

STAFF 原作：紫大悟（KADOKAWA刊）　制作：J.C.STAFF

CAST ベルトール＝ベルベット・ベールシュバルト／日野聡　マキナ＝ソレージュ／伊藤美来　ほか

©2023 紫大悟・クレタ/KADOKAWA/魔王2099製作委員会

心中未遂の文豪と旅の仲間たち

TV 未定

心中未遂で異世界転移してしまった文豪・センセーの運命とは!?

すでにアニメ化が決まっている異色のファンタジー。その追加キャラが発表された。神官アネット、武闘家タマ、用心棒の少年ニア。この3人と一緒にセンセーは旅をする。愛人と心中するために！

異世界失格

STAFF 世…

CAST 未定

©野田 宏・若松卓宏・小学館／「異世界失格」製作委員会

冲方丁原作のファンタジーストーリー 大剣を振るう少女は世界唯一の人間！

TV 2024年

毛皮も鱗も牙も持たず、身の丈ほどの大剣を軽々と扱う少女ラブラック＝ベル。彼女は、この世界で唯一の人間だった……。

すでにアニメ化が発表されている冲方丁原作のファンタジー作品。そのティザービジュアル＆PVが公開された。ベル役のファイルーズあいは「疎外感や葛藤に共感しつつ、自分を奮い立たせるベルに学んだ」とキャラの魅力を紹介！

ばいばい、アース

STAFF …

CAST ファイルーズあい ほか

©冲方丁・KADOKAWA/WOWOW,ソニー・ピクチャーズ,クランチロール

元・勇者候補の商人&牙狼族の美女は異世界で新婚生活を始める!!

TV 2024年

勇者候補として召喚された元・商人のバナザ。一般市民並みの力しかなかったのだが、モンスターを倒したことで強大な力を手に入れ、フェンリースと出会って……。

シリーズ累計200万部を突破した波乱万丈な異世界新婚譚が、アニメ化決定。PVでは、二人の仲睦まじい生活が描かれている。

異色な二人の物語は一筋縄ではいかない!?

Lv2からチートだった元勇者候補のまったり異世界ライフ

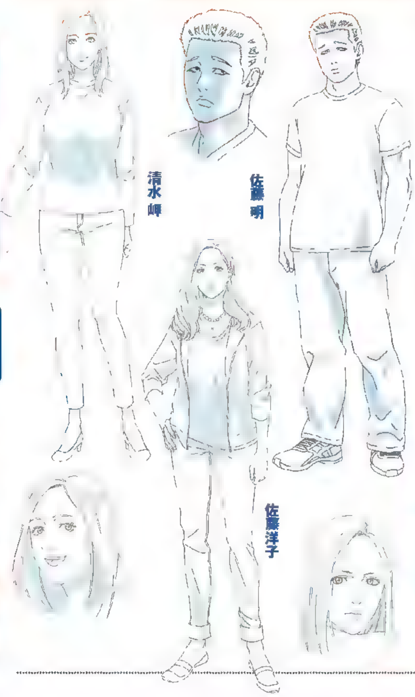
STAFF …

CAST …リース／…ほか

©鬼ノ城ミヤ・オーバーラップ／Lv2からチートだった製作委員会

最強の殺し屋・佐藤明が1年間の〝休業〟生活を始めます！

TV 2024年春



どんな対象も6秒以内に葬り去る。殺しの天才・佐藤明は、突然、組織のボスから「1年間誰も殺してはならない」という指令を受け、相棒の洋子と兄妹として平和な日常を過ごすことに。

すでにアニメ化が発表されている南勝久の人気アクションコメディ。メインキャラ3人の設定画が到着した。

平穏な日常を送っていた明たちだったが、不穏な事件の影が近づいてきて……。

ザ・ファブル

STAFF …

CAST 未定

©KK/FP

時代をとび越え、歴史を変える中学生

WEB 2024年

中学生・並平凡が出会ったのは、未来から来たタイムパトロール隊員リーム。秘密保持のために存在を消されそうになってしまうのだが、とある事情により見習い隊員になることに!?

藤子・F・不二雄の名作SFが、初となるシリーズアニメ化が決定した。Netflixで配信予定だ！

T・P ぼん

▶全2シーズンで2024年配信決定

STAFF 原作／藤子・F・不二雄　監督／安藤真裕　制作／…

CAST 並平凡／若山晃久　リーム・ストリーム／種﨑敦美　ほか

※Netflixシリーズ「T・Pぼん」Part1&Part2 2024年独占配信

悪役令嬢を極めるため 自己研鑽を続けるアリシアの奮闘記

TV 2024年

物語のヒロインにありがちな「いい子ちゃん発言」が嫌いだった「私」は、大好きな乙女ゲームの悪役令嬢アリシアに転生。世界一の悪女を目指して、強さや知識を磨いていくのだが……。

すでにアニメ化が発表されている大木戸いずみの人気転生ファンタジー。その公式サイトがオープンし、ティザービジュアルが到着した。幼い姿や剣を持ったり、魔法を使ったり、三様のアリシアが描かれている。

悪役令嬢を極めるため努力すればするほど、周囲は予想外の反応を示す。アリシアは立派な悪女になれるのだろうか!?

歴史に残る悪女になるぞ

▶2022年秋放送開始

STORY [illegible]

CAST 未定

©大木戸いずみ・早瀬ジュン KADOKAWA／「歴史に残る悪女になるぞ」製作委員会

9999の外皮と未知のスキルで 最強タンクのルードが道を切り開く！

TV 1月

どんな願いも叶える秘宝を見つけ出し、最愛の妹の病気を治すため盾役として奮闘していたルード。ところが、横暴な勇者からパーティーを追い出されてしまった。その理由は、“使えないスキル”を持っていたためなのだが……。

木嶋隆太・如月命の人気コミックがアニメ化決定。ティザービジュアルでは、敵の激しい攻撃から仲間を守るルードと、ヒロインのニンとルナが描かれている。ルード役の笠間淳は「この作品は追放に対しての逆襲の物語ではありません。新たな道を切り開いていく開拓の物語です」と同作の見どころをアピール。

道中で助けた少女ルナの鑑定スキルで、ルードの“使えないスキル”が、実は唯一無二であることが判明。最強タンクの新たな冒険が始まる！

最強タンクの迷宮攻略
～体力9999のレアスキル持ちタンク、無能パーティーを追放される～

▶1月放送開始

STORY [illegible]

CAST ルード／笠間淳　ニン／本渡楓　ルナ／市ノ瀬加那　[illegible]

©木嶋隆太・イマジカインフォス・如月命　SQUARE ENIX・「最強タンクの迷宮攻略」製作委員会

オスカーとティナーシャ 二人の出会いが世界の運命を書き換える

TV 未定

大国ファルサスの王太子・オスカーは、幼い頃に受けた「子孫を残せない呪い」を解くため、荒野の彼に棲む「青き月の魔女」ことティナーシャのもとを訪れた。そして、どんな望みも叶えるという“魔女の塔”の試練を乗り越えたオスカーが望んだのはティナーシャを妻として迎えることだった！

待望のファンタジーストーリー。伝説の王剣アカーシアを装備したオスカーと、数百年の時を生きるティナーシャのキャラクタービジュアルが到着した。この二人の出会いが世界の運命を書き換えていく！

Unnamed Memory

▶[illegible]

STORY [illegible]

CAST オスカー／中島ヨシキ　ティナーシャ／種崎敦美　ほか

©2022 古宮九時/KADOKAWA/Project Unnamed Memory

戦隊と怪人が秘密協定の茶番劇 戦闘員Dがその舞台裏に潜入！

TV 2024年

12年も続く正義の大戦隊と怪人の戦い。実は、怪人側は秘密協定で負け戦を演じることを強いられていたのである。現状に憤る戦闘員Dは、戦隊側の桜間日々輝&錦切夢子と手を結び、戦隊に潜入することに。

すでにアニメ化が発表されている春場ねぎの人気戦隊ストーリー。その放送が来年に決定、PVや声優情報が公開された。到着した最新ビジュアルでは戦闘員Dを中心に日々輝と夢子が描かれており、彼らの背後にあるモニターには宿敵・竜神戦隊ドラゴンキーパーの不敵な笑みが映し出されている。

曲者だらけの戦隊本部はまるで伏魔殿。そこで戦闘員Dが見るものとは!?

戦隊大失格

▶TBS系列28局ネット

STORY [illegible]

CAST 戦闘員D／小林裕介　桜間日々輝／梅田天馬　錦切夢子／天野優美奈　ほか

©春場ねぎ・講談社／「戦隊大失格」製作委員会

生き残るためにすべきこととは……公爵令嬢リーシェの人生をかけた奮闘

TV 1月

公爵令嬢リーシェ・イルムガルド・ヴェルツナーには秘密があった。それは、20歳で命を落としては5年前の婚約破棄の瞬間に戻ること。商人、薬師、侍女、騎士などさまざまな生き方を存分に満喫してきたが、7回目を迎えた今回の人生こそ長生きしてやろうと決心したはずなのだが……。

来年1月から放送が始まる期待のファンタジー。7回のループを繰り返し、すべての死の元凶であるアルノルトと出会うリーシェが描かれたPVが公開された。さらに、OP曲をTHE BINARYが担当することも決定♪

ループ7回目の悪役令嬢は、元敵国で自由気ままな花嫁生活を満喫する

▶1月放送予定 AT-X

STAFF 原作／久慈美貴 キャラクターデザイン／ 瀬深緒也 オリヴァー／土岐隼一 ほか

©鈴川遥子・オーバーラップ／ループ7回目製作委員会

広島県尾道市を舞台に描かれる ほっこり女子高生青春ストーリー

TV 1月

父親が経営していた雀荘が今は空き家に。そこをみんなで集まれる場所にしようと十返舎なしこは決意した。そして、遊び場を手に入れた彼女たちは、そこで料理をしたり、お茶したり、時々麻雀を楽しんだりするのだった。

広島県尾道市を舞台に描かれる女子高生たちの日常譚。その放送が来年1月に決まり、第2弾キービジュアルが到着した。それぞれの名前の頭文字が書かれた麻雀牌を手に笑顔の面々が描かれている。さらに、YouTubeでは、明るく猪突猛進な性格の主人公・なしこにスポットライトを当てたキャラクターPVが公開中。コロコロと表情を変える彼女の表情が超キュート♪

ぽんのみち

▶1月BS

STAFF 原作／ STAFF 監督／ 江口 健／ 山村 響 チョンホ／ 大塚明夫 ほか

©IIS-P ぽんのみち製作委員会

「リバース・ロンドン」で活躍する ニニー・スパンコール&新橋のえる

WEB&TV 未定

ロンドンの裏側に広がる「リバース・ロンドン」。この異世界を舞台に、「ドラゴン」と呼ばれる異形の存在を保護管理する魔女たちが切磋琢磨しながら奮闘する。

久保帯人原作の人気ファンタジーアクション。その最新エピソードの全世界配信日が12月29日に決定！ ニニー・スパンコール、新橋のえる、オスシちゃんとたわむれるバルゴ・パークスが描かれたキービジュアルとともに、YouTubeでは本PVも公開された。Nilが担当する主題歌「PROVE」が流れるなか、大空を飛び交う二人の魔女。その活躍が早く観たい！

また、テレビ東京ほかでは、12月29日に、シリーズ前作となる「第1章」と合わせて放送予定。とっても楽しみ♪

BURN THE WITCH #0.8

▶12月29日（金）全世界同時配信&同日深夜1時よりテレビ東京にて放送開始

STAFF 原作／久保帯人「BURN THE WITCH」（集英社「週刊少年ジャンプ」連載）監督／川野達朗 キャラクターデザイン／総作画監督／中氏宗行 脚本／宇田 制作／teamヤマヒツザ・スタジオコロリド CAST ニニー・スパンコール／田野アサミ 新橋のえる／山田咲菜 バルゴ・パークス／土屋神葉 チーフ／平田広明 オスシちゃん／引坂理絵 セルビー／木村 昴 ほか

©久保帯人／集英社・「BURN THE WITCH」製作委員会

ダンジョン最奥を目指すライオスたち OP主題歌はBUMP OF CHICKEN

TV 1月

ドラゴンに喰われてしまった妹を消化される前に救い出す。そんな想いを抱くライオスは、「食糧は、迷宮内で自給自足する！」と決意し、再びダンジョンへ。

来年1月から放送が始まる期待作。その第一弾PVが公開され、BUMP OF CHICKENによるOP主題歌「Sleep Walking Orchestra」が初披露された。さらに、原作者・九井諒子から記念イラストも到着した。

ダンジョン最奥を目指し、いざ出発！

ダンジョン飯

▶1月 NHK

STAFF 原作／九井諒子 キャラクターデザイン／ CAST ライオス／ 中村悠一 チルチャック／ 田中真弓 ほか

©九井諒子・KADOKAWA 刊／「ダンジョン飯」製作委員会

ANIME 未定
ヒーローたちの活躍に瞠目せよ！

すでに発表されているbilibiliとアニプレックスの共同プロジェクト。そのメインテーマを澤野弘之が手掛けることが発表された。

さらに、鮮烈な印象のティザーPVが公開。「人は誰しも平凡で、即ち、英雄である」というコピーの意味するものとは!?

TO BE HERO X
▶アニメ制作決定
STAFF メインテーマ／澤野弘之
CAST 未定

©bilibili/BeDream, Aniplex

TV 1月
人生は神ゲーかクソゲーか
自己研鑽を続ける友崎に新たな試練!?

人生は本当にクソゲーなのか……。学園のパーフェクトヒロイン・日南葵の指南により、生徒会選挙や夏休みイベントを通じて、同級生と関わることが増えてきた友崎。ゲーム三昧の日々では経験できなかった日常と対峙し、さまざまな人間関係に想いをめぐらす。そんななかで、少しずつレベルアップしているように見えるのだが!?

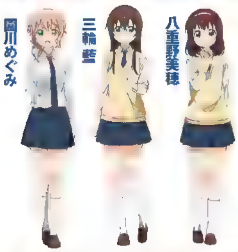
人気青春ラブコメの第二期が来年1月から放送開始！　最新キービジュアルには、葵たちがずらり。しっかりリア充をしているように見えるものの、友崎の表情はやや固め!?

また、不器用な彼らの青春模様をOP・EDともにDIALOGUE＋の新曲が鮮やかに彩ってくれる！

弱キャラ友崎くん 2nd STAGE

©屋久ユウキ・小学館　「弱キャラ友崎くん2」製作委員会

MOVIE 2024年
豪華キャスト発表
撫子の友だち3人



アイスをめぐって真剣に争ったり、友だちと笑い合ったり、誰も知らない秘密の話にドキドキしたり……。大室三姉妹が織り成す、ゆるくておかしな日々が描かれる中編劇場版。来年の公開が待ち遠しいなか、本作を彩る撫子の友だち3人の設定画&豪華キャストが公開された！

クリアファイル付きムビチケも発売中♪

『大室家 dear sisters』『大室家 dear friends』
▶2024年全国ロードショー

©なもり・一迅社　「大室家」製作委員会

MOVIE 11月
原潜による核大戦の危機が迫るなか
公安9課に立ちはだかる三つ巴の戦闘

奪取された原子力潜水艦による核大戦の危機が迫るなか、公安9課、アメリカ、ポスト・ヒューマンによる三つ巴の戦闘が激化していく――。

サイバーパンクSFの金字塔『攻殻』シリーズの最新劇場版が間もなく公開！

攻殻機動隊 SAC_2045 最後の人間
▶11月23日
STAFF ……ターデザイン／Ilya Kuvshinov　制作／Production I.G×SOLA DIGITAL ARTS
CAST 草薙素子／田中敦子　荒巻大輔／中 博史　バトー／大塚明夫　トグサ／山寺宏一　イシカワ／仲野 裕 …… ムラタカシ／林原めぐみ　ほか

©士郎正宗・Production I.G/講談社・攻殻機動隊2045製作委員会

TV 1月
珍妙な客たちと一緒に盛り上がる
バス江ママとチーママの明美さん

北海道最大の繁華街すすきのから5駅離れた北24条。この町の「スナックバス江」は、バス江ママと、チーママの明美さんがいる楽しいお店。彼女たちと珍妙な常連＆一見さんが織りなす笑いがあふれている。

すでにアニメ化が発表されているフォビドゥン澁川のギャグコメディ。本作を盛り上げるキャラたちの設定画が到着。放送が待ち遠しい！

スナックバス江

©フォビドゥン澁川／集英社・「スナックバス江」常連一同

BD's LABO

NEW RELEASE BD INFORMATION

PICK UP!① TV+OVA+MOVIE ギヴン Blu-ray Disc BOX

11/15発売

『映画 ギヴン 柊mix』公開を来年に控え、既作品を網羅したBlu-ray Disc BOXが発売

印象的な歌声を持つ高校生・佐藤真冬と同級生のギタリスト・上ノ山立夏、ベースを担う大学院生の中山春樹と大学生ドラマー・梶秋彦。4人が織り成すほろ苦い恋愛模様とは……。19年放送のTVシリーズ全11話＋20年公開の映画＋21年発売の原作漫画単行本7巻付属OVAを収録したBlu-ray Disc BOX。特典は原作者・キヅナツキ描き下ろし漫画掲載の特製リーフレット他。

◀元カレと断ち切れない関係を続けてきたド

◀真冬は今は亡き幼馴染で元恋人の……してくれた立夏に

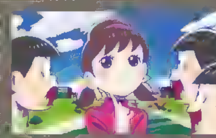
DATA ズ構成 総作画監督 ン制作／Lerche 他■佐藤真冬／矢野奨吾 中山春樹／中澤まさとも 梶 秋彦／江口拓也 他■アニプレックス・フジテレビジョン／29,700円（税込）

PICK UP!② MOVIE「おそ松さん～魂のたこ焼きパーティーと伝説のお泊まり会～」通常版 Blu-ray

11/24発売

6つ子たちに加え、幼なじみのチビ太や、トト子・にゃーら女子メンバーが、松野家で開催される「たこ焼きパーティー」と「お泊まり会」に参加することに！ 今年7月に劇場にて公開された本作が、Blu-rayとDVDで登場。通常版は初回封入特典として、キャラクターデザイン・安彦英二による描き下ろしイラストジャケットステッカーや特製ブックレットが付属している。

……める6つ子たち



◀6つ子が想いを寄せるトト子。今回は彼らに千載一遇の好機が!?

DATA ……トト子／遠藤 綾 他■エイベックス・ピクチャーズ／9,900円（税込）（通常版 DVDは8,800円（税込）で同時発売）

LIVE 結束バンドLIVE-恒星-

Blu-ray【完全生産限定版】

後藤ひとりがリードギターを担う、アニメ『ぼっち・ざ・ろっく!』に登場する結束バンド。今年5月に開催された結束バンドのライブが、全16曲収録のBlu-ray&DVDで発売。【完全生産限定版】は特典に、オフィシャルフォトブック他同梱。音声&映像特典も多数。

11/22発売 ■原作／はまじあき（芳文社「まんがタイムきららMAX」連載中）■出演／青山吉能 後藤ひとり役、鈴代紗弓（伊地知虹夏役 水野 朔（山田リョウ役）、長谷川育美（喜多郁代役） バンドメンバー／生本直毅（Gt） 五十嵐勝人（Gt）、山崎英明（Ba） 石井悠也（Dr）、サウンドプロデューサー／三井律郎■アニプレックス／8,800円（税込）（DVD［完全生産限定版］は7,700円（税込）で同時発売）

TV 夢見る男子は現実主義者

Blu-ray 第1巻

クラスメイトの夏川愛華に恋い焦がれ、アプローチを続ける佐城渉。だがある日、渉は自分が愛華と釣り合わないと気づき、距離を取りはじめる。1～4話収録の第1巻は、特典に原作者・おけまる書き下ろしショートストーリー収録の特製ブックレット他が付属。

11/22発売 ■原作／おけまる『夢見る男子は現実主義者』（HJ文庫/ホビージャパン） キャラクター原案／さばみぞれ 監督／古賀 臣 シリーズ構成／横手美智子 キャラクターデザイン／小関 雅 他■佐城 渉／宮瀬尚也 夏川愛華／涼本あきほ 芦田 圭／花守ゆみり 他■ポニーキャニオン／8,800円（税込、（ポニーキャニオン通販サイト「きゃにめ」限定販売のきゃにめ限定版BD［完全数量限定版］は、9,900円（税込）で同時発売）

TV+OVA カレイドスター

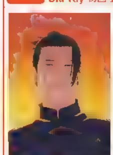
～20年目の すごい Blu-ray BOX～

サーカスとミュージカル、マジックを組み合わせたカレイドステージに憧れ、単身渡米した苗木野そら。彼女の成長と活躍を描くTVアニメ全51話＋OVA全3作収録のBlu-ray BOXが、廉価版で再登場。特典には新規録りおろしのラジオCD他が付属している。

11/23発売 ■原案・監督／佐藤順一 シリーズ構成／吉田玲子 キャラクターデザイン・総作画監督／渡辺はじめ、追崎史敏 他■苗木野そら／広橋 涼 レイラ・ハミルトン／大原さやか フール・フール／子安武人 他■ハピネットファントム・スタジオ、ハピネット・メディアマーケティング／32,780円（税込）

TV「呪術廻戦 懐玉・玉折 2」

Blu-ray 初回生産限定版



大切な人との別れが惜しくなり、天元との同化を拒否した天内理子。「帰ろう」と手を差し伸べる夏油傑だが、彼の前に伏黒甚爾が現れた！ #28～29収録の2 初回生産限定版は、今年7月開催のイベントの模様を収録したスペシャルDVD他の特典が付属する。

11/22発売 ■原作／「呪術廻戦」芥見下々（集英社「週刊少年ジャンプ」連載） 監督／御所園翔太 シリーズ構成・脚本／瀬古浩司 キャラクターデザイン／平松禎史、小磯沙矢香 他■五条 悟／中村悠一 夏油 傑／櫻井孝宏 家入硝子／遠藤 綾 天内理子／永瀬アンナ 伏黒甚爾／子安武人 他■東宝／7,480円（税込）（DVD 初回生産限定版は6,380円（税込）で同時発売）

MOVIE プリンセス・プリンシパル Crown Handler

第3章 Blu-ray特装限定版

エドワード王子暗殺を機に、アルビオン王国は誰が王位を継ぐかで混乱する。アルビオン共和国は王国側の情勢を探るべく、アンジェたちチーム白鳩に潜入任務を下す。特装限定版は映像特典に、完全新作OVA「Cost for Custom Cars」他を収録。

11/22発売 ■監督／橘 正紀 シリーズ構成・脚本／木村 暢 キャラクター原案／黒星紅白 キャラクターデザイン／秋谷有紀恵、西尾公伯 他■アンジェ／古賀 葵 プリンセス／関根明良 ドロシー／大地 葉 ベアトリス／影山 灯 ちせ／古木のぞみ 他■バンダイナムコフィルムワークス／8,580円（税込）

WEB 攻殻機動隊 SAC_2045 Season 2

Blu-ray BOX（特装限定版）

ポスト・ヒューマンに対抗すべく再結成した公安9課。廃墟と化した東京で公安9課を待ち受けていたのは、「N」と名乗る難民集団と、アメリカの特殊部隊だった。全12話収録のBlu-ray BOX（特装限定版）は、各種設定画掲載のArt Book他を封入する。

11/22発売 ■原作／士郎正宗「攻殻機動隊」（講談社 KCデラックス刊） 監督／神山健治×荒牧伸志 シリーズ構成／神山健治 キャラクターデザイン／Ilya Kuvshinov 他■草薙素子／田中敦子 荒巻大輔／中 博史 バトー／大塚明夫 トグサ／山寺宏一 イシカワ／仲野 裕 サイトー／大川 透 パズ／小野塚貴志 ボーマ／山口太郎 タチコマ／玉川砂記子 他■バンダイナムコフィルムワークス／38,500円（税込）

TV TVスペシャルアニメ「五等分の花嫁∽」

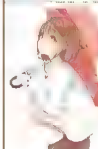
Blu-ray

家庭教師として五つ子姉妹を卒業まで導く上杉風太郎。高校最後の夏休み、家庭教師を休むと告げた風太郎だが……。前・後編収録のBlu-rayは、来年4月開催の「五等分の花嫁 5th Anniversary EVENT in 横浜アリーナ」チケット優先販売申込券他の特典が付属。

12/6発売 ■原作／春場ねぎ『五等分の花嫁』（講談社「週刊少年マガジン」） 監督／宮本幸裕 シリーズ構成／大知慶一郎 キャラクターデザイン／勝又聖人、湖月一也 他■上杉風太郎／松岡禎丞 中野一花／花澤香菜 中野二乃／竹達彩奈 中野三玖／伊藤美来 中野四葉／佐倉綾音 中野五月／水瀬いのり 他■ポニーキャニオン／8,800円（税込）（DVDは7,700円（税込）で同時発売）

MOVIE 青春ブタ野郎はおでかけシスターの夢を見ない

完全生産限定版 Blu-ray



別人格「かえで」が残した願いを叶えるため、兄・咲太と同じ高校を目指す梓川花楓。だが受験中、花楓は体調を崩してしまう。今年6月公開の映画がBlu-ray＆DVDで発売。完全生産限定版は来年開催予定のイベントチケット優先販売申込券他を同梱。

11/29発売 ■原作／鴨志田 一（電撃文庫刊「青春ブタ野郎」シリーズ） 原作イラスト／溝口ケージ 監督／増井壮一 構成・脚本／横谷昌宏 キャラクターデザイン・総作画監督／田村里美 他■梓川咲太／石川界人 桜島麻衣／瀬戸麻沙美 梓川花楓／久保ユリカ 他■アニプレックス／8,800円（税込）（完全生産限定版 DVDは7,700円（税込）で同時発売）

TV「マーメイドメロディー ぴちぴちピッチ」

アニバーサリーBD-BOX

03～04年にTV放送された『マーメイドメロディー ぴちぴちピッチ』全52話と、04年にTV放送された続編『マーメイドメロディー ぴちぴちピッチ ピュア』全39話を収めたBD-BOXが登場。ハイレートSD画質で再誕したマーメイドプリンセスの物語を堪能しよう。

11/29発売 ■原案／講談社・ウィーヴ まんが／花森ぴんく 監督／ふじもとよしたか シリーズ構成／武上純希 シナリオ／横手美智子 キャラクターデザイン・総作画監督／まきだかずあき 他■七海るちあ／中田あすみ 宝生波音／寺門仁美 洞院リナ／浅野まゆみ 堂本海斗／岸尾大輔 他■フロンティアワークス／29,700円（税込）

TV TVアニメ「ライアー・ライアー」

第1巻 Blu-ray

学生同士がランクを決める決闘を繰り広げる学園島。転校初日に絶対王者・彩園寺更紗を陥落させ、最強の称号を得た篠原緋呂斗だが、それらはすべて嘘だった！ #01～04収録の第1巻は、原作者・久追遥希書き下ろし小説他の特典を封入している。

11/29発売 ■原作／久追遥希（MF文庫J『ライアー・ライアー』/KADOKAWA刊） キャラクター原案／konomi（きのこのみ）、幸奈ふな 監督／大野 悟、松浦直紀 シリーズ構成／豊田百香 キャラクターデザイン／中村ユミ 他■篠原緋呂斗／中村源太 姫路白雪／首藤志奈 彩園寺更紗／倉持若菜 他■サイバーエージェント／13,200円（税込）

Blu-ray はみ出し情報！

秋を飛び越え一気に冬になり、体も心も暖かさがほしい今日この頃。15日発売の『ウマ娘 プリティーダービー 4th EVENT SPECIAL DREAMERS!! EXTRA STAGE』や29日発売の『俺ガイルFes.-FINAL-ファンディスク』、少し先の12月22日にリリースされる『劇場版アイドリッシュセブン LIVE 4bit BEYOND THE PERiOD Blu-ray BOX（特装限定版）』等、ライブイベント収録のタイトルで会場の熱気を感じ取ろう。22日にはあらゆる理不尽を薙ぎ払う《不適合者》の活躍を描く『魔王学院の不適合者 Ⅱ 3（完全生産限定版）』が、24日には人間の勇者ヘルクが新魔王の座をかけた競技会に挑む『TVアニメ『Helck』1巻』がそれぞれ登場。元魔王と勇者が放つ圧倒的パワーに酔いしれろ！ そんな中でも注目なのは、12月20日発売の『劇場版「美少女戦士セーラームーンCosmos」』。絶望的な状況下、最後の戦いに挑むエターナルセーラームーンの勇姿を心に刻もう。

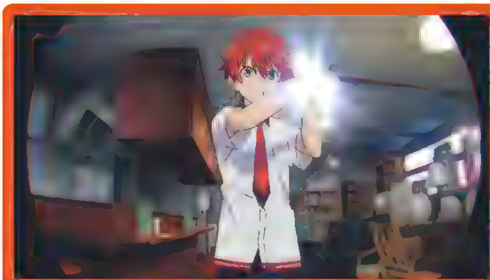
©キヅナツキ・新書館／ギヴン製作委員会 ©赤塚不二夫／おそ松さん製作委員会 ©おけまる・ホビージャパン／「夢見る男子は現実主義者」製作委員会 ©はまじあき／芳文社・アニプレックス
©士郎正宗・Production I.G/講談社・攻殻機動隊2045製作委員会 © Princess Principal Film Project ©芥見下々 集英社・呪術廻戦製作委員会
©2003 佐藤順一・HAL・GONZO／カレイドステージ ©2005 佐藤順一・HAL・GONZO／カレイドステージ ©2023 久追遥希/KADOKAWA/ライアー・ライアー製作委員会 ©講談社・フリュー・テレビ愛知／ぴちぴちピッチ製作委員会
©2022 鴨志田 一/KADOKAWA/青ブタ Project ©春場ねぎ・講談社／「五等分の花嫁∽」製作委員会

Blu-ray
Blu-rayクロスレビュー
CROSS REVIEW

イラスト：古川ふみ

「グリッドマン ユニバース」

●ポニーキャニオン　●発売中



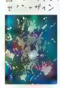
グリッドマンが宿っていた期間の記憶を失い、日常に戻った響裕太。2年に進級し宝多六花や内海将と別クラスになってしまったものの、3人の友情は変わらず続いていた。

文化祭で六花に告白すると決意する裕太だが、そんな矢先に再び怪獣が出現。自身の意思でアクセスフラッシュを行う裕太は、グリッドマンとの合体を果たすのだった。

多次元宇宙の収束により出現した怪獣。その影響か、別世界の存在である麻中蓬や南夢芽も、ツツジ台に迷い込んでくるのだが――。

DATA メーカー／ポニーキャニオン　発売日／10月25日（水）　価格／［Blu-ray特装版］13,200円（税込）、［Blu-rayきゃにめ限定版］22,000円（税込）、［Blu-ray通常版］6,380円（税込）、［DVD通常版］5,280円（税込）　商品番号／［Blu-ray特装版］PCXP-51009、［Blu-rayきゃにめ限定版］SCXP-00158、［Blu-ray通常版］PCXP-51010、［DVD通常版］PCBP-54611　その他／今年3月24日公開の劇場アニメ。［Blu-ray特装版］は特典に128Pブックレット付属。グリッドマンデザイン・後藤正行描き下ろしイラスト使用・方背ケース&キャラクターデザイン・坂本勝描き下ろしデジパック仕様他。［Blu-rayきゃにめ限定版］はGSC社製限定フィギュア［野中剛デザイナーズカラー THE合体 グリッドマン（Universe Fighter）ネクストヒッツ[illegible]ver.］付属。限定フィギュアは後日発送（24年4月頃予定）。全形態共通特典に24年4月7日開催「グリッドマン ユニバース ノヨ[illegible]」優先販売抽選申込券を封入。［公式HP https://ssss-movie.net/］

STAFF 原作／グリッドマン　監督／雨宮哲　脚本／長谷川圭一　キャラクターデザイン／坂本勝　サブキャラクターデザイン／中村真由美　グリッドマンデザイン／後藤正行（円谷プロ）　ダイナゼノンデザイン／野中剛　ヒロイック作画チーフ／牟田口裕基　3DCGチーフディレクター／宮風慎一　美術監督／権瓶岳斗（ヴァーディ）　色彩設計／武田仁基　音楽／鷺巣詩郎　音響監督／郷文裕貴　アニメーション制作／TRIGGER　配給／東宝映像事業部　他



CAST グリッドマン／緑川光　響裕太／広瀬裕也　内海将／斉藤壮馬　宝多六花／宮本侑芽　麻中蓬／榎木淳弥　南夢芽／若山詩音　山中暦／梅原裕一郎　飛鳥川ちせ／安済知佳　レックス／鈴村健一　キャリバー／高橋良輔　マックス／小西克幸　ボラー／悠木碧　ヴィット／松風雅也　六花ママ／新谷真弓　なみこ／三森すずこ　はっす／鬼頭明里　ナイト／鈴村健一　2代目／高橋花林　他

大仏三郎

『SSSS.GRIDMAN』と『SSSS.DYNAZENON』の未消化だった伏線が、綺麗に解決する完結編。『SSSS.GRIDMAN』時の記憶を失った裕太に焦点が当たった物語なのも、最終決戦にアカネが介入する展開も、満点以外つけようがない傑作！

★★★★★

あさりよしとお

『SSSS.GRIDMAN』と『SSSS.DYNAZENON』、双方を観たお客さんのために用意されたボーナストラックという印象。作品単体での満足度は低いが、両作品を観たのなら本作も観ておかないと終われないという、締めの一本である。

★★★★

むっちりむうにい

アクションと青春が一体進行の本作。ラブで始まりバトルして、ラブで終わるんですよ。なのにエンドロール後はカニを囲む不思議。『SSSS.GRIDMAN』と『SSSS.DYNAZENON』のキャラが同じ空間で会話してるのはワクワクしますね！

★★★★

ぶるマほげろー

夢の競演が結構序盤、あっさりめに実現しますが、その後もラブコメやバトルアクション、予想外の展開で見所てんこ盛り。『SSSS.GRIDMAN』『SSSS.DYNAZENON』の視聴前提かつ、含有情報量がスゴいので、複数回視聴必須の傑作。

★★★★★

タカハシヒョウリ

まさに「総力戦」。調子に乗って特盛りラーメンを頼んだら、絶対食べきれない量が目の前に着丼した時、感嘆にも似た笑いが溢れるのにも似ている。「この祭りが待っている」という理由でシリーズを見てもいいというほどの熱量。

★★★★

劇場アニメ
「らくだい魔女 フウカと闇の魔女」

●ポニーキャニオン　●発売中

銀の城のプリンセス・フウカは、失敗ばかりの「らくだい魔女」。ある日の夜、部屋にやってきた黒の城のお姫さま・リリカに誘われ、フウカは「闇の魔女」メガイラが封じられた「黒水晶の腕輪」の封印を解いてしまった。

メガイラの力で異界に飛ばされるフウカだが、そこにあったのは怪しさ満点の「わくわく！メガイラ遊園地」。

同じ異界に迷い込んでいた友達のチトセとカリン、そしてリリカの兄・キースと共に、フウカは心を闇に落とそうとする遊園地に挑む！

DATA メーカー／ポニーキャニオン　発売日／10月10日（火）　価格／［きゃにめ豪華版Blu-ray］15,400円（税込）、［初回限定版Blu-ray］8,800円（税込）、［初回限定版DVD］8,800円（税込）、［通常版DVD］4,400円（税込）　商品番号／［きゃにめ豪華版Blu-ray］SCXG-00255、［初回限定版Blu-ray］PCXG-50817、［初回限定版DVD］PCBG-53538、［通常版DVD］PCBG-53539　その他／今年3月31日公開の劇場アニメ。［初回限定版Blu-ray］［初回限定版DVD］は特典に、ミニ原画集やボイスDLカード他封入。［きゃにめ豪華版Blu-ray］は加えて、新規描き下ろしイラスト キャンバスアートⅠ（フウカ・チトセ・カリン）、新規描き下ろしイラスト キャンバスアートⅡ（キース・リリカ）、主題歌&オリジナルサウンドトラックCD付属。［公式HP https://anime-rakumajo.com/］

STAFF 原作／「らくだい魔女」シリーズ 作・成田サトコ 絵・千野えなが（ポプラ社刊）　監督／浜名孝行　脚本／吉村清子　キャラクター原案／千野えなが　アニメーションキャラクターデザイン・総作画監督／杉田まるみ　色彩設計／大塚眞純　美術監督／青井孝、岡本好司　3D／高賀茂寛人　音響監督／小泉紀介　音楽／成田旬、山崎泰之　配給／ポニーキャニオン　アニメーション制作／Production I.G　製作／アニメ「らくだい魔女」製作委員会　他

CAST フウカ／井上ほの花　チトセ／田村睦心　カリン／石見舞菜香　キース／小野賢章　リリカ／佐倉綾音　メガイラ／日笠陽子　レイア／田中理恵　アヘル／福山潤　グラウディ／魚建　ロイド／小西克幸　カレン／花守ゆみり　パティ／遠藤綾　セシル／白砂沙帆　カイ／岡本信彦　他

▲風を司る銀の城のプリンセス・フウカ（中央）と、親友の植物を司る緑の城のプリンセス・カリン（右）。時を司る青の城の王子さま・チトセ（左）はフウカの幼なじみ

▲フウカたちとは異なり[illegible]を使う、穏やかな黒の城の王子さま・キース

▲とある理由からフウカを敵視（？）する、黒の城のプリンセス・リリカ（右）

大仏三郎

悪に染まらざるを得なかったメガイラの心をフウカが救う、王道中の王道ストーリー。これ一本のみ視聴だとわからない要素が散見するものの、どの世代の誰が観ても楽しめる良作。キャラの表情作画が素晴らしかったのも高評価点。

★★★★★

あさりよしとお

原作のシリーズの設定と物語をもとに一時間のアニメを作った分、展開が駆け足かつ説明セリフが多い。だがドラマの誘導とキャラ描写が上手く、一気に観られる。内容を咀嚼する間がないので、感動が薄いのがもったいない。

★★★★

むっちりむうにい

原作未読な自分でも、すんなり観れる作品でした。人間関係の説明は、ざっくりですが問題なし。キャラが増えても個性的かつかわいいので、掛け合いが楽しかったです。個人的にはエンドロールで流れるイラストが最高でした！

★★★★★

ぶるマほげろー

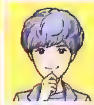
良質な作画で、キャラも文句なしのかわいさ。フウカちゃんのアイドルムービーとしても最高で、EDも素晴らしい。でもProduction I.G制作と思うと、もう一段上のレベルのものを期待してしまうのはマニアのダメな性なのか……？

★★★★★

タカハシヒョウリ

17年の歴史を持つ児童作品に最大限の敬意を込めた、素晴らしい完成度。友人や親との関係に恋、子ども時代にも大人と変わらないだけの葛藤と不安があるよね。ファンタジーだからこそストレートに伝えられることがあると思う。

★★★★

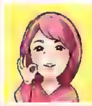


ミュージシャン
多才を奏でる音楽人
タカハシヒョウリ

この秋は特撮関係が盛り上がり、僕も寄稿が多めの季節。そんな中、作詞させていただいたアイドルグループukka（ウッカ）さんの楽曲「ティーンスピリット」が配信中です。12月発売のメジャー1stアルバムからの先行配信曲で、楽しい曲なのでチェックしてね。

マンガ家
作画に向ける鋭い視線
ぶるマほげろー

先月配信されたWebアニメ『ガンダムビルドメタバース』。10周年を数える「ガンダムビルドシリーズ」キャラの総出演が話題になりましたが、『機動武闘伝Gガンダム』等で知られる佐野浩敏さんが約10年ぶりにアニメの作画を手掛けられたことにも感動！



マンガ家
耽美と萌えにキラリ輝くその瞳
むっちりむうにい

最近引っ越したのですが、時間がなくて徹夜で荷造りの梱包地獄でした。断捨離していたはずなんですが、8月末に発売の『王様戦隊キングオージャー キャラクターブック We're KING!!!!!!』を手にする自分を顧みて、あれは幻だったんだなと深く反省しています。

マンガ家
厳しい評価は愛ゆえに
あさりよしとお

22～23年公開のアニメ映画のソフトが次々発売中。なかでもヘビーローテーションしてるのが『すずめの戸締まり』と『BLUE GIANT』。前者は"かつて人で賑わっていた廃墟"というモチーフがツボ。後者は原作再構成の上手さと音楽にぶん殴られる体験にやられました。

フリーライター
萌える心のへちライター
大仏三郎

薬不足が報道されている昨今ですが、先月頭に風邪を引いた俺にも直撃でした。病院で処方箋もらって薬局行ったら薬がない。数件回っても、どこも在庫がなかったので、市販薬に頼らざるを得ませんでした。まだ薬不足は続いている様子なので、皆さんお気をつけて。

本文中にある★は、各コメンテーターのオススメ度を表しています。最高点は★★★★★。

★★★★★ レンタルとかじゃダメ！個人的には購入したい！
★★★★ ：文句なしにオススメ。とにかく観て！
★★★ ：一見の価値はあります。
★★ ：ヒマ潰しにどうぞ。
★ ：宿題の方が重要です。

以上、意見と共に参考にして下さい。

©円谷プロ ©2023 TRIGGER・雨宮哲／「劇場版グリッドマンユニバース」製作委員会
©成田サトコ・千野えなが・ポプラ社／アニメ「らくだい魔女」製作委員会

Actors animage+
2.5次元舞台×アニメージュ

撮影＝大山雅英　ヘアメイク＝村田 樹、櫛川桃菜
スタイリング＝中村美保
【衣装】シャツ　SUPER THANKS/karan
パンツ＝ roqyo sr/karan　靴　スタイリスト私物
【問】スタイリスト私物
問　合わせ先 karan ☎03 6231 9051

阪本奨悟

亀頭炭治郎役

さかもと しょうご
1993年6月13日生まれ／長崎県出身
主な出演作は演劇舞台『xxxHOLIC』（四月一日君尋）、『ワールドトリガー the Stage』（九鬼修羽役）（ビエース）ほか

辻凌志朗

子髓天元役

つじ りょうしろう
1993年7月13日生まれ／千葉県出身
主な出演作は舞台『わたしの幸せな結婚』（帝都陸軍オクツキ奇譚-（義上 勇）、舞台『キノの旅 -the Beautiful World-』（エルメス）ほか

舞台「鬼滅の刃」其ノ肆 遊郭潜入

舞台「鬼滅の刃」シリーズ4作目がいよいよ開幕！
そのタイトル通り、今回の舞台は煌びやかな夜の街・遊郭。無限列車での任務を通して
また一つ成長した竈門炭治郎が、音柱・宇髓天元と共に遊郭へ潜入調査する！

役作りの筋トレで自己肯定感を上げた

――ついに舞台「鬼滅の刃」も4作目となります。出演が決まった時の気持ちを教えてください。

阪本　僕は今回が初参加です。もともとから原作を読んでいて、TVアニメも観て、劇場版も何度も観に行った大好きな作品だったので、お話をいただいた時は光栄な気持ちでいっぱいでした。ただ、すでに舞台シリーズも3作あり、それを自分がしっかりと受け継いでいかないといけないというプレッシャーはすごく大きかったです。

辻　僕は2作目の「絆」から出演していますが、3作目の「無限列車」を観た後に、急に「あ、ヤバい。遊郭潜入」までもう1年しかない」となって（苦笑）。そこから「残された1年間で何ができるんだろう」という思いは常に頭の中にありましたし、一日も忘れたことはなかったですね。この1年間は舞台「鬼滅の刃」に向けての不安と葛藤と、自分を意気揚々とさせるための日々でした。

――1年間、役作りのため具体的にどんなことをされたのですか？

辻　トレーニングは毎日しましたね。そのせいで、他のシリーズ作品の衣装が入らなくなっちゃって。身体を大きくしようとすると顔周りもムチッとするので、ビジュアル撮影でも頬がものすごく不細工になるんです。

阪本（笑）。

辻　そこをどうにか調整しつつ、1年間でしたね。

――原作の遊郭編を読んで、どのような印象を持ちましたか？

阪本　「兄弟」が大きなテーマになっているなと思いました。炭治郎と禰豆子だけでなく、今回は義勇の狛治と巌勝の兄弟であり、面白い部分なのかなと。だから僕としては、狛治と巌勝と巌勝と巌勝とのコントラストを意識しつつ、炭治郎と禰豆子の兄妹愛をしっかりと二人で表現しなきゃいけないなと思いましたね。

辻　遊郭という舞台そのものが、煌びやかで美しい面と、人間の欲にまみれたドロドロ汚い面の両方を併せ持った空間じゃないですか。そこで繰り広げられる物語に、他の世では全く宇髓が潜入するというところが深いなと思いました。

――宇髓のイメージ、いかがでしょうか？

辻　そうなんですよ。悲鳴嶼や死川ではなく、ましてや煉獄でもなく、宇髓だからこそ見せられるこだわりがあると思うので。

――あらためて、演じるキャラクターの印象をお聞かせください。

阪本　炭治郎は本当にいい子です！

辻　間違いない！（笑）

阪本　僕は30年生きてきた中でいろいろなことを経験したし、その中で

■11月12日～19日（メルパルクホール大阪）
■12月1日～10日（TOKYO DOME CITY HALL）
HP ■ https://kimetsu.com/stage/2023/
©吾峠呼世晴／集英社
©舞台「鬼滅の刃」製作委員会

炭治郎は僕がこうありたかった人間そのもの

に思い描いていた自分には全然なれなかったんです。でも、炭治郎は絶対に責めない。そんな生き方を15歳でできていることが、もう尊敬でしかないです。僕が「本当はこうありたかった」人間をのものと言いますか、まっすぐでブレない軸をもって生きている、大きな敵と対峙しても絶対に折れないし、ボロボロになっても戦い続ける強い心を持っています。見かけも炭治郎に通いついていかなきゃいけないなと思わされますね。

辻　宇髄の第一印象と言うと、柱合裁判前に柱が集合するシーンになるので、「ヤバいヤツだな」でしたね（笑）。でも、今回の遊郭編を読んで、彼の人間性が見えてきて、いろいろと納得できました。僕もそうなのですが、宇髄って実は自己肯定感が低いと思うんですよね。だからこそ派手な身なりをするし、自分を大きく見せようとする。それは宇髄を演じるにあたって、僕もいろいろな人を見てきて感じたことですが、鍛えることで自分を補おうとしているというか。

坂本　ああ、それはちょっと分かるかもしれない。

辻　それは決して悪いことじゃないし、僕もトレーニングするようになって自分に少しずつ自信が持てるようになりました。ポジティブな感情が生まれてきましたね。

――最近は「筋肉はすべてを解決する」といった言葉もありますものね。

辻　そうなんですよ！　稽古場でもみんなに言っているんですけれど、筋トレをやると身体が健康になるだけでなく、思考も変わるんです。10回でもいいと言われたトレーニングでも、筋トレが楽しくなると、そこからさらに3回やるようになったりし、「前にプラス3回」を求める思考になる。すべてにおいて現状に満足しないポジティブな精神になれるんです。だから、本当にいいことしかない！　でも、これを話し出すと、みんなに怒られますが（笑）。

坂本　（笑）。筋トレでメンタルが変わるという話はすごく分かります。僕も筋肉が付きづらいので、それが嫌で筋トレを始めたんです。今年は女装の役があったので、一旦落としちゃったんですが、筋トレすると自信を持てますよね。

辻　そうそう！

坂本　原作でも、宇髄さんが妓夫太郎に「お前は生まれた時から特別な奴だったんだろうなぁ」と言われて、「俺程度でそう見えるならテメェの人生幸せだな」と返すじゃないですか。「俺は煉獄のようにはできねぇ」から、それを補うために鍛錬するし、そうやって強くなっていったんだなぁって、今の話を聞いていて思いました。

――トレーニングで言うと、鬼滅は体力も必要ですよね。本作はとにかく炭治郎が出ずっぱりで、とても大変そうに見えます。

辻　まずは稽古がもの凄くキツそうだもんね。

坂本　そうですね（苦笑）。本当に体力をつけないとやっていけないと思います。とくに前半戦は「炭治郎vs堕姫」がメインで、宇髄さんや青葉、伊之助たちが参戦するのは後半からなので。とにかく殺陣の分量が多いし、歌もセリフも多いし……いや、もう何もかも多いか（笑）。歌の中で一度整理して、ちょっと溜み砕いてというように、三歩進んで二歩下がる状態でやっていきます。

余裕に見えていても稽古場では全集中！

――炭治郎と宇髄は今作から本格的に関わることになりますが、二人の関係性はどうなっていくのでしょうか？

坂本　炭治郎から見ると、宇髄さんは「完成されている剣士」という印象です。本編でも、炭治郎が宇髄さんを見ながら、煉獄さんを思い浮かべているというシーンがあって、やっぱり柱の存在の大きさみたいなものは、どの柱にも通ずるんだなと感じましたね。

辻　宇髄はもう大人ではありますが、今作を通して、炭治郎の諦めないまっすぐな姿に影響されるところも大きいと感じます。今回の戦いの中で、宇髄の成長も確かにあると思うし、それは炭治郎から受け取るものが大きいのではと思いますね。

――今回の敵となる、堕姫と妓夫太郎の兄妹もお聞かせください。

坂本　殺人は絶対にしちゃいけないし、罪は罪ですが……でもこの兄妹は、そうせざるをえなかったんですよね。

坂本　本当にそうですよね。

竈門炭治郎

かまど たんじろう

鬼となった妹・禰豆子を人間に戻すために、鬼殺隊となる。炎柱・煉獄杏寿郎から託された思いを胸に、鬼狩りとしての研鑽を積む

辻　そんな二人の理不尽さが半端ない人生が描かれていきます。特に妹夫太郎は、男の感情の塊みたいな人生で、演じるのも大変だと思いますが、役者としてはものすごくやりがいのある役なのではと思います。ただ、演じている遠山裕介さんは先日お子さんが生まれて、幸せいっぱいです。「宇髄のこと」全然嫌んでないよ！と僕に言ってきました（笑）。

版本　幸せな妹夫太郎（笑）。（公式HPのキャラクタービジュアルを見ながら）二人とも衣装とメイクがすごいですよね。堕姫の帯も大きくうねっていて。というか、この厚底でやるの!?

辻　ごつつい厚底。稽古だとめちゃくちゃ激しい動きだけど、どうするんだろう。

版本　これはヤバいぞ！

辻　こんなの動けないよね！

版本　稽古場はきさんどのような様子ですか？

版本　もう必死ですよ。

辻　必死です。余裕がある感じではない。

版本　そもそもこの作品って、舞台上でどうやるんだシリーズじゃないですか。空中で戦ったり、今回だと琴が何本も飛び出してきたりするのを表現するために、いろいろな工夫が必要だし、それを急ピッチで作っている段階なのでしています。でも、興悟を見ていると、みんな全集中すごいな。同い年なのに。やっているように見えるんだよね。

版本　いやそんなことない。家では「うわぁ～」ってなってるよ（笑）。

辻　そうなんだ！（笑）

版本　宇髄さんこそ、いつも余裕な感じだから、ノンストレスなんだろうなって思ってた。

辻　そんなことないない！　準備期間が長すぎたせいで、本当に緊張して現場入ったんですよ。

版本　確かに初日の稽古は、ちょっとだけ緊張していたよね。

辻　だんだんと慣れてきましたけれど、今でも初めてやるシーンは緊張しますね。

版本　本作で楽しみにしていることを教えてください。

辻　メルパルクホール大阪に立てるのはとても嬉しいですね。今年いっぱいで閉館ちゃうんですよ。

版本　寂しいですよね。でも、最後に立ててよかったなと思います。メルパルクに立つのは15年ぶりくらい……（ミュージカル『テニミュ』）で越前リョーマを演じて以来かな。当時は大阪公演といえばこの箱だったので、小屋入りしたあいろいろなものがフィットしたパターンしそうです。

版本　興悟は1stシーズンだよね？

辻　そう、1stシーズンの言学4代目。

版本　僕は3rdシーズン（東方雅美役）だから、2シーズン前か。あらためて考えると、早くから活躍していてすごいな。同い年なのに。

辻　でも、興悟を見ていると難なくやっているように見えるんだよね。みんだけどね（笑）。それこそ鬼舞辻無惨役の佐々木喜英さんとは、ミュージカル『テニミュ』の王子様『The Treasure Match』四天宝寺 feat. 氷帝公演ぶりだったね。Wキャストで本番は別だったんだけれど、稽古場では一緒だったし、『Dream Live』というコンサートの時は共演していましたね。この前、お会いしたのが本当に15年ぶりで、僕のことを覚えていてくれてよかったです。

辻　そりゃ座長なんだから覚えているでしょ（笑）。

版本　当時から僕の年齢になりましたと、15年って人生の2分の1か。

辻　僕もメルパルクは『テニミュ』以来なんですけれど、7～8年前のことなので、興悟に比べるとエピソードが薄すぎる（笑）。

版本　そんなことないよ（笑）。

辻　今回はセンターに立つ役として選ってこられたということは嬉しいし、感慨深いですね。思い入れのある劇場ですから。

―最後に公演を楽しみにしている読者へメッセージをお願いします。

辻　キャラクター全員がそれぞれのバックボーンと物語を持っていますが、僕らも熱い想いを持って板の上に立ちたいと思います。お客さんが一度にすべてを観ることは難しいかもしれませんが、舞台「鬼滅の刃」が表現するこの遊郭の世界と絆の力を、一緒に感じていただきたいと思います。

版本　現場では空気感やセットの動かし方など、続役のキャストさんたちにとても助けられています。この遊郭潜入は僕も含め、新キャストや新キャラクターもいっぱい出てくるので、今までの良さも残しつつ、新たな風を吹かせる作品にできたらと思っています。新しい舞台「鬼滅の刃」を楽しんでいただけたら嬉しいです。

宇髄天元

うずい てんげん

鬼殺隊を支える柱の一人で、音の呼吸を扱う一刀流の剣士。派手好きな性格で、自らを「派手を司る神」だと言い放つ。嫁が3人いる

宇髄って、実は自己肯定感が低いと思うんですよね

この作品の魅力は？

版本　僕は炭治郎・善逸・伊之助のショートコントみたいなやり取りが好きです。この3人、観ていてほわほわするんですよね。今回だと変装してわちゃわちゃしているところ……本編の中では本当に一瞬ですけど、問屋に残る置物だと思います。特に善逸と伊之助って、戦いの中でもやり取りが面白いじゃないですか。善逸は寝ながら戦うし、それを「こいつスゲェヤツだ」みたいな感じで伊之助が真面目に言うし。この二人がいてくれるからこそ、緊迫した鬼との戦いのシーンでもちょっと一息つけるので、メンタル的にも助けられています。

辻　僕は、宇髄と嫁3人の関係が好きです。稽古が始まる前は、みんなから「嫁が3人もいるなんて最高じゃないですか～」とからかわれて小っ恥ずかしかったのですが（笑）、ストーリーを見ていくと、嫁が複数いる理由も分かるんですよね。宇髄の派手好きな一面と、それだけじゃないルーツの部分も見えてきます。3人が宇髄を支えてくれているんだなと感じるし、4人で互いに補い合っている関係がすごく好きです。

今日もアニメ日和

第152回 アニメイト店員雑記

岡ノ部亨 真泰
アニメイト 本社勤務
好きなK-POPアーティストは、MAMAMOO。
アニメイト X(Twitter)➡@animateinfo

秋の新番組『アンデッドアンラック』が素晴らしすぎる……！　原作へのリスペクトをほとばしらせながらも、映像作品としての面白さも追求された演出の数々が白眉。あのシーンはどう表現されるんだろう、というワクワクが止まりませぬ。全話アニメにしてくれ!!　という叫びが響く、アニメイトの秋です。

これがグッズの花道よ！

今月のお題 描き下ろしグッズ

キャラグッズの花道と言えば、やはり**描き下ろしイラストを使用したアイテム**たち。新しい衣装や新しいポーズ、新しい髪型などで描かれたキャラクターの姿は、多くのファンの方々を沸かせます。お店でいろんなグッズを見てきましたが、**イラストによってグッズの売り上げが倍増する**と言っても過言ではありません。

おそらく、この世に数多存在するキャラクターグッズのメーカー企画職のみなさまは、どんな衣装、どんな表情でキャラの魅力を引き出すべきかを昼夜問わず全力で考えていることでしょう。王道の【水着】とか、季節ものだと【ハロウィン風】【浴衣】とか、あとなぜかあるあるネタと化している【ツナギとペンキ】とか。まじめに調べたら論文一つ書けるんじゃないかってくらいの多様なテーマで、数多の二次元キャラクターたちがいまも描かれています。

そんな中、特におすすめしたいのが、12月発売予定のグッズに使用されている**『グリッドマン ユニバース』**の描き下ろしイラストです。『グリッドマン ユニバース』といえば、『SSSS.GRIDMAN』と『SSSS.DYNAZENON』の2つのTVシリーズを繋ぐ、激アツ神展開連発最高カットを続出した傑作劇場版アニメです。そんな『グリッドマン ユニバース』から、六花、アカネ、夢芽の3人の描き下ろしが登場します。

「映画賞の授与式に参加する3人」のようなイメージで、劇場版の大成功を受けての式に行くためにドレスアップした風にも見えます。白いドレスというところはお揃いですが、フレアスカート、パンツスーツなど**三者三様の個性が出た衣装や、ドレスに合わせてアレンジされた髪型**もキマっているイラストです。六花が髪を巻いてたり、アカネが耳を出していたり、夢芽がおでこ見えてたりとかさあ！　めちゃくちゃいいんですよ!!（急な大声）

シチュエーションに合わせたレッドカーペット風の台座のついたアクリルスタンドや、このイラストが超大判で楽しめるBIGタペストリーなどがラインナップされています。この商品、ファンならお見逃しなく！

これ、完全に持論なんですけど、グッズに使われる描き下ろしイラストって、**そのキャラクターの人格を感じられれば感じられるほど良い**と常々思っております。たとえば、【性格の全然ちがう5人の男性キャラがスーツとネクタイでキメている】というコンセプトだったとしましょう。これが、全員が全員、襟首までボタンを留めてネクタイをしっかり締めているよりも、【熱血キャラは堅苦しいのが嫌いだから、ネクタイは緩めてシャツのボタンも3つくらい空けてるし、ジャケットも脱いで肩に掛けてる】【キザなキャラはビシッと着つつもアクセサリーを増やしたり、いつもトろしている前髪を上げてる】【やんちゃキャラはスーツに慣れてなくて、ネクタイを締めるのに四苦八苦してる】とか。**そのキャラが「スーツを着て」と言われたときにどうするか**、みたいなところが表れている絵のほうがエモくないですか!?

そういう、シチュエーションとキャラの人格が結びついているのが分かる表現であればあるほど、そのキャラクターの奥行きといいますか、実在感が出ると思います。自分の好きなキャラクターに、見たことのなかった側面が見えたり想像できたとき、その絵に愛着がわくと思うのです。【グッズで描き下ろされたイラストのファンアート】なんてものもしばしば目にしますし、ひょっとしたらグッズは、**原典である作品世界にさらに奥行きを感じさせる役割**すら持っているのかもしれませんね。

お店でもこのイラストの魅力を存分にアピールできるように、展開していこうと思います！

animate information

★TVアニメ「呪術廻戦」渋谷事変放送記念フェア

全国アニメイト・アニメイト通販にて【TVアニメ「呪術廻戦」渋谷事変放送記念フェア】を11月18日より開催いたします。フェア期間中、対象商品のご購入・ご予約で躍動感たっぷりな描き下ろしイラストを使用した特典「トレーディングカード（全10種）」を1枚プレゼント。ホログラム仕様のレアカードもぜひチェックしてみてください。加えて特典と同じイラストを使用した「アクリルスタンド」などの新グッズも販売いたしますので、こちらもお見逃しなく。

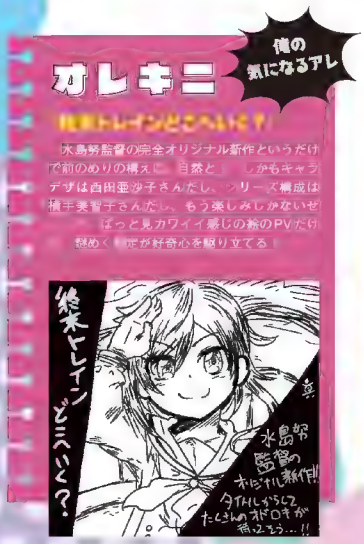
◎TVアニメ「呪術廻戦」渋谷事変放送記念フェア
開催期間：2023年11月18日～12月10日
開催場所：全国アニメイト・アニメイト通販

誰も見たことのないアニメイトがここに

アニメイト池袋本店に向かって右隣のビルにanimate Import Shopがオープンしたのはご存じでしょうか!!　ここはその名の通り、**K-POPアーティストのグッズ**を販売するお店なのです。

animateの名を冠しながらも、あえてアニメとは違うジャンルの専門店をやるというところにワクワクしながら、早速覗いてきたのですが、店内がめっちゃくちゃ綺麗でオシャレです。すごい。そしてショーケースに並ぶ、**アーティストごとに形の全く違うペンライト**の数々は見てるだけでも圧巻。カードやぬいぐるみ、アパレルなど日本でも見るアーティストグッズもあれば、日本では珍しいものもあり。特に驚いたのは、**「ラッキードロー」というシステム**。CDを買うと特典がもらえるとだけ聞けば日本でも一般的ですが、CDを買って、もらったコインを専用の自販機に入れると特典カードが出てくるという楽しいものです。特典をもらうこと自体がもはやエンタメ！　日本でこれができるのは貴重らしく、**現地のファンの文化まで直輸入したお店**となっています。

ある意味、本当の意味で全く新しいアニメイトです。K-POPファンはもちろん、そうでない人も一度は行ってみてほしいです！



Illustrated by Shinyasu Okanobetei

畠中祐 連載

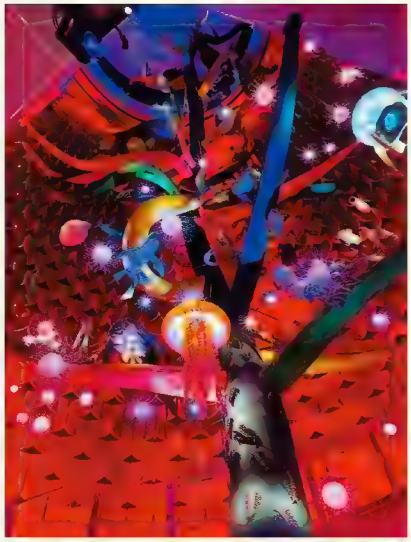
タスクのつぶやき

TASUKU no TSUBUYAKI

第6回 マイナスに飛び込め

声優・アーティストとして活躍中の畠中祐さんが、日常やお仕事で感じたことを自由に執筆するコラム連載！　今月は芸術家・岡本太郎さんの作品「太陽の塔」に足を運んだ思い出を語っています。どうしても行きたかったという、本物の太陽の塔を目にした心境は？

※開館時間　朝10時～夕方5時（最終受付：夕方4時30分）、休園日は万博記念公園に準じます
『太陽の塔』への入館は事前予約制（当日空きがあれば当日券の販売もあり）
万博記念公園の入園料（自然文化園・日本庭園共通）が必要になります
太陽の塔オフィシャルサイトより入館・入園のセットチケットが大人930円、小中学生380円で購入可能です



はたなかゆたす
6月17日生まれ／神奈川県出身／賢プロダクション所属／代表作：『UPIN ZERO』（ユパン）、『僕のヒーローアカデミア』（上鳴電気）、特撮ドラマ『ウルトラマンZ』（ウルトラマンゼットの声）など／現在上演中の音楽座ミュージカル『シャボン玉とんだ宇宙（そら）』までとんだ」に出演

「うわー、たしかにこれはべらぼうだわ」

思わず独り言が口から漏れる。そして、なんだか笑えてくる。なんだこれは。

目の前にあるのは、70年の大阪万博のテーマ館の一部として建造された芸術作品「太陽の塔」だ。

当時はテーマ館の大屋根に穴を開け、そこを突き抜けて建てられていたらしく、建築物としても、わざわざ屋根に穴を開けてつくられたわけだから、意味がわからない。

大阪万博のテーマは「人類の進歩と調和」。そんな近未来的雰囲気の会場のど真ん中に、このなんとも無邪気で、原始的な雰囲気のある巨大な塔を建てた。まさに異質だ。

『シャボン玉とんだ宇宙（そら）までとんだ』の初日。オフ日だったので大阪まで訪れたのだが、公演までの時間で、どうしても本物の太陽の塔が見に行きたかった。学生の時から岡本太郎さんがずっと好きなのだ。

彼の言葉の中で僕は、「いいかい、怖かったら怖いほど、逆にそこに飛び込むんだ。やってごらん」（強く生きる言葉／イースト・プレス）が大好きだ。

どの本にも書かれているのだが、危険だと思ったほうに飛び込んで戦え、と彼は言う。そうやって生命を燃やして、心を揺らして、安定しないことこそが、一番煌めく瞬間なんだと。

だから太陽の塔を見た時に、全てをかけた大喧嘩だと思った。その迫力たるや。笑っちゃうのだ。

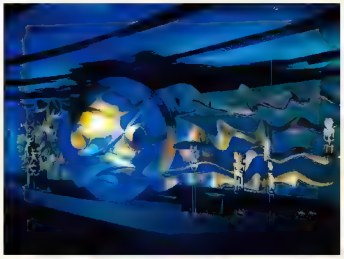
その日、僕は塔の内部への入館券を予約しておいた。初めて太陽の塔の中を見る。

万博の主題は未来に目を向けていた。しかし、塔の内部にあったのは、僕ら人間の太古からの文化や、生命誕生の瞬間を表現した展示の数々だった。

岡本太郎さんの強いメッセージを感じる。根源に立ち返れと、言われている気がする。

そして、内部展示のメイン「生命の樹」。一番高下から見上げたこの樹の迫力!!　言葉を失うほどの情報量に襲われる。

まるで血管のように天に向かって伸びている樹は、約41メートル。そこにはアメーバからはじまり、三葉虫、太古の魚類、恐竜、巨大哺乳類、類人猿などが、上に向かって乗っかったり、絡みついたり、ものすごい物量で僕らの前に現れる。



今の展示では33種類、183体が展示されているようだが、当時は33種類、292体もの生物模型が展示されていたみたいだ。これ以上の物量…、信じられない。

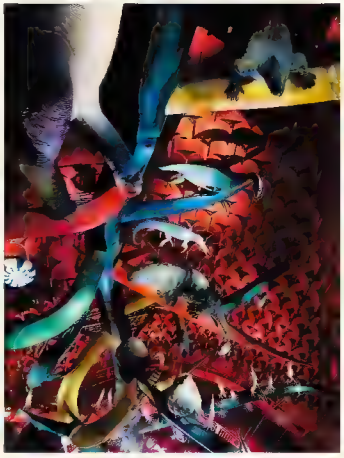
階段をゆっくり上っていく。この階段は当時、エスカレーターだったらしい。再生された新しい模型の中に、当時のものも混ざっており、それを見ると、大阪万博からの確かな年月を感じさせる。

そして、樹の一番上にはなぜか、僕らホモ・サピエンスはいなかった。他の類人猿や旧人で、終わっている。

生命の進化、その進んだ先に、僕ら人間はいない。ここに、岡本太郎さんの言葉を聞いた気がした。

一番上まで登り切ると、塔の腕の内部が見えるようになっている。当時、右腕から大屋根の空中展示に繋がっていたらしい。そこには「未来・進歩の世界」という展示が行われていた。今ではその様子が写真で伺える。

写真の中には、赤い手と青い手のオブジェが写っていた。二つの手は開いた状態で向き合っていて、赤い手は硬く、そして青い手は包み込もうとしているが、躊躇しているように見える。そして二つの手は、触れ合うことなく、そこに佇んでいた。



岡本太郎さんが胸中に見た未来は、この手のような未来だったのだろうか。

今度出演する舞台で僕がやる役のセリフに、「人間なんて1人じゃ生きていけないよ」というものがある。

僕はこのセリフ、実感を持って言えているだろうか。太陽の塔を出て、本当の太陽の光を浴びた時、なんだろうか。少し寂しい、気持ちになった。

お便り募集中！

本コーナーではお便りを募集中！　テーマ宛のものだけでなく、感想もお待ちしています。

現在募集中のテーマ
「最近、あなたの気持ちが動いた瞬間は？」

郵送
〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1 目黒CS
㈱徳間書店 アニメージュ編集部「タスクのつぶやき」係

Web投稿
https://animageplus.jp/webform/

4

116票
➡前回4位

夏目友人帳
ニャンコ先生・斑

5

100票
⬇前回3位

ひろがるスカイ！プリキュア
キュアプリズム(虹ヶ丘ましろ)

6

83票
⬆前回圏外

アンデッドアンラック
出雲風子

7

70票
⬆前回圏外

アンデッドアンラック
アンディ

1

290票
⬆前回6位

SPY × FAMILY
アーニャ・フォージャー

2023.December

Character Best10

アーニャ大躍進！

『SPY × FAMILY』アーニャ首位に返り咲き！　キュアマジェスティ、キュアスカイと『ひろプリ』も強し。怒濤の勢い『アンデッドアンラック』、『キボウノチカラ』『葬送のフリーレン』など初登場作も目白押し！

3

130票
⬇前回2位

ひろがるスカイ！プリキュア
キュアスカイ(ソラ・ハレワタール)

2

131票
⬇前回1位

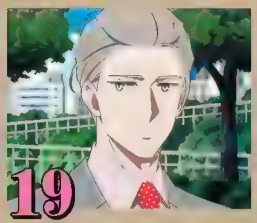
ひろがるスカイ！プリキュア
キュアマジェスティ(プリンセス・エル)

17
32票 柚木さんちの四兄弟。
↑前回圏外 柚木 隼

15
36票 葬送のフリーレン
↑前回圏外 フリーレン

11
46票 SPY×FAMILY
↑前回圏外 ヨル・フォージャー

8
68票 呪術廻戦 渋谷事変
↓前回5位 五条 悟



19
31票 新しい上司はど天然
↑前回圏外 白崎優清

16
34票 東京リベンジャーズ
↑前回圏外 佐野万次郎

12
44票 キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～
↑前回圏外 夢原のぞみ

9
53票 呪術廻戦 渋谷事変
↓前回8位 夏油 傑

20
29票 お嬢と番犬くん
↑前回圏外 宇藤啓弥

17
32票 鴨乃橋ロンの禁断推理
↑前回圏外 鴨乃橋ロン

13
40票 名探偵コナン
↓前回7位 江戸川コナン

top 21—30

21	柚木 岳	柚木さんちの四兄弟。	28票
22	壬氏	薬屋のひとりごと	27票
23	ダミアン・デズモンド	SPY×FAMILY	26票
23	伏黒 恵	呪術廻戦 渋谷事変	26票
23	松野千冬	東京リベンジャーズ	26票
26	碧棺左馬刻	ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-	24票
26	灰原 哀	名探偵コナン	24票
26	猫猫	薬屋のひとりごと	24票
29	アリババ	ビックリメン	23票
30	灰島伊織	Opus.COLORs	22票

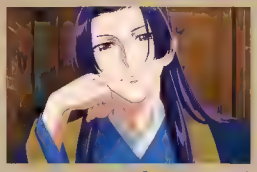
14
39票 劇場版シティーハンター 天使の涙(エンジェルダスト)
↓前回11位 冴羽 獠

10
52票 機動戦士ガンダム 水星の魔女
↑前回13位 スレッタ・マーキュリー

投票方法

本誌アンケートはがき Q2欄に、好きなキャラクターを作品名とともにフルネームで【2名】書き、切手を貼って投票してください。11月22日必着。ご記入の個人情報は集計目的以外での利用はいたしません。※2名とも同じ名前の場合は1票とします。

LOOK UP! 今月の注目キャラ



「薬屋のひとりごと」
壬氏（ジンシ）

大国の後宮で権力を持つ宦官・壬氏。その美貌は誰をも魅了し、物腰も穏やか。けれど内面はしたたかで、薬の知識を持つ猫猫（マオマオ）に目を付けて計略を仕込み、彼女を帝の寵妃の毒味役に任命する。薬と毒の研究に夢中の猫猫を変わり者と思いつつ、猫猫の前ではくだけた笑顔を見せるようになるのもほほえましいです。

©遠藤達哉／集英社・SPY×FAMILY製作委員会 ©ABC-A・東映アニメーション ©緑川ゆき・白泉社／「夏目友人帳」製作委員会 ©PIERROT/集英社・アンデッドアンラック製作委員会 ©芥見下々／集英社 呪術廻戦製作委員会 ©創通・サンライズ・MBS ©2023 キボウノチカラ オトナプリキュア製作委員会 ©青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS 1996 ©北条司/コアミックス・「2023 劇場版シティーハンター」製作委員会 ©山田鐘人・アベツカサ／小学館 「葬送のフリーレン」製作委員会 ©和久井健・講談社／アニメ「東京リベンジャーズ」製作委員会 ©天野明／集英社・鴨乃橋ロンの禁断推理製作委員会 ©藤沢志月・小学館／「柚木さんちの四兄弟。」製作委員会 ©いちかわ稜（秋田書店） 「新しい上司はど天然」製作委員会 ©はっぱる・講談社／「お嬢と番犬くん」製作委員会 ©日向夏・イマジカインフォス／「薬屋のひとりごと」製作委員会

アニメージュ

Animage

これが大阪化第1形態～第5形態だ！

――書いていて楽しかった部分は？

徳永　筆が乗ったのは甲子園の設定でした。打ち合わせで「甲子園を使いたい」という話が出たので、甲子園に行くにはどうすればいいんだろうとすごく考えたんです。甲子園と"粉もん"を上手く使えないかと思いついて。そこからみんなも面白がってくれて、「だったら地下施設の工場という設定にしよう！」となりました。

若松　あれは面白かったですね。甲子園で言うと、結局できなかったのですが、各校の入場行進で47都道府県を全部ディスろうかなという案もありました。例えば茨城だったら、納豆みたいな格好の人たちが並ぶみたいな。

徳永　遠くて甲子園にたどり着けない県があるとかね(笑)。でも、全県やろうとすると撮影が大変で。

武内　お金もなくなっちゃいますから(苦笑)。

マイナーな地元ネタをあえて取り上げて全国へ

――撮影中で印象に残っているエピソードやシーンは？

武内　エキストラの方たちがプールに入るシーンですね。真冬の朝、激寒のときに水着での撮影だったんです。「別にプールに入らなくていいですよ」と言っているのに、みんな付度してくれて(笑)。

徳永　「頑張ります」ってプールに入っていましたね。

武内　しかも、冬でプールの水の処理をしていないから、水が緑色になっているんです。プールの水を全部抜いて、掃除して綺麗な水を入れて、極寒のプールにエキストラを入れるという鬼のような撮影でした。

若松　地下施設も寒かったですよね。

武内　寒かった！

若松　外よりも何度も低いので、まるで冷蔵庫の中みたいなんです。そこで4日間くらいずっと撮影していました。あとは、タコランドじゃないですか？あれは台本になかったものがどんどん膨らんでいきましたよね。暗い画にしかならない地下施設を、粉をゴリゴリと精製する暗いところと、粉もんの料理をする派手なところという、2ヵ所の設定は広がりがあってすごいなと。

徳永　すごかった！

若松　さすが監督だなと思いましたね。

――歌と踊りも楽しくて華やかでした。

武内　せっかく大阪が舞台になっているから、愉快で楽しいエッセンスを入れたほうが大阪っぽい感じになるのかなと。ずっと暗い牢屋みたいなところばかり映すよりも、ああいうシーンもあったほうが楽しいですから。

徳永　歌詞を書いていても楽しかったですね。

――あの歌の歌詞は徳永さんが書かれていたのですね！

若松　「このシーンいいですね」と、真っ先に書いてきてくれました(笑)。

武内　撮影初日がタコランドだったんですよね。

徳永　あれは面白かったですよ。

若松　最高に笑いましたもん。

――(壮大な茶番劇)と謳っているだけあって、ラストもかなりのスケールですね。

武内　とある施設を見て思いついたんです。クライマックスは大きな山があるので、そこもぜひ注目してほしいですね。

――ところどころ、SF作品のオマージュとも思えるシーンもあり、さらにそれぞれの関係性が織りなす人間ドラマも見どころだと感じました。

若松　そういうところは、某SF大作っぽくてよかったと思います。

徳永　物語が大きく展開しますからね。

武内　韓流のようなびっくり展開があったら面白いですから。

――エンドロールにもサプライズがありました。

若松　前作のエンドロールの評判が意外とよかったので、「エンドロールで何かやらないとな」という気持ちはありました。

武内　あのときは「本編より面白かった」と言っている人もいたくらいで。

徳永　いましたね(笑)。

武内　複雑な心境だった(笑)。

一同　(笑)

武内　今回もそこを期待されて、何もなかったら寂しいですからね。いろいろと考えたので、ぜひエンドロールも劇場で確かめてみてください。

――作中のネタは"愛のあるディスり"と言われていますが、ディスり方についてはどんなところに気をつけましたか？

武内　まずは取材をして、すでに定番になっているディスりは、もう言われ慣れているだろうから大丈夫かなと判断して。

徳永　琵琶湖の水とか、ゲジゲジとか。

若松　あとは平和堂のように、滋賀県民はよく知っていても、他県の人にはあまり知られていないものなどを出せたらいいなと。「それを扱うんだ!?」と思われれば、一生懸命取材をしたことも伝わるのかなと思います。

――滋賀の車のナンバーが「ゲジゲジ」と言われているのも、初めて知りました。

徳永　関東では知らない方も多いかもしれませんが、関西では本当に定番ネタですね。

武内　その塩梅も悩んだんです。関東の人にはわからなくても、関西の人に絶対ウケるからと割り切るのもどうなのかと。でも、そのネタたちを取り上げることで全国に広がる、という流れもありだなと思って、作っていきました。

徳永　眉毛までゲジゲジにしていましたもんね(笑)。

若松　あれには僕も驚きました。いつの間にか滋賀県人全員がゲジゲジになっていて。

武内　いろいろな県の人が登場するので、差別化が難しかったんです。この人は滋賀の人、この人は和歌山の人とキャラづけしていくために必要だったのがあの眉毛でした。でも、眉毛をゲジゲジにするのってどの方向から苦情が入るかわからないから、ちょっと怖かったですね。堀田真由ちゃんの眉毛をゲジゲジにするのも、非常に心苦しかったです。

徳永　ゲジゲジでもかわいかったのはさすがでした。

武内　一瞬、真由ちゃんはやらなくていいんじゃないかなとも思ったんです。ちょっと日和ったけれど、周りが「やったほうがいいですよ」ということで本人に打診してみたら、「大丈夫です、全然やりますよ！」と。

若松　彼女は滋賀出身だから、すごく喜んでいましたよね。滋賀ネタもほとんど知っていましたし。

徳永　「琵琶湖周航の歌」もすぐ歌っていましたよね。

――作中にはたくさんの小ネタが登場しますが、おすすめの小ネタがあれば教えてください。

若松　小ネタではないのですが……大阪化の第1形態から第5形態は、一応全部設定が決まっています。

徳永　第1形態は言語機能がおかしくなってくる。

若松　第2形態がツッコミで、第3がズッコケ？

武内　そうそう。第4形態が吉本新喜劇のギャグで、第5形態で完全に大阪人になるという。

若松　設定でいうと、前作で登場した埼玉ホイホイも参号機だったんですよね。

武内　参号機にしておけば、「かつて壱号機と弐号機があったんだろうな」とみんなが勝手に脳内補完してくれるじゃないですか。

徳永　監督の得意の手法です(笑)。

――お話を聞いていると、早く観たくなります！　公開を楽しみにしている読者へメッセージをお願いします。

若松　関西ネタが話題になって盛り上がってはいますが、埼玉への愛も忘れずにきちんとディスらせていただいています。日本全国の皆さんに楽しんでいただけると思うので、よろしくお願いします。

徳永　いい意味で、見終わった後に何も残らないかもしれません(笑)。笑って、笑って、笑って、その笑いがたくさんあるからこそ、「琵琶湖周航の歌」が聞こえただけで泣けるとか、そういう効果を狙ってみました。気負わず、楽しんで観にきていただければと思います。

武内　何が出てくるかわからない、びっくり箱みたいな映画です。何も考えずに映画を観にきて、楽しんでもらって、「自分が住んでいるところってやっぱりいいな」と、ちょっとでも思っていただければ嬉しいです。

を聞いて、路線族の話になって。

武内　みんな池袋に行っちゃうんですよね。伊勢崎線の人と西武線の人なんてほぼ関わりは全くないし、他の線も同じ県とは思えないくらい交わらない。

若松　横にも上にも興味がないんです。下にしか興味がない。

武内　東京にしか向いてないんですよね。でも、郷土愛がないようである、不思議な感覚の人たちじゃないですか。そういう感覚があるのだったら、武蔵野線を通して横の繋がりをちょっと深めてもらいたいな、という願いを込めました。

大阪・神戸・京都は腹に一物を抱えている？

——今回の続編について、原作の魔夜峰央さんは何かおっしゃっていましたか？

武内　「おまえら正気か」と（笑）。

若松　でも、台本は大絶賛でした。「よく考えるな、こんなバカなこと」とおっしゃっていたのですが、こちらとしては「いや、もともと設定は先生が考えたんですが……」という（笑）。

——武内監督はキャストの方々にどんなお話をされたのですか？

武内　前回と同じですね。みんなに「これは大河ドラマだと思って、この設定を大真面目にやり抜いてください」という話をしました。GACKTと二階堂（ふみ）はもうわかっているから、特に新しく何かを言うことはなかったです。周りの皆さんも前作を観ているので、「ああ、こうやって作っているんですね」と理解も早くて。嘉祥寺晃役の（片岡）愛之助さんも、現場で突然「GACKTの口元についたたこ焼きソースを舐めてほしい」と言ったら、「うーん、うん……わかりました」って（笑）。

——理解が早い（笑）。愛之助さん演じる嘉祥寺はキャラが濃かったですね。

徳永　すごかったですね。

武内　あの衣裳を着こなせるってすごいですよね。

若松　かっこよく見えますもん。

——新キャラクターたちも濃ゆい人たちばかりで。

武内　ストーリーを作っていく上で、必要なキャラクターが自然と出てきたという流れです。

若松　関東は東京だけがトップでいいと思うのですが、関西は大阪だけじゃないんですよね。京都は絶対に外せないし、神戸は大阪よりオシャレだったりする。その3つはどうしても敵にせざるを得なかったですね。

徳永　ちょっと仲間っぽくしてね。ただ、そこが交わっちゃうと嘘っぽくなるから、実は腹にそれぞれ一物抱えているという設定にしました。

若松　みんなそれなりにいがみ合っているけれど、目的のために集まった——くらいの温度感にして。でも、裏切りもありつつみたいな。

——大阪府知事、神戸市長、京都市長の関係性も面白かったです。キャスティングはどのように？

武内　4年くらい前に麿原紀香さんとお会いしたときに、『翔んで埼玉』の関西版をやりたいという話をしたら、「私、神戸やるから絶対出して！」とおっしゃっていて（笑）。

若松　それで大阪が愛之助さんで、夫婦で出ていただけたら面白いなと。愛之助さんにも快くお受けいただいて、ご夫婦初共演がまさかの本作になるという（笑）。

徳永　しかも夫婦役なのに、神戸市長は川崎麻世さん演じる京都市長と浮気していますからね。

——その関係は衝撃的でした。

若松　徳永さんがどんどん詰め込んでいって、もうドキドキしながら台本を送りました。

武内　でも、めちゃくちゃ面白がっていました。全然問題ないって。

徳永　ああ、よかった！

——杏さんが演じる、物語の鍵を握る桔梗 魁もかなり印象的でした。

徳永　耿美路線というのは最初から決まっていましたね。

若松　ただ、はじめは"滋賀の貴公子"だったんです。撮影を1年延期している間に杏さんがパリに行かれたこともあり、撮影を再開するときに"滋賀のオスカル"に変わりました。

武内　撮影の直前に変えたんだよね。

徳永　本当に直前でした。

——杏さんをキャスティングした決め手は？

若松　滋賀出身の方を起用することも一瞬考えたんですが、この作品はBL要素も大事じゃないですか。二階堂さんが男役として壇ノ浦百美を演じているので、その対抗馬である桔梗も女性をキャスティングしたほうが面白いかなと考えました。

武内　杏ちゃんとはこれまでもずっと一緒にやってきたし、今回の役にピッタリだなと思いましたね。

徳永　ピッタリでした。

——GACKTさんと杏さんが並んだときの画がとても映えて素敵でした。現場での杏さんはどんな様子でしたか？

武内　杏ちゃんはこういうのが大好きなので、面白がってやっていました。

若松　歴史とかも好きですしね。

武内　マントに近江にまつわる武将たちの家紋をつけているのも、彼女のアイデアです。他にも「こんなネタもあります」と、滋賀にまつわる史実をメッセージで送ってきてくれたのですが、多すぎて使えませんでした（笑）。

——キャスティングによって、脚本作業で何か影響はありましたか？

徳永　当て書きじゃないけれど、キャスティングを受けて書いているものは多いですね。「監督ならこう演出するかな」ということも想像しながら書きました。

監督
武内英樹

Hideki Takeuchi
1966年生まれ　演出家・映画監督／主な映画監督作品に、『のだめカンタービレ』『テルマエ・ロマエ』『ルパンの娘』『今夜、ロマンス劇場で』ほか

脚本
徳永友一

Yuichi Tokunaga
1976年生まれ／脚本家　主な作品に『かぐや様は告らせたい』シリーズ（映画）、『ルパンの娘』（TV&映画）、『警部補ダイマジン』（TV）ほか

プロデューサー
若松央樹

Hiroki Wakamatsu
1968年生まれ／フジテレビ所属　プロデューサー／主な作品に、『のだめカンタービレ』シリーズ、『最後から二番目の恋』シリーズ、映画『帝一の國』『マスカレード・ナイト』ほか

ディスりより愛をこめて

滋賀にはほどよい埼玉感がある!?

――続編となる今作はオリジナルとなります。どんな経緯で東西対決にしようと決まったのでしょうか？

武内　前作の撮影をしているときから、「これは何でもできるな」という話になったんです。冗談で、「関西に行ったらどうなるのかな、九州に行ったらどうなるのかな。世界に行ったらどうなるのかな？」みたいな。

若松　壮大な話をしましたよね。

武内　『翔んでニュージャージー』をやろうとか。

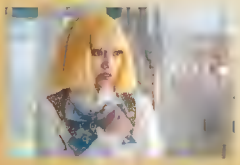
徳永　言っていましたね（笑）。

武内　いつもそんな話をしていたので、なんとなく下地の要素みたいなネタはあって。前作が当たったあたりから、「Ⅱを作ろうか」というムードになっていたという感じです。

若松　前作が公開されるまでは、「本当にこれで怒られないかな？」と怖かったじゃないですか。

武内　埼玉県民に刺されるかもしれないと思っていました（笑）。

若松　蓋を開けてみたら評判もよく、ひどいクレームもなくて。皆さんに喜んでいただけて、これは次もやっていいのではないかと。



徳永　結局、関西というのはすぐ決まりましたよね。

武内　確か前作が公開されたときに、「これの関西版をやったら大変なことになるぞ」という声もあって。

徳永　他にも「撮影でいっぱい使っているのに、何で栃木が描かれていないんだ！」とか、ディスられていない県の方からの声もありましたね。

武内　そうした声がバーッと入ってきたんですが、映画自体は実は関西のほうであまり盛り上がらなかったんです。

徳永　やっぱり関西だと関東のネタがわからなかったんでしょうね。興行的にも関西があまり振るわなかったので、関西も取り込んだらもっといけるんじゃないかと（笑）。

武内　この面白さを関西の人にも分かち合いたいですからね。

若松　ただ、『翔んで埼玉』というタイトルは残そうという話になりました。今回だったら『翔んで滋賀』にしたっていいんですが、あれだけ埼玉にお世話になったのだから、滋賀に行ったとしても埼玉はちゃんと描こうと。

徳永　埼玉だけでたくさん興収を稼げましたし。

若松　埼玉は裏切れませんね。

――滋賀がメインだったのにはどんな理由が？

徳永　最初は和歌山だったんです。

若松　埼玉は海なし県だから、千葉から船で海に出て、初めて船酔いを経験するという案は、最初から決まっていて。

徳永　でも、和歌山に行ったら本当に何もなくて……（笑）。

武内　そもそも前作を上映していた映画館が2館くらいしかなくて、ほぼ『翔んで埼玉』が観られていなかったということに気づき、これはあまり巻き込めないなと。

徳永　すぐに撤退しました（笑）。

武内　それから滋賀や奈良、大阪、京都あたりをいろいろ取材して、関西の埼玉ポジションはどこなんだろうと考えたときに挙がったのが、奈良と滋賀でした。

若松　でも、関東の人間からすると、奈良は修学旅行先としても有名ですし、歴史もちゃんとあって、あまりディスれないかなと思ったんです。

武内　これも実際に奈良に行ってみると、大仏や寺、鹿くらいで本当に何もない（笑）。ちょっとディスりづらいなということで、滋賀がちょうどよかったんです。

徳永　滋賀はほどよい埼玉感がありますよね。

武内　取材をするときに、現地のフィルムコミッションの人がそれぞれアテンドしてくれたのですが、滋賀の方の熱量がものすごかったんです。「とにかく滋賀をディスってほしい！」「うちでお願いします！」と。

徳永　そうでした（笑）。

若松　それに「琵琶湖の水止めたろか」という鉄板ネタもありますしね。

徳永　実際に本編でもセリフそのままで使いました。

武内　関東ではあまり響かないみたいですが、関西では「乳首ドリル」と琵琶湖の水ネタは鉄板ですから。

徳永　特に乳首ドリルはすごいですね（笑）。

若松　僕は知らなかったんですよ。ポコポコヘッドとパチパチパンチは知っていましたけれど。

武内　そうそう。そうしたら関西の人たちに「それは古い。今は乳首ドリルだ」と言われました。子供から大人までみんなやっているらしいです。

――乳首ドリルのシーンは予告でも使われていました。

徳永　観たらやっぱり面白かったですね。「しないのか!!」って（笑）。

武内　そう（笑）。

若松　リズム感が最高でした。

武内　予告を出したときのリアクションが、関西の人はすごく盛り上がっている一方で、関東の人は「何だこれは？」の方が多かったかもしれませんね。

若松　ツッコミが定型の「ドリルせんのかーい！」じゃなくて「しないのか!!」だから、余計にわかりづらかったかも。でも、関東の人も、若者は意外と知っている印象でした。

――今作は関西の格差だけでなく、埼玉県人の横の繋がりの薄さというテーマもありました。

武内　前作のときに、埼玉のみんなが本当に東京しか向いてないなとすごく感じたんです。

徳永　大宮アルシェの方から路線の話

Q

[illegible]

もちろんあります！　僕は粉もんで育っていますからね。これだけは言いたいのですが、他県から大阪へ来たときに、「やっぱり粉もんやろ！」とたこ焼きを食べてくれると思うんですが……でも、「大したことないね」と言われる場合もあるんです。それはそのお店が合わなかっただけで、他にもたこ焼き屋はいっぱいあるし、全部味が違うんです。例えば生地が厚かったり、中がトロトロだったり、たこがめちゃくちゃ大きかったり、小さかったり、いろいろな具が入ったりするので、その一軒で諦めるんじゃなくて、他の店でも食べてほしい。そうすれば、たこ焼きでもこんなにいろいろあるんだ、とたこ焼きの奥深さを知れると思います。これはお好み焼きにも言えることですね。

Q

[illegible]

全員に大阪弁を使わせることが、一番効果的です（笑）。東京に行ったら標準語を使うじゃないですか。実は親子三代ピュアな東京の人って少なくて、みんな東京の仮面をかぶって生きているんですよね。そう考えると、まずは大阪弁を喋らせることから始めていくことがいいかなと思います。

Ainosuke Katsoka

1972年3月4日生まれ／大阪府出身／92年に六代目として[illegible]ならず、映画やTVドラマ、舞台などでも幅広く活躍中。現在放[illegible]2025年大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」など話題作への出演を控えている。

内監督がこのシーンに何を望んでいるのか、どういう画が欲しいのかということを話されるんです。それを感じ取って具現化するだけなので、そんなに「このシーンどうしよう」と悩んだことはなかったですね。

――そういう意味では、武内監督の求めているものと愛之助さんの感性がすごく似ていたのでしょうね。

愛之助　いや、そんな恐れ多いですよ。

――GACKTさんの口元に垂れたたこ焼きソースを舐めるシーンは、GACKTさんの提案だとうかがいました。どんな気持ちでそのシーンに臨みましたか？

愛之助　「僕はいいんですけど、本当に舐めていいんですかね？」という気持ちでした(笑)。ご本人が言っているからいいんでしょうけれど、GACKTさんファンは大丈夫かなと思ってソワソワしました。

――GACKTさんにはどんな印象が？

愛之助　TVで観たときのイメージしかなかったので、「どういう人なんだろうか？」と気になっていました。実際にお会いしたら本当にフラットな方で。紳士的で真面目で、いい人でした。ストイックという言葉が似合う人でしたね。

――たこ焼きソースのシーンのように、愛之助さんや相手のキャスト発信のアイデアや印象に残っているアドリブはありますか？

愛之助　嘉祥寺が踊る場面があるのですが、踊るならば何か使いたいなとか、そこで扇子を持ったらどうかといったことは、こちらから提案しました。他には……案外あるようでないですね。大体台本で決まっていることでした。

――そうだったのですね。

愛之助　歌舞伎でもそうですが、台本に書いてあることをいかにアドリブのように見せるかということが大事なんです。だから、「アドリブがどれくらいあったのですか？」と言われたほうが、役者としては嬉しいですね。書いてあることをやっているだけですが、それが芝居に見えたらお芝居ですし、アドリブに見えたら自然ということなので。

――まさに後者だったので、どこまで皆さんのアドリブだったのか気になっていました。

愛之助　お～、嬉しいですね。

洗練されすぎていない ゴチャゴチャした大阪が好き

――本作で描かれている大阪は、大阪出身の愛之助さんから見てどのように感じましたか？

愛之助　無茶苦茶でしたね。だって府知事がこんなに乱れていますから(笑)。毎日、滋賀県、和歌山県、奈良県の県人ショーをやっているのも危ないですし、“白い粉”で日本を征服しようとするところもシュールですよね。

――甲子園の地下もすごいことになっていますよね。

愛之助　そうなんですよ、甲子園なんて球児たちの聖地じゃないですか。それを「甲子園にぶち込んだれ！」って(笑)。

――武内監督が、「前作のとき、埼玉の方から『ディスってくれてありがとう。ネタとして扱ってくれてありがとう』とお礼を言われた」とおっしゃっていたのですが、大阪府民に今回の大阪はどう映ると思いますか？

愛之助　個人的には面白かったと思いますが、実際には蓋を開けてみないとわからないですよね。大阪の皆さんが喜んでくださるのか、果たしてこれを観てどう思うのか、僕もドキドキしています。

――自身が大阪人だなと感じる瞬間や、大阪愛を改めて感じる瞬間はどんなときですか？

愛之助　TVを観ていて、「なんでやねん」と思わず心の中で突っ込んでしまうときですね。あとは、やっぱり大阪に帰った際にホッとするときかな。いい意味で洗練されていない、ゴチャゴチャしているところに安心します。東京は建物でもご飯屋さんでも、みんな洗練されている気がします。大阪のそうじゃないところが好きなので、僕としてはあまり洗練されてほしくないです。2025年に万博があるから、「もっと綺麗にしよう！」とかはやめてほしい(笑)。今くらいのほうが落ち着きますね。

――作中では大阪府が中心となって滋賀県、和歌山県、奈良県を虐げていました。

愛之助　ディスりまくっていましたね、申し訳ない。でも、全く知らないネタも多かったですよ。「このゲジゲジが！」という滋賀のディスりネタも、台本を読んで初めて知りました。でも、京都出身のマネージャーは、「これ、めっちゃ言いますよ」と共感していましたね。京都の人が滋賀をディスるときに言うらしく、「こんなこと言ってるんだ、恐ろしいな君は」と(笑)。

――愛之助さんとしては、その三県にどんな印象を持っていますか？

愛之助　やっぱり奈良というと大仏と鹿、和歌山は種なし柿、サファリワールド、高野山とか。滋賀は本当に琵琶湖のイメージしかなかったですね。

――作中ではさまざまな小ネタが散りばめられていますが、お気に入りのものはありますか？

愛之助　やっぱり「乳首ドリル」じゃないですか？　まさか僕がやるとは思わなかったです(笑)。

――あれは、大阪ではみんな知っているものなのですか？

愛之助　知ってはいても、普通はやらないです(笑)。

――武内監督のインタビューのときに、関東圏の人だとネタがわからないのではないかという話になったんです。

愛之助　そうですよね。僕が前作を観たとき、埼玉ディスりがあまりわからなかったのと同じ感覚なんだろうなと思います。そういう意味で、今回は関西の人はより楽しめる気がします。

――最後に公開を楽しみにしているファンへメッセージをお願いします。

愛之助　前作を観ている方はもちろん、観ていない方も楽しんでいただける作品となっています。いきなり続編から観ても大丈夫なので、魔夜先生の夢あふれるこの世界を、大人のおとぎ話を楽しんで観ていただきたいです。本当に大爆笑できます。普段たまっているストレスも吹っ飛ぶし、切なくて涙も流せる素晴らしい娯楽になっていると思います。愛を持ってディスった本作を、ぜひ劇場でお楽しみください！

Photo：Jun ichiro Noumi
Make-up：Masuko Aoki
Hair：Mie Kawada
Styling：Kyo（Yoiken）

やっぱり大阪が好き

振り切った役でも自然体で演じられた

――嘉祥寺晃が登場した瞬間の見た目とキャラクターの濃さに圧倒されました。台本を読んだとき、嘉祥寺にはどんな印象を持ちましたか？

愛之助　大阪府知事と聞いていましたが「間違えたのかな？」と思って、役名をもう一回見直しました（笑）。台本を読めば読むほど面白いキャラクターで。壮大なスケールで恐ろしい陰謀を企てていることもわかったので、逆にここまで振り切れているからやりやすいなとも思いました。

――役はどのように作っていったのですか？

愛之助　台本を読んで大体のキャラクターはできていながらも、どんな感じで対峙していけばいいのかなと考えていたのですが……衣裳とメイクが合わさったものを見て固まりました（笑）。これはジョーカーみたいな人なんだなと思ったところで方向性が決まって、そこからは迷うことなく邁進しました。

――確かにジョーカーがまず思い浮かびました。メイクはちょっと歌舞伎みたいなニュアンスもありますよね。

愛之助　そうなんです。魔夜峰央先生の世界観自体が、歌劇団っぽいですよね。メイクも歌劇団をデフォルメしたようなイメージで、最初はつけまつ毛をつけるのか、アイシャドウをどれくらいの色にするのか、顔をもっと白塗りにするのかといろいろ試してみて、結局この形に落ち着きました。

――衣裳やメイクは、愛之助さんの意見で？

愛之助　メイクの仕方などは、自分の顔だからこそわかる部分もあるので、お願いしたところもありますが、あとは武内（英樹）監督たちにお任せしました。衣裳は、大阪人ならわかると思いますが、赤い生地と金色の柄が池乃めだか師匠の衣裳をイメージしています（笑）。大阪の象徴みたいなものです。

――嘉祥寺は大阪弁で話しますが、愛之助さんが普段使っている大阪弁と同じニュアンスなのでしょうか？

愛之助　大阪弁って細かく分けたら、地域によって違いがあるんです。平たく言えば、北に行けば行くほど上品というか、おとなしめになっていきますし、南に行けば行くほど乱暴な言葉になっていく。船場言葉や河内弁などいろいろあって、どれを大阪弁とするのかと定義づけると難しくなってくるので、ざっくりとした大まかな枠での大阪弁として捉えて演じました。

――愛之助さんは普段の大阪弁はどこ寄りになるのですか？

愛之助　堺はちょっと南ですね、下品です（笑）。

――歌舞伎の『夏祭浪花鑑』では、それが活かされていますよね。

愛之助　よくご存知ですね。『夏祭浪花鑑』は堺の魚売りの話なので、等身大でできるお役でした。

――大阪の言葉を使うお芝居は、やはり演じやすいですか？

愛之助　楽ですね。普通にお芝居をしていても、吹き替えでもそうですが、標準語がわからなくなってくるんですよ。例えば、「彼氏↓」を今は「彼氏↑」と言いますが、役で読むときはどっちなんだろうか、今風に読むべきなのかということでずっと悩みます。みんなどうやって標準語を勉強しているんだろうなって思います（苦笑）。

――今回の役は演じていて楽ではあったと。

愛之助　ものすごく楽でしたし、自然体でやれました。

――嘉祥寺が自然体だと言うと、少々誤解を生みそうですが（笑）。

愛之助　皆さんの知らない僕の自然体がこれなんです（笑）。「お疲れさん」て言った瞬間にこれに変わるんです。「車どこやねん！」「窓開けんかい！」って（笑）。

――神戸市長役の藤原紀香さんと夫婦役で共演されることも話題となっています。

愛之助　特殊な夫婦役でしたからね、ドキッとしましたか？　試写を観た人たちがみんなざわついたと聞いて、僕もその場を見たかったです（笑）。

――なかなか衝撃的な間柄でした。オファーを受けたときのお気持ちは？

愛之助　オファーをいただいたときに、「夫婦で仲良くイチャイチャする役だったら、お互い出るのはやめておきます。そうじゃなかったら受けますよ」と言ったら、「全然そういう役じゃないので大丈夫です」と言われたんです。むしろああやって振り切るところまでやって、バチバチしているほうが面白いじゃないですか。観ているお客さまが「えっ!?」となる瞬間があったほうが、俳優としては大事ですから。いい意味でのサプライズとして、楽しんでいただけるかなと思います。

――川崎麻世さんが演じる京都市長も面白い役どころでした。

愛之助　デフォルメされていて面白かったですね。あの麻世さんは素敵でした。何とも言えない、はんなりしつつ裏があるような感じがいい味を出していましたね。

悩む瞬間が1ミリもない お祭りみたいな撮影現場

――撮影現場はいかがでしたか？

愛之助　毎日がお祭りみたいでした。すごく楽しくて、撮影が終わってしまうのが本当に寂しかったです。武内監督も「もうお祭りが終わると思うと寂しい」といつも言っていましたが、僕もこんなに楽しい撮影は人生で初めてでした。「この役、どうしよう？」と悩む瞬間が1ミリたりともなかったです。毎日ワーッと遊んで、「お疲れさま！」と言って帰っていった感じでしたね。ただただ楽しかっただけで終わったので、本当にこの物語が成立しているのかは、映像を実際に観るまでは一抹の不安がありましたが（笑）。

――苦心されたことはありましたか？

愛之助　合戦のところが一番大変でした。人数が増えてくると、映る角度の調整と言いますか、「もうちょっと画角に入ってほしい」といった修正がありるんです。それが合戦になると、僕はカメラがどこにあって、どういう風に映るかもわかっているんですが、エキストラの方々は難しいですよね。例えば、旗を持って走る方がいたとしたら、旗の角度や前とのかぶり具合を計算しなければいけないんですが、これがかなり難しい。皆さんと一緒になったとき、画角にどう入るかという調整はシビアではありましたが、実際に映像では完璧だったので「さすが武内監督だな」と思いました。

――武内監督とのやり取りで印象に残っていることは？

愛之助　とにかく撮影中、一番喜んでいたのは武内監督ですね。毎回、監督をどれくらい笑わせるか大会みたいになっていました。撮影はまずそのシーンのリハーサルをして、そのときに武

嘉祥寺晃役

片岡愛之助

Q

関西のイメージは？

ノリがとにかくいい。話が上手い。あと、面白くないとモテないって印象もあります。

Q

本編中でお気に入りの関西ネタは？

ボクとしては、甲子園の地下施設での細かすぎる甲子園ネタが大好きです。美術のスタッフの方もだいぶ悪ふざけしていますよ。本気の小ネタが散りばめられています。何回も劇場に観にいってもらって、そういう小ネタ探しをするのもこの作品の楽しみ方のひとつではないでしょうか？

Q

粉もんは好きですか？

パンはフランスに行ったときのみ、ラーメンは1年に1回だけ、と決めています。米はソロになったときにやめました。一番大好きなものを我慢することが、ボク自身に対しての約束だったので。歳を重ねて、最後に死ぬときは、ご飯をこれでもかってほど食べて死ねれば本望です。そのときまで楽しみにとっています。

Q

桔梗は“滋賀のオスカル”と呼ばれていますが、自分にそういう二つ名的なものをつけるとしたら？

「世界でトップ30に入る50のイケてるオジサン」ですか。ファンのみんなが応援していて恥ずかしくない、友達に自慢できるようなイケてるオトコであり続けるのが、どんなことがあっても応援してくれているファンに対して、ボクがやるべきことだと思ってます。

ファンのみんなはもちろん、『翔んで埼玉』の制作に関わるみんなも、体調を崩して活動休止期間も待っていてくれたので、GACKTが麻実じゃないとダメだ、と言ってもらえたことはすごく嬉しかったですし、復帰するまでつらいリハビリの糧にもなりました。必ずその期待には応えなければいけないと。心配かけたすべての方に、この作品を届けられることを嬉しく思います。

Q

『翔んで埼玉』は郷土愛にあふれた作品ですが、今住んでいる場所への愛を語ってください。

ボクは今、マレーシアに住んでいます。多国籍国家で、活気に溢れている。食事も世界で一番美味しいと思うし、気候もボクに合っている。そして何より、人がいい。ボクはマレーシアで仲間と釣りをしたりボーカーをしたり、食事をしたりするのですが、年齢は18～30代の子たちが多い。勢いもあって、エネルギッシュ。年齢関係なく、それぞれがリスペクトを持って接してくるので付度なく意見を交換して、勉強にもなるし、日々刺激を受けています。開発も進んでいて、高速道路やビルなどがどんどんできている。もちろん、まだダメなところもあるけれど、移住して12年の中でそれが変わってきているのを感じる。国や人が成長していく過程を肌で感じることができる、ワクワクする国です。

Q

大阪府知事の嘉祥寺晃には恐ろしい野望がありましたが、ずばりGACKTさんの野望とは？

世界中にいるずっと待ってくれているファンにボクのステージを届けたいと思っています。みんなが想像もつかないステージを披露して応援していてよかった、待っていてよかったと思ってもらえるような、あっと驚くものを届けたい。予想は裏切り、期待には大いに応える。それがGACKTですから。

Q

好きなアニメを教えてください。

ボクはアニメや漫画が大好きで、挙げたらキリがないですが、そんなたくさんの作品の中でもアニメの『機動戦士ガンダム』（ファーストガンダム）は特に大好きな作品です。とにかくストーリーが深いですよ。知らない人からすれば、どうせロボットのアニメでしょう？と言われるかもしれませんが、敵も味方も関係なく、それぞれの背景がしっかり描かれていて、描写も絶妙。人間のいいところも悪いところも描かれている。共感できる点や憧れる点、こうなりたいなと思える印象的なシーンがたくさんあります。『ガンダム』から学んだことは多いです。アニメの声優も秀逸で、ボクもよくマネをしていました。

技の幅がとても狭いものになってしまうので、そこは変えたほうがいいんじゃないかという話をしました。

――麗と桔梗の関係性について演じる際に意識したことや、麗は桔梗についてどう思っているのかなど、どのように考えていましたか？

GACKT　魔夜先生の世界観であるBLというテーマに対し、自分なりの解釈で、桔梗というキャラクターといかに危なっかしい雰囲気を作り出せるかがポイントだったのかなとは思います。

――続編でも、関西のご当地ネタが散りばめられていますね。

GACKT　この作品の撮影に入る前のキャストによる台本読みのときに、面白いんだけど地元の人が共感できる"地方あるある"の要素が少ないと思いました。埼玉を飛び出して関西を舞台に繰り広げられる今回のストーリーに対して、もっと関西の人たちが共感、同調できるポイントが必要だと思って、武内監督や徳永さんと、「こういうのを入れたらどうだろう？」という打ち合わせをさせてもらってボクも意見を出しました。結果、"愛のある"ご当地ディスりが盛り込まれていて。やりすぎ感はありますが、それは監督が責任を一人で取ってくれますので、ボクは小舟に乗って転覆しないように祈り続けています。

――予告映像では「乳首ドリル」のシーンが公開されました。GACKTさんが「こんなことまでやるんだ!?」と驚いた人も多かったようですが、こういうネタをやることに戸惑いはありませんでしたか？

GACKT　ないですね。基本的に、ボクは「こういうことをやってほしい」という武内監督の望みに対して、「いや、それはできない」というやり取りはしません。求められたことは全部やります。ただ、関西だと乳首ドリルをやった後に、関西弁でツッコむんですよね。でも、ボクの場合だと関西弁でツッコまないので、ネタとしてちゃんと伝わるのかなとは思いました。関西の人はわかっても、（吉本）新喜劇を知らない関東の人にはわかりづらいですし。

――他に関西ネタで印象に残っているものや、面白かったものは？

GACKT　役者がやるから面白くなっているなと感じたのは、加藤 諒くんが白い粉に毒されて、大阪人第4形態になり始めようとしているところ。新喜劇ではお馴染みの、体を張ったギャグの練習を一人で黙々とやっている彼を見たときに、『なんて現場だ……』と思いました（笑）。それくらい一生懸命やっていました。

――ディスられながらも、健気に生きようとする他の県も印象的でした。

GACKT　どんな場所にもそれぞれいいところも悪いところもある。悪いところにフォーカスを当ててしまうと、どうしてもネガティブな言葉が出てきてしまうけれど、いいところに目を向ければたくさんの誇れるものが出てくる。いいところも悪いところも両方理解して受け入れ、その地域を愛する――それが郷土愛というものではないでしょうか？

――現時点で、GACKTさんにとって『翔んで埼玉』はどんな作品になりましたか？

GACKT　ボク自身は、ストーリー展開があまりにも無茶苦茶すぎると（笑）。『翔んで埼玉』の十八番、そして『翔んで埼玉』そのものに期待されている部分というのはもちろんやった上で、さらに世界観が広がっているところは面白いと思います。武内監督のテンポ感のよさと、非常にくだらないことで言い合いをしているときに、全員がシリアスに演じているところがポイントじゃないかな。武内劇場の面白さは、演じているほうが笑わせにいくのではなく、誰もが真剣に演じながら、観ている人たちが、「なんでこの人たちはこんなことを真剣にやっているのだろう」と感じてくれるところにあると思います。

――最後に、公開を楽しみにしている人々にメッセージをお願いします。

GACKT　『翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～』は、前作からのスケールアップ、飛躍したストーリーと、関西のドロドロした感情のキャッチボールが面白いと思います。皆さん、ぜひ劇場に足を運んでみてください。

GACKT
1973年7月4日生まれ／沖縄県出身／VENUS新鷹／ミュージシャンという枠にとらわれない"表現者"として多才ぶりを発揮。主な出演作は、NHK大河ドラマ『風林火山』（07）『上杉謙信』（09）

無茶苦茶すぎるストーリー!?

武内英樹監督を信じて真剣に演技をするだけ

——活動休止期間を経て、クランクインを迎えたときはどのような気持ちでしたか?

GACKT　まだ声の調子が100%戻っているわけではなかったので、どれくらいもつのかと不安はありました。とにかくやれるだけやろうという思いと、これがまた数ヵ月始まってしまうのかという気持ち——面白いものができるかどうかは、正直わからないじゃないですか。みんなを待たせてしまったので、とにかくやれるだけのことはやろうという気持ちでした。

——面白いものができそうだと手応えを感じたのは、いつ頃でしたか?

GACKT　いや、そんな手応えは全くないです(笑)。面白いものになるかどうかは武内監督の腕にかかっているので、ボクらは現場で「これは面白いものになる」という実感は湧かないんですよ。スクリーンの外に届く面白さは客観性が必要で、現場で面白いと感じても、それは客観性を失った身内笑いになってしまうものが多いし、それだとダメ。武内監督のやりたいことや求めていることに100%応えているとは思うけれど、撮影中は「本当にこれで大丈夫か」と思うことのほうがむしろ多かったです。撮影が終わるまで、その気持ちは変わりませんでした。

——客観的な笑いを現場で感じることは、確かに難しそうです。

GACKT　現場を面白くしようと思っている役者は、武内監督に「そういうのは要らないから、もっと真剣にやってください」と、バッサリ切られるんです。ボクらはただひたすら真剣に演技をするだけでした。

——台本を読んでいるときも、その面白さというものには確信が持てなかったのでしょうか?

GACKT　台本自体が、文字で表現できる幅の面白さではないですからね。武内監督の頭の中だけにある完成形なので、台本だけでは伝わりづらい。それは1作目も2作目もあまり変わらないです。

——「本当にこれで大丈夫かな」と思ったのは、具体的にどのシーンですか?

GACKT　全部です。少なくともボクが絡んでいるシーンは、ボクはずっと不安でした。信じるしかないので、武内監督に「これ大丈夫ですか?」と毎回聞くんです。そうすると、武内監督が「いやぁ、いいですね」とニヤニヤ笑っているので、『何でこれを面白いと笑っているんだろう?』と思いながらも『ああ、これでいいんだな』と納得するしかない。撮った映像をモニターで観ても、ボクは「くだらない」とずっと言っていました(笑)。

——武内監督とのやり取りで印象に残っていることや、撮影中のエピソードなどがあればお聞かせください。

GACKT　前作に引き続き、武内ワールド全開でした。最高の作品にするために徹底的にこだわって、納得するまで何度でもやる。やりたい放題とはこのことだと思います。前作がたまたま当たったからよかったものの、あくまでそれはラッキーだっただけで、大人たちが味を占めて2作目なんて作ってしまったものだから大変ですよ。

——前作からスケールアップしたポイントは?

GACKT　そもそも『翔んで埼玉』なのに、なぜ関西に行くのか。関西に行くことは、スケールアップなのか、それともスケールダウンなのか?　それは観てのお楽しみなんじゃないかな。観た人が判断してくれればいいと思います。

——麻実 麗としてバージョンアップした部分や、より力を入れた部分はありますか?

GACKT　バージョンアップというか、いわゆる麻実 麗としてのスケールを広げることはやっていないです。やってしまうと、もともとのキャラクターが壊れてしまうので。麗は『バタリロ!』に出てくる(ジャック・バルバロッサ・)バンコランというキャラクターを基軸に作っていて、彼を好きな人たちがいっぱいいるんですよね。それを過剰表現してしまうと、キャラクターが壊れる、もしくはそう見えなくなってしまっては本末転倒だなと思ったので、なるべくそこはキープしていきました。

1作目から2作目、3作目となるにつれて、役者側もついついキャラクターを過剰表現したくなっちゃうんです。でもそうすると、結局そのキャラクターが本来持っているイメージを超えてしまう。それが統編ものの映画で、一番失敗する典型的なパターンなんです。それは他の作品でも感じていたことが多かったので、今回はそうならないようにしようと思っていました。多分、それはふみちゃん(二階堂ふみ)も同じで、1作目から2作目となったときに、すごく大きなキャラクターの変化はなるべくやらないようにしていたと思います。あのキャラクターを好んで、気に入ってくれている方たちがいっぱいいるので、そこを裏切りたくないという思いが強いですから。

——そのように大事に作られた麗ですが、ご自身と似ているところや共通点はありますか?

GACKT　顔ですかね。

——(笑)。

GACKT　それと目の前で起こるトラブルに対して、自分ができる限りの方法で解決していく適応能力、対応能力に関しては似ているんじゃないかな。大体そういうときって、大勢から反対されるんです。そのときの「これなら大丈夫」「これをやるしかないんだ」という周りへの思いの届け方は、似ているんじゃないかと思います。

魔夜峰央の世界観とBLは切り離せない

——新キャラクターも多数登場しますね。設定として面白いと感じたり、掛け合ってみて楽しかった相手は?

GACKT　設定は……みんな無理があります。冷静に考えたらあり得ない状況や設定だらけです。あんな高校生もいないし、あんな"クセの強い"大阪府知事もいない。ただ、真面目に話すと、大阪府知事を演じる片岡愛之助さんとの撮影は本当に毎回楽しかったし、勉強になることばかりでした。役者としての動き、間の取り方、発声、表情、みなさんもご存知だとは思いますが、勘のよさ、場の雰囲気の和ませ方や、愛之助さんならば大丈夫、という絶対的な安心感があって、片岡愛之助という人間のファンになりました。今ではご飯も一緒にいくほど仲良くしてもらっています。

——どのシーンも濃く、インパクトのあるものばかりでしたが、その中でもGACKTさんの口から垂れたたこ焼きソースを、愛之助さんが舐めているシーンは衝撃的でした。

GACKT　(笑)。あれは洗脳するように見せるより、若干でもBL感が出せるときっと不思議な画になると思ったんですよ。魔夜先生の作品はBLが主体になっているんです。『バタリロ!』などを知っている人はそれを理解できると思うのですが、実際に演技をしているふみちゃんや杏ちゃんは女性で。BLが成立しない可能性のほうが高い中で、ボクが唯一絡む男性が愛さん(片岡愛之助)だけだった。撮影前に愛さんにそれを説明して、「このシーンは唯一BLを表現できるシーンなので、それが瓦間見える感じにやりませんか」という話をしました。

——愛之助さんはどんな反応を?

GACKT　「舐めていいんですか?」「どうぞ、ご自由にお舐めください」「じゃあ、舐めさせていただきます」みたいな感じでした(笑)。どれくらい舐めればいいか、とりあえず一回やってみようということで、舐めるリハーサルもやりました。「今のではちょっと足りないかもしれないですね」といったことを、二人で大真面目にやっていました。

——他にGACKTさん発信のアイデアや、アドリブはあったのでしょうか?

GACKT　最初の台本読み合わせのときに、シーンの展開としてはありだけれど、感情が上手く繋がっていないと思ったんです。最初から最後まで盛り上がりを無理やり作ろうとしている感が出ているから、もう少しセリフの流れや、感情のキャッチボールを変えるために、「ここはこういう風にしたほうがいいんじゃないですか」というアイデアを、武内監督や脚本の徳永(友一)さんと4、5時間くらいかけて出し合って。それをもとに、もう一度台本を練り直したという経緯はありました。

——麻実 麗としての感情の流れを、より大切にされたと。

GACKT　1作目だと、麗は自分が何者かわからない状態から学園に入って、少しずつ感情が表に出ていって……と、キャラクターとしての感情の振り幅が次第に大きくなっていきました。今回は統編ということで、いきなり事件が起きる。しかも、最初の台本だと冒頭からアクセル全開という感じだったんです。それだと演

麻実 麗役

GACKT

Photo : Junichiro Noumi
Hair & make-up : Kota Tanabe
Styling : Kosuke Otomo

麻実 麗
Rei Asami

白鵬堂学院に転入してきた、容姿端麗なアメリカ帰りの帰国子女。埼玉解放戦線のリーダーとして、東京への通行手形制度を撤廃した

桔梗 魁
Kai Kikyo

“滋賀のオスカル”の異名を持つ、滋賀解放戦線のリーダー。和歌山・奈良解放戦線と共に、関西の通行手形制度の撤廃に向けて活動中

大阪の企み

関西で絶対的な力を持つ、冷酷無慈悲な大阪府知事・嘉祥寺。どうやら日本全土を巻き込む恐ろしい計画を企てており、それには謎の施設・甲子園が関係しているらしいが……?

ご当地ネタ

今回も各都道府県のご当地ネタが満載！　その中のひとつ、滋賀県生まれの「とびだしとび太」は多くの滋賀県民に愛されている存在だ。どんな活躍(!?)をするのかお楽しみに！

対決！

麗の無謀な計画から、埼玉解放戦線の面々は一路、和歌山に。そこでの桔梗との出会いから運命が動き出す！　ツッコミ満載の壮大なる茶番劇第Ⅱ章、日本全国が染まるのは埼玉か、関西か!?

運命的な出会い

嵐に巻き込まれて船が難破し、麗はひとり和歌山の海岸に漂着する。そして、偶くも美しい滋賀解放戦線のリーダー・桔梗と運命的な出会いを果たし、関西の争いに関わることに。

ゲジゲジ眉

車のナンバープレートに虫がついているように見えることから、「ゲシゲジ」と揶揄されている滋賀県人。実際に眉毛もゲジゲジであり、変装をしても眉毛ですぐに見破られてしまう。

三都市同盟

大阪府知事の嘉祥寺と、その妻である神戸市長、そして京都市長によって支配された関西。だが、円満な協力関係というわけではなく、それぞれが腹に一物を抱えているようで……?

まさかの浮気!?

並び立つ姿が絵になる麗と桔梗。耽美な二人の関係を邪推してしまうのは、仕方がないこと!?　予告でも「他の男と浮気を……!?」と心配する百美。果たして麗と桔梗の関係は!?

たこ焼き

美しい白砂を持ち帰る旅は危険が伴う。麗を見送り、留守番することになった百美だが、その隣にはなぜか大量のたこ焼きが。粉もんとは縁のなさそうな百美に何があったのか!?

滋賀解放戦線

「関西のお荷物」扱いをされ、超・地域格差に悩まされ続けてきた滋賀県。桔梗は個性豊かな解放戦線のメンバーたちと共に、県人たちを驚い立たせて理不尽な差別を撤廃しようする。

しないのか!!

嘉祥寺は拘束した麗に向かって、大阪では誰でも知っている「乳首ドリル」を繰り出そうとするが……!?　「せんのかい!!」ではなく「しないのか!!」とツッコむ麗の姿は必見！

東京都民からひどい迫害を受けていた埼玉県人――だが、麻実 麗率いる埼玉解放戦線と、麗との出会いで心を入れ替えた東京都知事の息子・壇ノ浦百美の活躍により、東京への通行手形制度を撤廃し自由と平和を手に入れた。その3ヵ月後、日本埼玉化計画を推し進める麗は、埼玉県人の心をひとつにするため、越谷に海を作ることを計画する。白浜の美しい砂を求め、未開の地・和歌山へと向かうことに！

滋賀解放戦線のリーダー・桔梗 魁と運命的な出会いを果たす一方で、関西にも超・地域格差と通行手形制度が存在することを目の当たりにした麗。その関西を牛耳る大阪府知事・嘉祥寺晃は、日本全土を巻き込む恐ろしい計画を企てていた！ 麗、桔梗、そして百美たちは、それを阻止することはできるのか――!?

本作の見どころと言えば、磨きのかかった“ディス”と“郷土愛”。埼玉を飛び出し、関西まで巻き込んだ愛あるディスを楽しもう！

嘉祥寺晃
Akira Kasboji

関西を牛耳る大阪府知事。都会指数の高い神戸、京都と連携を取りつつ、滋賀・和歌山・奈良を虐げ、日夜、県人ショーを開催している

壇ノ浦百美
Momomi Dannoura

白鵬堂学院の生徒会長。埼玉県人を蔑んでいたが、麗との出会いを機に、埼玉解放戦線の一員として日本埼玉化計画を推し進めている

空前絶後の東西

横の繋がり

麗たちは日本埼玉化計画を推し進める中で、埼玉県人は横の繋がりが薄いことに気づく。その問題を解消するために、武蔵野線の開通を目指すが、なかなか上手くいかず……。

いざ、和歌山へ！

和歌山の白浜へと向かうには陸路よりも海路がベストだが、残念ながら埼玉に海はない。前作で協力関係を結んだ千葉解放戦線の手を借りて、麗は仲間たちと出航する！

埼玉に海を！

“海なし”県と揶揄される埼玉県人にとって、海は永遠の憧れの対象である。バラバラな埼玉県人の心をひとつにするため、麗は越谷に海を作るという無謀な計画を打ち立てる。

埼玉ポーズ

埼玉解放戦線の団結を示す「埼玉ポーズ」をキメる麗。手は埼玉県の県鳥である「シラコバト」の羽を表しており、人差し指と親指で作る輪は埼玉の「玉」をイメージしている。

百美の変化

かつては埼玉に対する激しい拒絶反応に苦しんでいた百美だが、今では埼玉解放戦線のメンバーともすっかり馴染んでいる。愛する麗に顎まれ、百美もまた東の地で奮闘する！

都市伝説

前作同様、埼玉にまつわる都市伝説を聞く家族が登場。今回はさいたま市中央区（旧与野市）在住の内田家が、熊谷に向かう車の中でのラジオ(NACK5)で麗たちの物語に触れる。

GO WEST!

映画『翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～』

✦11月23日（木・祝）より全国ロードショー
HP✦tondesaitama.com

©2023『翔んで埼玉』製作委員会

CAST✦GACKT　二階堂ふみ　杏　加藤諒　益若つばさ　堀田真由　くっきー！（野性爆弾）　高橋メアリージュン　和久井映見　アキラ100%　朝日奈央　天童よしみ　山村紅葉　モモコ（ハイヒール）　川崎麻世　藤原紀香　片岡愛之助　STAFF✦監督：武内英樹　原作：魔夜峰央「このマンガがすごい！comics 翔んで埼玉」（宝島社）　脚本：徳永友一　音楽：Face 2 fAKE　主題歌：はなわ「ニュー咲きほこれ埼玉」　配給：東映